

平成25年度
能美市民満足度調査
報告書

平成25年11月

能美市 市民生活部 企画振興課

目 次

1. 調査概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査の概要	1
(3) 調査項目の基本構成	1
2. 配布・回収結果	2
3. 調査結果	3
(1) 回答者自身について	3
【問1】性別	3
【問2】年齢（年代）	4
【問3】居住地（小学校区）	5
【問4】職業	6
【問5】家族人数（世帯タイプ）	7
【問6】家族構成	8
【問7】能美市での居住年数（旧3町時代含む）	9
【問8】通勤・通学先	13
【問9】市政への関心	17
【問10】市政情報の入手方法	21
(2) 能美市における各種施策の「満足度」「重要度」について	31
【問11】能美市における各種施策の満足度と重要度	31
【問12】各種施策に関する意見・アイデア	47
(3) 能美市に住むことについて	55
【問13】能美市の住みやすさに対する意識	55
【問14】将来的な定住意向	59
【問15】能美市に定住した主なきっかけ	63
【問16】能美市に定住することの魅力	75
(4) 地域活動、市民活動および市民と行政の協働について	88
【問17】地域活動、市民活動への参加状況	88
【問18】地域が取り組むべき課題	102
【問19】市民と行政の協働推進に重要なこと	109
【問20】まちづくり活動の妨げになっていること	114
(5) 男女共同参画社会づくりと人権をめぐる市民意識について	120
【問21】男女共同参画で心がけていること	120
【問22】人権の尊重について感じていること	124

（６）公共交通網の充実について-----	128
【問 23】 J R 寺井駅の利用状況 -----	128
【問 24】 のみバスの利用促進のために必要なこと -----	132
 （７）地域活性化・観光に関する取り組みについて-----	137
【問 25-1】 観光をキーワードとした地域活性化事業の周知状況 -----	137
【問 25-2】 参加した、体験した取り組み -----	141
【問 26】 能美市民として自慢できるもの -----	146
【問 27】 能美市への愛着 -----	148
【問 28】 観光誘客を図るための重要なキーワード -----	151
【問 29】 観光誘客に向けたアイデア -----	156
 ４．まとめ-----	158

1. 調査概要

(1) 調査の目的

- ◇平成 18 年度に策定した「第一次能美市総合計画」に基づく各種施策について、現在の満足度や今後の重要度を把握するとともに、平成 17 年度、平成 19 年度、平成 21 年度および平成 23 年度に実施した調査結果との比較分析を行うことにより、各種施策に対する評価の変化を把握し、施策の進行管理に反映させます。
- ◇また、能美市に住むことや地域活動、市民と行政の協働、男女共同参画社会づくりと人権をめぐる市民意識、公共交通網の充実、地域活性化・観光への取り組み等についての市民意識を明らかにし、市民に開かれたより良い市政を展開していくための一助とすることを目的とします。

(2) 調査の概要

- ◇調査対象：20 歳～79 歳までの市民 3,000 名
- ◇抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出（層化多段抽出法）
- ◇調査方法：郵送（無記名回収）方式
- ◇調査期間：平成 25 年 7 月 26 日（金）～8 月 9 日（金）
※期日後 8 月 30 日（金）までに返送されたものまでが集計に含まれています。

(3) 調査項目の基本構成

1) 回答者自身について

- ◇性別、年齢、居住地、職業、家族人数、家族構成、居住年数、通勤・通学先、市政への関心、市政情報の入手方法に関する設問

2) 能美市における各種施策の「満足度」「重要度」について

- ◇魅力、歴史・自然、居住環境、健康・福祉、産業・観光、教育・文化・スポーツ、行財政、参画・協働の各分野において展開している 52 の施策に対する満足度と重要度および施策全体への満足度、各種施策のアイデアに関する設問

3) 能美市に住むことについて

- ◇能美市の住みやすさ、定住意向、定住のきっかけ、定住の魅力に関する設問

4) 地域活動、市民活動および市民と行政の協働について

- ◇地域活動、市民活動への参加状況や地域が取り組むべき課題、市民と行政の協働体制の推進、まちづくり活動の妨げに関する設問

5) 男女共同参画社会と人権をめぐる市民意識について

- ◇男女共同参画社会づくりのため心がけていることや人権の尊重について感じていることの現状に関する設問

6) 公共交通網の充実について

- ◇J R 寺井駅の利用状況やのみバスの利用促進に関する設問

7) 地域活性化・観光に関する取り組みについて

- ◇観光に関する事業の周知状況や能美市の自慢、能美市への愛着、観光誘客のキーワード、観光誘客に向けたアイデアなどに関する設問

2. 配布・回収結果

■市全体・地区別

(平成 25、23、21、19、17 年度調査 (以下、H25、H23、H21、H19、H17 と記します。))

	配布数					回収数					回収率				
	H25 (今回)	H23	H21	H19	H17	H25 (今回)	H23	H21	H19	H17	H25 (今回)	H23	H21	H19	H17
市全体	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	1,287	1,473	1,174	966	1,421	42.9%	49.1%	39.1%	32.2%	47.4%
根上地区	1,004	1,008	1,015	1,024	1,038	435	473	385	299	459	43.3%	46.9%	37.9%	29.2%	44.2%
寺井地区	1,055	1,068	1,061	1,056	1,026	453	522	421	330	521	42.9%	48.9%	39.7%	31.3%	50.8%
辰口地区	941	924	924	920	936	381	430	350	310	427	40.5%	46.5%	37.9%	33.7%	45.6%
不明	-	-	-	-	-	18	48	18	27	14	-	-	-	-	-

※H25 は、8 月 31 日（金）以降に 2 通が回収されたため、配布・回収結果には含んでいますが、集計には含んでいません。

(集計は、8 月 31 日（金）までに回収された 1,285 通を対象としています。)

■性別 (H25)

	配布数	回収数	回収率
男性	1,481	531	35.9%
女性	1,519	694	45.7%
不明	-	62	-

■年代別 (H25)

	配布数	回収数	回収率
20歳代	500	145	29.0%
30歳代	600	217	36.2%
40歳代	600	229	38.2%
50歳代	500	236	47.2%
60歳代	500	280	56.0%
70歳代	300	169	56.3%
不明	-	11	-

3. 調査結果

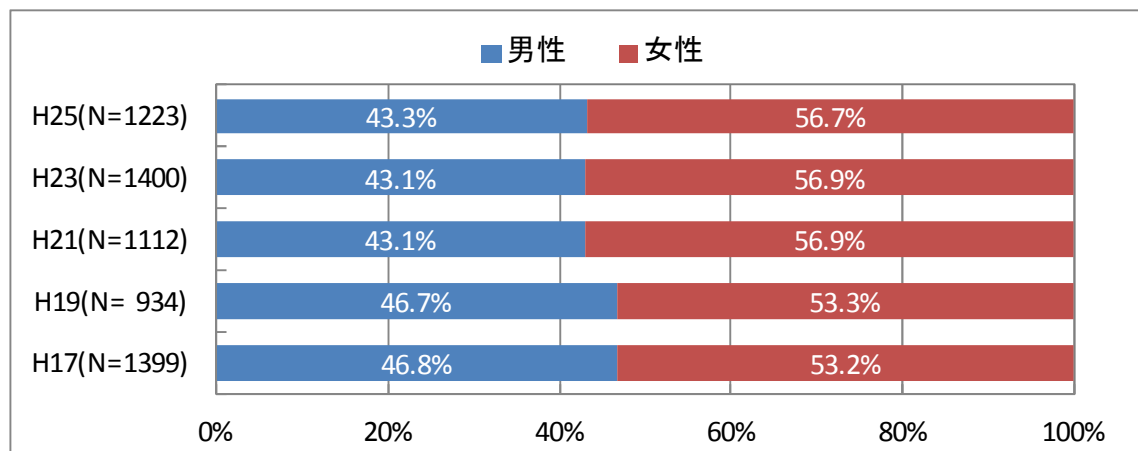
(1) 回答者自身について

問 1 性別

◆女性の割合がやや高くなっています。

◆経年的な変化はみられません。

選択項目		H25(今回)		H23		H21		H19		H17	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	男性	529	43.3%	603	43.1%	479	43.1%	436	46.7%	655	46.8%
2	女性	694	56.7%	797	56.9%	633	56.9%	498	53.3%	744	53.2%
	無回答	62	-	53	-	62	-	32	-	22	-
	合計	1,285	-	1,453	-	1,114	-	966	-	1,421	-
	回答者数(合計－無回答)	1,223	100.0%	1,400	100.0%	1,112	100.0%	934	100.0%	1,399	100.0%

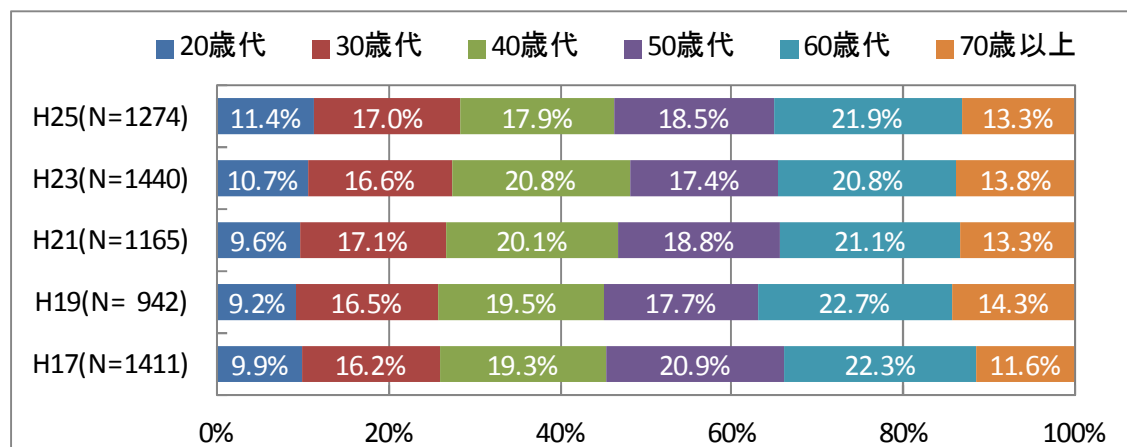


※【H25 の配布数 (割合)】男性 : 1,481 (49.4%)、女性 : 1,519 (50.6%)

問 2 年齢（年代）

- ◆30～60 歳代の回答者の割合が各々約 20%となっており、全体の約 8 割を占めています。
 ◆経年的な変化はみられません。

選択項目		H25(今回)		H23		H21		H19		H17	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	20歳代	145	11.4%	154	10.7%	112	9.6%	87	9.2%	139	9.9%
2	30歳代	217	17.0%	239	16.6%	199	17.1%	155	16.5%	228	16.2%
3	40歳代	228	17.9%	300	20.8%	234	20.1%	184	19.5%	272	19.3%
4	50歳代	236	18.5%	250	17.4%	219	18.8%	167	17.7%	295	20.9%
5	60歳代	279	21.9%	299	20.8%	246	21.1%	214	22.7%	314	22.3%
6	70歳以上	169	13.3%	198	13.8%	155	13.3%	135	14.3%	163	11.6%
	無回答	11	-	13	-	9	-	24	-	10	-
	合計	1,285	-	1,453	-	1,174	-	966	-	1,421	-
	回答者数(合計－無回答)	1,274	100.0%	1,440	100.0%	1,165	100.0%	942	100.0%	1,411	100.0%



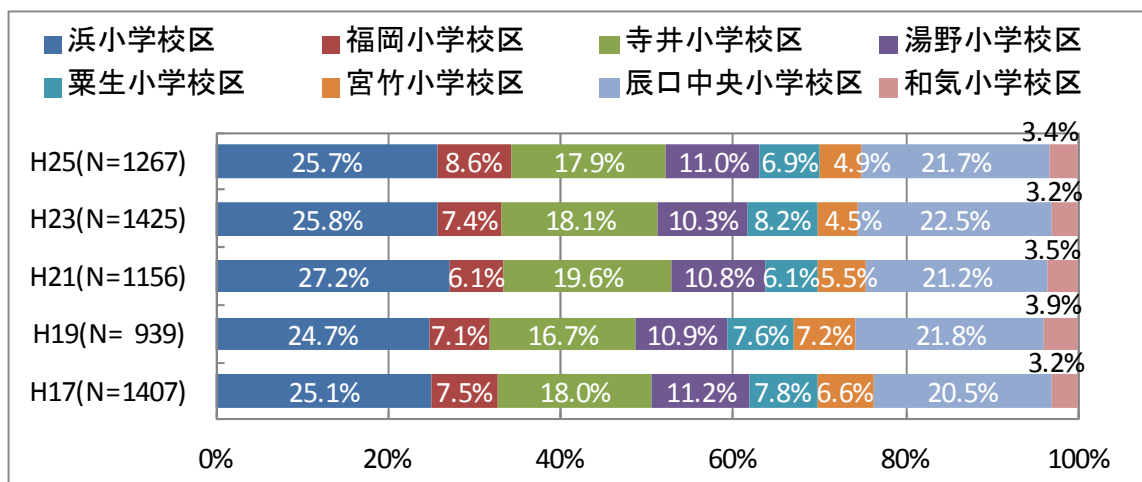
※【H25 の配布数（割合）】20 歳代：500（16.7%）、30 歳代：600（20.0%）、40 歳代：600（20.0%）、
 50 歳代：500（16.7%）、60 歳代：500（16.7%）、70 歳以上：300（10.0%）

問 3 居住地（小学校区）

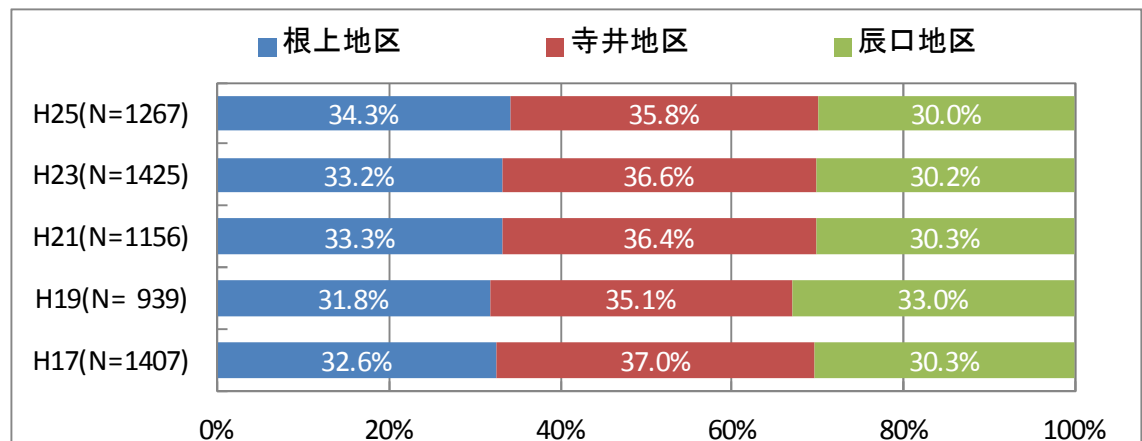
- ◆小学校区別でみると「浜小学校区」が 25.7%と最も多く、次いで「辰口中央小学校区」21.7%、「寺井小学校区」17.9%となっています。
- ◆地区別でみると、「寺井地区」が 35.8%と最も多く、次いで「根上地区」34.3%、「辰口地区」30.0%となっています。
- ◆経年的な変化はみられません。

選択項目	H25(今回)		H23		H21		H19		H17	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1 浜小学校区	325	25.7%	367	25.8%	314	27.2%	232	24.7%	353	25.1%
2 福岡小学校区	109	8.6%	106	7.4%	71	6.1%	67	7.1%	106	7.5%
3 寺井小学校区	227	17.9%	258	18.1%	226	19.6%	157	16.7%	253	18.0%
4 湯野小学校区	139	11.0%	147	10.3%	125	10.8%	102	10.9%	158	11.2%
5 粟生小学校区	87	6.9%	117	8.2%	70	6.1%	71	7.6%	110	7.8%
6 宮竹小学校区	62	4.9%	64	4.5%	64	5.5%	68	7.2%	93	6.6%
7 辰口中央小学校区	275	21.7%	321	22.5%	245	21.2%	205	21.8%	289	20.5%
8 和気小学校区	43	3.4%	45	3.2%	41	3.5%	37	3.9%	45	3.2%
無回答	18	-	28	-	18	-	27	-	14	-
合計	1,285	-	1,453	-	1,174	-	966	-	1,421	-
回答者数(合計－無回答)	1,267	100.0%	1,425	100.0%	1,156	100.0%	939	100.0%	1,407	100.0%

【小学校区別】



【地区別】



問 4 職業

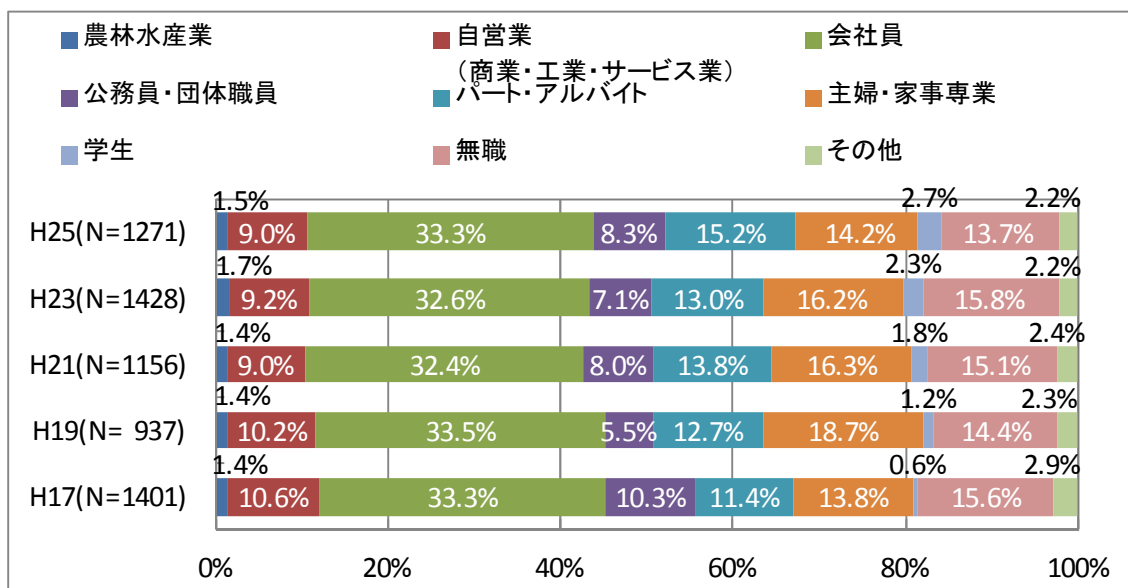
◆「会社員」が 33.3%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」が 15.2%、「主婦・家事専業」が 14.2%となっています。

◆経年的な変化はみられません。

選択項目	H25(今回)		H23		H21		H19		H17	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1 農林水産業	19	1.5%	24	1.7%	16	1.4%	13	1.4%	19	1.4%
2 自営業 (商業・工業・サービス業)	115	9.0%	131	9.2%	104	9.0%	96	10.2%	149	10.6%
3 会社員	423	33.3%	465	32.6%	374	32.4%	314	33.5%	466	33.3%
4 公務員・団体職員	105	8.3%	102	7.1%	92	8.0%	52	5.5%	144	10.3%
5 パート・アルバイト	193	15.2%	186	13.0%	159	13.8%	119	12.7%	160	11.4%
6 主婦・家事専業	180	14.2%	231	16.2%	188	16.3%	175	18.7%	194	13.8%
7 学生	34	2.7%	33	2.3%	21	1.8%	11	1.2%	9	0.6%
8 無職	174	13.7%	225	15.8%	174	15.1%	135	14.4%	219	15.6%
9 その他	28	2.2%	31	2.2%	28	2.4%	22	2.3%	41	2.9%
無回答	14	-	25	-	18	-	29	-	20	-
合計	1,285	-	1,453	-	1,174	-	966	-	1,421	-
回答者数(合計-無回答)	1,271	100.0%	1,428	100.0%	1,156	100.0%	937	100.0%	1,401	100.0%

その他： 医療関係(6)、会社等役員(4)、臨時職員(2)、専門職(2)、内職、家事手伝い、農業 など

※(): H25 における回答者数

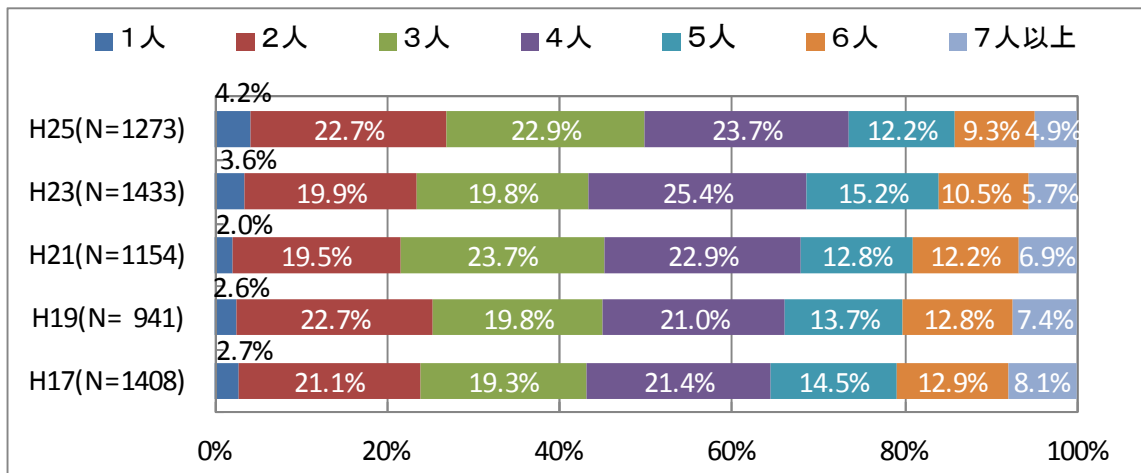


問 5 家族人数（世帯タイプ）

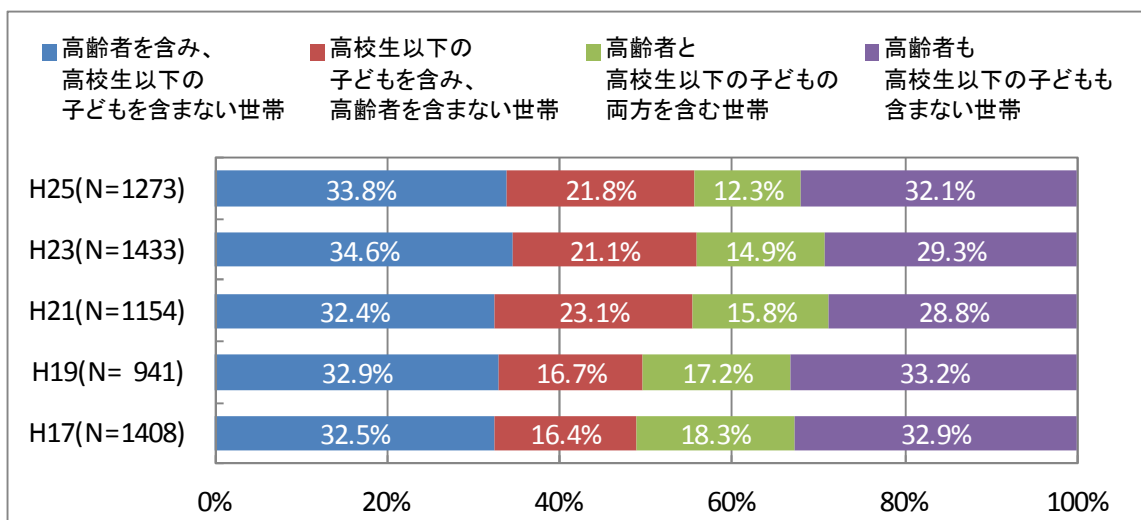
- ◆「4人」が 23.7%と最も多く、次いで「3人」が 22.9%、「2人」が 22.7%となっています。
- ◆「6人」以上は H17 以降減少しています。

選択項目		H25(今回)		H23		H21		H19		H17	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	1人	53	4.2%	51	3.6%	23	2.0%	24	2.6%	38	2.7%
2	2人	289	22.7%	285	19.9%	225	19.5%	214	22.7%	297	21.1%
3	3人	292	22.9%	284	19.8%	273	23.7%	186	19.8%	272	19.3%
4	4人	302	23.7%	364	25.4%	264	22.9%	198	21.0%	301	21.4%
5	5人	155	12.2%	218	15.2%	148	12.8%	129	13.7%	204	14.5%
6	6人	119	9.3%	150	10.5%	141	12.2%	120	12.8%	182	12.9%
7	7人以上	63	4.9%	81	5.7%	80	6.9%	70	7.4%	114	8.1%
	無回答	12	-	20	-	20	-	25	-	13	-
	合計	1,285	-	1,453	-	1,174	-	966	-	1,421	-
	回答者数(合計－無回答)	1,273	100.0%	1,433	100.0%	1,154	100.0%	941	100.0%	1,408	100.0%

【家族人数】



【世帯タイプ】



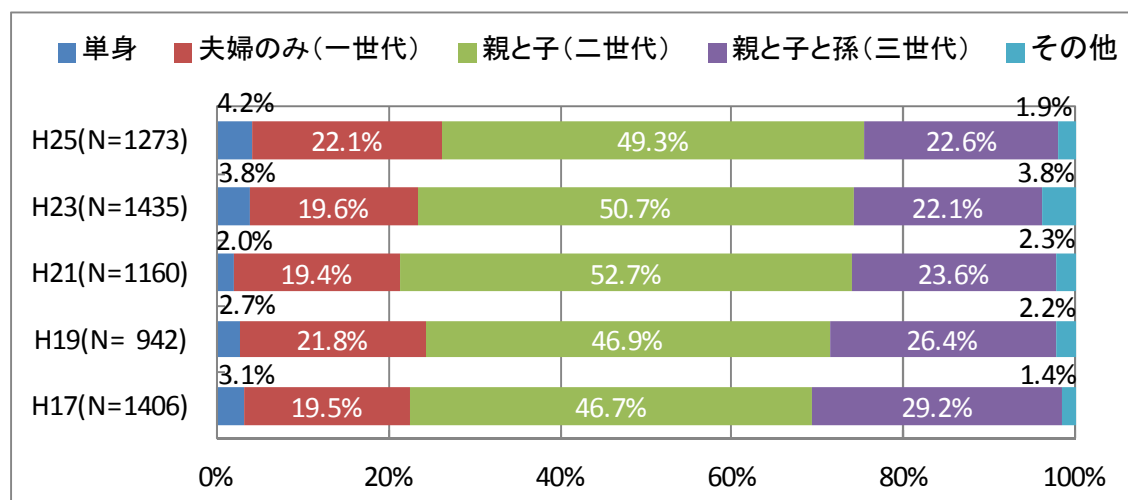
問 6 家族構成

- ◆「親と子（二世代）」が 49.3%と最も多く、次いで「親と子と孫（三世代）」が 22.6%、「夫婦のみ（一世代）」が 22.1%となっています。
- ◆「親と子（二世代）」は H21 以降減少しています。「親と子と孫（三世代）」は H17 から H23 にかけて減少していましたが、H25 では若干増加しています。

選択項目	H25(今回)		H23		H21		H19		H17	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1 単身	53	4.2%	55	3.8%	23	2.0%	25	2.7%	44	3.1%
2 夫婦のみ(一世代)	281	22.1%	281	19.6%	225	19.4%	205	21.8%	274	19.5%
3 親と子(二世代)	627	49.3%	728	50.7%	611	52.7%	442	46.9%	657	46.7%
4 親と子と孫(三世代)	288	22.6%	317	22.1%	274	23.6%	249	26.4%	411	29.2%
5 その他	24	1.9%	54	3.8%	27	2.3%	21	2.2%	20	1.4%
無回答	12	-	18	-	14	-	24	-	15	-
合計	1,285	-	1,453	-	1,174	-	966	-	1,421	-
回答者数(合計-無回答)	1,273	100.0%	1,435	100.0%	1,160	100.0%	942	100.0%	1,406	100.0%

その他： 四世代(6)、親と子と祖父母(3)、祖父母と孫、兄弟・姉妹 など

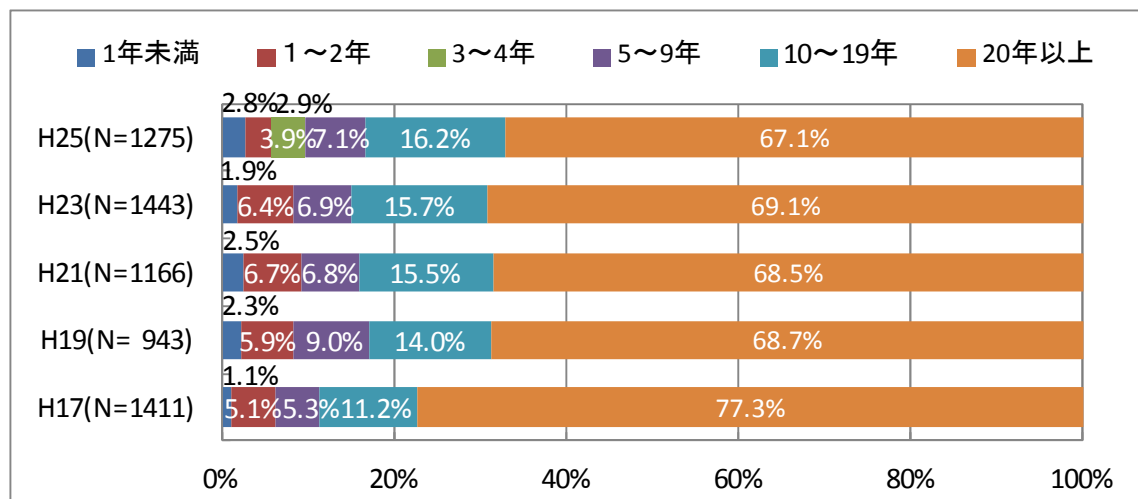
※():H25 における回答者数



問 7 能美市での居住年数（旧 3 町時代含む）

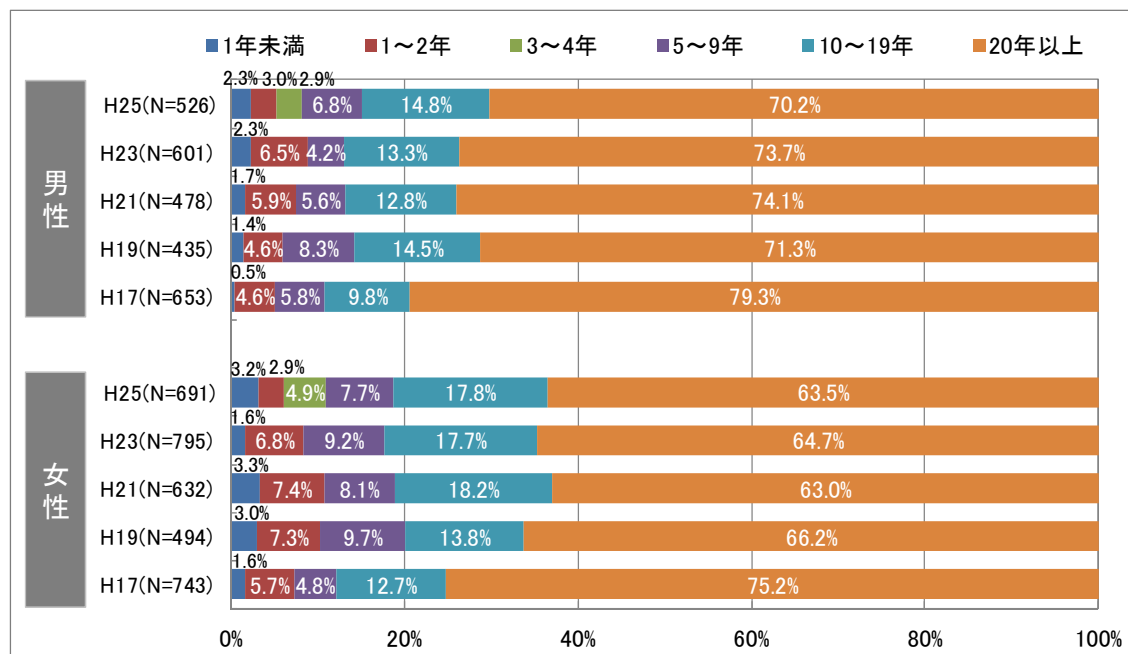
- ◆「20 年以上」が 67.1%と最も多く、次いで「10～19 年」16.2%となっており、10 年以上居住している方が約 8 割を占めています。
- ◆「20 年以上」が H17 から H19 にかけて約 9 ポイント減少していますが、それ以降大きな変化はみられません。

選択項目		H25(今回)		H23		H21		H19		H17	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	1年未満	36	2.8%	27	1.9%	29	2.5%	22	2.3%	15	1.1%
2	1～2年	37	2.9%	93	6.4%	78	6.7%	56	5.9%	72	5.1%
3	3～4年	50	3.9%								
4	5～9年	91	7.1%	99	6.9%	79	6.8%	85	9.0%	75	5.3%
5	10～19年	206	16.2%	227	15.7%	181	15.5%	132	14.0%	158	11.2%
6	20年以上	855	67.1%	997	69.1%	799	68.5%	648	68.7%	1091	77.3%
	無回答	10	—	10	—	8	—	23	—	10	—
	合計	1,285	—	1,453	—	1,174	—	966	—	1,421	—
	回答者数(合計－無回答)	1,275	100.0%	1,443	100.0%	1,166	100.0%	943	100.0%	1,411	100.0%



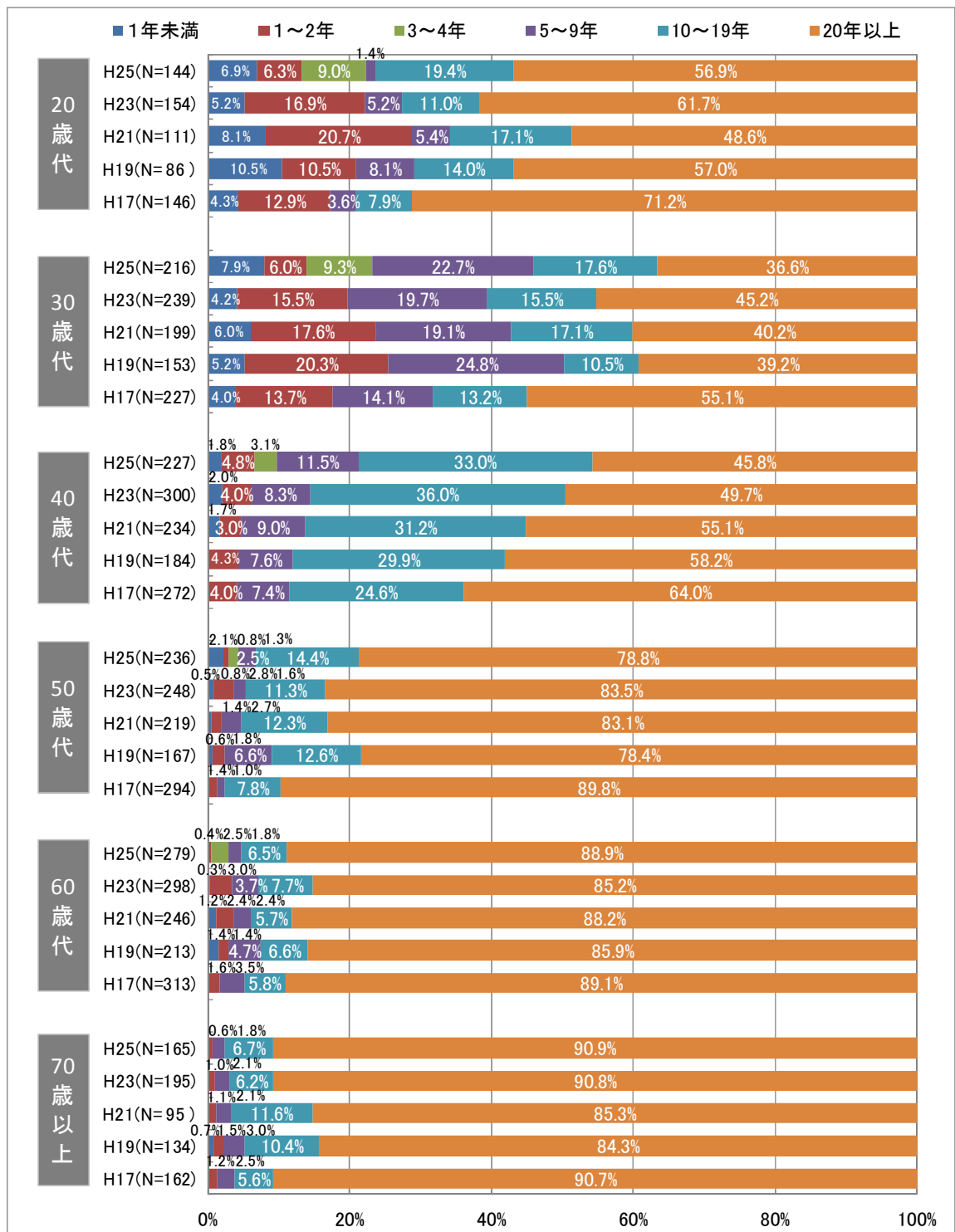
■能美市での居住年数（性別）

- ・男性は「20 年以上」が 70.2%と女性より約 7 ポイント高くなっています。
- ・女性は「10～19 年」が男性より 3 ポイント高くなっています。
- ・男女共に H17 から H19 にかけて「20 年以上」が 8 ポイント以上減少しましたが、それ以降大きな変化はみられません。



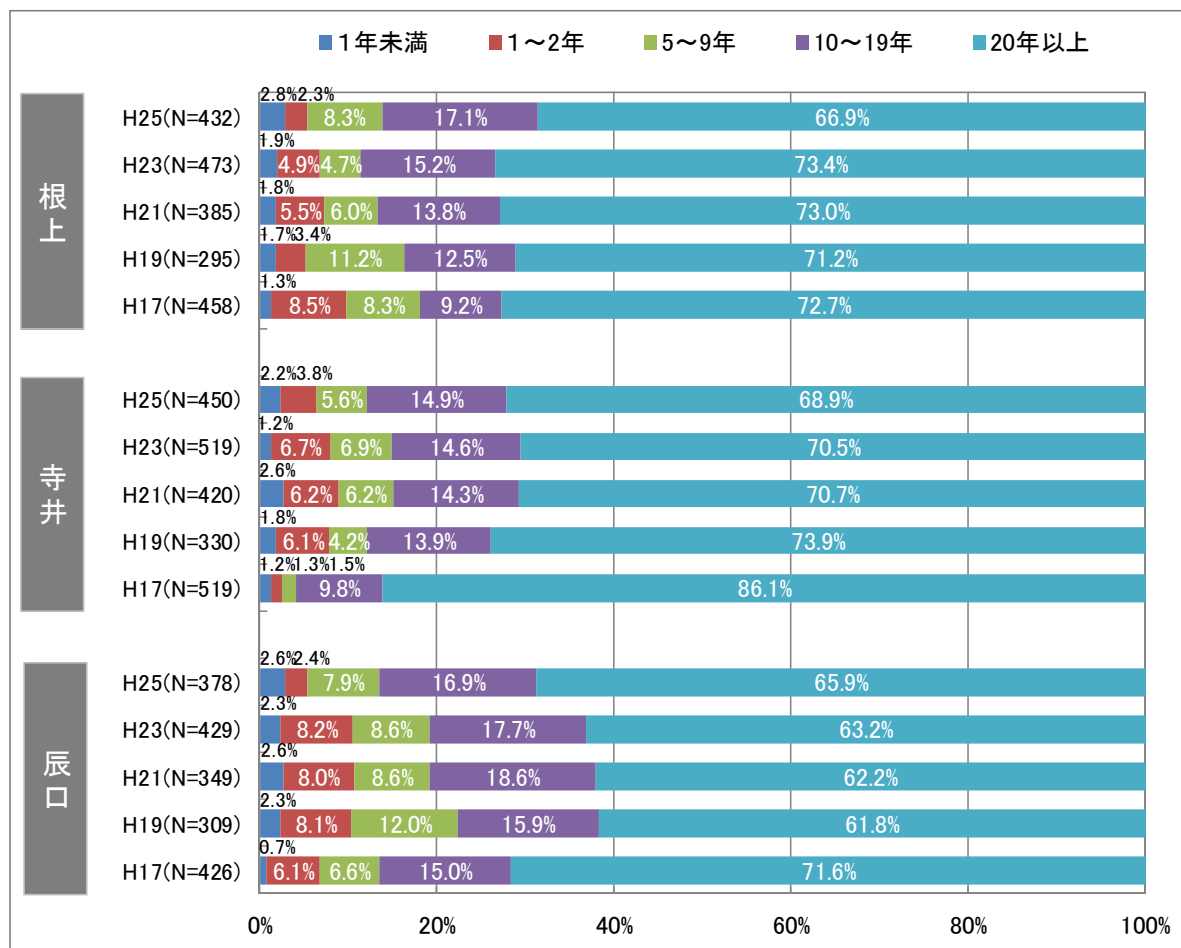
■能美市での居住年数（年代別）

- ・年齢が低いほど「1年未満」や「1～2年」「3～4年」が多くなっており、20～30歳代では約2割を占めています。
- ・30歳代は「5～9年」が22.7%と、他の年代と比べて11ポイント以上高くなっています。
- ・40歳代は「10～19年」がH17からH23にかけて増加傾向にありましたがH25では減少傾向にあります。
- ・50歳代以上は「20年以上」が約8割を占めており、特に70歳以上は9割以上を占めています。



■能美市での居住年数（地区別）

- ・ 3 地区共に「20 年以上」がそれぞれ約 7 割となっています。
- ・ 寺井と辰口は、H17 から H19 にかけて「20 年以上」が 9 ポイント以上減少していますが、3 地区共に、H19 以降はあまり変化がみられません。



問 8 通勤・通学先

◆「能美市内」が 34.5%と最も多く、次いで「小松市内」14.8%、「白山市内」9.8%となっています。

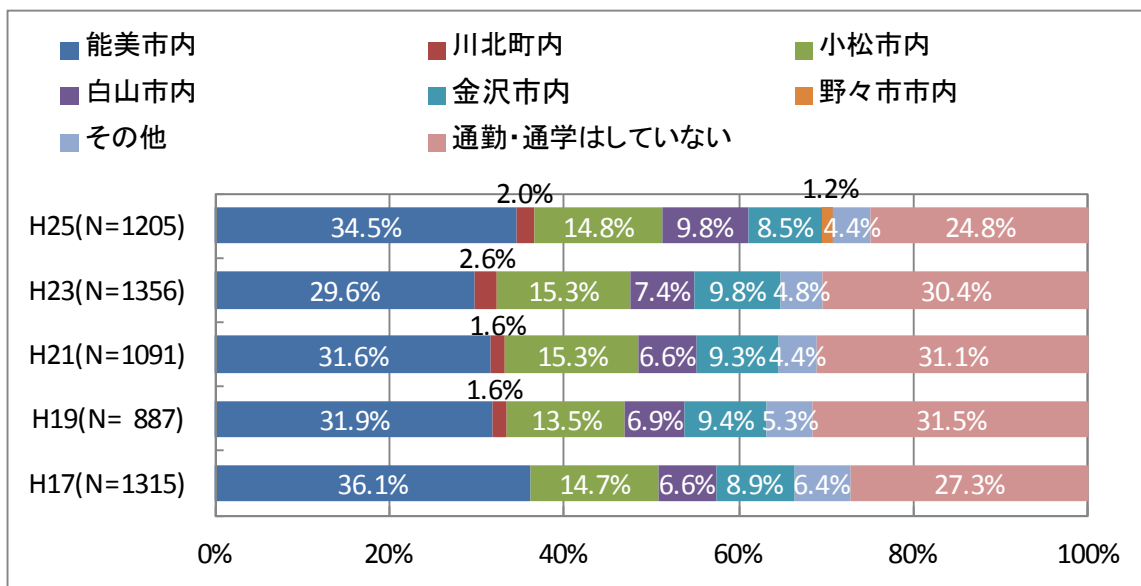
◆H17 以降「能美市内」が減少傾向でしたが、H23 と比べて約 5 ポイント増加しています。

選択項目		H25(今回)		H23		H21		H19		H17	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	能美市内	416	34.5%	402	29.6%	345	31.6%	283	31.9%	475	36.1%
2	川北町内	24	2.0%	35	2.6%	18	1.6%	14	1.6%	0	0.0%
3	小松市内	178	14.8%	208	15.3%	167	15.3%	120	13.5%	193	14.7%
4	白山市内	118	9.8%	101	7.4%	72	6.6%	61	6.9%	87	6.6%
5	金沢市内	103	8.5%	133	9.8%	102	9.3%	83	9.4%	117	8.9%
6	野々市市内	14	1.2%	-	-	-	-	-	-	-	-
7	その他	53	4.4%	65	4.8%	48	4.4%	47	5.3%	84	6.4%
8	通勤・通学なし	299	24.8%	412	30.4%	339	31.1%	279	31.5%	359	27.3%
	無回答	80	-	97	-	83	-	79	-	106	-
	合計	1,285	-	1,453	-	1,174	-	966	-	1,421	-
	回答者数(合計-無回答)	1,205	100.0%	1,356	100.0%	1,091	100.0%	887	100.0%	1,315	100.0%

その他： 加賀市(16)、東京都(5)、県内全域(2)、羽咋市、輪島市、京都府、大阪府、福井県、長野県、新潟県、静岡県 など

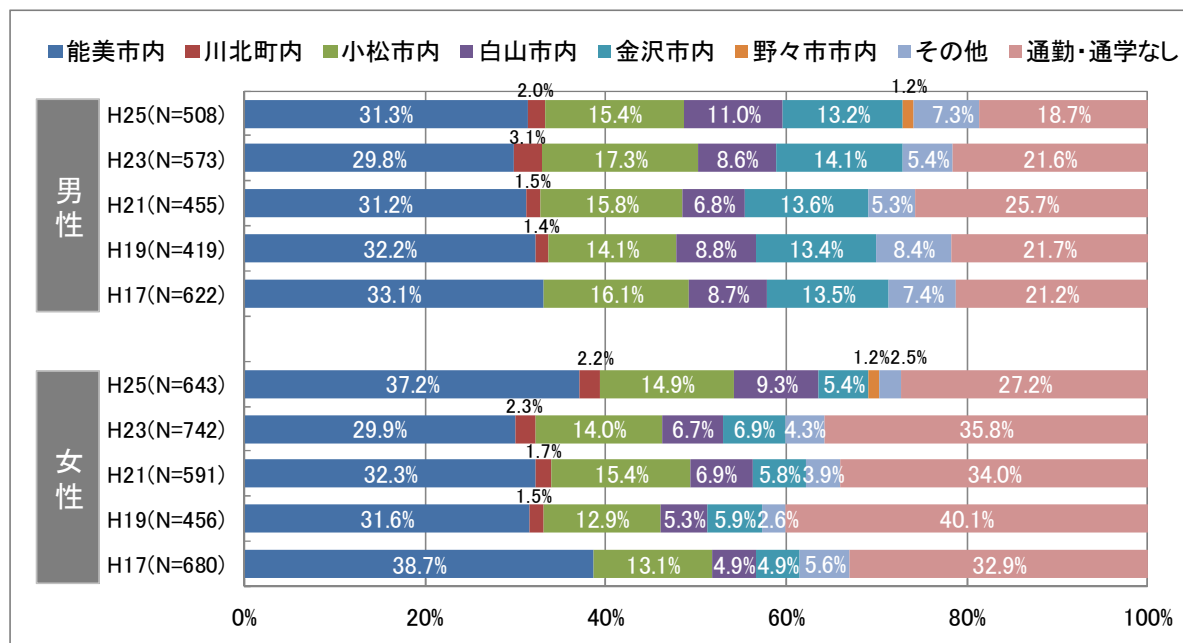
※通勤・通学先が、石川県以外の回答者は、学生と単身赴任中の会社員など

※(): H25 における回答者数



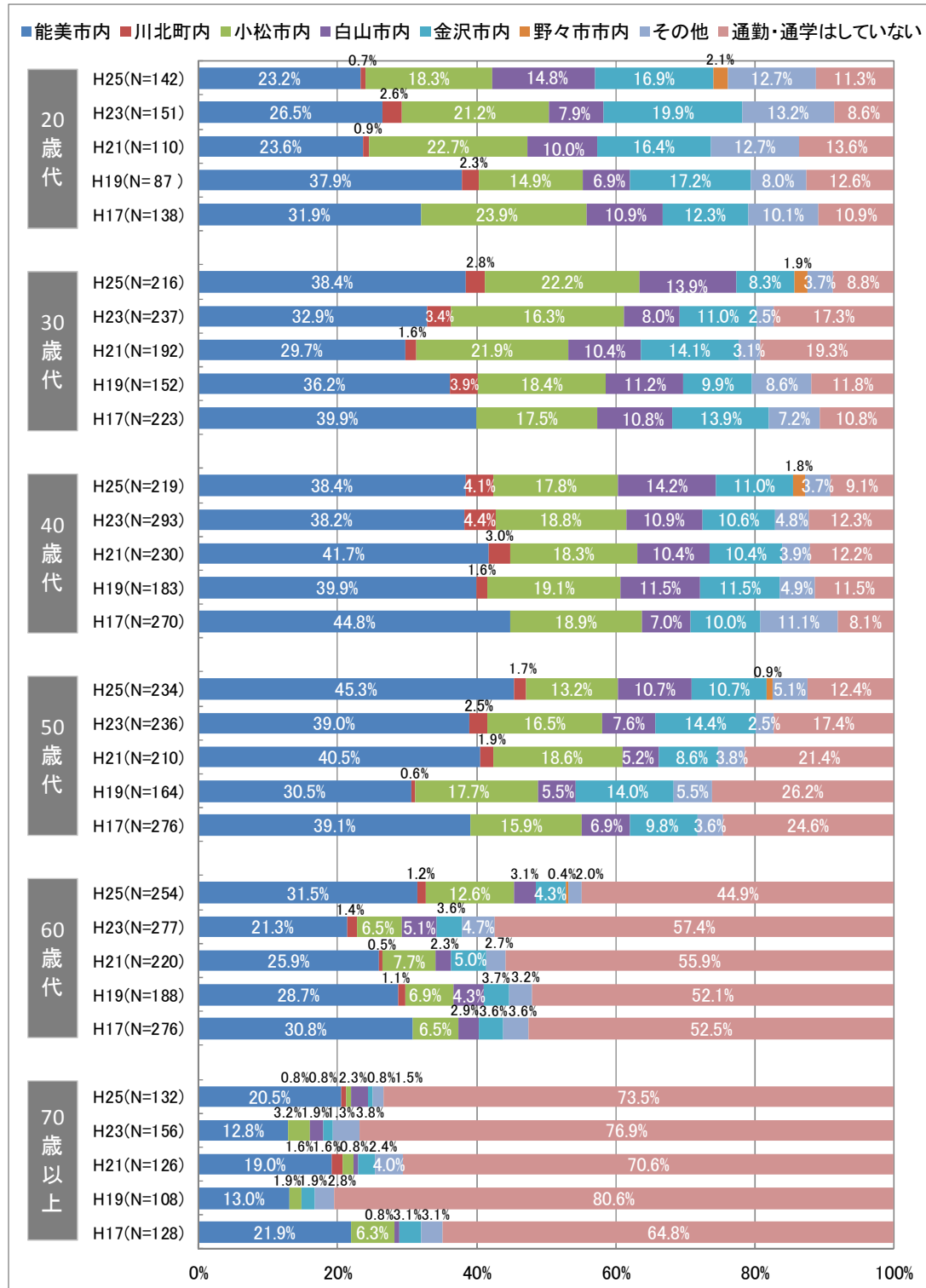
■通勤・通学先（性別）

- ・男性は「金沢市内」が女性より約 8 ポイント高くなっています。
- ・女性は「通勤・通学なし」が男性より約 9 ポイント高くなっています。
- ・男女共に「能美市内」「白山市内」が増加傾向にあります。



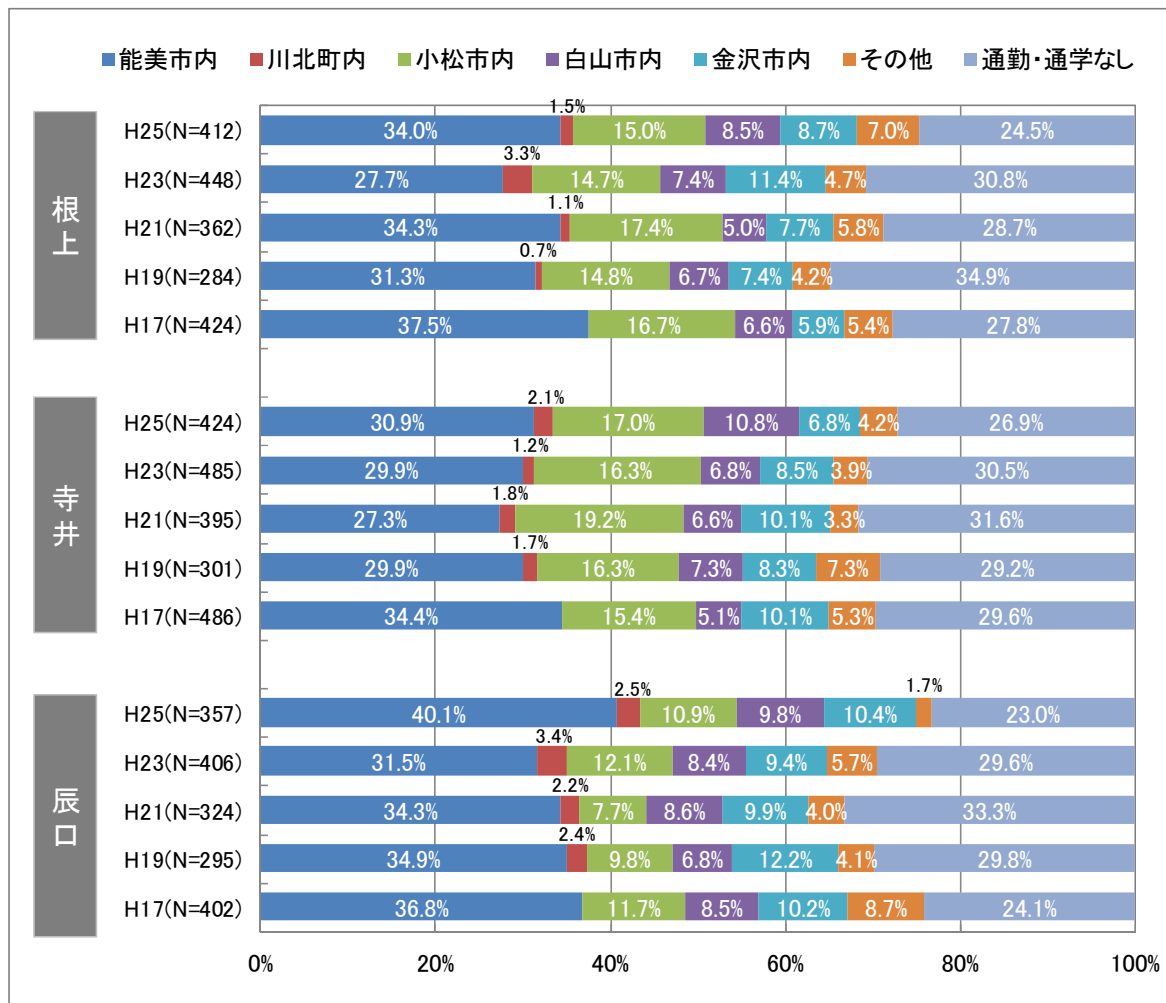
■通勤・通学先（年代別）

- ・20 歳代から 50 歳代は「能美市内」、60 歳以上は「通勤・通学なし」が最も多くなっています。
- ・30 歳代は H17 から H21 にかけて「通勤・通学なし」が増加傾向にありましたが、H23 以降減少傾向にあります。
- ・50 歳代は H17 から H25 にかけて「通勤・通学なし」が減少傾向にあります。
- ・30 歳以上は「能美市内」が増加傾向にあり、「通勤・通学なし」が減少傾向にあります。



■通勤・通学先（地区別）

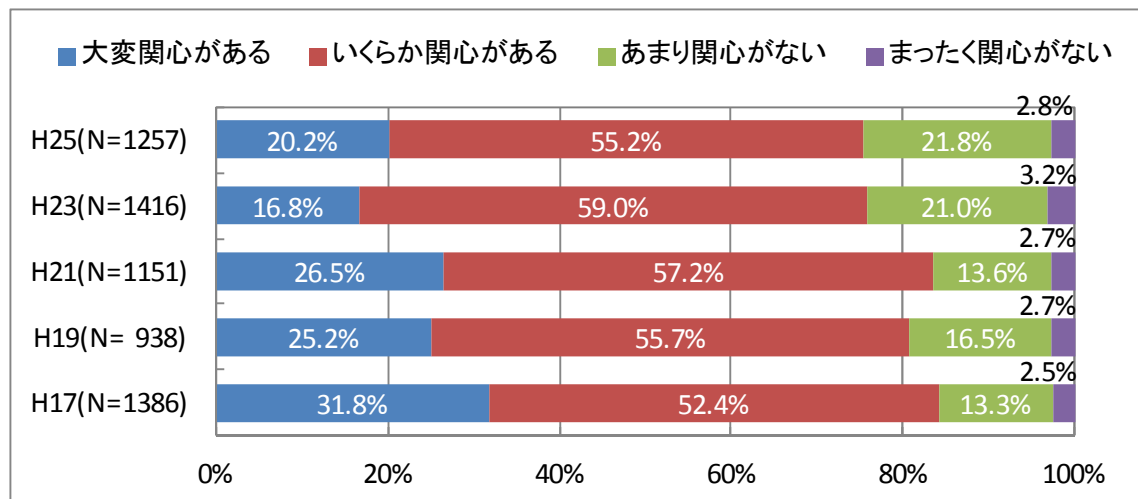
- ・ 3 地区共に、「能美市内」がそれぞれ増加し、「通勤・通学なし」がそれぞれ減少傾向にあります。
- ・ 根上は「能美市内」が H23 と比べて約 6 ポイント増加しています。
- ・ 寺井は「能美市内」が H17～H21 にかけて減少していましたが、H23 以降増加しています。
- ・ 辰口は「能美市内」が H17 以降減少していましたが、H25 では約 9 ポイント増加しています。



問 9 能美市の行政に関心がありますか？

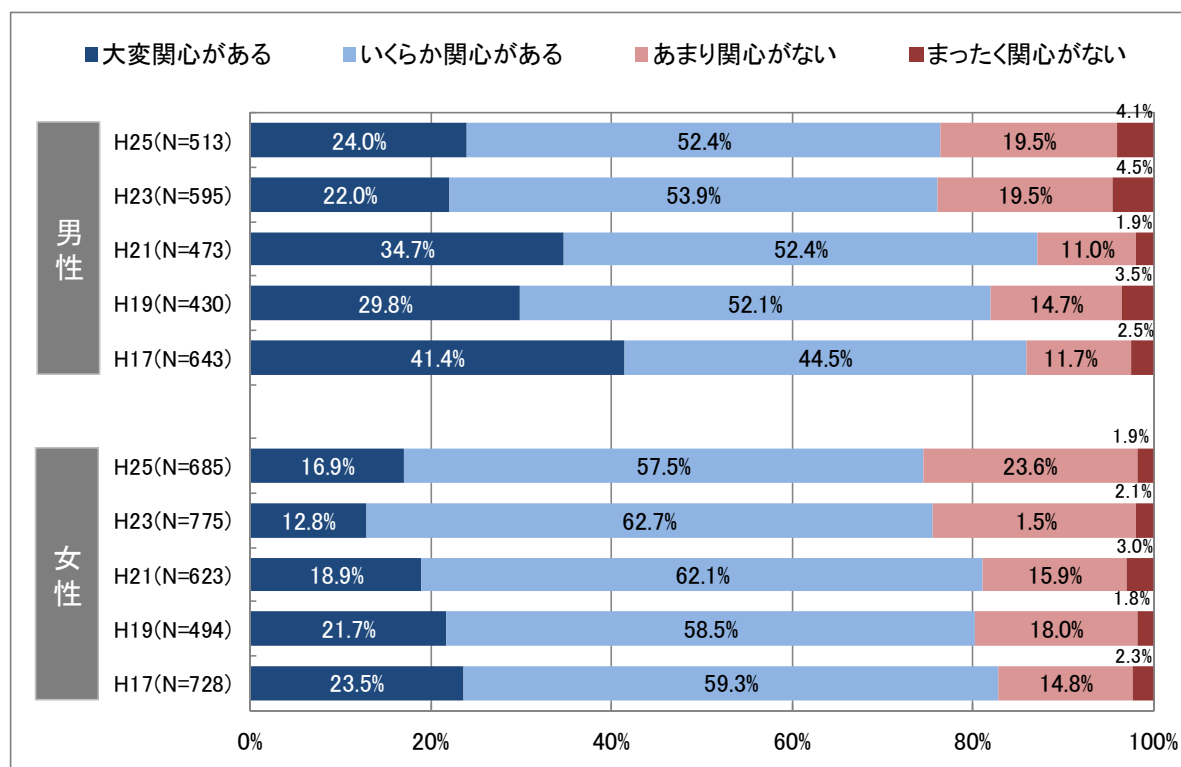
- ◆「いくらか関心がある」が 55.2%と最も多く、次いで「大変関心がある」が 20.2%となっており、市政に関心のある方が約 8 割を占めています。
- ◆H17、H19、H21 の「大変関心がある」「いくらか関心がある」の合計は大きな差がみられないが、H23 以降は約 8 ポイント減少しています。

選択項目		H25(今回)		H23		H21		H19		H17	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1	大変関心がある	254	20.2%	238	16.8%	305	26.5%	236	25.2%	441	31.8%
2	いくらか関心がある	694	55.2%	835	59.0%	658	57.2%	522	55.7%	726	52.4%
3	あまり関心がない	274	21.8%	298	21.0%	157	13.6%	155	16.5%	184	13.3%
4	まったく関心がない	35	2.8%	45	3.2%	31	2.7%	25	2.7%	35	2.5%
	無回答	28	-	37	-	23	-	28	-	35	-
	合計	1,285	-	1,453	-	1,174	-	966	-	1,421	-
	回答者数(合計－無回答)	1,257	100.0%	1,416	100.0%	1,151	100.0%	938	100.0%	1,386	100.0%



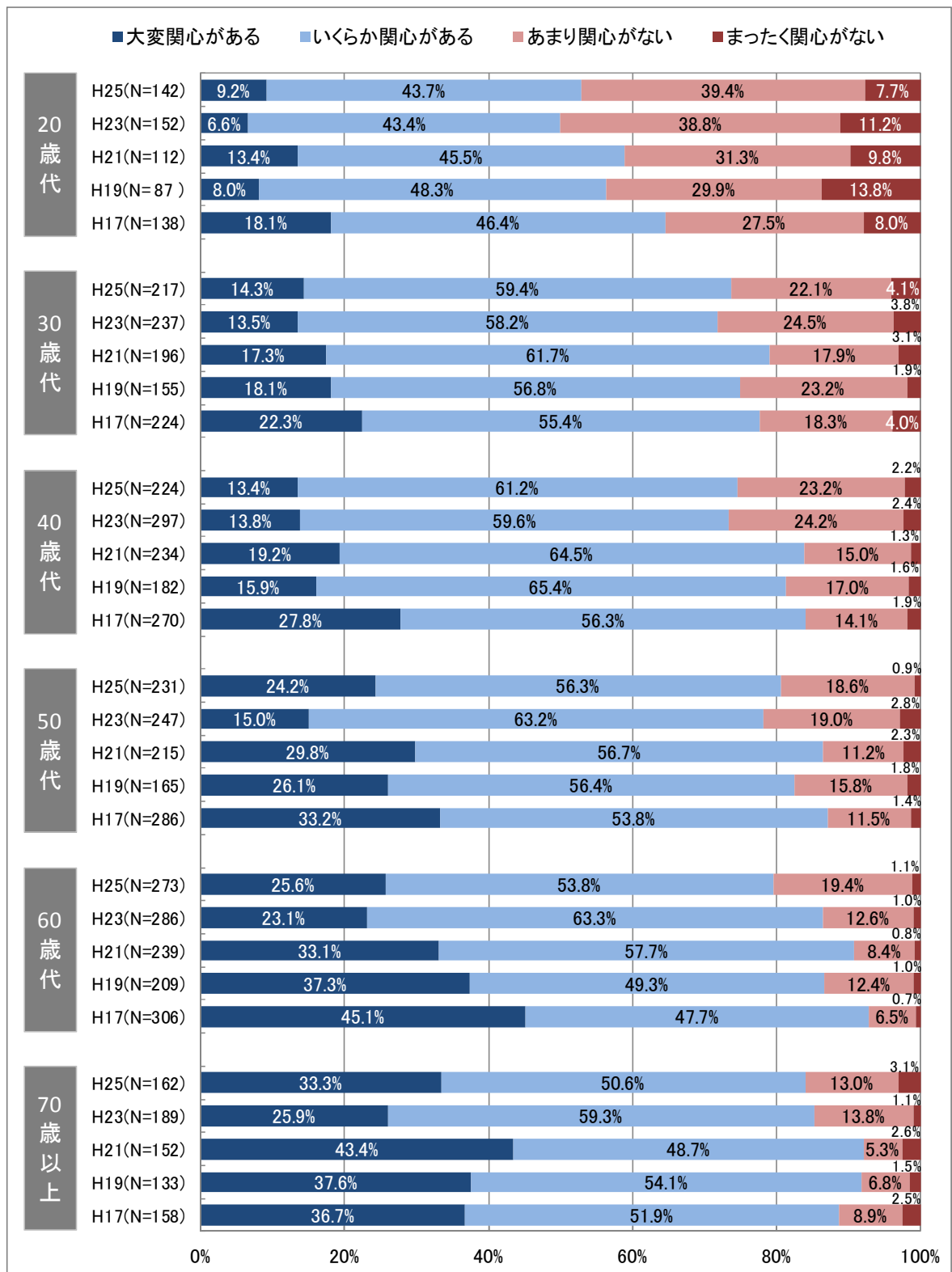
■ 市政への関心（性別）

- ・ 男性は「大変関心がある」が 24.0%と女性より約 7 ポイント多くなっています。
- ・ 男性、女性共に「大変関心がある」が、H17 に比べて減少傾向にあります。H23 と比べると増加傾向にあります。



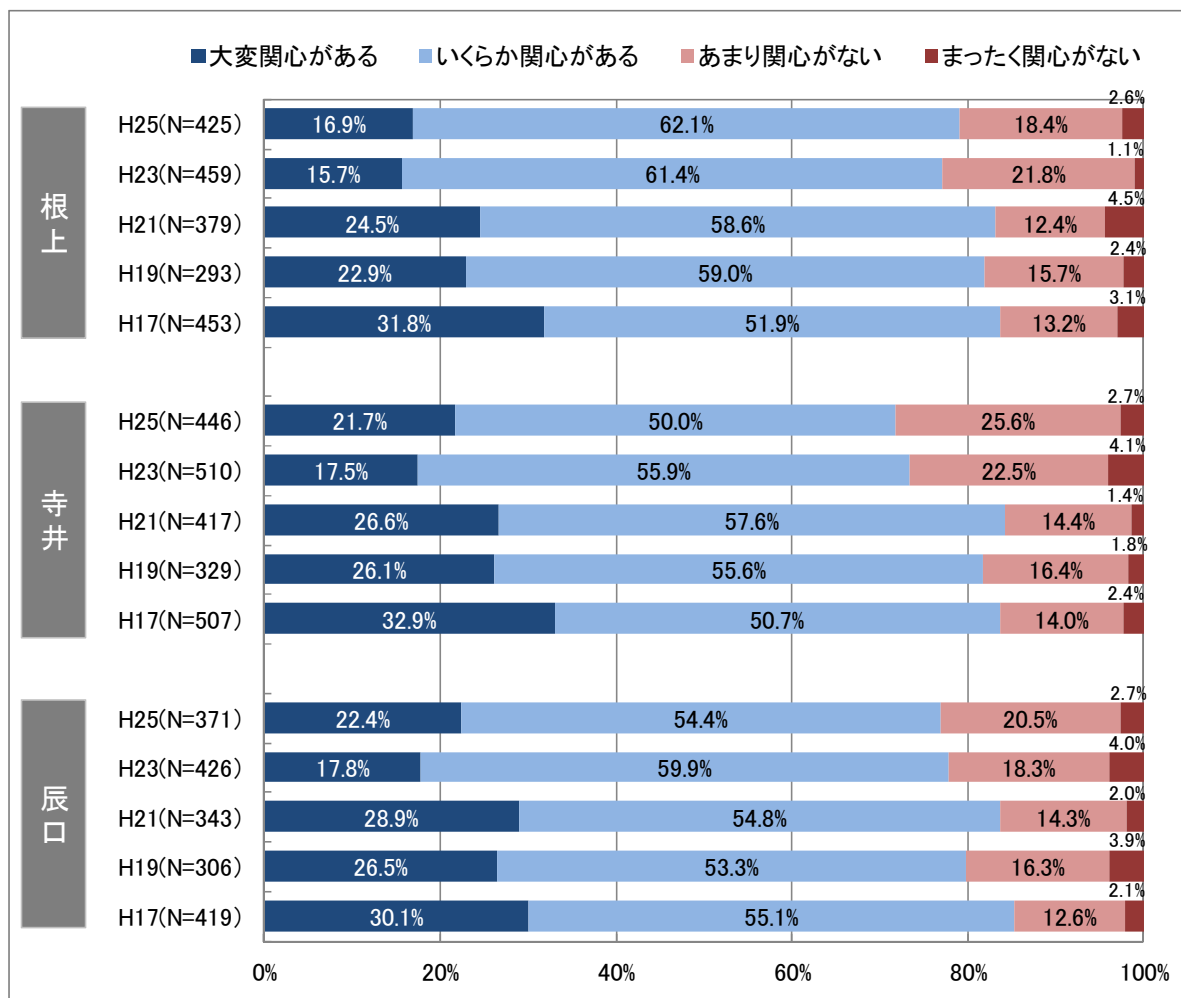
■ 市政への関心（年代別）

- ・年代が高くなるほど「大変関心がある」や「いづらか関心がある」が多くなり、市政への関心が高くなっています。一方で年代が若いほど関心は低く、20 歳代は「あまり関心がない」が他の年代と比べ 17 ポイント以上高くなっています。
- ・40 歳代以外が、H23 と比べて「大変関心がある」が増加しており、特に 70 歳以上は約 7 ポイント、50 歳代は約 9 ポイントと大きく増加しています。



■ 市政への関心（地区別）

- ・「大変関心がある」「いくらか関心がある」の合計は、3 地区共に H23 と比べてあまり変化がありません。
- ・根上、辰口が「あまり関心がない」「まったく関心がない」の合計が約 2 割を占めています。また、寺井は約 3 割と他の地区と比べて高くなっています。
- ・寺井、辰口は「いくらか関心がある」が H23 と比べて 5 ポイント以上減少しています。一方「大変関心がある」が 4 ポイント以上増加しています。



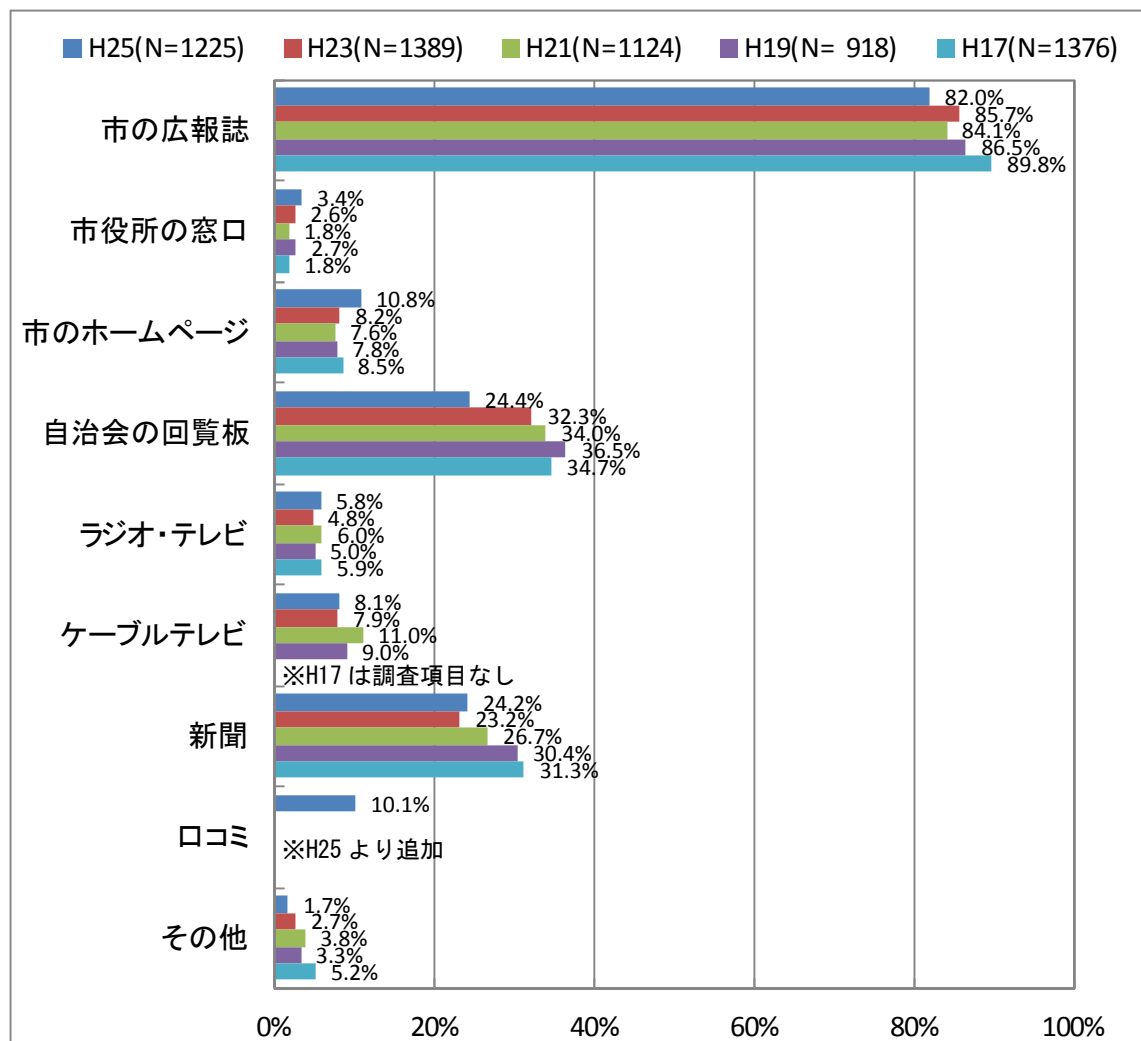
問 10 市政情報の主な入手方法は何ですか？（主な 2 つに○）

- ◆「市の広報誌」が 82.0%と最も多く、次いで「自治会の回覧板」が 24.4%、「新聞」が 24.2%となっています。
- ◆「市役所の窓口」「ラジオ・テレビ」「ケーブルテレビ」はそれぞれ 1 割未満となっています。
- ◆「市の広報誌」「新聞」「自治会の回覧板」からの情報入手が減少傾向にあります。特に、「自治会の回覧板」は H23 と比べて約 8 ポイント減少しています。

選択項目	H25(今回)		H23		H21		H19		H17	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1 市の広報誌	1,004	82.0%	1190	85.7%	945	84.1%	794	86.5%	1235	89.8%
2 市役所の窓口	42	3.4%	36	2.6%	20	1.8%	25	2.7%	25	1.8%
3 市のホームページ	132	10.8%	114	8.2%	85	7.6%	72	7.8%	117	8.5%
4 自治会の回覧板	299	24.4%	448	32.3%	382	34.0%	335	36.5%	477	34.7%
5 ラジオ・テレビ	71	5.8%	66	4.8%	67	6.0%	46	5.0%	81	5.9%
6 ケーブルテレビ	99	8.1%	110	7.9%	124	11.0%	83	9.0%	-	-
7 新聞	296	24.2%	322	23.2%	300	26.7%	279	30.4%	430	31.3%
8 口コミ	124	10.1%	-	-	-	-	-	-	-	-
9 その他	21	1.7%	37	2.7%	43	3.8%	30	3.3%	71	5.2%
回答数	60	-	2387	171.9%	2016	179.4%	1664	181.3%	2436	177.0%
無回答	2,148	-	64	-	50	-	48	-	45	-
回答者数	1,225	170.4%	1389	100.0%	1124	100.0%	918	100.0%	1376	100.0%

その他： 有線放送(3)、無線放送(2)、町内放送、町内会議、掲示板 など

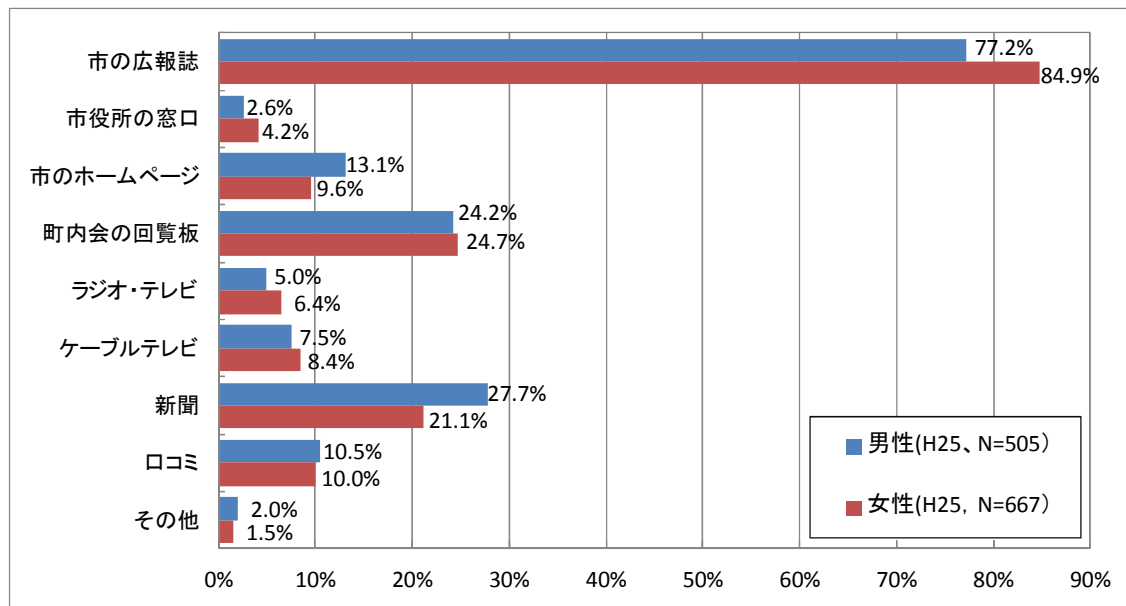
※(): H25 における回答者数



■ 市政情報の入手方法（性別）

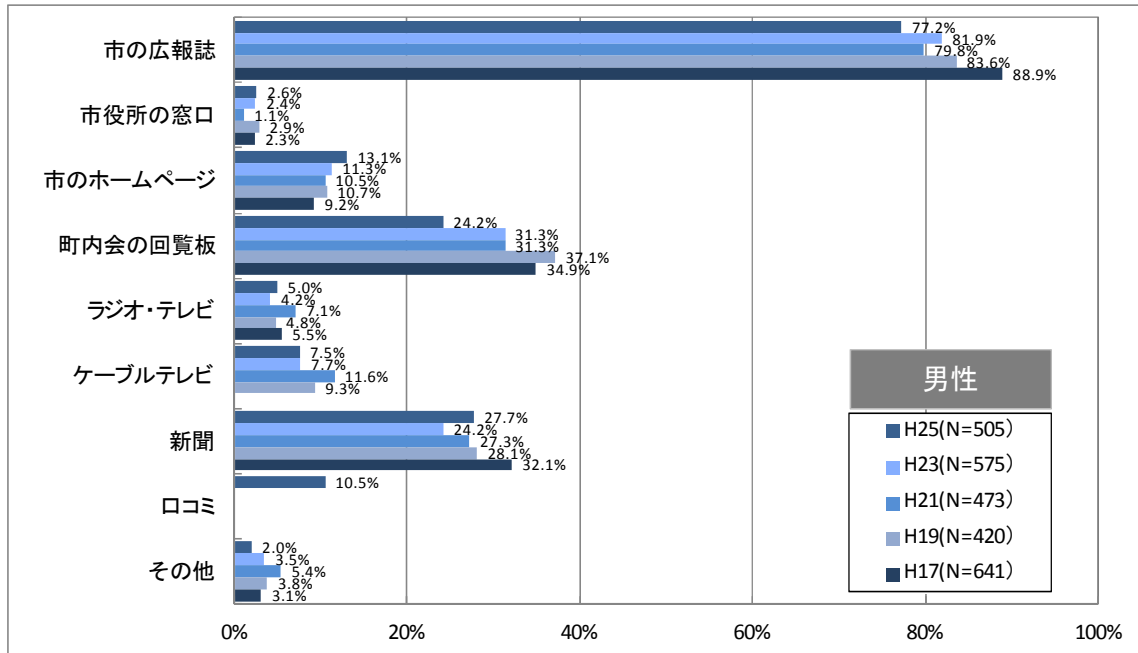
【今回（H25）】

- ・男女共に「市の広報誌」が約 8 割を占めており、また女性は、男性よりも約 8 ポイント高くなっています。
- ・男性は「新聞」が 27.7%と、女性より約 7 ポイント高くなっています。

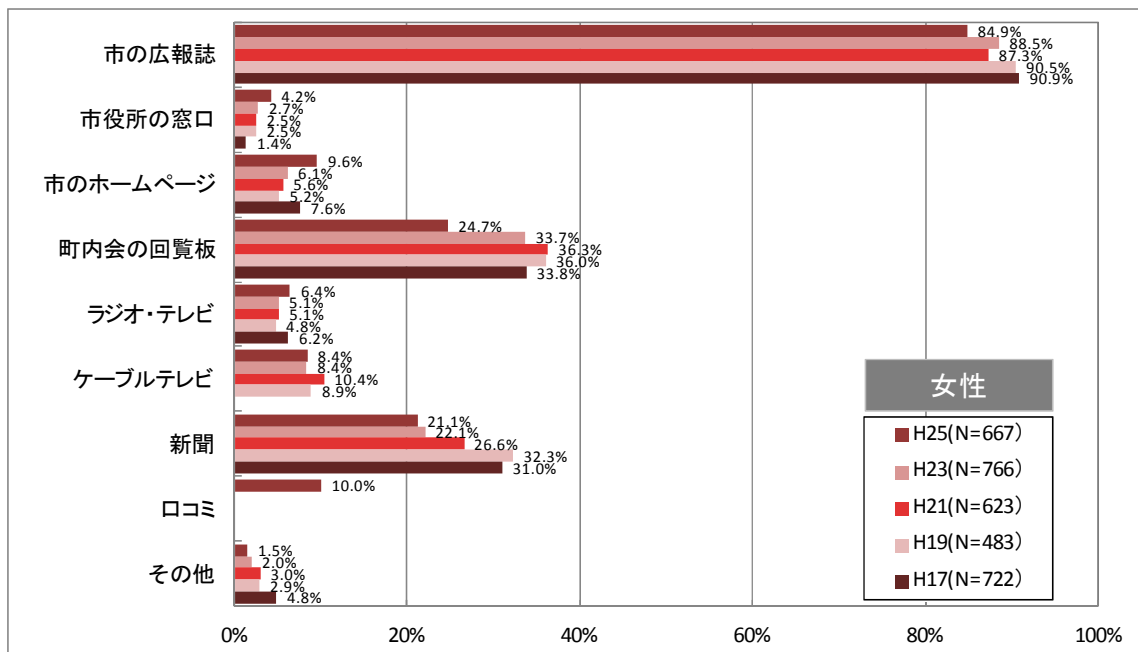


【経年変化】

- ・男女共に「市の広報誌」が減少傾向にあります。



※「ケーブルテレビ」は、H17 は調査項目なし、「口コミ」は H25 より追加

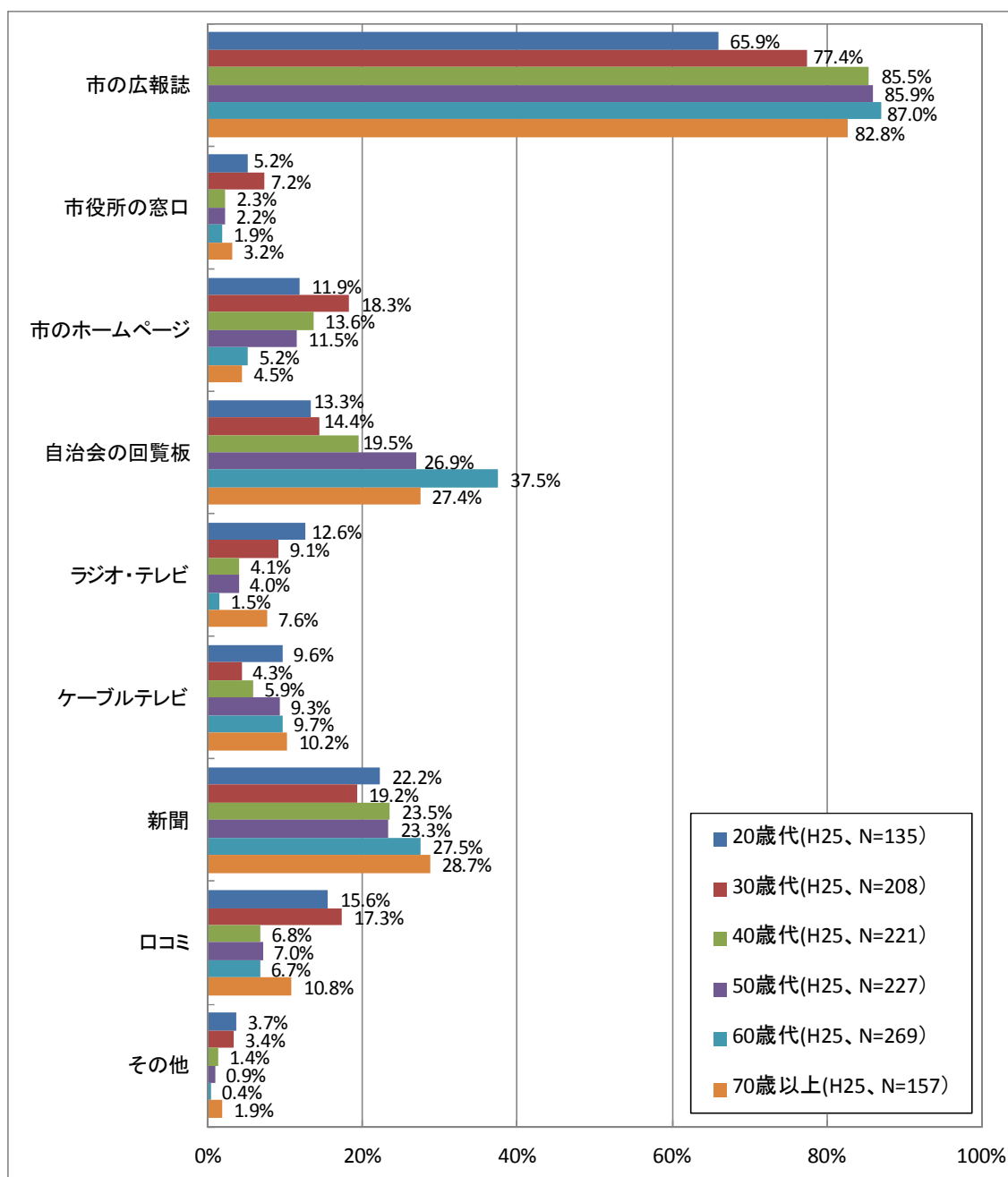


※「ケーブルテレビ」は、H17 は調査項目なし、「口コミ」は H25 より追加

■ 市政情報の入手方法（年代別）

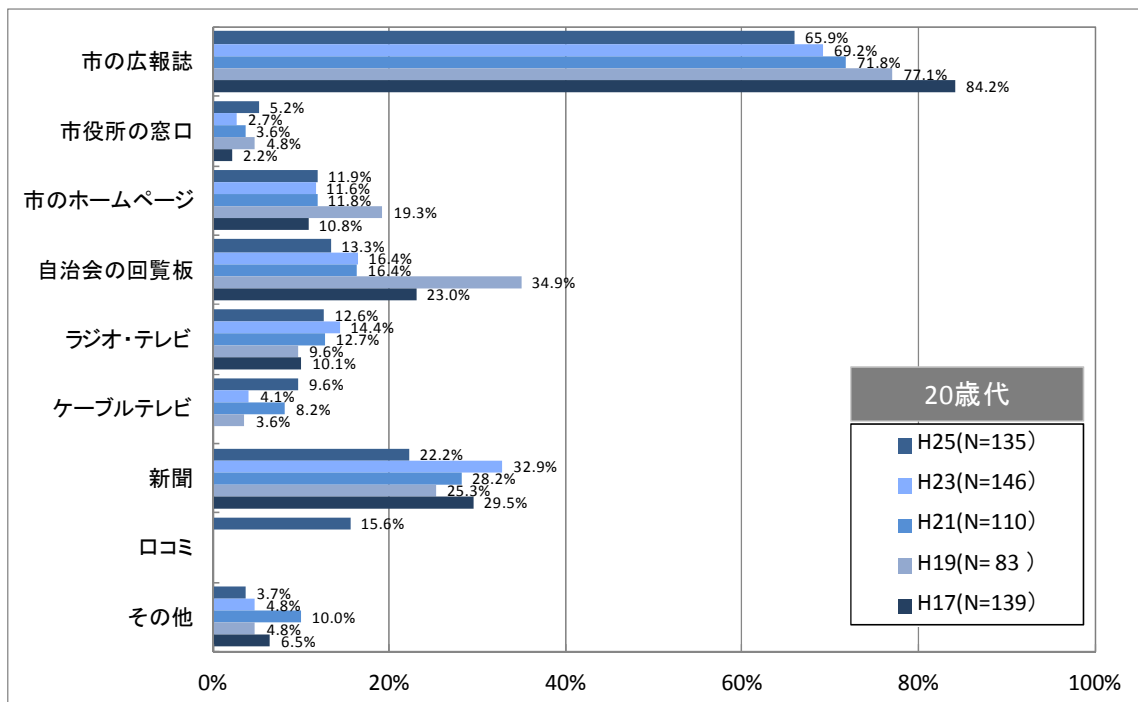
【今回（H25）】

- ・どの年代においても「市の広報誌」が最も多くなっていますが、20 歳代は他の年代と比べて 11 ポイント以上低くなっています。
- ・20～40 歳代は「市のホームページ」が 1 割以上となっていますが、年代が上がるほど減少しています。
- ・60 歳以上は「町内会の回覧板」が約 4 割と多くなっていますが、40 歳代以下は年代が下がるほど減少しており、特に 20 歳代は 60 歳代より 24 ポイント以上低くなっています。
- ・20 歳代と 30 歳代は「口コミ」が約 2 割と他の年代と比べて 8 ポイント以上多くなっています。

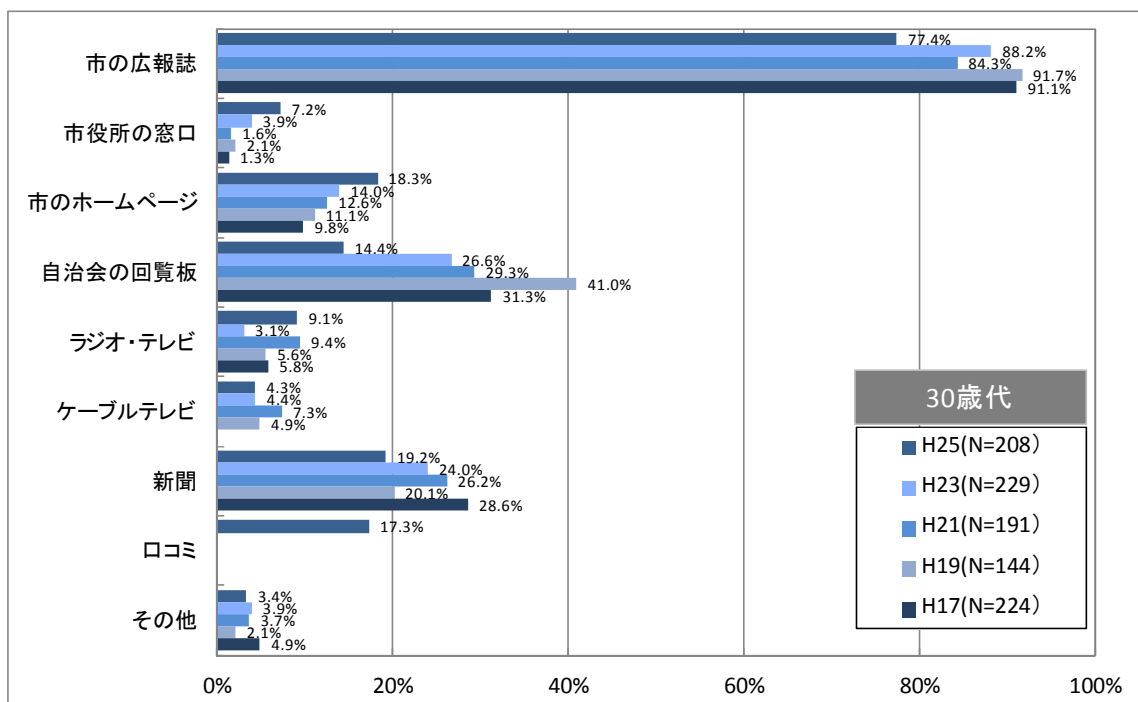


【経年変化】

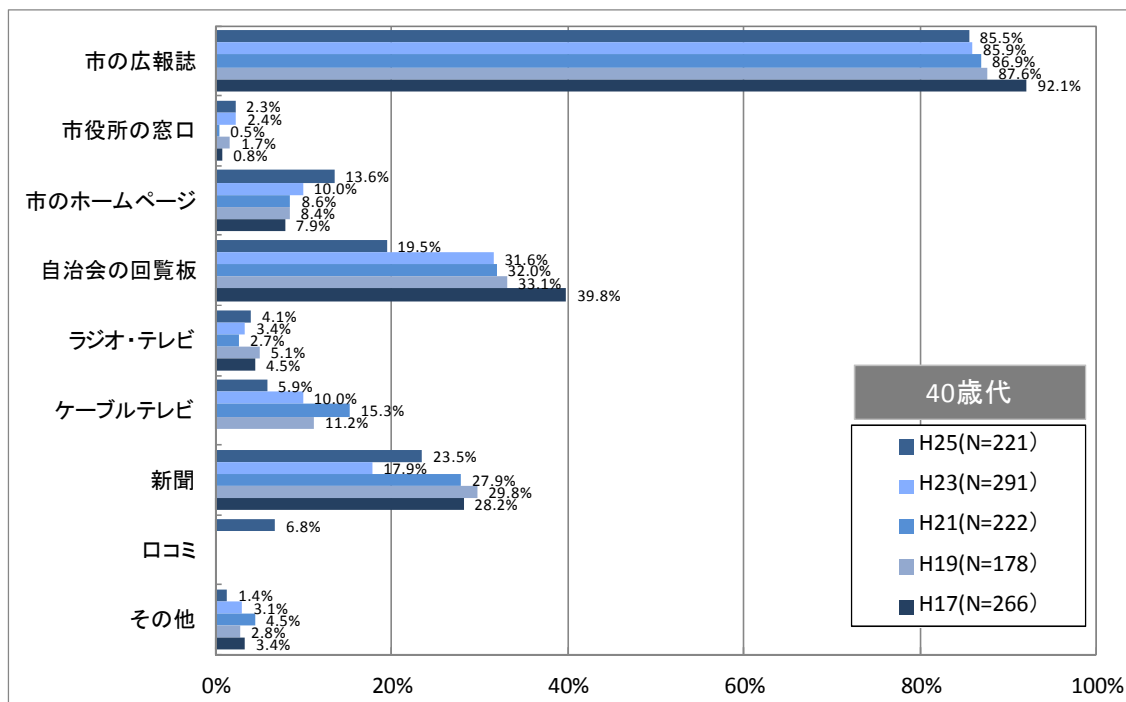
- ・ 20 歳代は「市の広報誌」が H17 以降減少しています。
- ・ 30～40 歳代は「市のホームページ」が H17 以降増加しています。
- ・ 40 歳以上は「新聞」が H23 に比べて増加しています。
- ・ 60 歳代以外は「自治会の回覧板」が H23 に比べて減少しています。



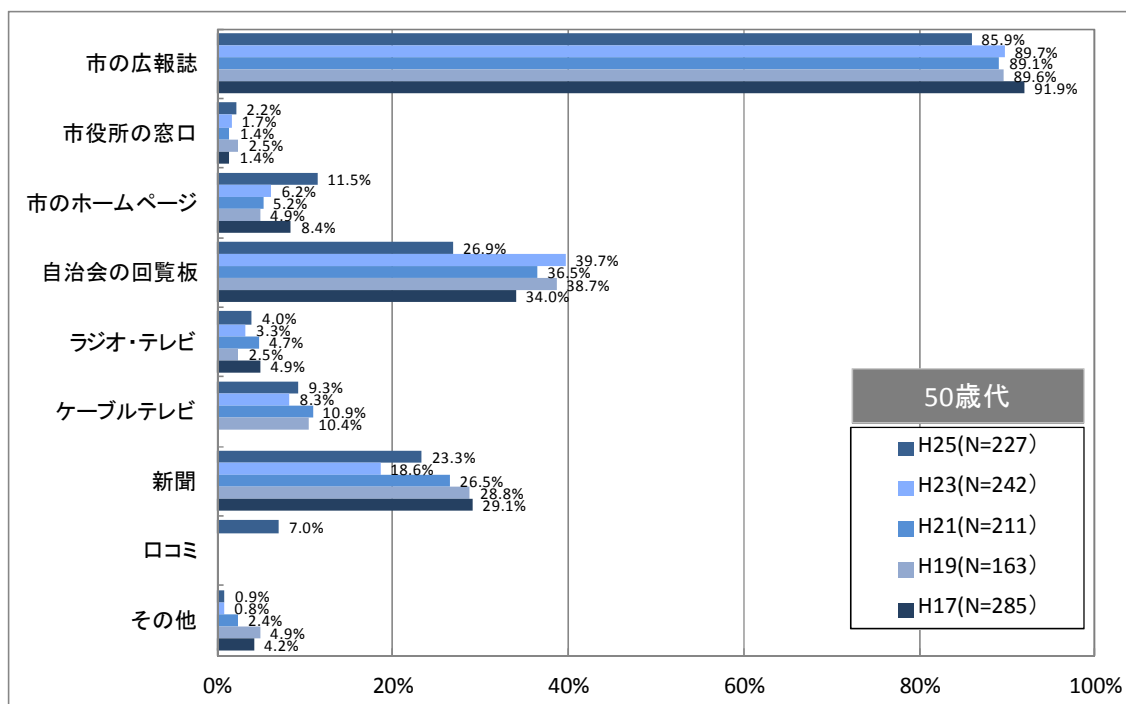
※「ケーブルテレビ」は、H17 は調査項目なし、「口コミ」は H25 より追加



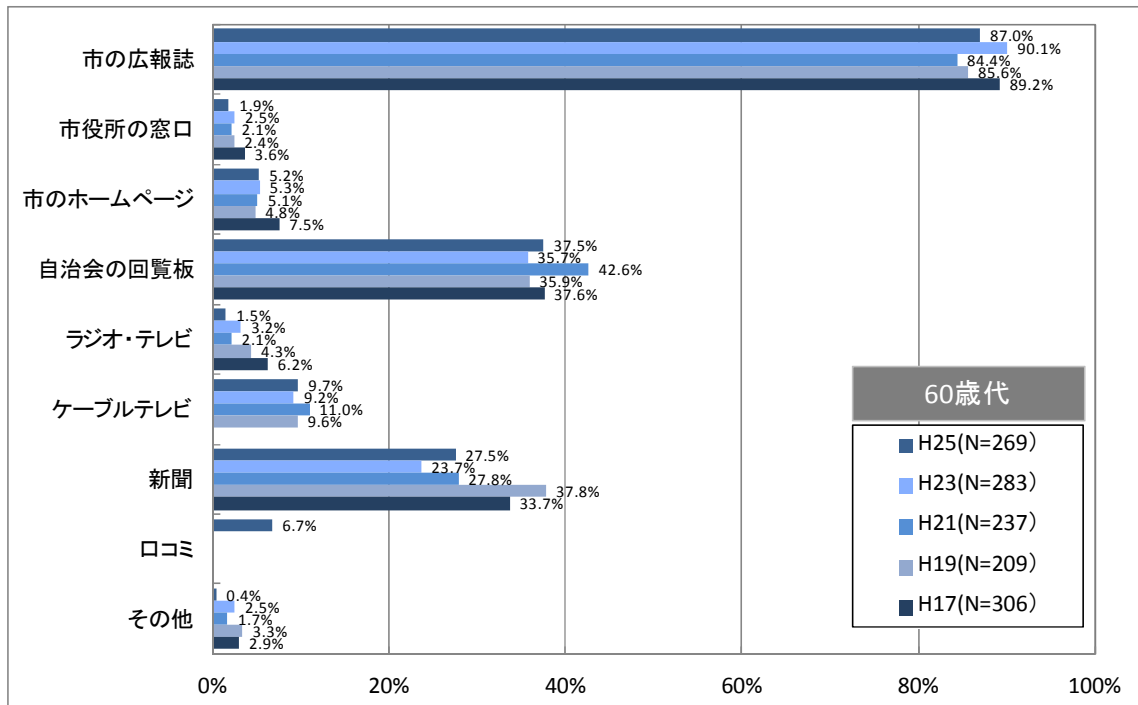
※「ケーブルテレビ」は、H17 は調査項目なし、「口コミ」は H25 より追加



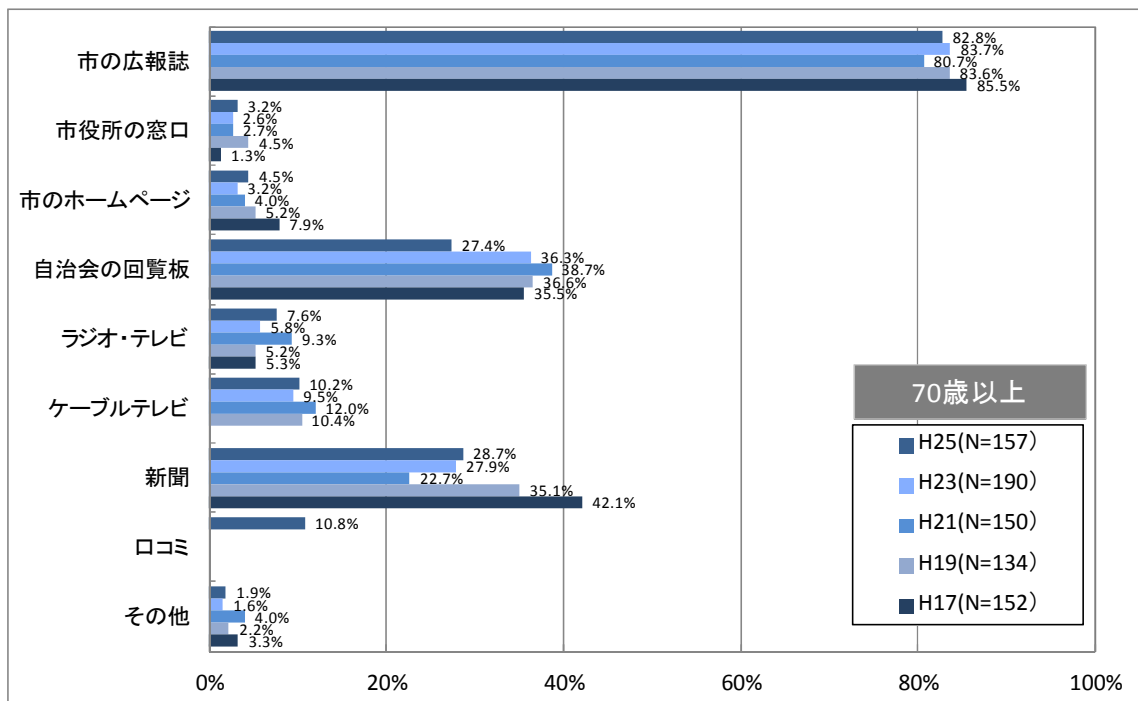
※「ケーブルテレビ」は、H17 は調査項目なし、「口コミ」は H25 より追加



※「ケーブルテレビ」は、H17 は調査項目なし、「口コミ」は H25 より追加



※「ケーブルテレビ」は、H17は調査項目なし、「口コミ」はH25より追加

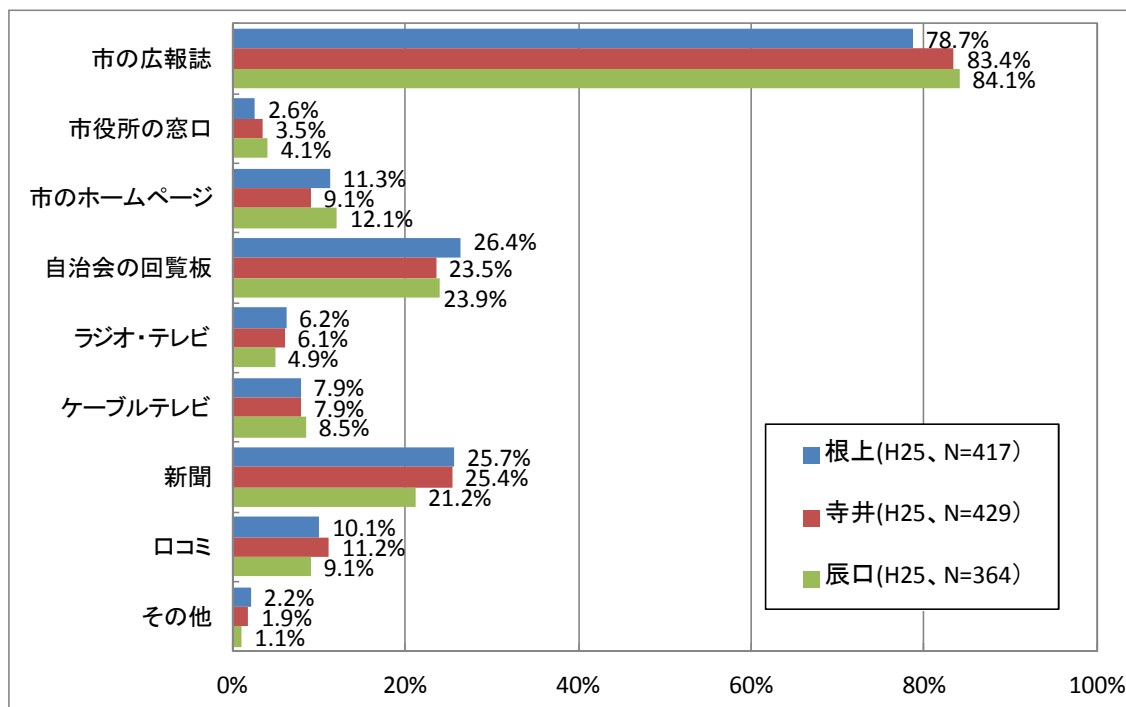


※「ケーブルテレビ」は、H17は調査項目なし、「口コミ」はH25より追加

■ 市政情報の入手方法（地区別）

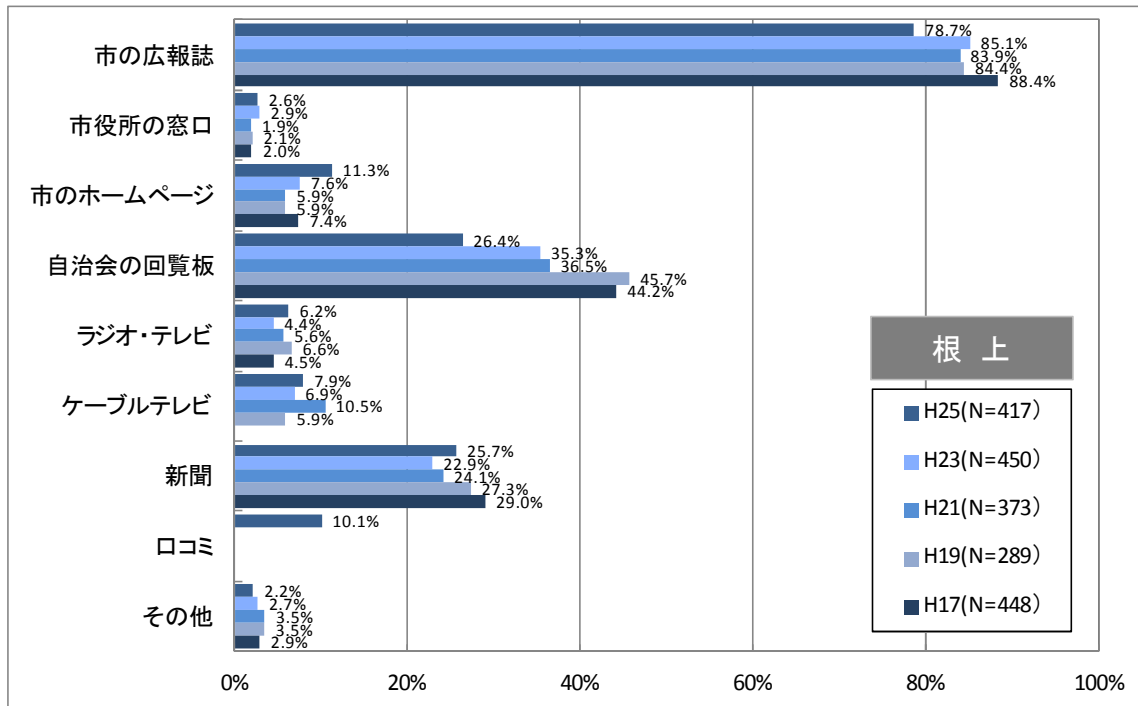
【今回（H25）】

- ・ 根上、辰口は 8 割以上が「市の広報誌」から市政情報を入手しており、寺井より 5 ポイント以上高くなっています。
- ・ 根上は「町内会の回覧板」が 26.4% と他の地区より 3 ポイント以上高くなっています。

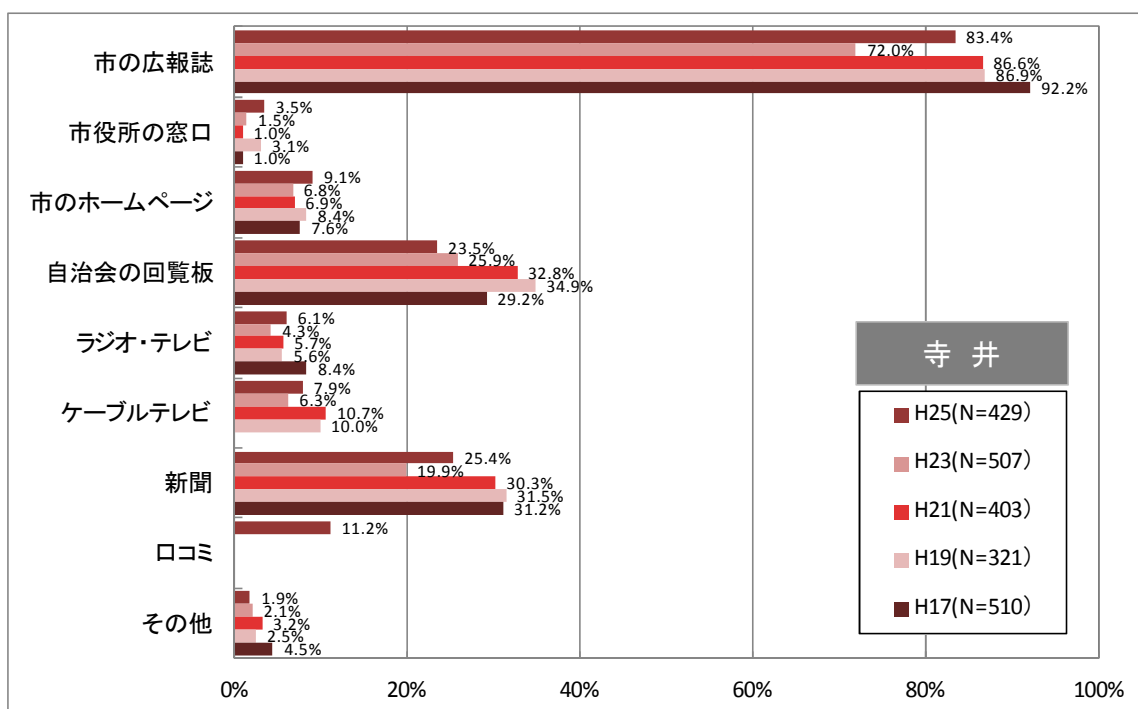


【経年変化】

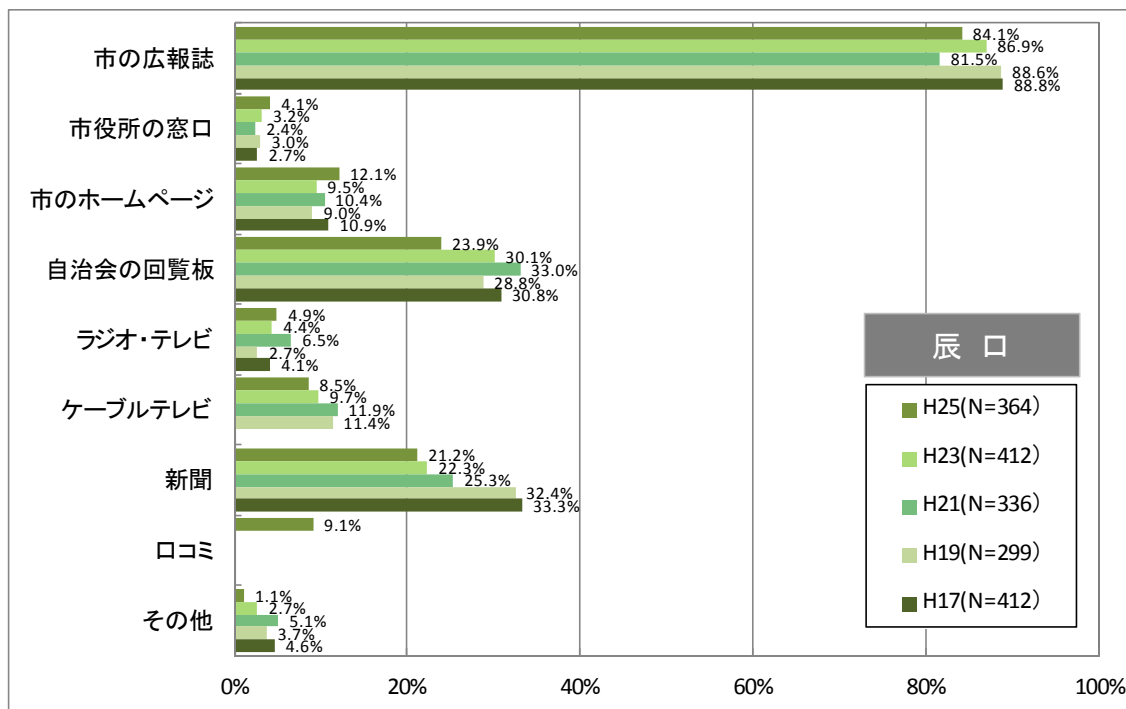
- ・根上は「自治会の回覧板」が H19～H25 にかけて約 19 ポイント減少したものの、「市のホームページ」「新聞」が増加傾向にあります。
- ・寺井は H23 と比べて、「市の広報誌」が約 11 ポイント、「新聞」が約 6 ポイント増加しています。
- ・辰口は H23 と比べて、「自治会の回覧板」が約 6 ポイント減少しています。



※「ケーブルテレビ」は、H17 は調査項目なし、「口コミ」は H25 より追加



※「ケーブルテレビ」は、H17 は調査項目なし、「口コミ」は H25 より追加



※「ケーブルテレビ」は、H17 は調査項目なし、「口コミ」は H25 より追加

(2) 能美市における各種施策の「満足度」「重要度」について

問 11

能美市の取り組みについて、「あなたの満足度」はどのくらいですか。また、「さらに取り組みを進めることは、能美市にとってどのくらい重要である」と考えますか。

- 第一次能美市総合計画で示している 52 の施策について、満足度と重要度の評価点を算出しました。
- また、能美市における施策全体の総合評価（満足度）を算出しました。

※評価点の算出

- ・満足度と重要度については、下記の計算式にあるように数段階の評価に点数を与え、評価点を算出しています。ただし、無回答については除外しました。
- ・点数が高いほど満足度、重要度が高く、反対に点数が低いほど満足度、重要度は低くなります。

【評価点の算出式】

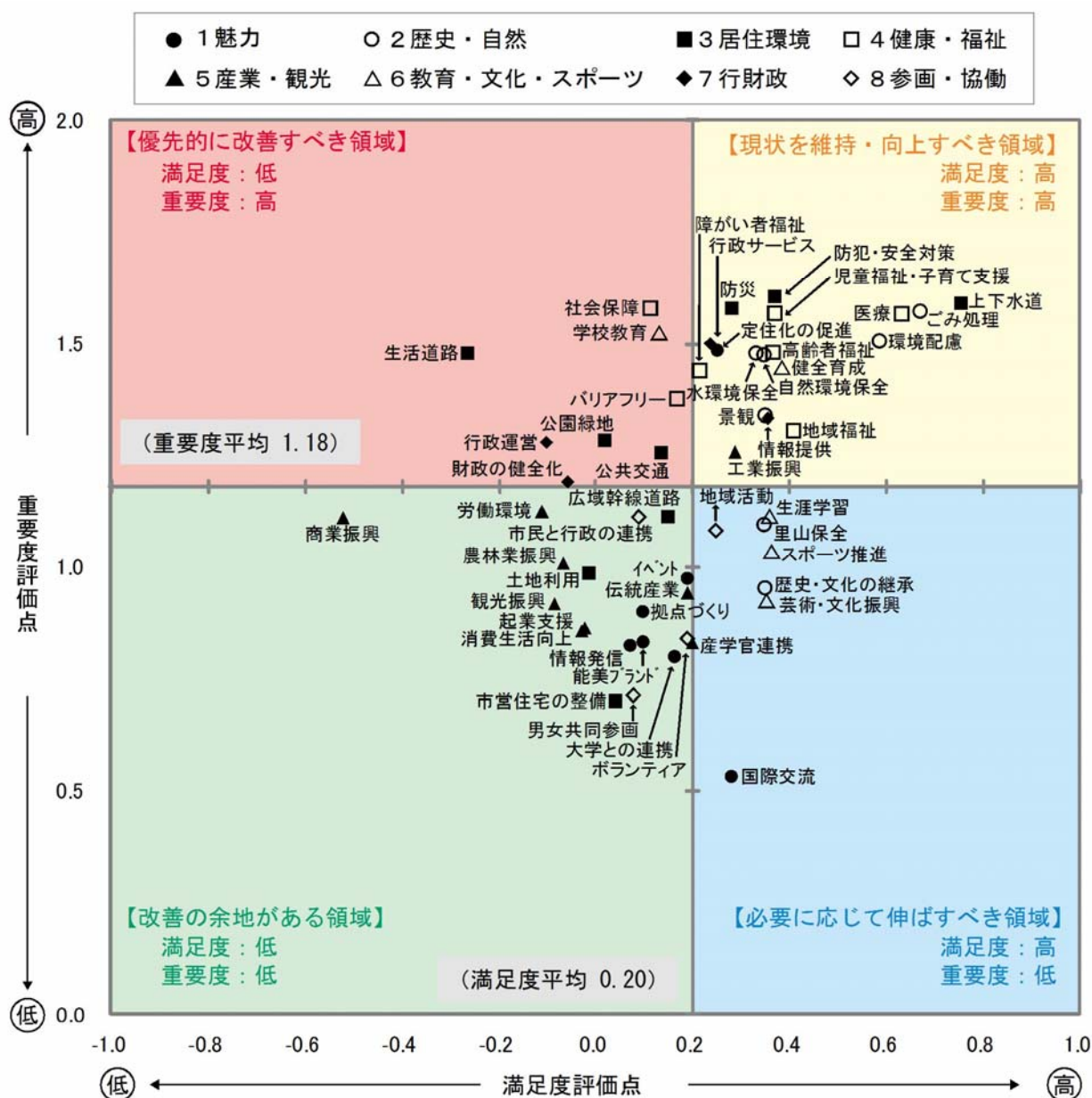
満足度評価点 = { 満足である × (2 点) + やや満足である × (1 点) + やや不満である × (−1 点) + 不満である × (−2 点) + わからない × (0 点) } ÷ 回答者数

重要度評価点 = { 重要である × (2 点) + やや重要である × (1 点) + あまり重要でない × (−1 点) + 重要でない × (−2 点) } ÷ 回答者数

■満足度と重要度の評価点の相関

- ・満足度が低く重要度が高い『優先的に改善すべき項目』は、「3-1. 生活に身近な公園や緑地の整備」や「3-5. 人や自転車にやさしい道路の整備」「3-6. 公共交通網の整備」「4-5. 社会保障の取り組み」「4-6. バリアフリーの取り組み」「6-1. 学校教育の充実に向けた取り組み」「7-1. 効率的な行政運営の取り組み」「7-2. 財政の健全化に向けた取り組み」などが挙げられ、特に 3-5、4-5、7-1 は H17～H23 にも優先的に改善すべき項目と評価されています。
- ・H23 では『優先的に改善すべき項目』となっていた「1-3. 定住化の促進」「4-3. 障がい者福祉の取り組み」は満足度が上がったため、H25 では『現状を維持・向上すべき項目』となりました。

【満足度－重要度グラフ（H25）】



※領域の色：p33 の満足度および重要度の評価点一覧の色に対応

マーク： p33 の満足度および重要度の評価点一覧の分類に対応

【満足度および重要度の評価点一覧（H25、H23、H21、H19、H17）】

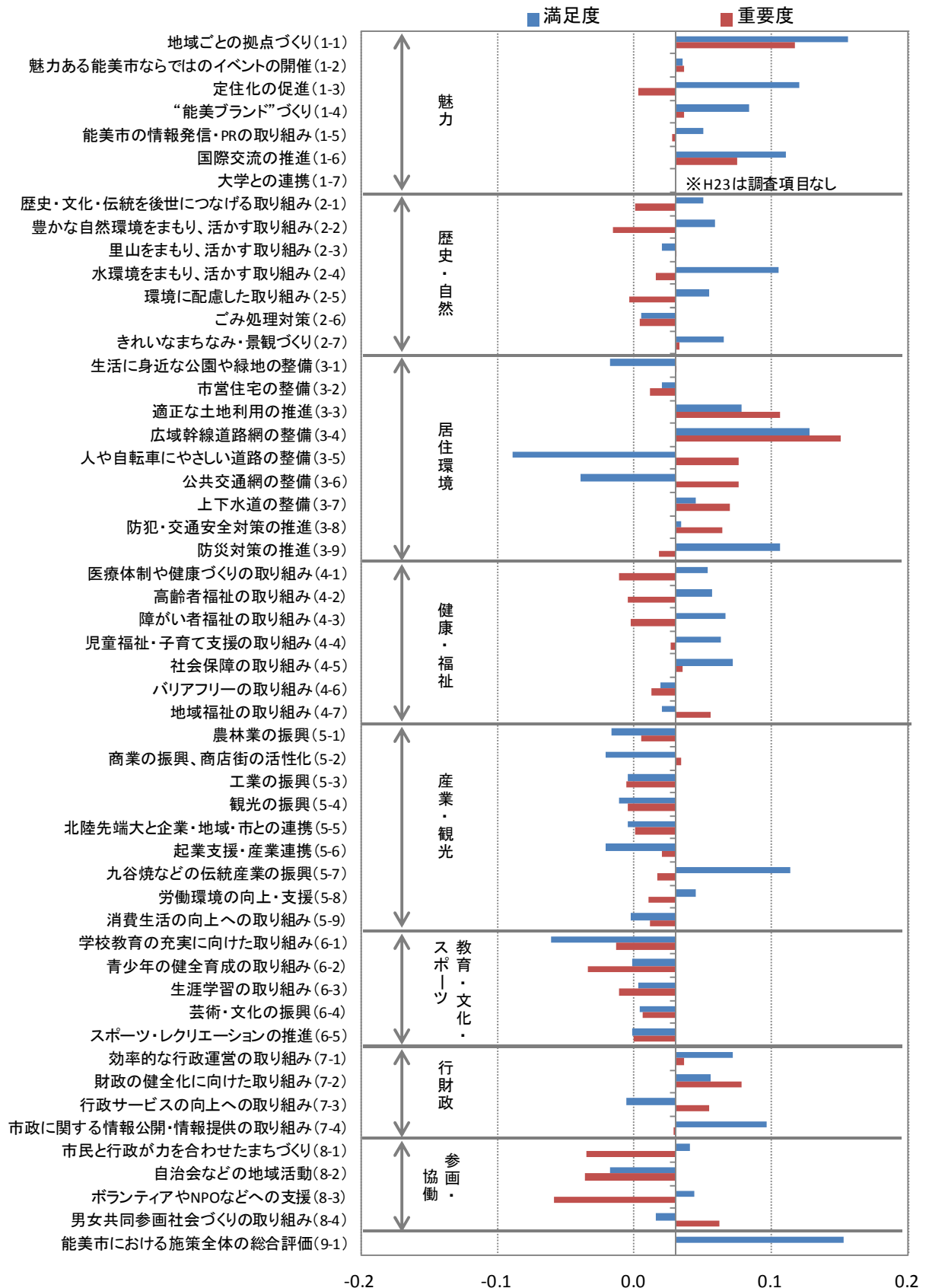
	評価項目	(今回)H25評価点		H23評価点		H21評価点		H19評価点		H17評価点	
		満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
1 魅力	1-1.地域ごとの拠点づくり	0.10	0.90	-0.06	0.78	-0.27	0.73	-0.28	0.72	-	-
	1-2.魅力ある能美市ならではのイベントの開催	0.19	0.97	0.15	0.94	0.14	0.92	0.15	0.77	-	-
	1-3.定住化の促進	0.25	1.48	0.13	1.48	0.06	1.50	-0.06	1.23	-	-
	1-4.“能美ブランド”づくり	0.10	0.83	0.02	0.80	-0.03	0.76	0.06	0.82	-0.12	0.76
	1-5.能美市の情報発信・PRの取り組み	0.07	0.82	0.02	0.80	-0.01	0.76	-0.05	0.83	-0.06	1.02
	1-6.国際交流の推進	0.28	0.53	0.17	0.46	0.16	0.28	0.21	0.37	0.27	0.54
	1-7.大学との連携	0.16	0.80	-	-	-	-	-	-	-	-
2 歴史・自然	2-1.歴史・文化・伝統を後世につなげる取り組み	0.35	0.95	0.30	0.95	0.30	0.89	0.26	0.80	0.33	0.75
	2-2.豊かな自然環境をまもり、活かす取り組み	0.34	1.47	0.29	1.49	0.28	1.56	-0.01	1.50	-0.01	1.22
	2-3.里山をまもり、活かす取り組み	0.35	1.09	0.33	1.06	0.37	1.03	0.09	0.92	0.05	1.09
	2-4.水環境をまもり、活かす取り組み	0.33	1.48	0.23	1.46	0.30	1.48	0.12	1.37	0.15	1.04
	2-5.環境に配慮した取り組み	0.59	1.50	0.53	1.51	0.54	1.59	0.24	1.58	-0.05	1.24
	2-6.ごみ処理対策	0.67	1.57	0.67	1.57	0.76	1.64	0.58	1.61	0.31	1.61
	2-7.きれいなまちなみ・景観づくり	0.35	1.34	0.28	1.31	0.29	1.36	0.03	0.83	0.22	0.72
3 居住環境	3-1.生活に身近な公園や緑地の整備	0.02	1.28	0.04	1.25	0.17	1.20	0.01	1.09	0.27	0.85
	3-2.市営住宅の整備	0.04	0.70	0.02	0.69	0.15	0.59	0.16	0.40	0.16	0.19
	3-3.適正な土地利用の推進	-0.01	0.98	-0.09	0.88	-0.07	0.82	-0.17	1.03	-	-
	3-4.広域幹線道路網の整備	0.15	1.11	0.02	0.96	0.14	0.84	0.30	1.01	0.61	0.86
	3-5.人や自転車にやさしい道路の整備	-0.26	1.48	-0.17	1.40	0.03	1.35	0.00	1.38	0.44	1.10
	3-6.公共交通網の整備	0.14	1.25	0.18	1.18	0.27	1.07	-0.08	1.01	-0.49	0.92
	3-7.上下水道の整備	0.76	1.59	0.71	1.52	0.81	1.53	0.69	1.43	0.51	1.40
	3-8.防犯・交通安全対策の推進	0.37	1.60	0.34	1.54	0.44	1.58	0.40	1.55	0.11	1.62
	3-9.防災対策の推進	0.28	1.58	0.18	1.56	0.35	1.53	0.36	1.53	0.11	1.61
4 健康・福祉	4-1.医療体制や健康づくりの取り組み	0.63	1.56	0.58	1.58	0.50	1.59	0.36	1.57	0.35	1.59
	4-2.高齢者福祉の取り組み	0.37	1.48	0.31	1.48	0.27	1.49	0.18	1.48	0.12	1.54
	4-3.障がい者福祉の取り組み	0.21	1.44	0.15	1.44	0.16	1.42	0.17	1.34	0.06	1.45
	4-4.児童福祉・子育て支援の取り組み	0.37	1.57	0.31	1.54	0.27	1.54	0.19	1.55	0.09	1.56
	4-5.社会保障の取り組み	0.11	1.58	0.04	1.54	0.09	1.55	-0.20	1.54	-0.15	1.41
	4-6.バリアフリーの取り組み	0.17	1.37	0.15	1.36	0.20	1.36	0.12	1.23	-0.19	1.36
	4-7.地域福祉の取り組み	0.41	1.30	0.39	1.24	0.45	1.28	0.39	1.26	-	-
5 産業・環境	5-1.農林業の振興	-0.07	1.01	-0.05	1.00	-0.10	0.99	-0.15	0.88	-0.02	0.75
	5-2.商業の振興、商店街の活性化	-0.52	1.11	-0.50	1.08	-0.63	1.03	-0.58	0.97	-0.66	1.09
	5-3.工業の振興	0.29	1.26	0.29	1.27	0.05	1.20	0.03	1.01	-0.02	1.00
	5-4.観光の振興	-0.08	0.91	-0.07	0.92	-0.14	0.81	-0.13	0.71	-0.19	0.76
	5-5.北陸先端大と企業・地域・市との連携	0.20	0.83	0.20	0.83	0.18	0.70	0.04	0.57	0.03	0.73
	5-6.起業支援・産業連携	-0.03	0.86	0.00	0.84	-0.04	0.75	-0.08	0.53	-0.17	0.79
	5-7.九谷焼などの伝統産業の振興	0.19	0.94	0.08	0.92	0.15	0.89	0.06	0.74	0.12	0.82
	5-8.労働環境の向上・支援	-0.11	1.12	-0.16	1.11	-0.27	1.18	-0.24	1.02	-	-
	5-9.消費生活の向上への取り組み	-0.03	0.86	-0.02	0.84	-0.11	0.82	-0.23	0.88	-	-
6 スポーツ・文化・教育	6-1.学校教育の充実に向けた取り組み	0.13	1.52	0.19	1.54	0.19	1.53	0.03	1.60	0.10	1.51
	6-2.青少年の健全育成の取り組み	0.39	1.44	0.39	1.48	0.40	1.50	0.14	1.52	0.26	1.28
	6-3.生涯学習の取り組み	0.36	1.11	0.36	1.12	0.38	1.09	0.37	1.01	0.31	0.84
	6-4.芸術・文化の振興	0.35	0.92	0.35	0.92	0.43	0.88	0.37	0.82	-	-
	6-5.スポーツ・レクリエーションの推進	0.36	1.03	0.37	1.03	0.46	0.96	0.41	0.86	0.43	0.71
7 行政	7-1.効率的な行政運営の取り組み	-0.10	1.28	-0.17	1.24	-0.26	1.28	-0.23	1.22	-	-
	7-2.財政の健全化に向けた取り組み	-0.06	1.19	-0.11	1.11	-0.18	1.12	-0.21	1.17	-0.25	1.22
	7-3.行政サービスの向上への取り組み	0.24	1.50	0.24	1.44	0.14	1.52	-0.27	1.36	-0.29	1.15
	7-4.市政に関する情報公開・情報提供の取り組み	0.35	1.34	0.25	1.31	0.25	1.38	0.04	1.31	-0.05	1.20
8 参画・協働	8-1.市民と行政が力を合わせたまちづくり	0.09	1.11	0.05	1.14	0.02	1.12	-0.04	1.12	-0.17	1.32
	8-2.自治会などの地域活動	0.25	1.08	0.27	1.12	0.28	1.06	0.18	1.01	0.32	1.03
	8-3.ボランティアやNPOなどへの支援	0.19	0.84	0.15	0.90	0.13	0.86	0.15	0.81	0.07	0.85
	8-4.男女共同参画社会づくりの取り組み	0.08	0.71	0.07	0.65	0.01	0.60	0.06	0.68	0.10	0.49
平均		0.20	1.18	0.16	1.17	0.17	1.15	0.08	1.09	0.07	1.07
9 評価総合	9-1.能美市における施策全体の総合評価	0.23	-	0.07	-	0.01	-	-0.06	-	-0.01	-

■ 優先的に改善すべき項目、■ 現状を維持・向上すべき項目、■ 必要に応じて伸ばすべき項目、■ 改善の余地がある項目（【満足度－重要度グラフ（H25）】の領域の色に対応）

■満足度及び重要度の評価点の変化

- ・ H23 の調査同様に最も変化している項目で、「1-1. 地域ごとの拠点づくり」の+0.16 となっており、全体的に変化は小さくなっていますが、-0.1 以上の減少はみられません。
- ・ 大項目をみると、満足度については「魅力」「歴史・自然」「健康・福祉」が上がっている傾向がみられ、重要度については「魅力」「居住環境」「行財政」が上がっている傾向にあります。
- ・ 満足度が 0.1 以上上がっている項目は、「1-1. 地域ごとの拠点づくり」「1-3. 定住化の促進」「1-6. 国際交流の推進」「2-4. 水環境をまもり、活かす取り組み」「3-4. 広域幹線道路網の整備」「3-9. 防災対策の推進」「5-7. 九谷焼などの伝統産業の振興」「9-1. 能美市における施策全体の総合評価」となっています。満足度が 0.1 以上下がっている項目はありません。
- ・ 重要度が 0.1 以上上がっている項目は、「1-1. 地域ごとの拠点づくり」「3-3. 適正な土地利用の推進」「3-4. 広域幹線道路網の整備」となっています。重要度が 0.1 以上下がっている項目はありません。

【満足度及び重要度の変化 (H25-H23)】



【満足度及び重要度の変化 (H25-H23)】

+0.1 以上

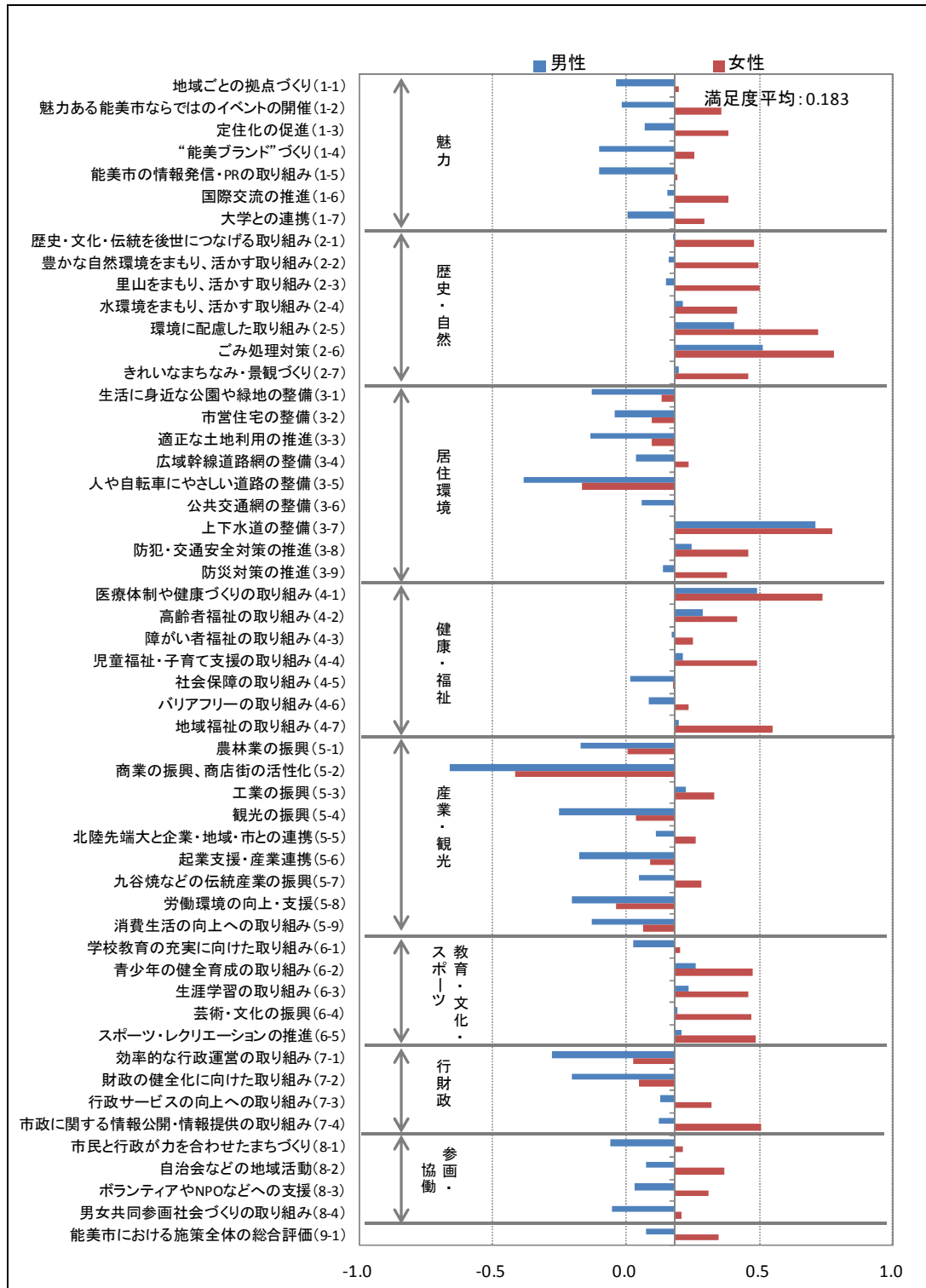
±0.1 未満

	評価項目	満足度				重要度			
		変動	差 H25-H23	H25	H23	変動	差 H25-H23	H25	H23
1 魅 力	1-1.地域ごとの拠点づくり	↑	0.16	0.10	-0.06	↑	0.12	0.90	0.78
	1-2.魅力ある能美市ならではのイベントの開催	→	0.04	0.19	0.15	→	0.04	0.97	0.94
	1-3.定住化の促進	↑	0.12	0.25	0.13	→	0.00	1.48	1.48
	1-4.“能美ブランド”づくり	→	0.08	0.10	0.02	→	0.04	0.83	0.80
	1-5.能美市の情報発信・PRの取り組み	→	0.05	0.07	0.02	→	0.03	0.82	0.80
	1-6.国際交流の推進	↑	0.11	0.28	0.17	→	0.08	0.53	0.46
	1-7.大学との連携	-	-	0.16	-	→	-	0.80	-
2 歴 史 ・ 自 然	2-1.歴史・文化・伝統を後世につなげる取り組み	→	0.05	0.35	0.30	→	0.00	0.95	0.95
	2-2.豊かな自然環境をまもり、活かす取り組み	→	0.06	0.34	0.29	→	△ 0.02	1.47	1.49
	2-3.里山をまもり、活かす取り組み	→	0.02	0.35	0.33	→	0.03	1.09	1.06
	2-4.水環境をまもり、活かす取り組み	↑	0.11	0.33	0.23	→	0.02	1.48	1.46
	2-5.環境に配慮した取り組み	→	0.05	0.59	0.53	→	△ 0.00	1.50	1.51
	2-6.ごみ処理対策	→	0.00	0.67	0.67	→	0.00	1.57	1.57
	2-7.きれいなまちなみ・景観づくり	→	0.07	0.35	0.28	→	0.03	1.34	1.31
3 居 住 環 境	3-1.生活に身近な公園や緑地の整備	→	△ 0.02	0.02	0.04	→	0.03	1.28	1.25
	3-2.市営住宅の整備	→	0.02	0.04	0.02	→	0.01	0.70	0.69
	3-3.適正な土地利用の推進	→	0.08	-0.01	-0.09	↑	0.11	0.98	0.88
	3-4.広域幹線道路網の整備	↑	0.13	0.15	0.02	↑	0.15	1.11	0.96
	3-5.人や自転車にやさしい道路の整備	→	△ 0.09	-0.26	-0.17	→	0.08	1.48	1.40
	3-6.公共交通網の整備	→	△ 0.04	0.14	0.18	→	0.08	1.25	1.18
	3-7.上下水道の整備	→	0.04	0.76	0.71	→	0.07	1.59	1.52
4 健 康 ・ 福 祉	3-8.防犯・交通安全対策の推進	→	0.03	0.37	0.34	→	0.06	1.60	1.54
	3-9.防災対策の推進	↑	0.11	0.28	0.18	→	0.02	1.58	1.56
	4-1.医療体制や健康づくりの取り組み	→	0.05	0.63	0.58	→	△ 0.01	1.56	1.58
	4-2.高齢者福祉の取り組み	→	0.06	0.37	0.31	→	△ 0.00	1.48	1.48
	4-3.障がい者福祉の取り組み	→	0.07	0.21	0.15	→	△ 0.00	1.44	1.44
	4-4.児童福祉・子育て支援の取り組み	→	0.06	0.37	0.31	→	0.03	1.57	1.54
	4-5.社会保障の取り組み	→	0.07	0.11	0.04	→	0.03	1.58	1.54
5 産 業 ・ 環 境	4-6.バリアフリーの取り組み	→	0.02	0.17	0.15	→	0.01	1.37	1.36
	4-7.地域福祉の取り組み	→	0.02	0.41	0.39	→	0.06	1.30	1.24
	5-1.農林業の振興	→	△ 0.02	-0.07	-0.05	→	0.00	1.01	1.00
	5-2.商業の振興、商店街の活性化	→	△ 0.02	-0.52	-0.50	→	0.03	1.11	1.08
	5-3.工業の振興	→	△ 0.01	0.29	0.29	→	△ 0.01	1.26	1.27
	5-4.観光の振興	→	△ 0.01	-0.08	-0.07	→	△ 0.00	0.91	0.92
	5-5.北陸先端大と企業・地域・市との連携	→	△ 0.00	0.20	0.20	→	0.00	0.83	0.83
6 文 化 ・ ス ポ ー ツ ・ 教 育	5-6.起業支援・産業連携	→	△ 0.02	-0.03	0.00	→	0.02	0.86	0.84
	5-7.九谷焼などの伝統産業の振興	↑	0.11	0.19	0.08	→	0.02	0.94	0.92
	5-8.労働環境の向上・支援	→	0.04	-0.11	-0.16	→	0.01	1.12	1.11
	5-9.消費生活の向上への取り組み	→	△ 0.00	-0.03	-0.02	→	0.01	0.86	0.84
	6-1.学校教育の充実に向けた取り組み	→	△ 0.06	0.13	0.19	→	△ 0.01	1.52	1.54
	6-2.青少年の健全育成の取り組み	→	△ 0.00	0.39	0.39	→	△ 0.03	1.44	1.48
	6-3.生涯学習の取り組み	→	0.00	0.36	0.36	→	△ 0.01	1.11	1.12
7 行 政	6-4.芸術・文化の振興	→	0.00	0.35	0.35	→	0.01	0.92	0.92
	6-5.スポーツ・レクリエーションの推進	→	△ 0.00	0.36	0.37	→	△ 0.00	1.03	1.03
	7-1.効率的な行政運営の取り組み	→	0.07	-0.10	-0.17	→	0.04	1.28	1.24
	7-2.財政の健全化に向けた取り組み	→	0.06	-0.06	-0.11	→	0.08	1.19	1.11
	7-3.行政サービスの向上への取り組み	→	△ 0.01	0.24	0.24	→	0.05	1.50	1.44
	7-4.市政に関する情報公開・情報提供の取り組み	→	0.10	0.35	0.25	→	0.03	1.34	1.31
	8-1.市民と行政が力を合わせたまちづくり	→	0.04	0.09	0.05	→	△ 0.04	1.11	1.14
8 参 画 ・ 協 働	8-2.自治会などの地域活動	→	△ 0.02	0.25	0.27	→	△ 0.04	1.08	1.12
	8-3.ボランティアやNPOなどへの支援	→	0.04	0.19	0.15	→	△ 0.06	0.84	0.90
	8-4.男女共同参画社会づくりの取り組み	→	0.02	0.08	0.07	→	0.06	0.71	0.65
9 総 合 評 価	9-1.能美市における施策全体の総合評価	↑	0.15	0.23	0.07	-	-	-	-

(注：評価点の差は、丸め誤差のため、表に示す数値と一致しないことがあります。)

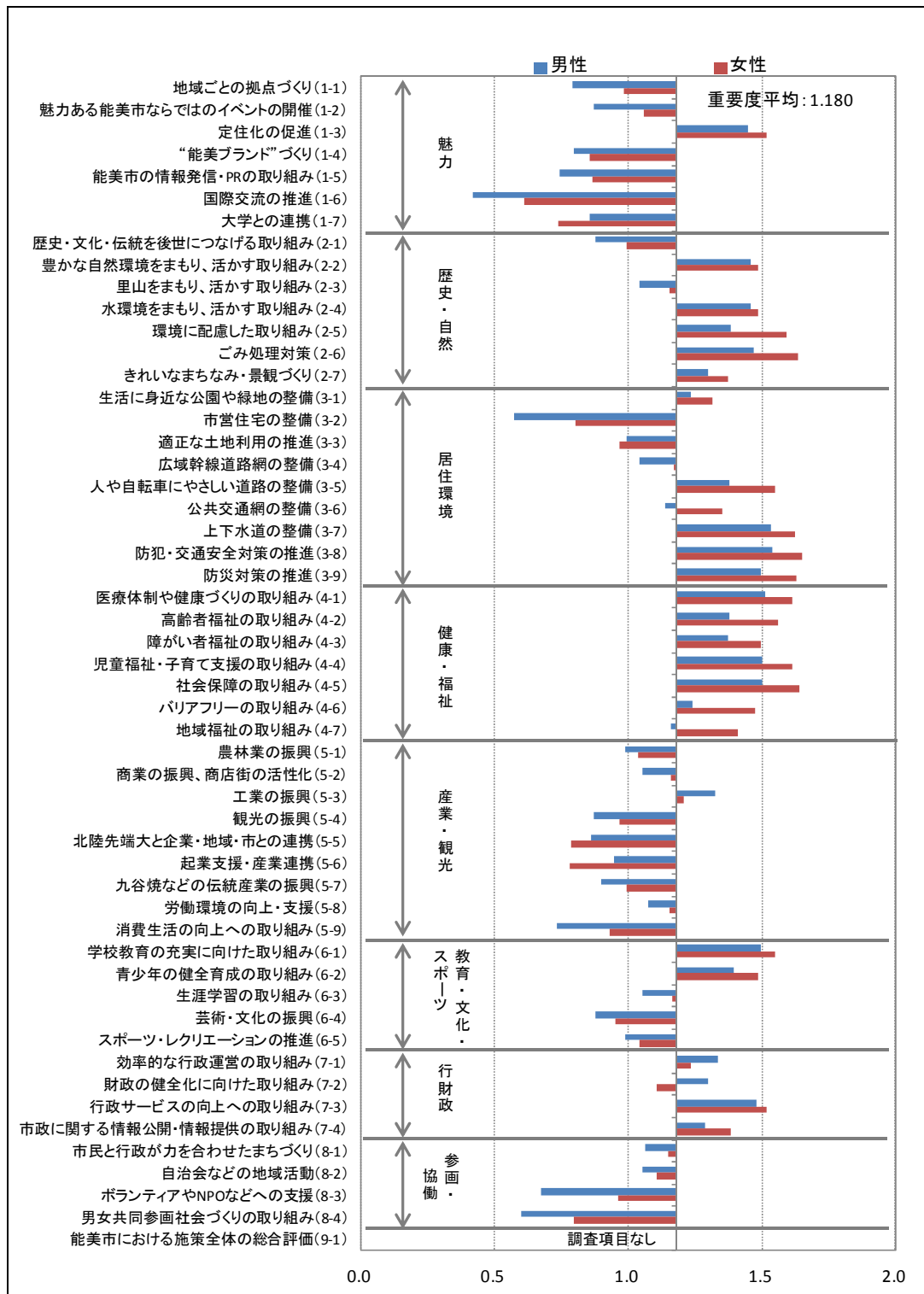
■満足度（性別）

- ・男性は「上下水道の整備（3-7）」が、女性は「ごみ処理対策（2-6）」が最も高くなっています。一方、男女共に「商業の振興、商店街の活性化（5-2）」が最も低くなっています。
- ・全体的に女性は男性よりも評価点が高くなっており、特に「市政に関する情報公開・情報提供の取り組み(7-4)」「魅力ある能美市ならではのイベントの開催(1-2)」「“能美ブランド”づくり（1-4）」は男性、女性の間で差が大きくなっています。



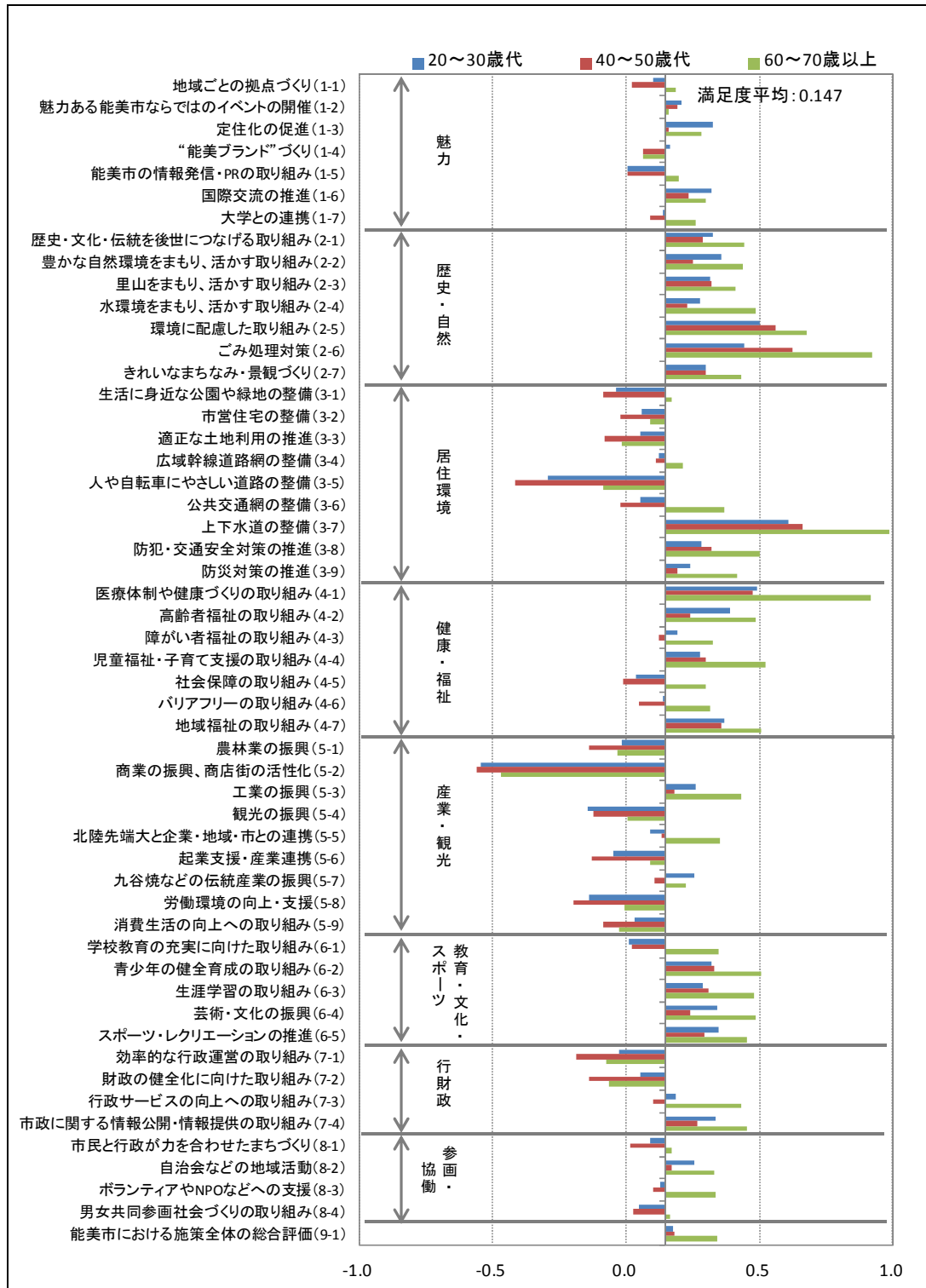
■重要度（性別）

- ・男女共に「防犯・交通安全対策の推進（3-8）」が最も高く、「国際交流の推進（1-6）」が最も低くなっています。
- ・全体的に女性は男性よりも評価点が高くなっており、特に「ボランティアやNPO などへの支援（8-3）」「地域福祉の取り組み（4-7）」は男性、女性の間で差が大きくなっています。



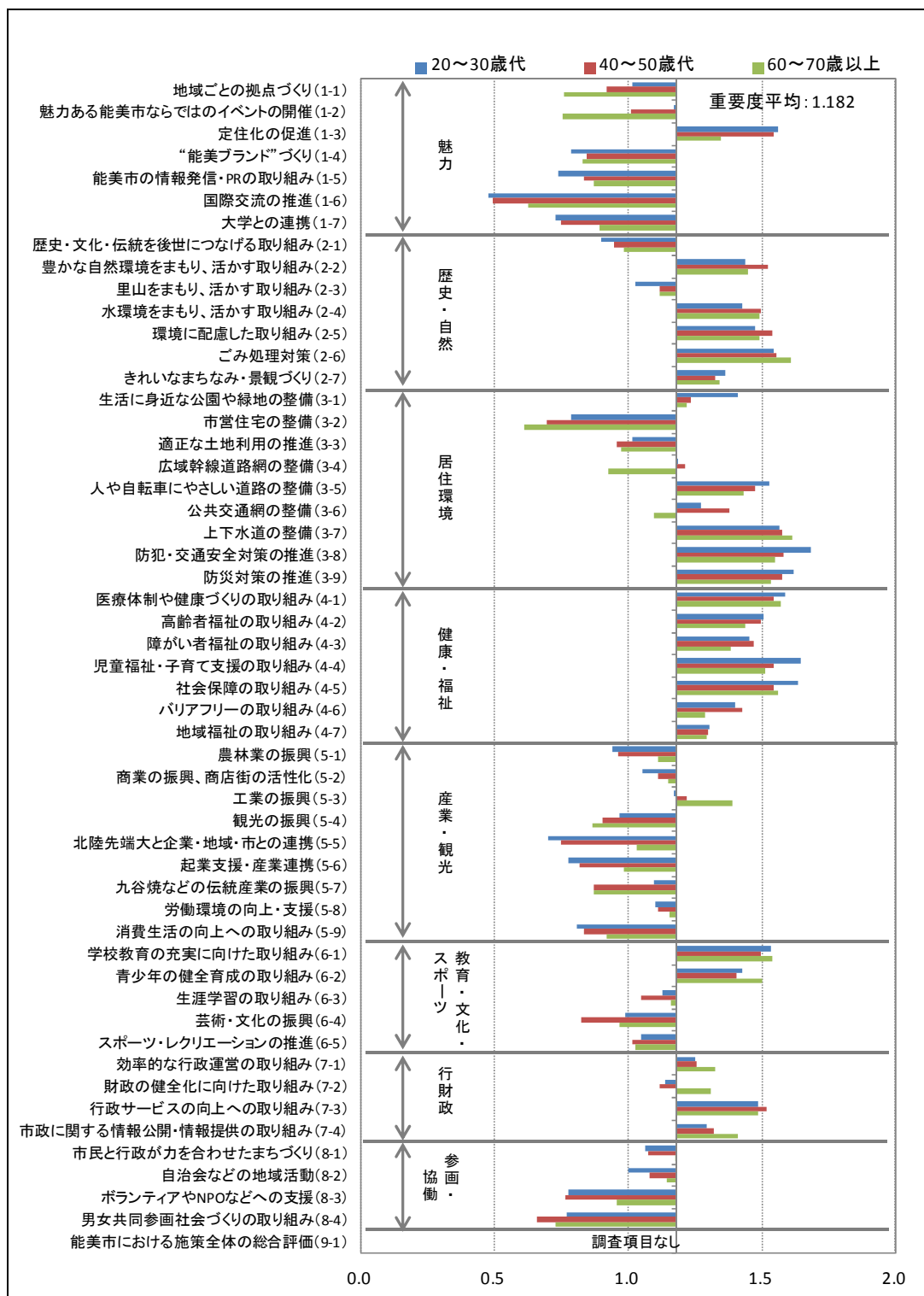
■満足度（年代別）

- ・全ての年代で「上下水道の整備（3-7）」が最も高くなっています。一方、「商業の振興、商店街の活性化（5-2）」が最も低くなっています。
- ・全体的に 60～70 歳以上が他の年代と比べて評価点が高くなっており、特に「医療体制や健康づくりの取り組み（4-1）」「ごみ処理対策（2-6）」「上下水道の整備（3-7）」の項目で差が大きくなっています。



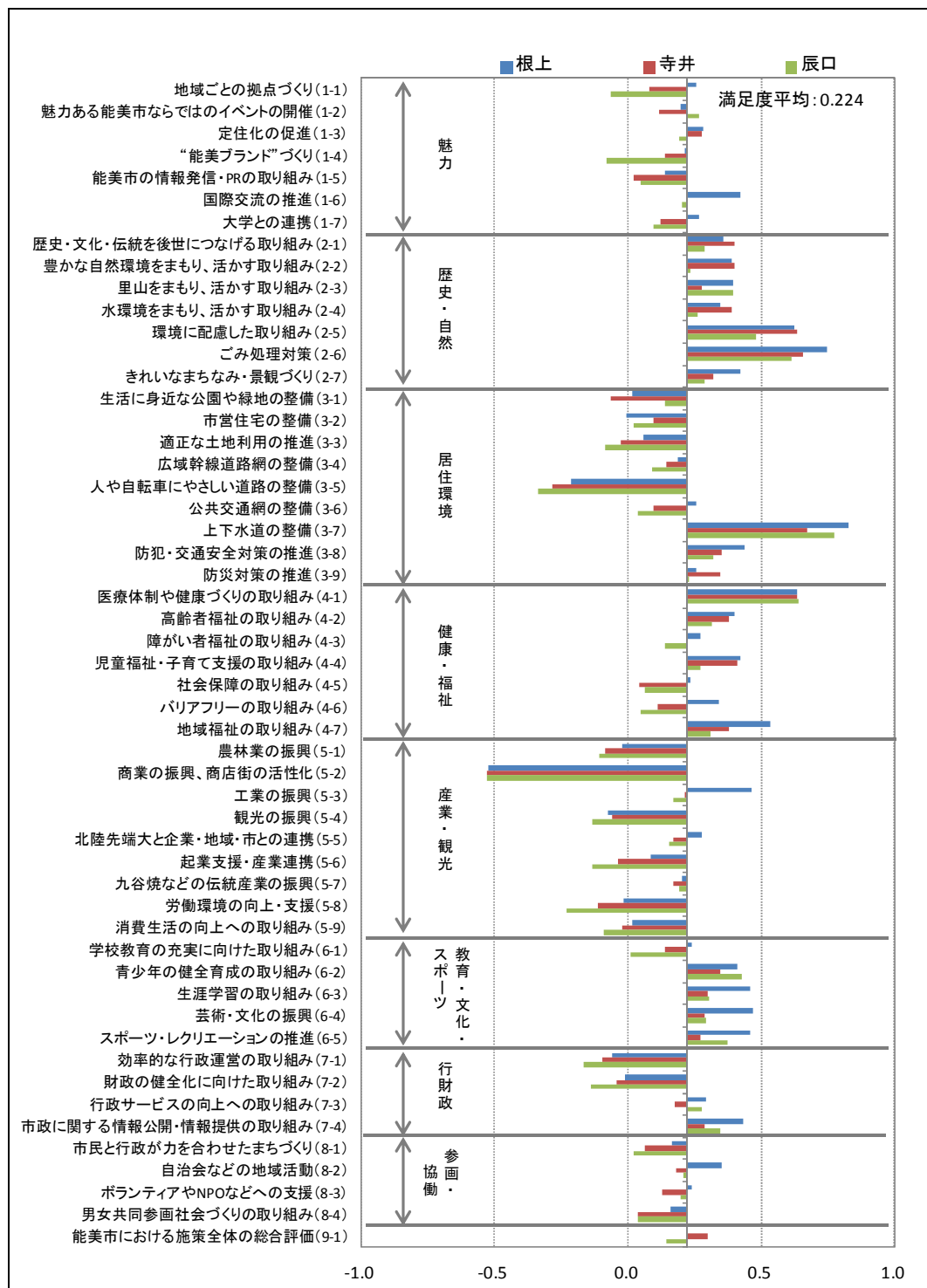
■重要度（年代別）

- ・ 20～30 歳代は「防犯・交通安全対策の推進（3-8）」が最も高くなっています。
- ・ 40～50 歳代は「上下水道の整備（3-7）」「防犯・交通安全対策の推進（3-8）」「防災対策の推進（3-9）」が最も高くなっています。
- ・ 60～70 歳以上は「ごみ処理対策（2-6）」「上下水道の整備（3-7）」が最も高くなっています。
- ・ 全ての年代において「国際交流の推進（1-6）」が最も低くなっています。



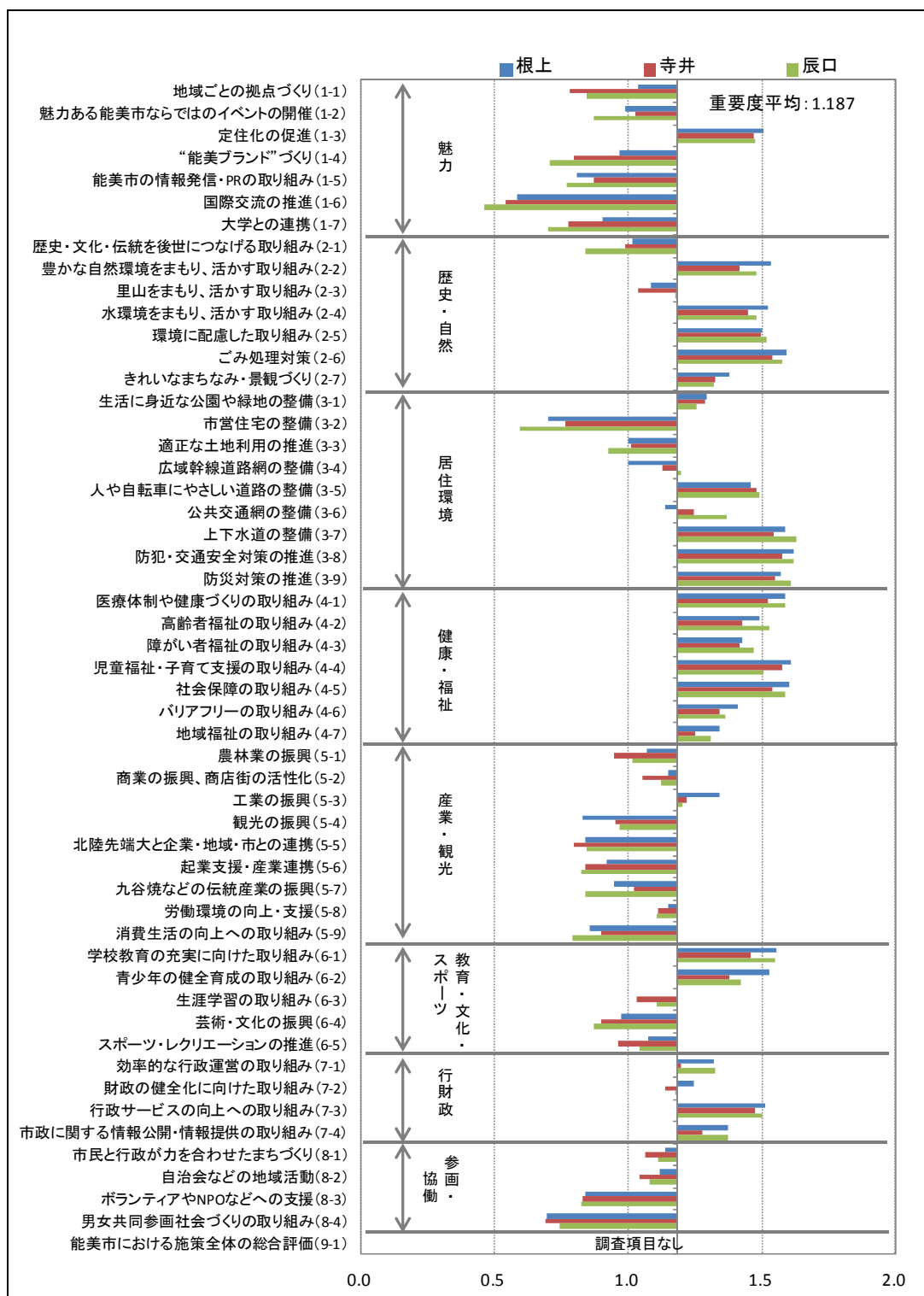
■満足度（地区別）

- ・ 3 地区共に「上下水道の整備（3-7）」が最も高くなっています。
- ・ 3 地区共に「商業の振興、商店街の活性化（5-2）」が最も低くなっています。
- ・ 全体的に根上の満足度が他の地区と比べて高くなっていますが、「歴史・文化・伝統を後世につなげる取り組み（2-1）」「豊かな自然環境をまもり、活かす取り組み（2-2）」「水環境をまもり、活かす取り組み（2-4）」「環境に配慮した取り組み（2-5）」「市営住宅の整備（3-2）」「防災対策の推進（3-9）」では寺井が、「魅力ある能美市ならではのイベントの開催（1-2）」「青少年の健全育成の取り組み（6-2）」では辰口が他の地区より高くなっています。



■重要度（地区別）

- ・根上、寺井は「防犯・交通安全対策の推進（3-8）」、辰口は「上下水道の整備（3-7）」が最も高くなっています。
- ・3地区共に「国際交流の推進（1-6）」が最も低くなっています。
- ・「広域幹線道路網の整備（3-4）」は辰口のみ平均以上、「公共交通網の整備（3-6）」は、根上は平均以下、「財政の健全化に向けた取り組み（7-2）」は根上のみ平均以上となっています。



【満足度で「わからない」と回答した人の有無と重要度の関係】

	評価項目	重要度	満足度			
			わからない有	わからない無	有無の差	わからない割合
1 魅力	1-1.地域ごとの拠点づくり	0.90	0.10	0.13	0.03	23.7%
	1-2.魅力ある能美市ならではのイベントの開催	0.97	0.19	0.22	0.03	15.1%
	1-3.定住化の促進	1.48	0.25	0.30	0.05	15.6%
	1-4.“能美ブランド”づくり	0.83	0.10	0.13	0.03	25.8%
	1-5.能美市の情報発信・PRの取り組み	0.82	0.07	0.10	0.03	31.9%
	1-6.国際交流の推進	0.53	0.28	0.49	0.21	42.6%
	1-7.大学との連携	0.80	0.16	0.29	0.12	43.0%
2 歴史・自然	2-1.歴史・文化・伝統を後世につなげる取り組み	0.95	0.35	0.51	0.16	31.8%
	2-2.豊かな自然環境をまもり、活かす取り組み	1.47	0.34	0.43	0.09	19.8%
	2-3.里山をまもり、活かす取り組み	1.09	0.35	0.50	0.15	30.0%
	2-4.水環境をまもり、活かす取り組み	1.48	0.33	0.47	0.14	30.1%
	2-5.環境に配慮した取り組み	1.50	0.59	0.70	0.12	16.8%
	2-6.ごみ処理対策	1.57	0.67	0.75	0.08	11.0%
	2-7.きれいなまちなみ・景観づくり	1.34	0.35	0.45	0.11	23.5%
3 居住環境	3-1.生活に身近な公園や緑地の整備	1.28	0.02	0.02	0.00	14.5%
	3-2.市営住宅の整備	0.70	0.04	0.08	0.04	46.9%
	3-3.適正な土地利用の推進	0.98	-0.01	-0.02	-0.01	38.9%
	3-4.広域幹線道路網の整備	1.11	0.15	0.19	0.04	20.1%
	3-5.人や自転車にやさしい道路の整備	1.48	-0.26	-0.30	-0.04	12.8%
	3-6.公共交通網の整備	1.25	0.14	0.16	0.03	16.5%
	3-7.上下水道の整備	1.59	0.76	0.89	0.14	15.2%
	3-8.防犯・交通安全対策の推進	1.60	0.37	0.45	0.08	17.8%
	3-9.防災対策の推進	1.58	0.28	0.36	0.08	22.3%
4 健康・福祉	4-1.医療体制や健康づくりの取り組み	1.56	0.63	0.75	0.12	15.6%
	4-2.高齢者福祉の取り組み	1.48	0.37	0.50	0.13	25.9%
	4-3.障がい者福祉の取り組み	1.44	0.21	0.36	0.14	40.0%
	4-4.児童福祉・子育て支援の取り組み	1.57	0.37	0.49	0.12	24.1%
	4-5.社会保障の取り組み	1.58	0.11	0.15	0.04	24.4%
	4-6.バリアフリーの取り組み	1.37	0.17	0.25	0.08	32.4%
	4-7.地域福祉の取り組み	1.30	0.41	0.57	0.16	27.9%
5 産業・環境	5-1.農林業の振興	1.01	-0.07	-0.15	-0.08	56.3%
	5-2.商業の振興、商店街の活性化	1.11	-0.52	-0.82	-0.29	36.1%
	5-3.工業の振興	1.26	0.29	0.43	0.14	32.7%
	5-4.観光の振興	0.91	-0.08	-0.13	-0.05	35.3%
	5-5.北陸先端大と企業・地域・市との連携	0.83	0.20	0.41	0.21	51.5%
	5-6.起業支援・産業連携	0.86	-0.03	-0.06	-0.04	58.2%
	5-7.九谷焼などの伝統産業の振興	0.94	0.19	0.29	0.10	35.1%
	5-8.労働環境の向上・支援	1.12	-0.11	-0.22	-0.11	50.5%
	5-9.消費生活の向上への取り組み	0.86	-0.03	-0.06	-0.03	55.0%
6 スポーツ・文化・教育	6-1.学校教育の充実に向けた取り組み	1.52	0.13	0.21	0.08	36.5%
	6-2.青少年の健全育成の取り組み	1.44	0.39	0.51	0.13	25.0%
	6-3.生涯学習の取り組み	1.11	0.36	0.55	0.19	35.1%
	6-4.芸術・文化の振興	0.92	0.35	0.51	0.15	30.5%
	6-5.スポーツ・レクリエーションの推進	1.03	0.36	0.49	0.13	25.7%
7 行政	7-1.効率的な行政運営の取り組み	1.28	-0.10	-0.18	-0.08	43.0%
	7-2.財政の健全化に向けた取り組み	1.19	-0.06	-0.12	-0.06	52.5%
	7-3.行政サービスの向上への取り組み	1.50	0.24	0.29	0.05	17.6%
	7-4.市政に関する情報公開・情報提供の取り組み	1.34	0.35	0.45	0.10	21.9%
8 参画・協働	8-1.市民と行政が力を合わせたまちづくり	1.11	0.09	0.15	0.06	43.0%
	8-2.自治会などの地域活動	1.08	0.25	0.35	0.10	52.5%
	8-3.ボランティアやNPOなどへの支援	0.84	0.19	0.35	0.16	17.6%
	8-4.男女共同参画社会づくりの取り組み	0.71	0.08	0.17	0.08	21.9%
平均		1.18	0.20	0.27	0.07	30.6%
9 評価 総合	9-1.能美市における施策全体の総合評価	-	0.23	0.25	0.02	-

赤文字：満足度で「わからない」と回答した割合が多い（平均値 30.6%以上）

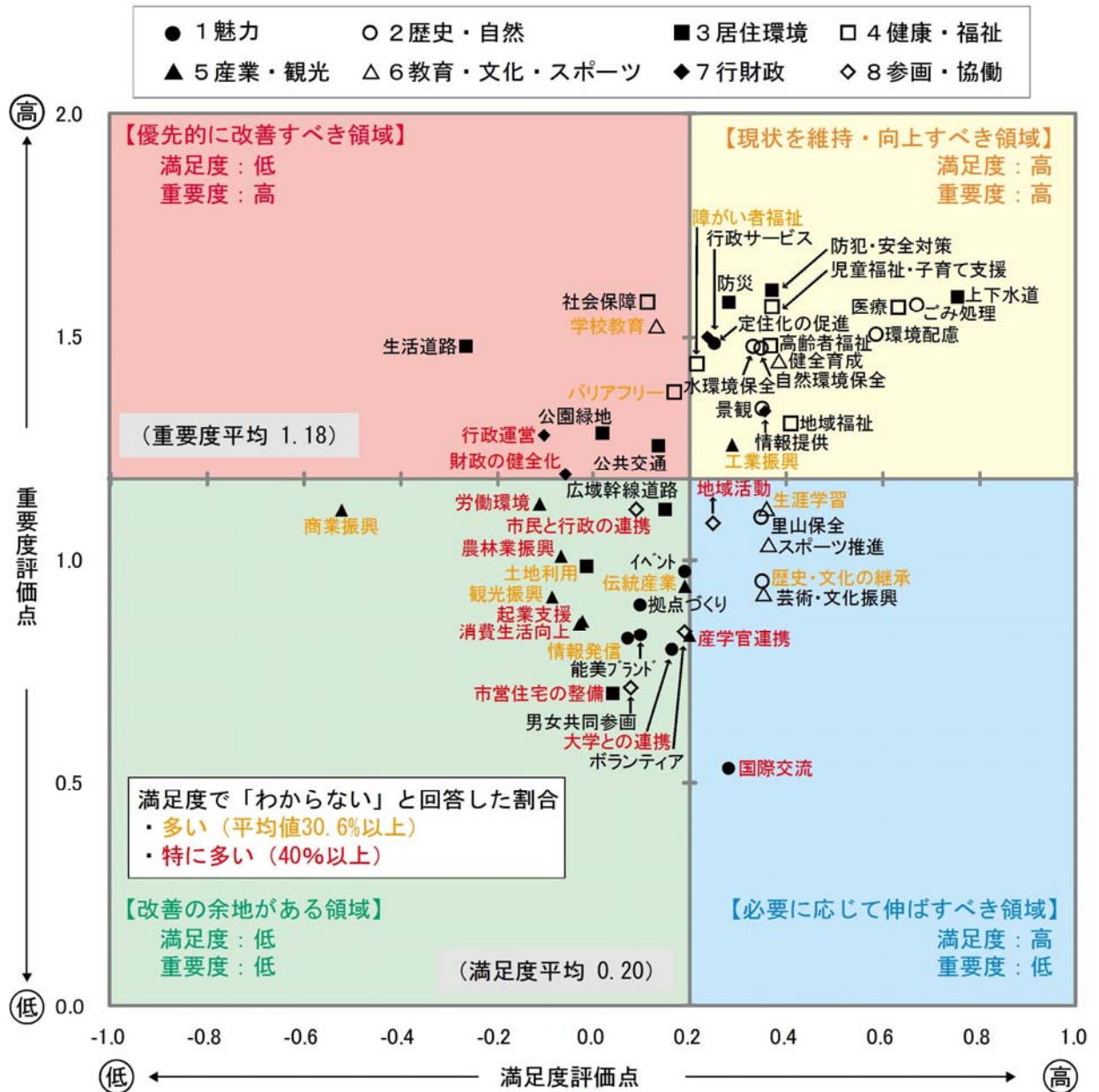
黄文字：満足度で「わからない」と回答した割合が特に多い（40.0%以上）

※評価項目の色は、p43の「満足度（「わからない」無）-重要度グラフ」に対応

■満足度で「わからない」と回答した方の割合と満足度－重要度の関係

- ・満足度で「わからない」と回答した人が多い項目は、「改善の余地がある領域」に多い傾向がみられます。

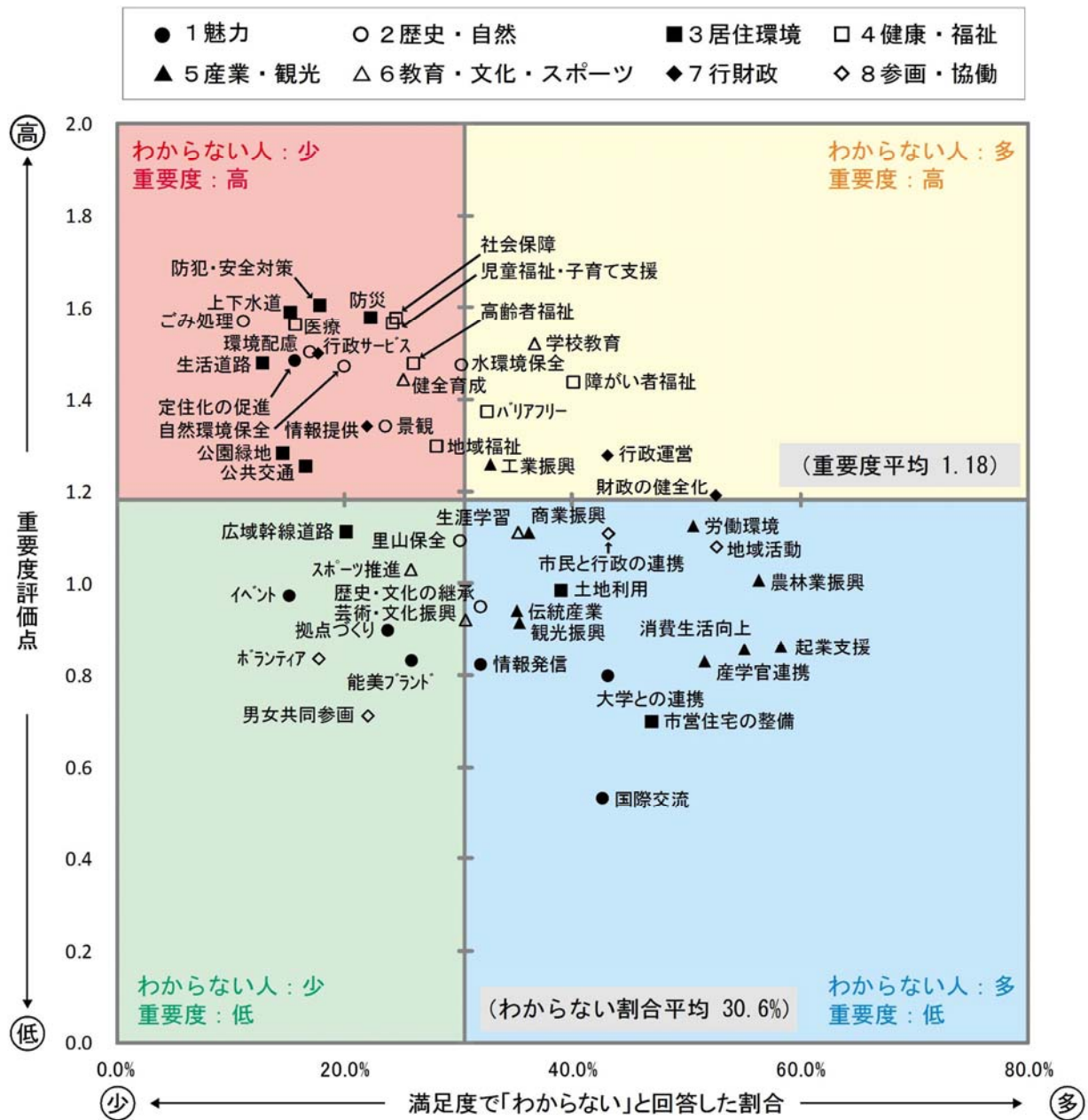
【満足度で「わからない」と回答した方の割合と満足度（「わからない」有）－重要度の関係】



■満足度で「わからない」と回答した方の割合と重要度の関係

・満足度で「わからない」と回答した割合が多くなると、重要度が低くなる傾向がみられます。

【満足度で「わからない」と回答した割合-重要度グラフ】



問 12 以上の各種施策に関するご意見やアイデアを、ご自由にお書きください。

◆1285 人中 168 人(13.1%)の回答者から寄せられた、第一次能美市総合計画で示されている 52 の施策毎に分類した結果、「7-3. 行政サービスの向上への取り組み」「7-1. 効率的な行政運営の取り組み」「3-6. 公共交通網の整備」に関する意見が多くみられました。

1 魅力		
1-1	地区ごとの拠点づくり	回答数（構成比）：3 件（1.8%）
◇高齢者や子供が自由に行ける場所が必要。 ◇休日に子供と室内で遊べる所がない。 ◇寺井駅の充実した駅舎の建設、駅裏との立体交差路線の早期実施。		
1-2	魅力ある能美市ならではのイベントの開催	回答数（構成比）：8 件（4.8%）
◇一つのイベントの規模が小さく、いろんな行事が多いので、隔年開催で中身を充実させた方がよい。 ◇里山里海体感イベント、工作体験、町村対抗の体育大会など。 ◇若い人、小さい子向けのイベントがもっとあったらよい。		
1-3	定住化の促進	回答数（構成比）：1 件（0.1%）
◇宅地分譲地が少なすぎる(寺井地区、根上地区)。		
1-4	“能美ブランド” づくり	回答数（構成比）：2 件（1.2%）
◇伝統産業九谷焼にこだわるのではなく、能美市独自のものを発掘し発展して欲しい(九谷焼は石川県、加賀地方全般のもの)。 ◇能美市ならではの施策を推進してほしい。		
1-5	能美市の情報発信・PR の取り組み	回答数（構成比）：13 件（7.7%）
◇幅広い住宅提供情報がほしい。 ◇J R 北陸本線の運行情報を有線放送やケーブルテレビのテロップで知らせてほしい。 ◇市のHPを見やすく、情報を充実してほしい（イベント情報、地震・大雨などの緊急情報など）。 ◇PR のためにマスコミを利用したら良い。		
1-6	国際交流の推進	回答数（構成比）：1 件（0.6%）
◇公共の場の国際化を進めるべき。病院、役所、図書館など英語が通じず不便な事が多い。		
1-7	大学との連携	回答数（構成比）：0 件（0.0%）
—		

2 歴史・自然		
2-1	歴史・文化・伝統を後世につなげる取り組み	回答数（構成比）：0 件（0.0%）
—		
2-2	豊かな自然環境をまもり、活かす取り組み	回答数（構成比）：2 件（1.2%）
◇海岸の整備（消波ブロックはダメ、ゴミが多い）。 ◇企業誘致をして、自然環境を守り、住みやすい地域として人口増加を期待。		
2-3	里山をまもり、活かす取り組み	回答数（構成比）：0 件（0.0%）
—		
2-4	水環境をまもり、活かす取り組み	回答数（構成比）：0 件（0.0%）
—		
2-5	環境に配慮した取り組み	回答数（構成比）：1 件（0.6%）
◇自然環境を活かした、全国的な太陽光発電のモデル市を目指す。		
2-6	ごみ処理対策	回答数（構成比）：7 件（4.2%）
◇粗大ごみの収集日を作ってほしい。 ◇市民ぐるみの清掃の取り組みや、家庭・教育機関でも繰り返しの教育が大切。 ◇プラスチックのゴミの収集日が、週 1 回あると助かります。		
2-7	きれいなまちなみ・景観づくり	回答数（構成比）：0 件（0.0%）
—		

3 居住環境		
3-1	生活に身近な公園や緑地の整備	回答数（構成比）：7 件（4.2%）
◇子どもが安全に遊べる公園を整備してほしい。 ◇安全で安心して遊べる道具を設置してほしい。		
3-2	市営住宅の整備	回答数（構成比）：0 件（0.0%）
—		
3-3	適正な土地利用の推進	回答数（構成比）：1 件（0.6%）
◇コンパクトシティの推進。		
3-4	広域幹線道路網の整備	回答数（構成比）：6 件（3.6%）
◇道路幅を広くしてほしい。ミラーをつけてほしい。 ◇旧国道 8 号に出る道が危ない。毎年のように子供が交通事故にあっている。 ◇寺井駅から中町浜町へ抜けられる道路があるとよい。 ◇道路づくりの視点が山間部を中心としすぎ。		
3-5	人や自転車にやさしい道路の整備	回答数（構成比）：13 件（7.7%）
◇中学生の自転車のマナーが悪い（並進など）。学校でも注意をしてほしい。 ◇一般道の歩道の改修、改良を望む。 ◇消融雪設備の設置。除雪車が入るのが遅い。 ◇車の運転マナーが悪い。もう少しゆずりあいの心があれば。 ◇街灯が少ない。		
3-6	公共交通網の整備	回答数（構成比）：14 件（8.3%）
◇公共交通のバス等が不便。交通機関を充実させてほしい。 ◇小松市で通学する学生は、小松バスと提携して 1 ヶ月 2 5 0 0 円の定期代で小松内乗り放題だった。加賀白山バスや小松バスと提携してほしい。 ◇I ボックスカー導入や地元タクシー導入などの検討。 ◇買物弱者への促進を願う。		
3-7	上下水道の整備	回答数（構成比）：0 件（0.0%）
—		
3-8	防犯・交通安全対策の推進	回答数（構成比）：2 件（1.2%）
◇外国人が増えると犯罪も増えるのでは。 ◇独身者利用のアパートが多くなったので治安が心配。		
3-9	防災対策の推進	回答数（構成比）：5 件（3.0%）
◇大雨が降るとしらさぎの里の自宅が浸水する。 ◇防災に対する意識を行政・地域・個々、もっと強く持たなければならない。 ◇地震、大雨などの緊急の情報は H P のトップに分かりやすく大きく表示してほしい。		

4 健康・福祉		
4-1	医療体制や健康づくりの取り組み	回答数（構成比）：8 件（4.8%）
◇子供の医療費助成について、窓口では無料にしてほしい。後日の申請が面倒。		
4-2	高齢者福祉の取り組み	回答数（構成比）：4 件（2.4%）
◇老人介護（施設）、子供施設の充実が良い。		
◇障がい者、高齢者など弱い立場の人達にやさしい町にっそう努力をお願いします。		
◇認知症の各施設での予防、特に男の人が参加するようにしてほしい。		
4-3	障がい者福祉の取り組み	回答数（構成比）：2 件（1.2%）
◇障がい者を持つ家族への対応を改善すべし。		
◇障がい者、高齢者など弱い立場の人達にやさしい町にっそう努力をお願いします。		
4-4	児童福祉・子育て支援の取り組み	回答数（構成比）：5 件（3.0%）
◇各保育園に看護師さんの資格のある人を待機させてほしい。		
◇土日も乳幼児の健診が可能にしてほしい。		
◇老人介護（施設）、子供施設の充実が良い。		
4-5	社会保障の取り組み	回答数（構成比）：3 件（1.8%）
◇1 年単位で医療保健を利用しない人には、次年度は保険料を割引してほしい。		
◇国保税を地方並にしてほしい。資産割をなくしてほしい。		
◇社会保障制度の充実を計ってほしい。		
4-6	バリアフリーの取り組み	回答数（構成比）：0 件（0.0%）
—		
4-7	地域福祉の取り組み	回答数（構成比）：0 件（0.0%）
—		

5 産業・観光		
5-1	農林業の振興	回答数（構成比）：1 件（0.6%）
◇地産地消をもっと推進し、T P P を考慮して農業分野に力を入れるべき。		
5-2	商業の振興、商店街の活性化	回答数（構成比）：6 件（3.6%）
◇辰口中心街地をもっと活性化させてほしい。出店に支援してはどうか。		
◇小さくてもよいのでショッピングモールがあったらよい。		
◇寺井駅前商店街に活気が全くないのがさみしい。		
5-3	工業の振興	回答数（構成比）：1 件（0.6%）
◇工業部分の誘致には、インフラ整備（電力）が不可欠。		
5-4	観光の振興	回答数（構成比）：6 件（3.6%）
◇辰口温泉が賑わうように、もっと市民に使ってもらえるようにしてはどうか。辰口温泉の P R が非常に弱い。		
◇辰口足湯の看板が小さく、分かりにくい。足湯に近場の入浴施設のクーポンなどを設置すれば利用者も増えるのではないかな。		
◇スポーツ施設の使用料が、市民以外は 2 倍に値上げしたため観光客が来なくなった。		
◇観光や歴史についての取り組みについては、何をしているのかピンとこない。		
5-5	北陸先端大と企業・地域・市との連携	回答数（構成比）：1 件（0.6%）
◇北陸先端大と寺井駅のバスが多い。北陸先端大ばかりにお金を費やしている。		
5-6	起業支援・産業連携	回答数（構成比）：2 件（1.2%）
◇企業をもっと誘致してほしい。		
5-7	九谷焼などの伝統産業の振興	回答数（構成比）：1 件（0.6%）
◇九谷焼は伝統工芸であり主要な産業にはなりえないので、伝統工芸としての保存に切り替えるべき。		
5-8	労働環境の向上・支援	回答数（構成比）：2 件（1.2%）
◇正社員として働ける場所をもっと増やしてほしい（工業系、保育系）。		
◇全ての人が安定して働ける環境をつくってほしい（派遣社員が正社員になれるよう企業への指導、工業団地内の保育園や学童保育の整備など）。		
5-9	消費生活の向上への取り組み	回答数（構成比）：0 件（0.0%）
—		

6 教育・文化・スポーツ		
6-1	学校教育の充実に向けた取り組み	回答数（構成比）：6 件（3.6%）
◇図書館の充実（インターネットによる図書予約、24 時間運営）。 ◇子供のイベント時に、送迎バスがあると便利。 ◇児童学童の部活・クラブ活動の時間を見直すべき（小学生で2 1 時半までは遅すぎ）。		
6-2	青少年の健全育成の取り組み	回答数（構成比）：0 件（0.0%）
—		
6-3	生涯学習の取り組み	回答数（構成比）：3 件（1.8%）
◇旧辰口保育園舎を合宿所、児童館、生涯学習施設等に活用してはどうか。 ◇子供にむけたあいさつ運動ではなく、大人同士のあいさつ運動のよびかけが必要。 ◇生涯学習のための活動場所の確保や保障をお願いします。		
6-4	芸術・文化の振興	回答数（構成比）：1 件（0.6%）
◇夜間のスポーツクラブは盛んだが、文化教室も色々企画してほしい。		
6-5	スポーツ・レクリエーションの推進	回答数（構成比）：3 件（1.8%）
◇スポーツ、体育施設を維持し、子供から大人、高齢者までスポーツの場を守って下さい。 ◇体育館の使用時間の充実（遅い時間帯までの使用、年末年始の使用など）		

7 行財政		
7-1	効率的な行政運営の取り組み	回答数（構成比）：14 件（8.3%）
◇旧 3 町のまとまりや意識改革が必要。 ◇行政の若返り（世代交替）を図り、前例等にこだわらない柔軟な施策の推進を期待。 ◇既存施設をうまく運営する。 ◇行政の業務を民間に委任しては（公園の草むしり、道路の草刈など）。		
7-2	財政の健全化に向けた取り組み	回答数（構成比）：7 件（4.2%）
◇九谷焼の伝統維持に固執しすぎている感じがする。冷静に現状を判断しなければ、財政的に苦しくなっていくと思われる。 ◇他市町より住民税が高い。 ◇経費節約が必要。名目だけの中身の伴わない箱物は不必要。		
7-3	行政サービスの向上への取り組み	回答数（構成比）：17 件（10.1%）
◇行政の市民に対する満足度について、少なくとも石川県内での上位に採点出来る市にしてほしい。 ◇以前、電話の対応に不愉快を感じた。 ◇地域によるサービス提供のバラツキ(中心部と郊外地区)が大きい。 ◇目線をもっと市民に近づけた行政が必要。		
7-4	市政に関する情報公開・情報提供の取り組み	回答数（構成比）：9 件（5.4%）
◇各種施策が伝わるように分かりやすいアピールをしてほしい。 ◇プランと評価が見えるようにしてほしい。 ◇定期的に市政説明会を各地域で開催してほしい。		

8 参画・協働

8-1	市民と行政が力を合わせたまちづくり	回答数（構成比）：5 件（3.0%）
◇市職員の祭り等へのボランティア協力に感謝しています。 ◇行政に対して無関心な人が多い。 ◇行政がすべきことと、市民がすべきことを分け、市民のすべきことに行政は関与しないことが大切。 ◇地域合同行事が少ない。		
8-2	自治会などの地域活動	回答数（構成比）：2 件（1.2%）
◇環境が良くても人間関係が悪いと地域の中での不満が多く悩みが増える。行政で助けてほしい。 ◇各地区で開く脳トレ教室等に参加人数が少ないのが残念。		
8-3	ボランティアやNPOなどへの支援	回答数（構成比）：1 件（0.6%）
◇ボランティアの人たちは専門的になっており、中に入りにくい。		
8-4	男女共同参画社会づくりの取り組み	回答数（構成比）：0 件（0.0%）
—		

9 総合評価

9-1	能美市における施策全体の総合評価	回答数（構成比）：4 件（2.4%）
◇他の市町村に比べ各種施策が劣っているように思える。 ◇健康・福祉に関して、能美市はとても恵まれている。 ◇生命、身体、財産の保護、安全安心のまちづくりと希望が持てる未来構想については、きっちりと予算を組んでやってほしい。		

その他意見

回答数（構成比）：8 件（4.8%）
◇能美市の規制緩和が他自治体に比べ進んでいない。 ◇インターネットによる公共料金申込み。 ◇市民に良いものをお願いします。

合計

回答数（構成比）：208 件（123.8%）

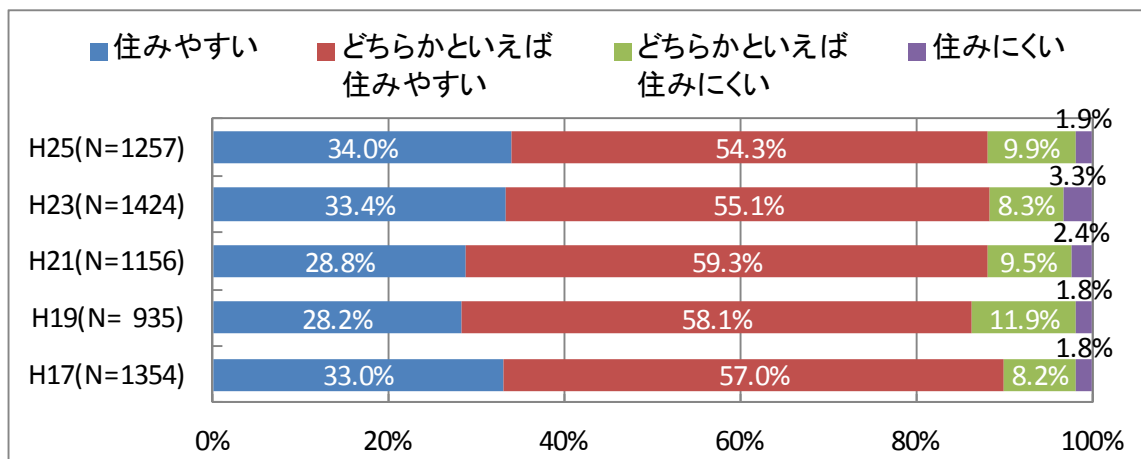
(3) 能美市に住むことについて

問 13 あなたは、能美市を住みやすいところだと思いますか？

◆「どちらかといえば住みやすい」が 54.3%と最も多く、次いで「住みやすい」が 34.0%で、約 9 割の方が能美市は住みやすいところであると評価しています。

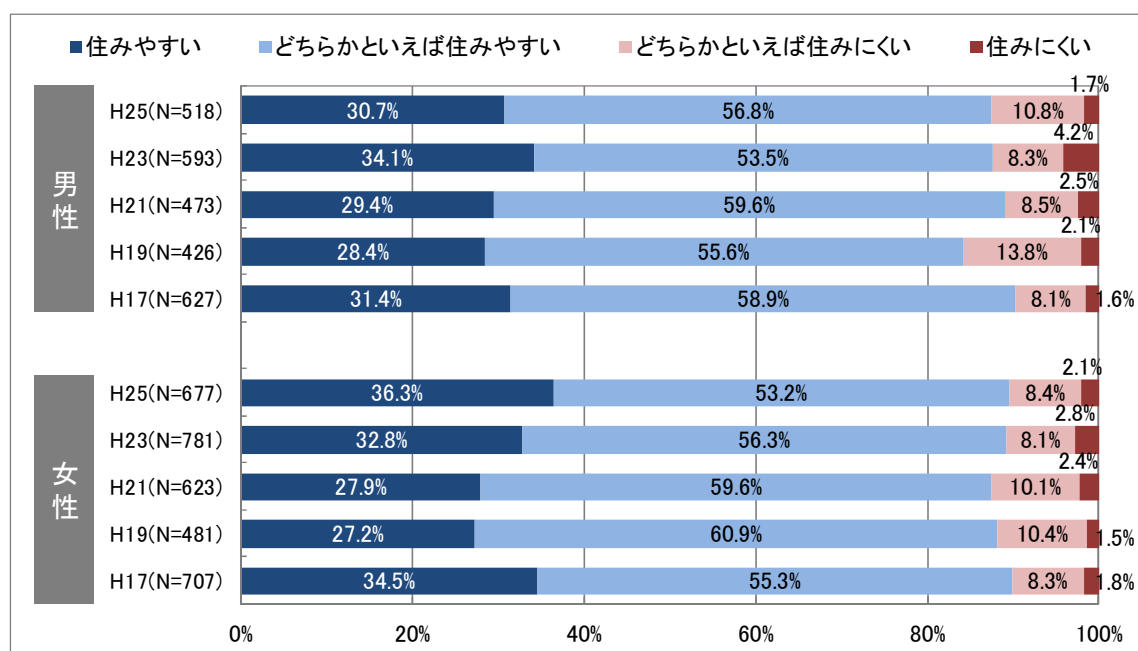
◆経年的な変化はみられません。

選択項目	H25(今回)		H23		H21		H19		H17	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
住みやすい	427	34.0%	475	33.4%	333	28.8%	264	28.2%	447	33.0%
どちらかといえば住みやすい	682	54.3%	784	55.1%	685	59.3%	543	58.1%	772	57.0%
どちらかといえば住みにくい	124	9.9%	118	8.3%	110	9.5%	111	11.9%	111	8.2%
住みにくい	24	1.9%	47	3.3%	28	2.4%	17	1.8%	24	1.8%
無回答	28	—	29	—	18	—	31	—	67	—
合計	1,285	—	1,453	—	1,174	—	966	—	1,421	—
回答者数(合計－無回答)	1,257	100.0%	1,424	100.0%	1,156	100.0%	935	100.0%	1,354	100.0%



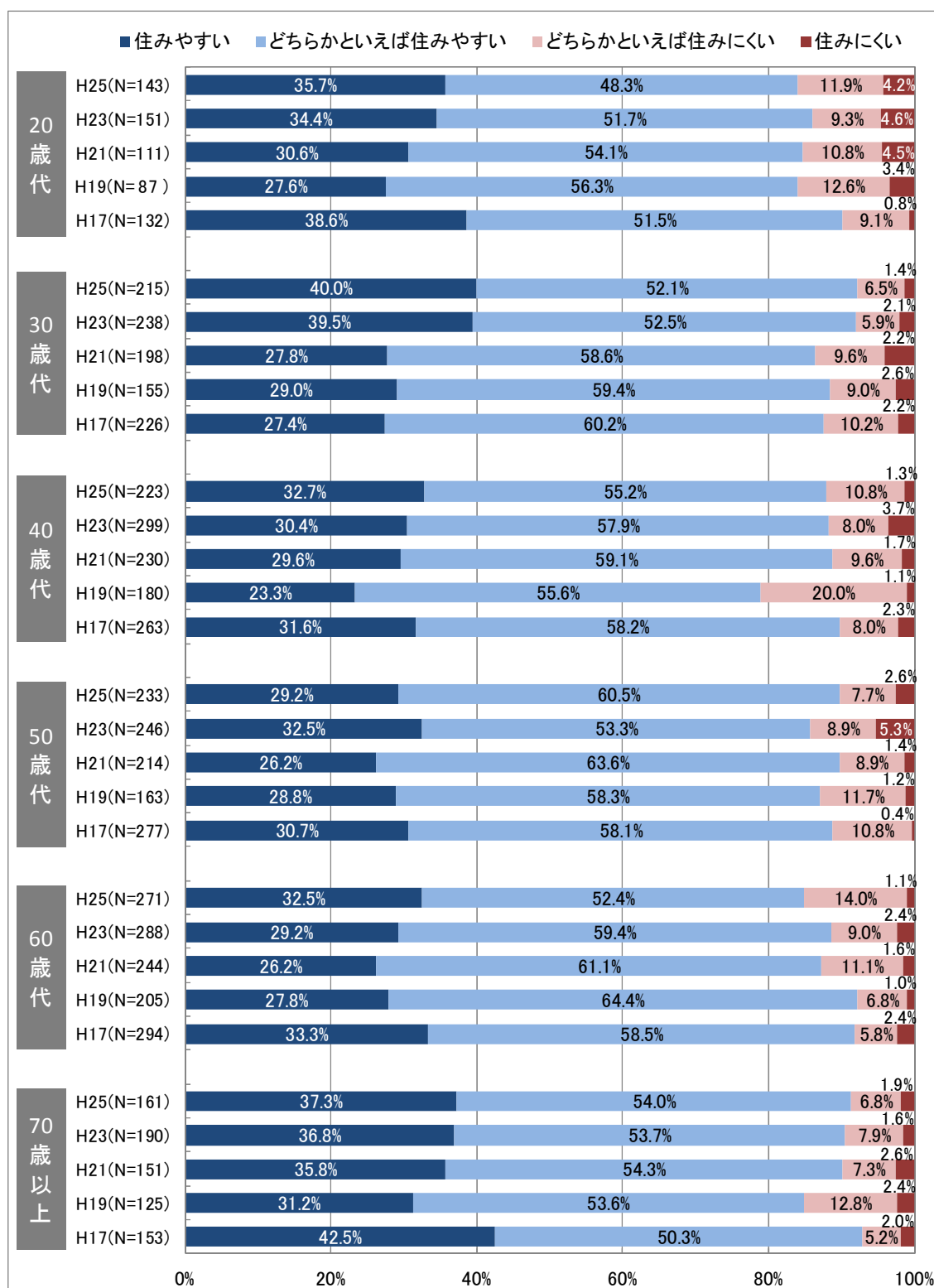
■能美市の住みやすさに対する意識（性別）

- ・性別による大きな違いはみられません。
- ・女性は H19 以降「住みやすい」が増加傾向にあります。



■能美市の住みやすさに対する意識（年代別）

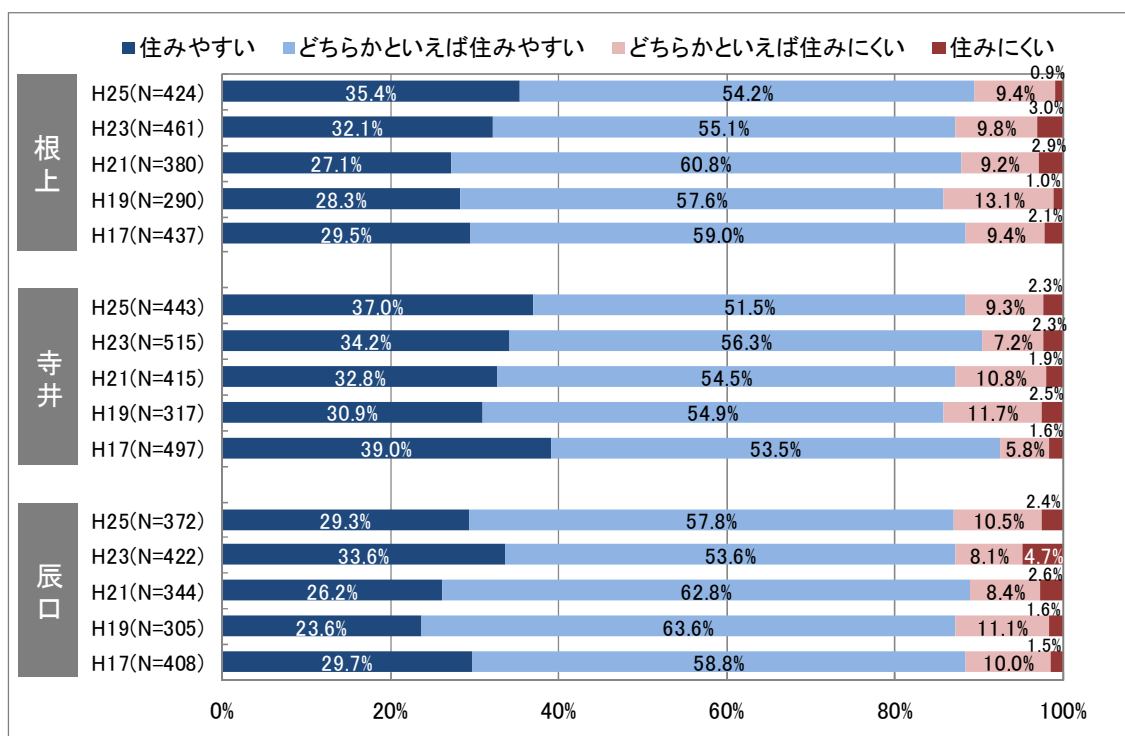
- ・全ての年代で「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」が8割以上となっています。
- ・また、H23 と比べて「住みやすい」が 50 歳代以外で増加しています。



■能美市の住みやすさに対する意識（地区別）

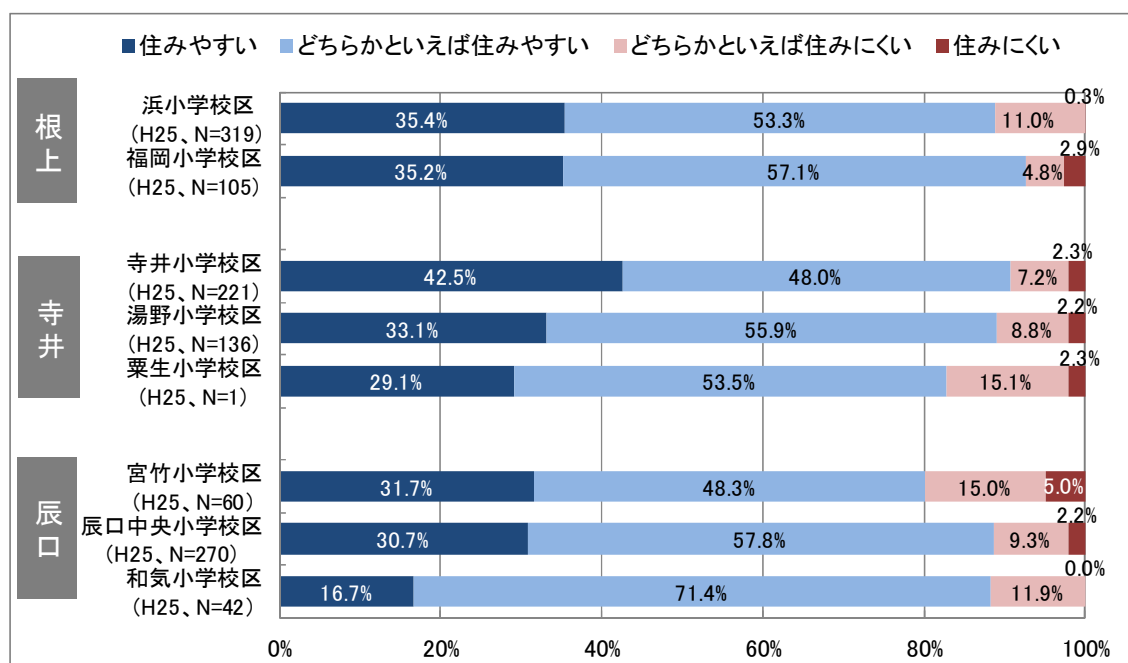
【地区別】

- ・ 3地区共に「住みやすい」が3割以上、「どちらかといえば住みやすい」が5割以上を占めており、両項目の合計は約9割となっています。
- ・ 根上、寺井では「住みやすい」がH23と比べて約3ポイント増加しています。
- ・ 根上、寺井はH21以降「住みやすい」が増加しています。



【小学校区別】

- ・ 粟生小学校区、宮竹小学校区では「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」が約2割を占めており、他の小学校校区と比べ、比較的高くなっています。



問 14 あなたは、これからも能美市に住み続けたいと思いますか？

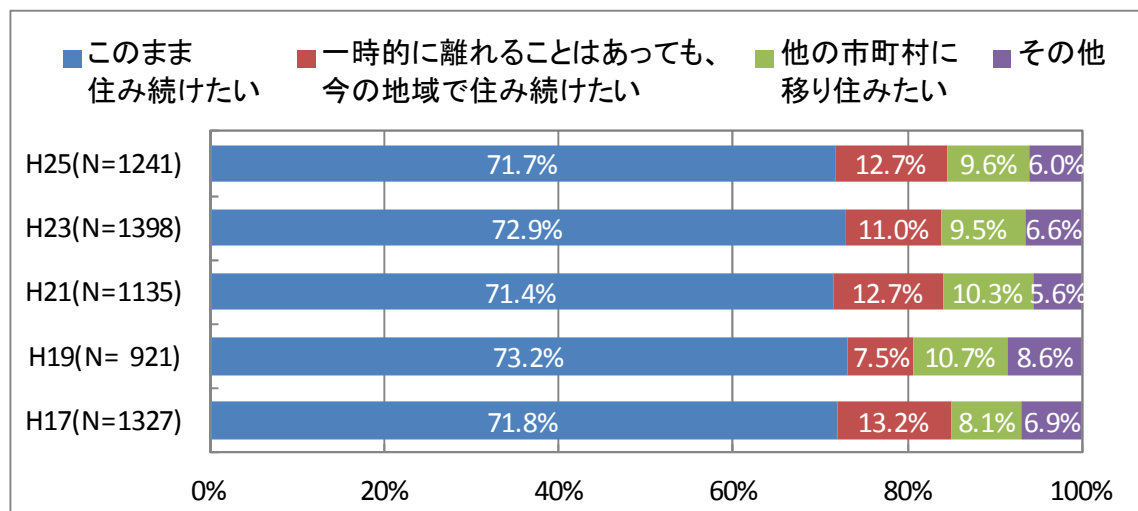
◆「このまま住み続けたい」が 71.7%と最も多く、次いで「一時的に離れることはあっても、今の地域で住み続けたい」が 12.7%で、8割以上の方が住み続けたい意向を示しています。

◆経年的な変化はみられません。

選択項目	H25(今回)		H23		H21		H19		H17	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
このまま住み続けたい	890	71.7%	1,019	72.9%	810	71.4%	674	73.2%	953	71.8%
一時的に離れることはあっても、今の地域で住み続けたい	158	12.7%	154	11.0%	144	12.7%	69	7.5%	175	13.2%
他の市町村に移り住みたい	119	9.6%	133	9.5%	117	10.3%	99	10.7%	107	8.1%
その他	74	6.0%	92	6.6%	64	5.6%	79	8.6%	92	6.9%
無回答	44	-	55	-	39	-	45	-	94	-
合計	1,285	-	1,453	-	1,174	-	966	-	1,421	-
回答者数(合計-無回答)	1,241	100.0%	1,398	100.0%	1,135	100.0%	921	100.0%	1,327	100.0%

その他： 分からない(4)、特にこだわりはない(3)、今後移る予定(2)、他の良いところがあれば移る(2)、住むしかない(2)、仕事次第(2)、能美市の他地域に移りたい、このまま住み続けたいと他の市町村に移り住みたい両方ある、もっと住みやすくなればそのまま住み続ける、金銭的に良くなれば移る、定年後移りたい など

※(): H25 における回答者数



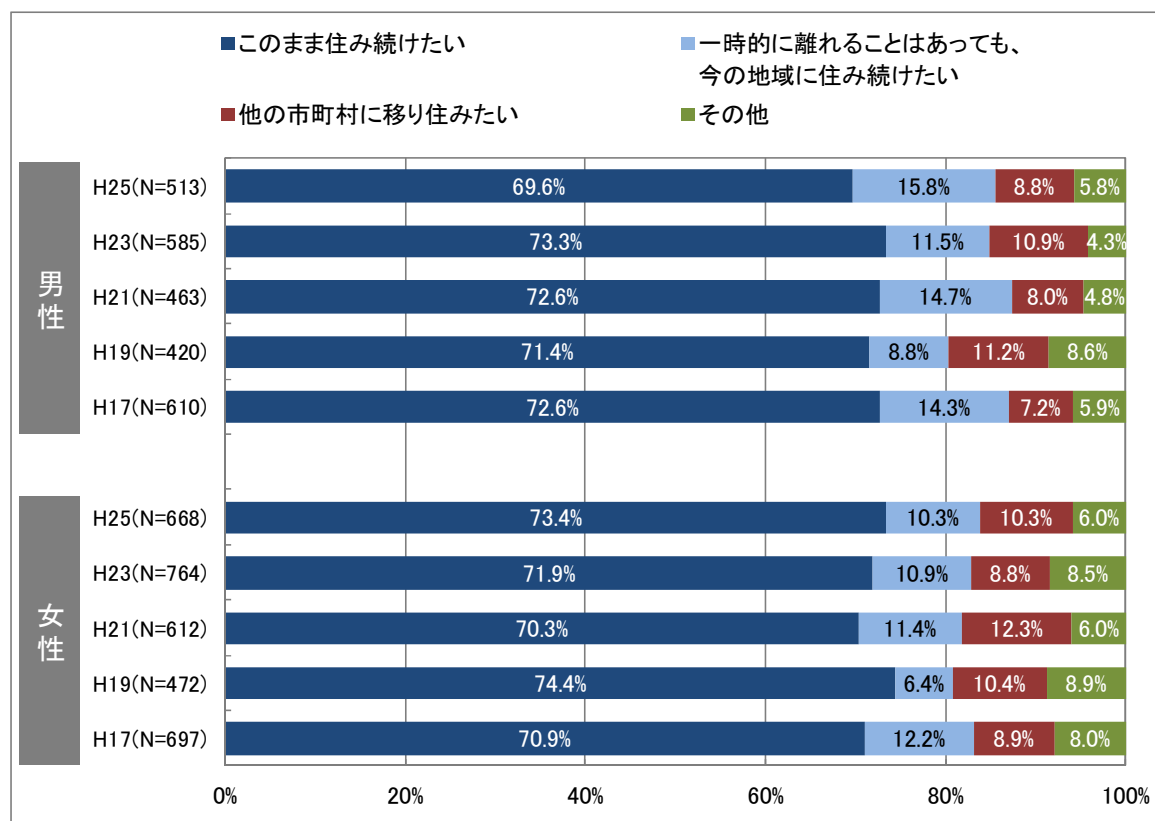
【定住意向の主な理由 (H25)】

定住意向	回答数	主な意見
①このままずっと住み続けたい	261 件	◇生まれ育った所だから
		◇家があるから
		◇住みやすい、生活しやすいから
②一時的に離れることはあっても、今の地域で住み続けたい	31 件	◇生まれ育った所だから
		◇住みやすいから
		◇住み慣れた所だから
③他の市町村に移り住みたい	73 件	◇交通が不便であるため
		◇地元に戻りたいから
		◇地域性、人間性が合わないから

※詳細は「自由回答一覧」を参照して下さい。

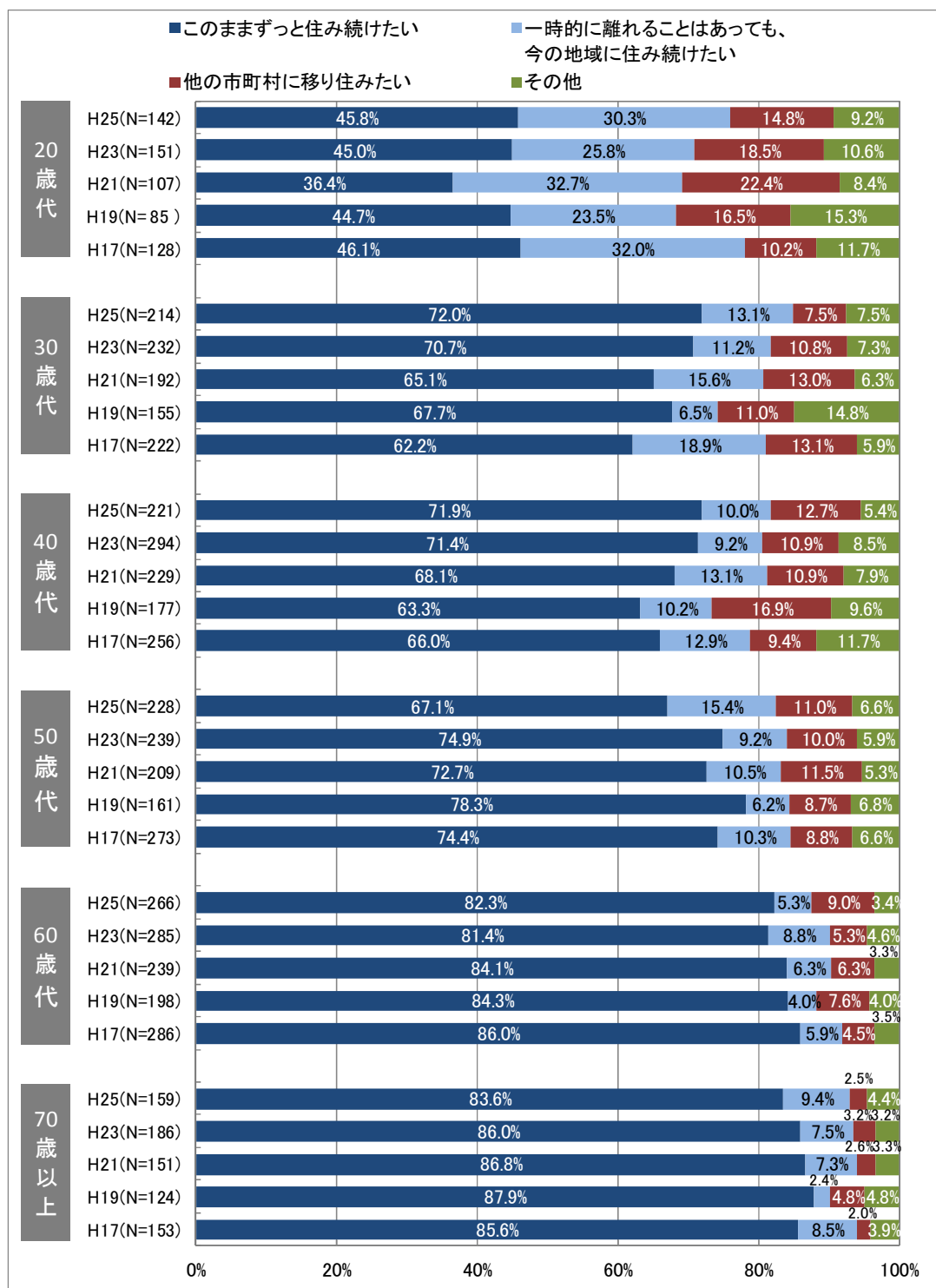
■将来的な定住意向（性別）

- ・男性は「一時的に離れることはあっても、今の地域に住み続けたい」が 15.8%と女性より約 6 ポイント高くなっています。
- ・男女共に、経年的な変化はみられません。



■将来的な定住意向（年代別）

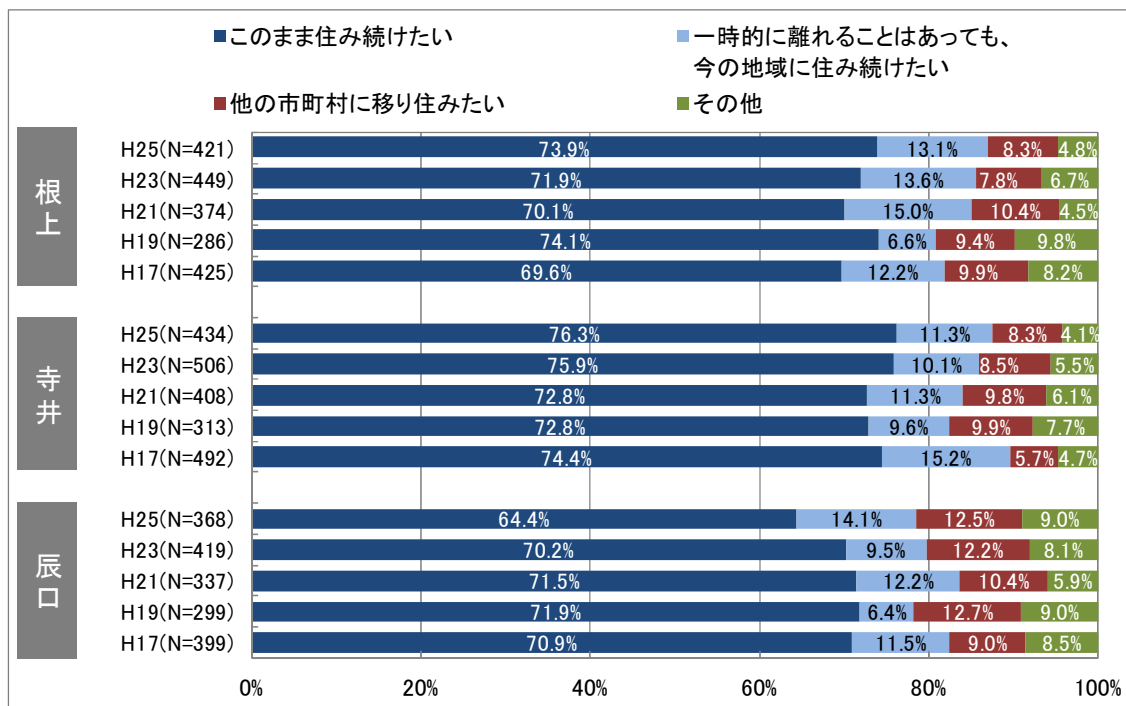
- ・どの年代においても「このままずっと住み続けたい」が最も多くなっていますが、20 歳代は他の年代と比べて 21 ポイント以上低くなっています。一方で、20 歳代は「一時的に離れることがあっても今の地域に住み続けたい」が 30.3%と、他の年代と比べて 14 ポイント以上高くなっています。
- ・60 歳以上の方の約 9 割が住み続けたい意向を示しています。
- ・全体的に「このままずっと住み続けたい」が H23 と比べ増加していますが、50 歳代は減少しています。



■将来的な定住意向（地区別）

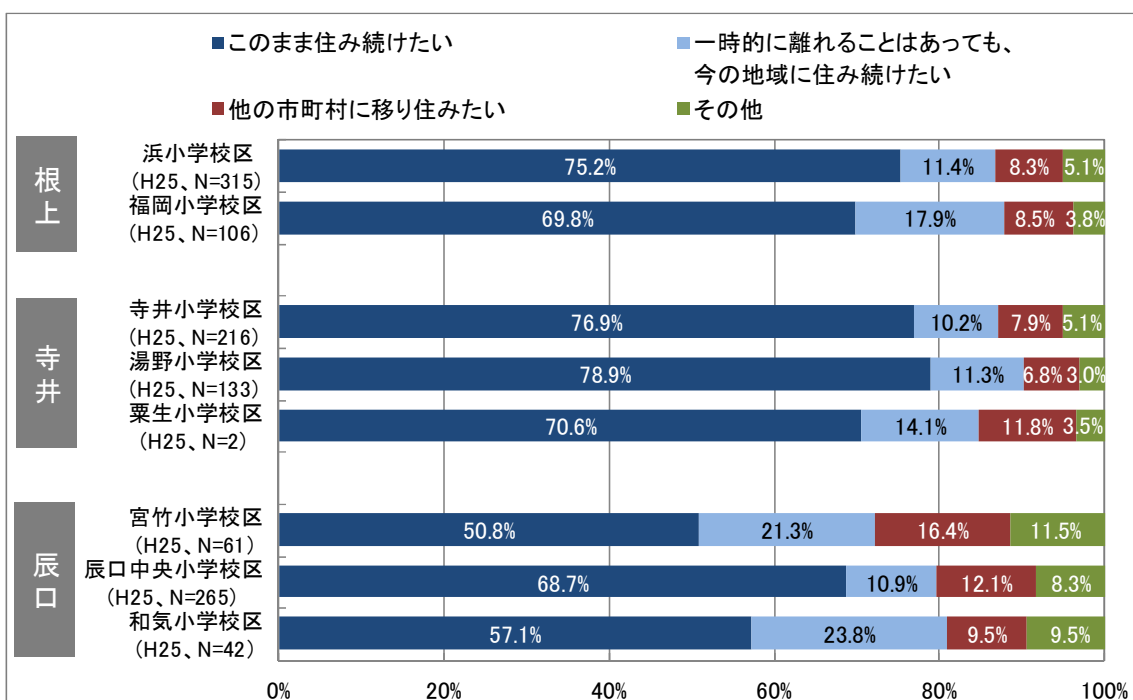
【地区別】

- ・根上と寺井は、「このまま住み続けたい」と「一時的に離れることはあっても、今の地域に住み続けたい」の合計がそれぞれ 87.0%、87.6%と辰口より 8 ポイント以上高くなっています。
- ・辰口では H23 と比べて「住み続けたい」が約 6 ポイント減少しています。



【小学校区別】

- ・浜小学校区、福岡小学校区、寺井小学校区、湯野小学校区は「このまま住み続けたい」と「一時的に離れることはあっても、今の地域に住み続けたい」の合計が約 9 割となっています。



問 15 能美市に定住した主なきっかけは何ですか？（当てはまるもの全てに○）

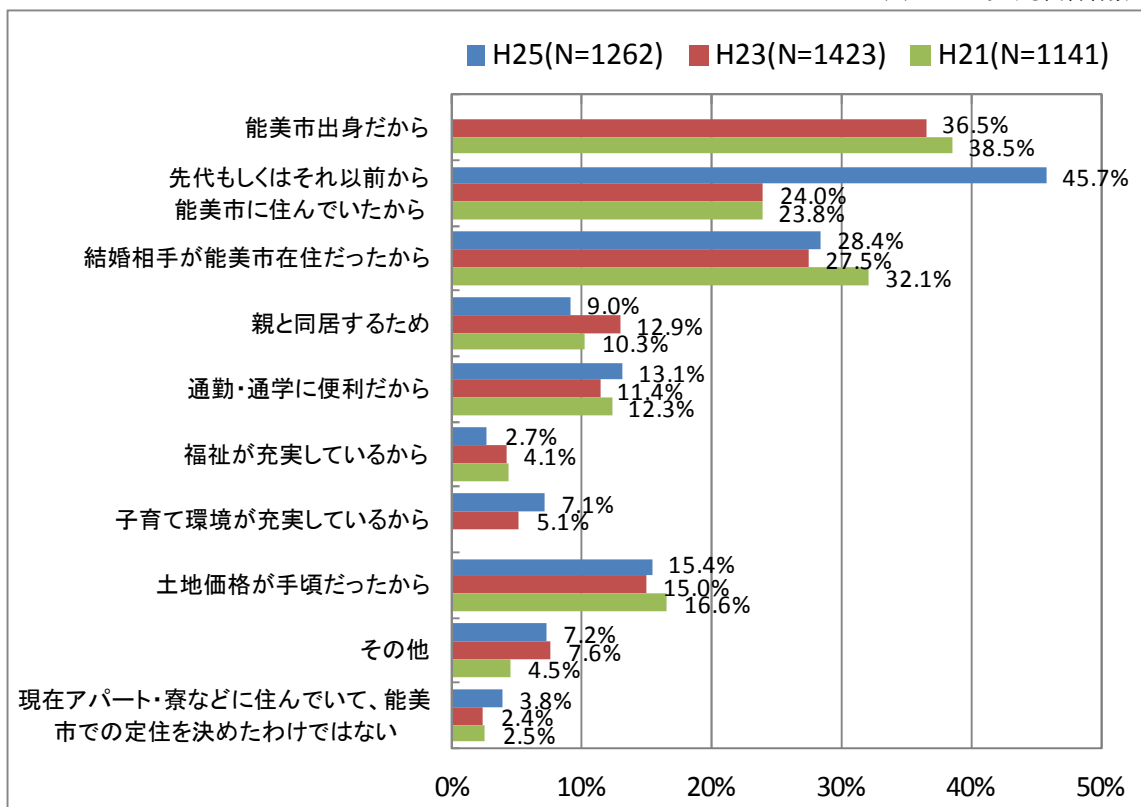
※H21 に追加した設問

- ◆「先代もしくはそれ以前から能美市に住んでいたから」が 45.7%と最も多く、次いで「結婚相手が能美市在住だったから」が 28.4%、「土地価格が手頃だったから」が 15.4%となっています。
- ◆H23 に比べると、「能美市出身だから」の項目を「先代もしくはそれ以前から能美市に住んでいたから」と合わせたことから、「先代もしくはそれ以前から能美市に住んでいたから」の回答が増えているが、その他の項目に大きな変化はみられません。

選択項目	H25(今回)		H23		H21	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
能美市出身だから	-	-	519	36.5%	439	38.5%
先代もしくはそれ以前から能美市に住んでいたから	577	45.7%	341	24.0%	272	23.8%
結婚相手が能美市在住だったから	358	28.4%	391	27.5%	366	32.1%
親と同居するため	114	9.0%	184	12.9%	117	10.3%
通勤・通学に便利だから	165	13.1%	162	11.4%	140	12.3%
福祉が充実しているから	34	2.7%	59	4.1%	49	4.3%
子育て環境が充実しているから	89	7.1%	73	5.1%	-	-
土地価格が手頃だったから	194	15.4%	213	15.0%	189	16.6%
その他	91	7.2%	108	7.6%	51	4.5%
現在アパート・寮などに住んでいて、能美市での定住を決めたわけではない	48	3.8%	34	2.4%	29	2.5%
無回答	23	-	30	-	33	-
回答数	1,693	134.2%	2,114	148.6%	1,685	147.7%
回答者数(有効回答-無回答)	1,262	100.0%	1,423	100.0%	1,141	100.0%

その他： 仕事のため(21)、自然環境が良いから(11)、土地・家の売出・貸出があったから(8)、親・子と同居するため(6)、家族や親戚がいたから(6)、土地があったから(5)、住環境が良いから(4)、仕事場や実家の中間のため(4)、親戚や知人に勧められたから(2)、グリーンタウンができたから、以前住んでいたため、親が決めたから、住宅を購入したから、温泉があるから、きれいな街並みのため、土地をもらったから、病院ができたから、不動産の紹介、将来性があると思ったから など

※(): H25 における回答者数

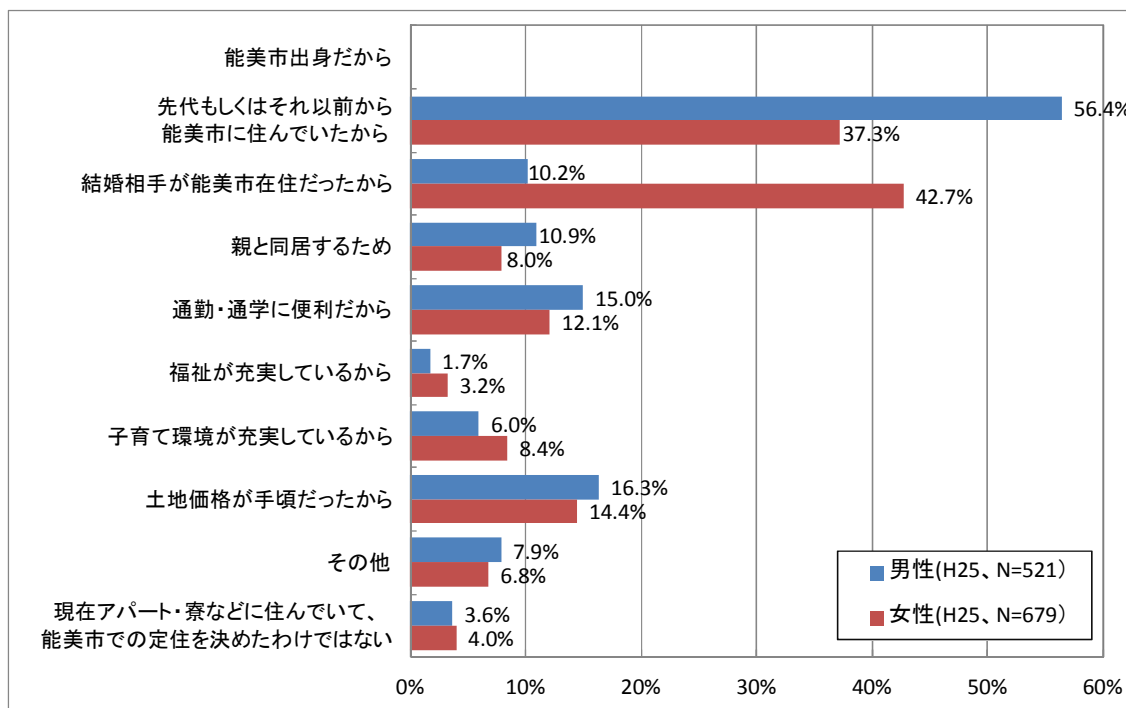


※「子育て環境が充実しているから」は H23 より調査項目を追加、
「能美市出身だから」は H25 より削除

■能美市に定住した主なきっかけ（性別）

【今回（H25）】

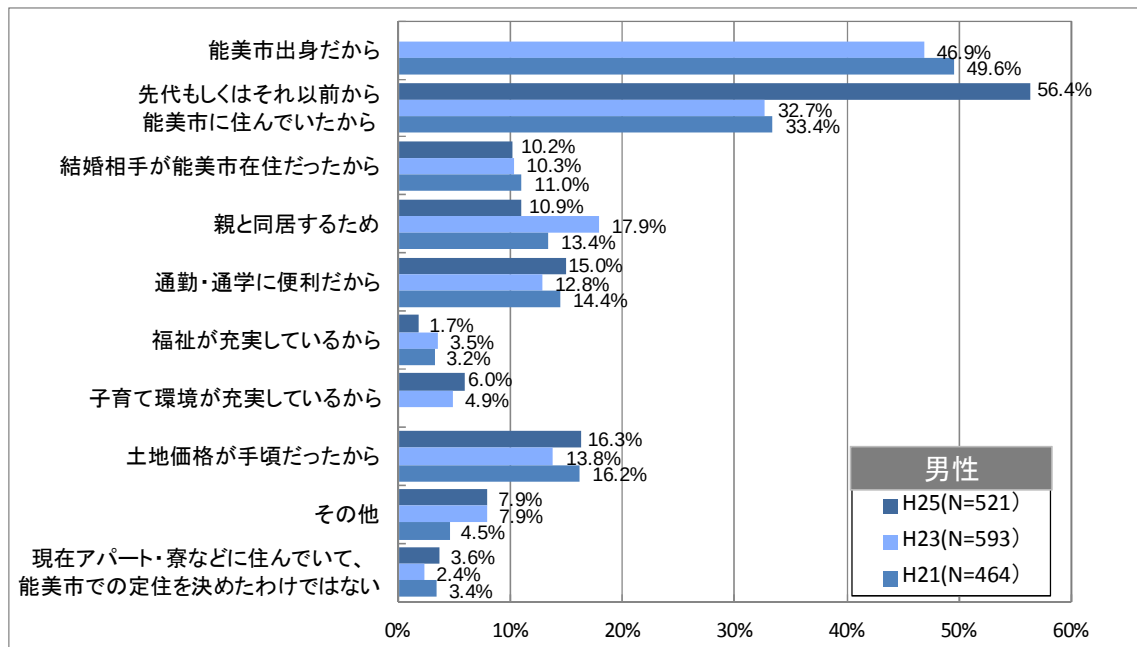
- ・男性は「先代もしくはそれ以前から能美市に住んでいたから」が 56.4%と最も多く、女性より約 19 ポイント高くなっており、次いで「土地価格が手頃だったから」が 16.3%となっています。
- ・女性は「結婚相手が能美市在住だったから」が 42.7%と最も多く、男性より約 33 ポイント高くなっています。



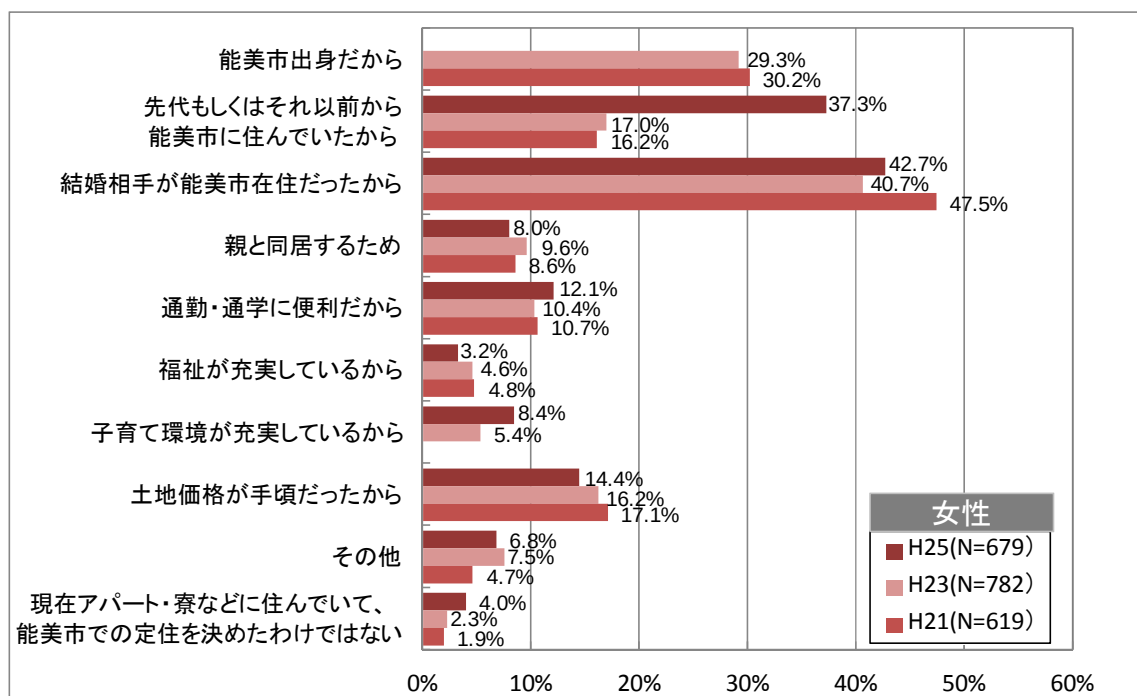
※「能美市出身だから」は H25 より削除

【経年変化】

- ・男性は、「親と同居するため」が H23 と比べて 7 ポイント減少しています。
- ・女性は、経年的な変化はみられません。



※「子育て環境が充実しているから」は H23 より調査項目を追加、
「能美市出身だから」は H25 より削除

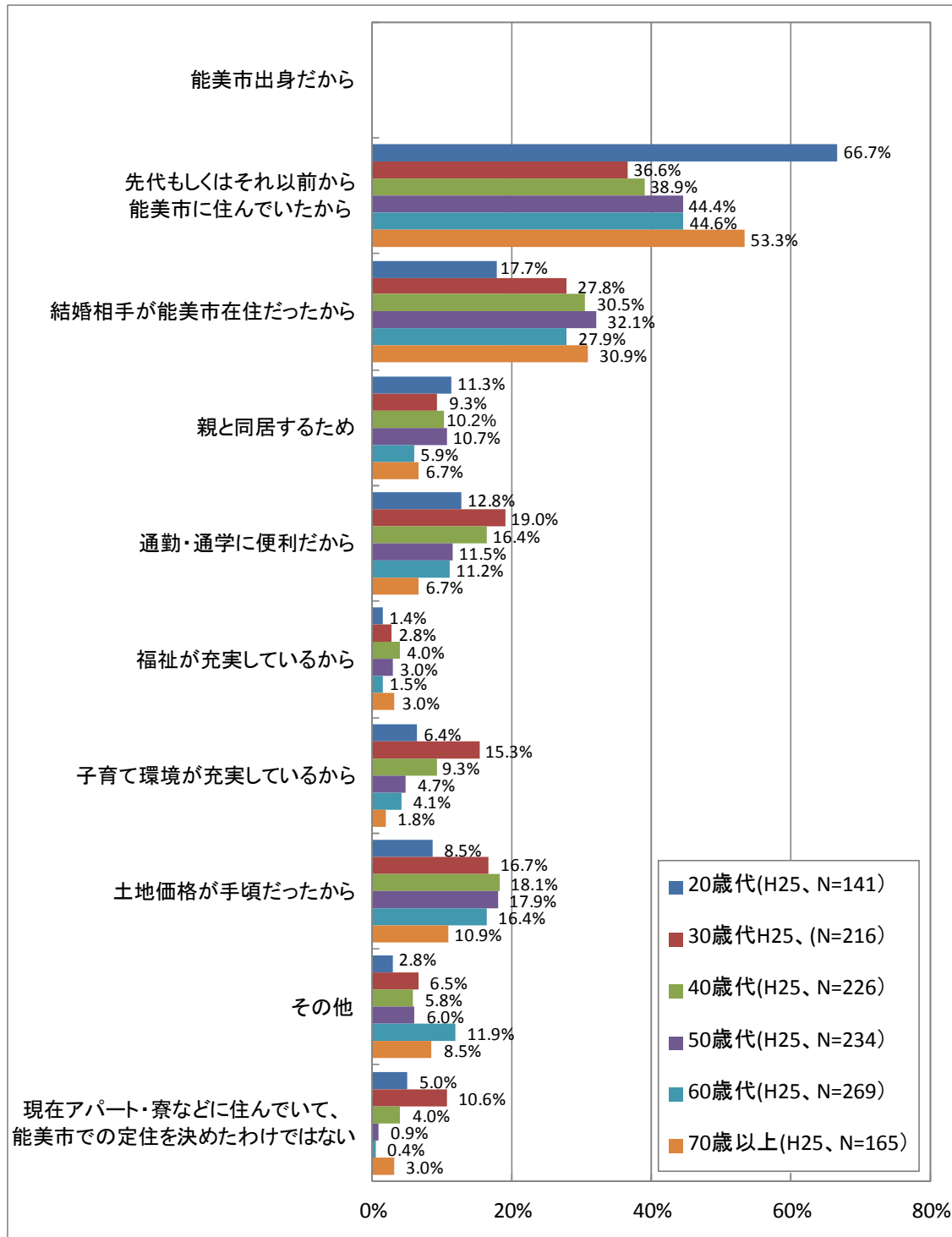


※「子育て環境が充実しているから」は H23 より調査項目を追加、
「能美市出身だから」は H25 より削除

■能美市に定住した主なきっかけ（年代別）

【今回（H25）】

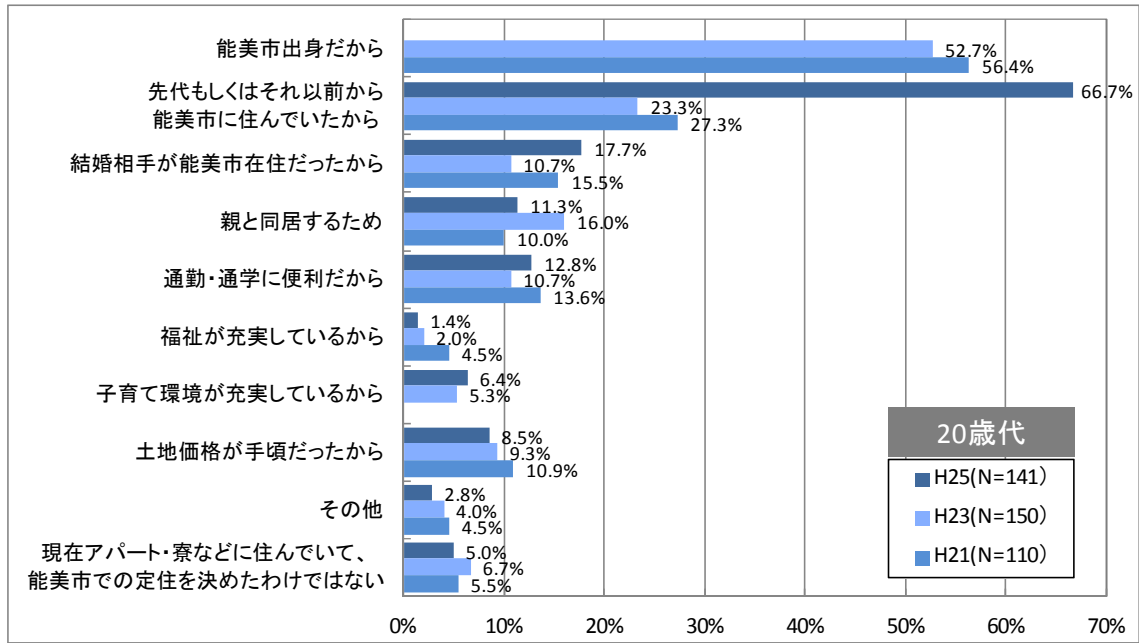
- ・20 歳代は「先代もしくはそれ以前から能美市に住んでいたから」が 67.7%と最も多くなっています。
- ・30 歳代は「子育て環境が充実しているから」が 15.3%と他と比べて 6 ポイント以上高くなっています。



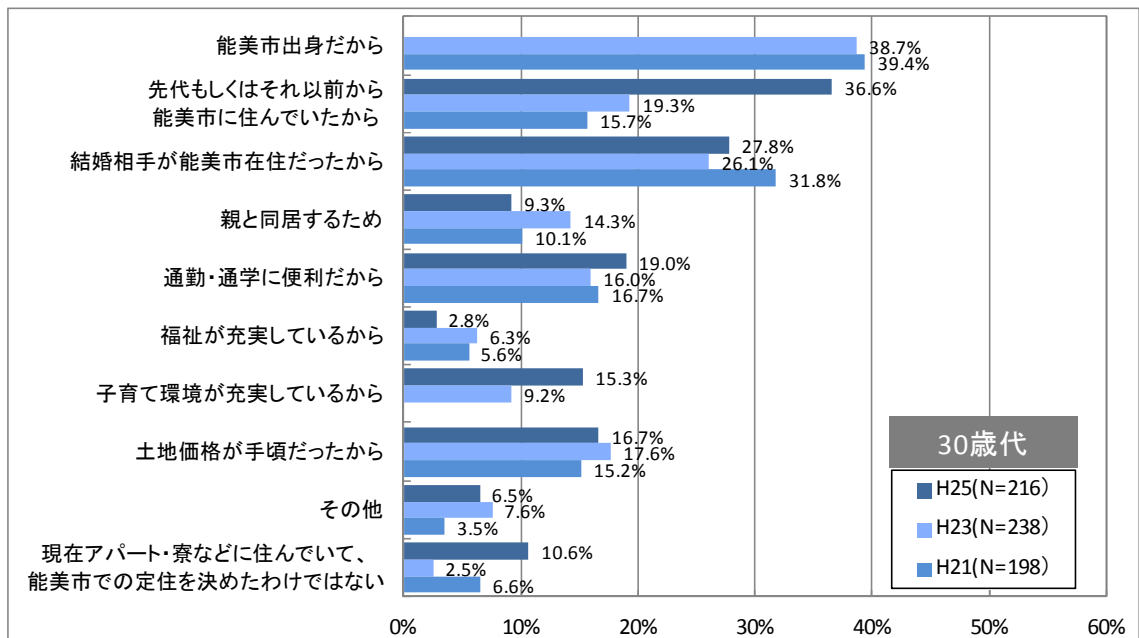
※「能美市出身だから」は H25 より削除

【経年変化】

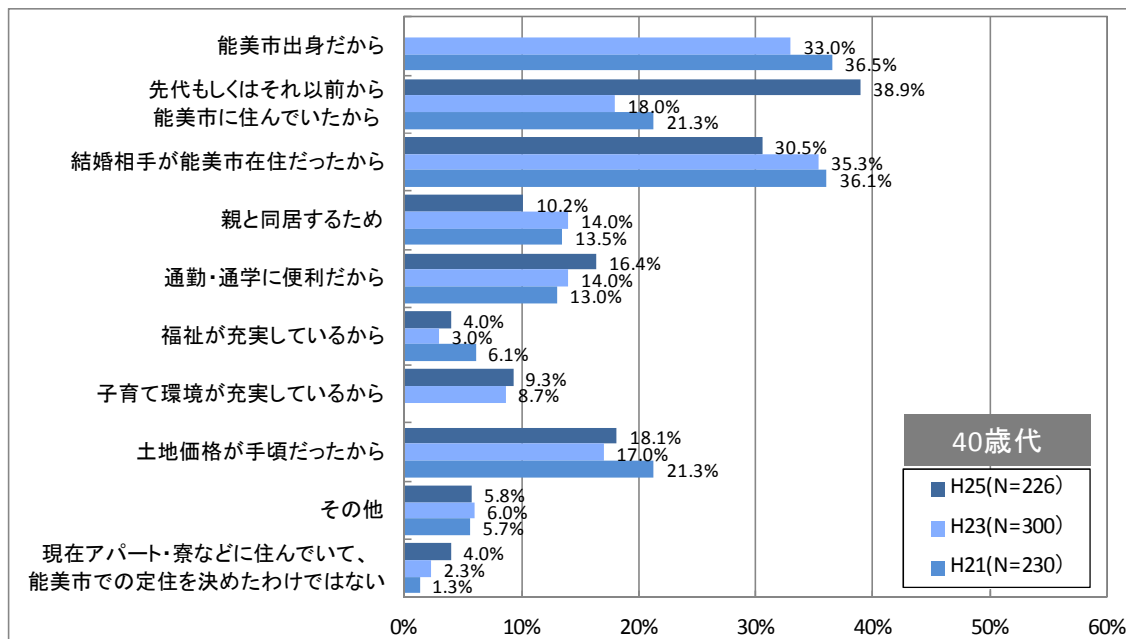
- ・全ての年代で「親と同居するため」が減少しています。
- ・40 歳代、50 歳代、60 歳代は「土地価格が手頃だったから」増加していますが、他の年代では減少しています。



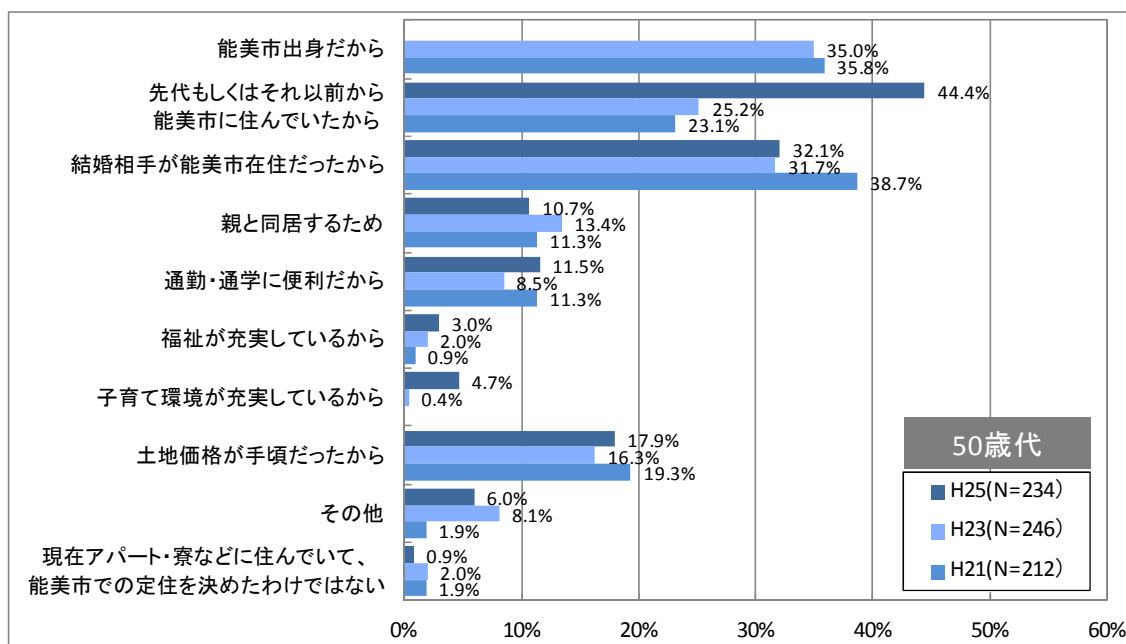
※「子育て環境が充実しているから」は H23 より調査項目を追加、
「能美市出身だから」は H25 より削除



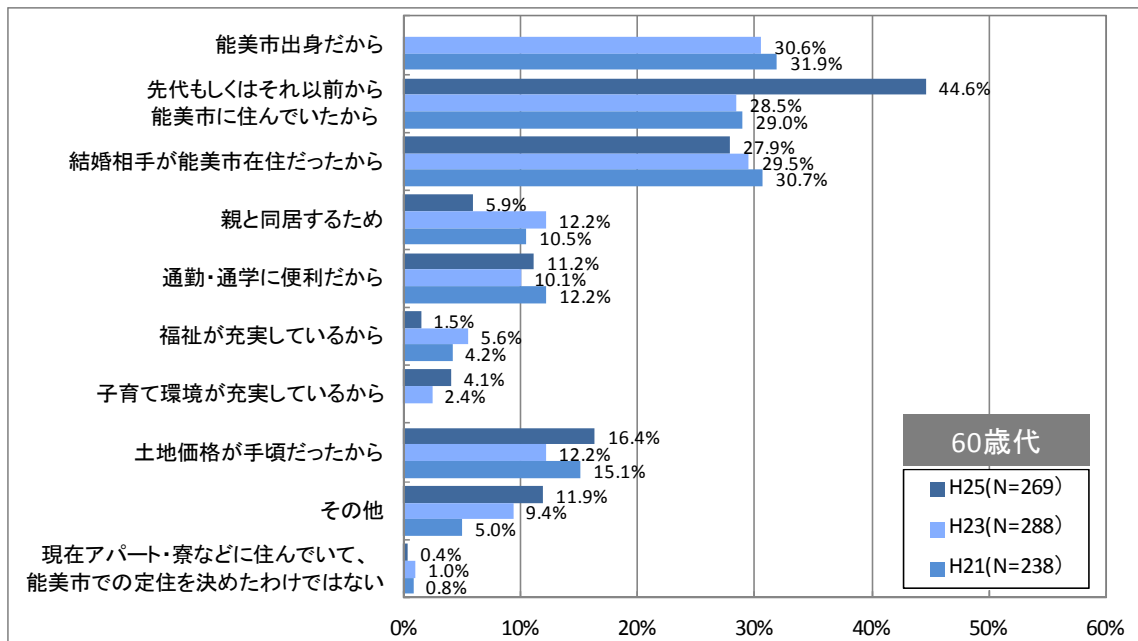
※「子育て環境が充実しているから」は H23 より調査項目を追加、
「能美市出身だから」は H25 より削除



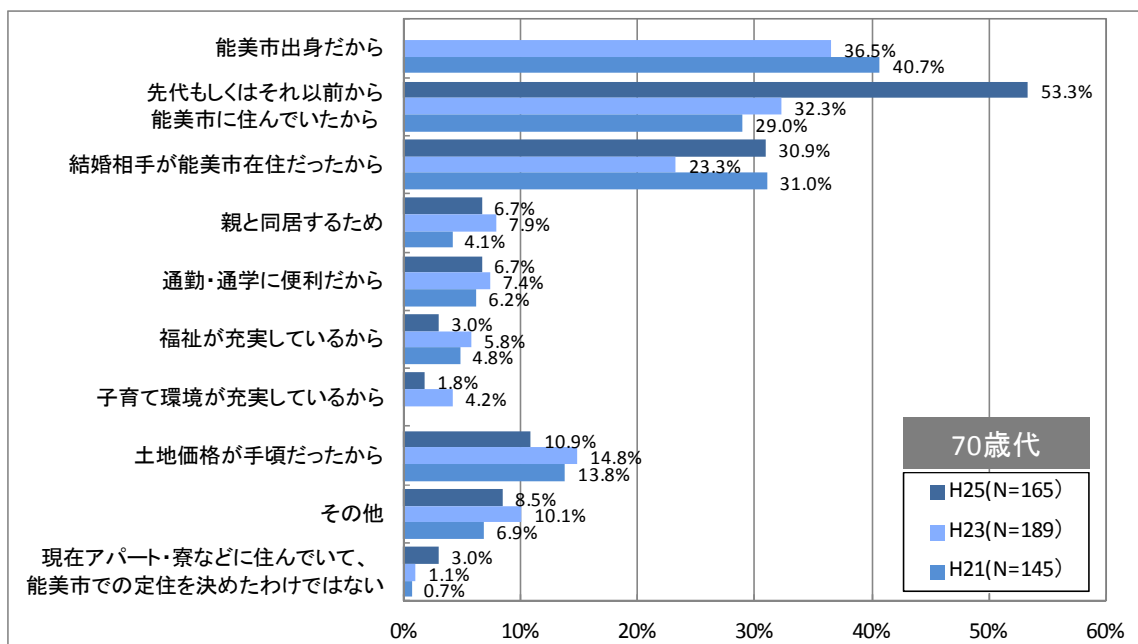
※「子育て環境が充実しているから」は H23 より調査項目を追加、
「能美市出身だから」は H25 より削除



※「子育て環境が充実しているから」は H23 より調査項目を追加、
「能美市出身だから」は H25 より削除



※「子育て環境が充実しているから」は H23 より調査項目を追加、
「能美市出身だから」は H25 より削除

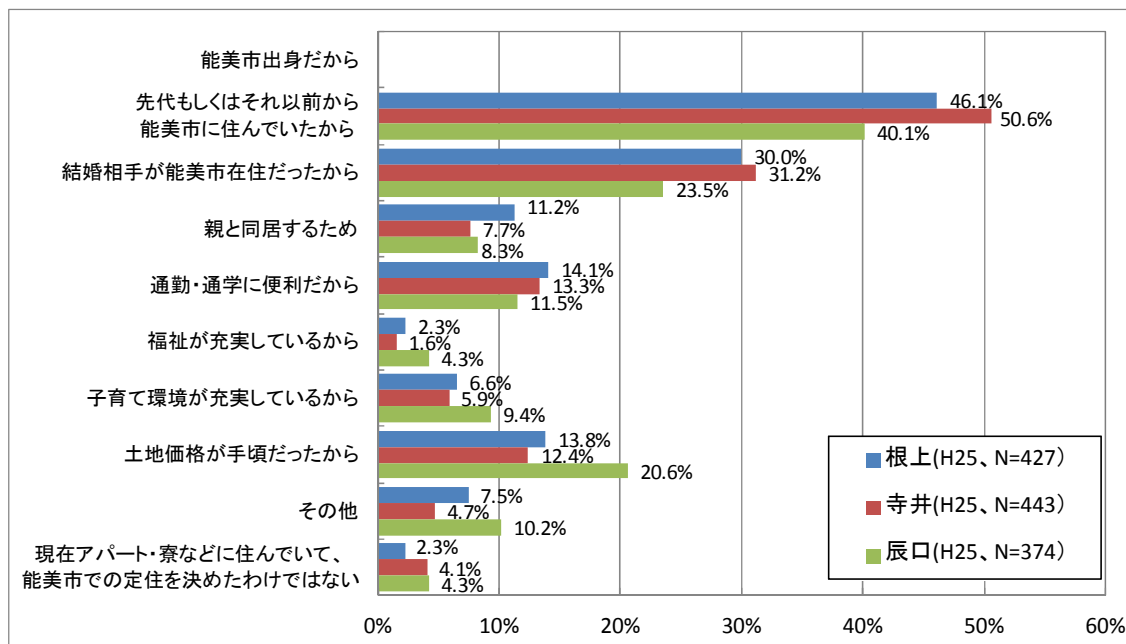


※「子育て環境が充実しているから」は H23 より調査項目を追加、
「能美市出身だから」は H25 より削除

■能美市に定住した主なきっかけ（地区別）

【今回（H25）】

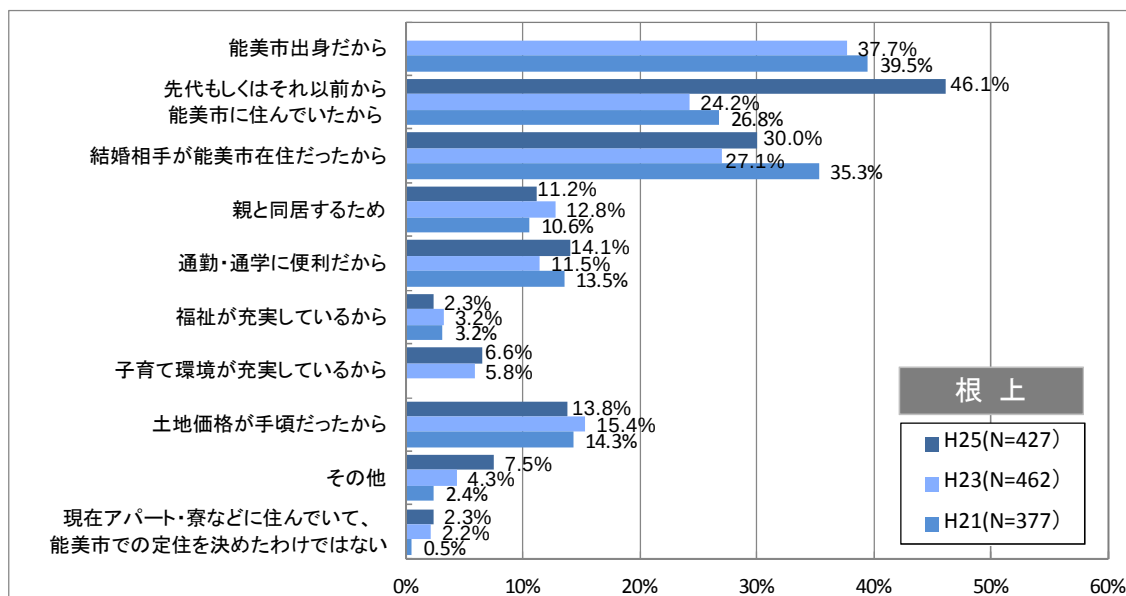
- ・3地区共に「先代もしくはそれ以前から能美市に住んでいたから」が最も多くなっています。
- ・根上、寺井は「結婚相手が能美市在住だったから」が 30.0%、31.2%と辰口より 6 ポイント以上高くなっています。
- ・辰口は「土地価格が手頃だったから」が 20.6%と他の地区より 6 ポイント以上高くなっています。



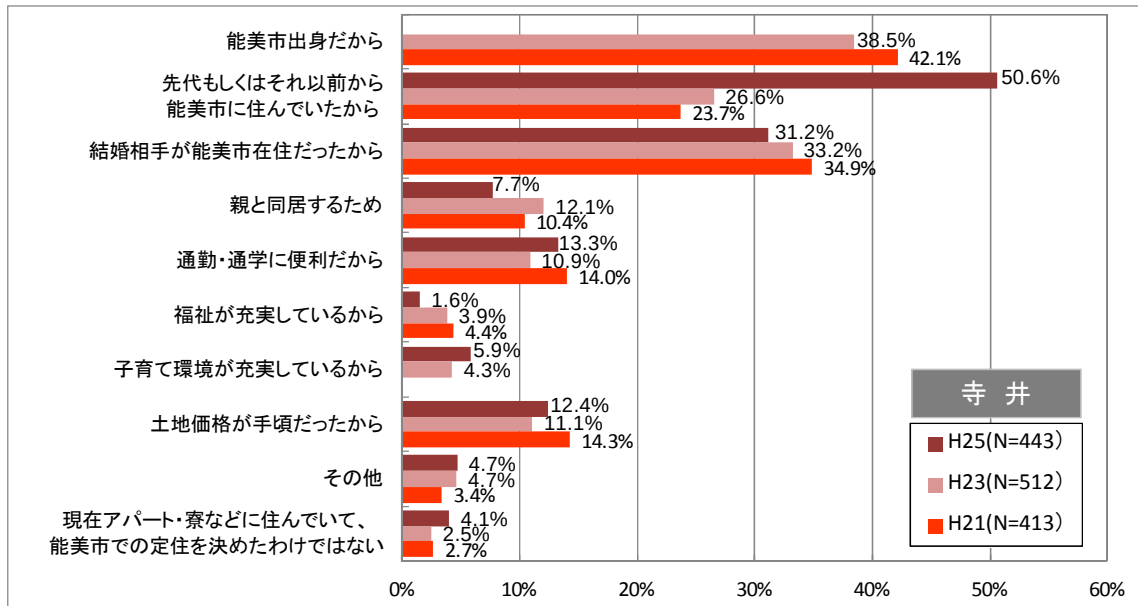
※「能美市出身だから」は H25 より削除

【経年変化】

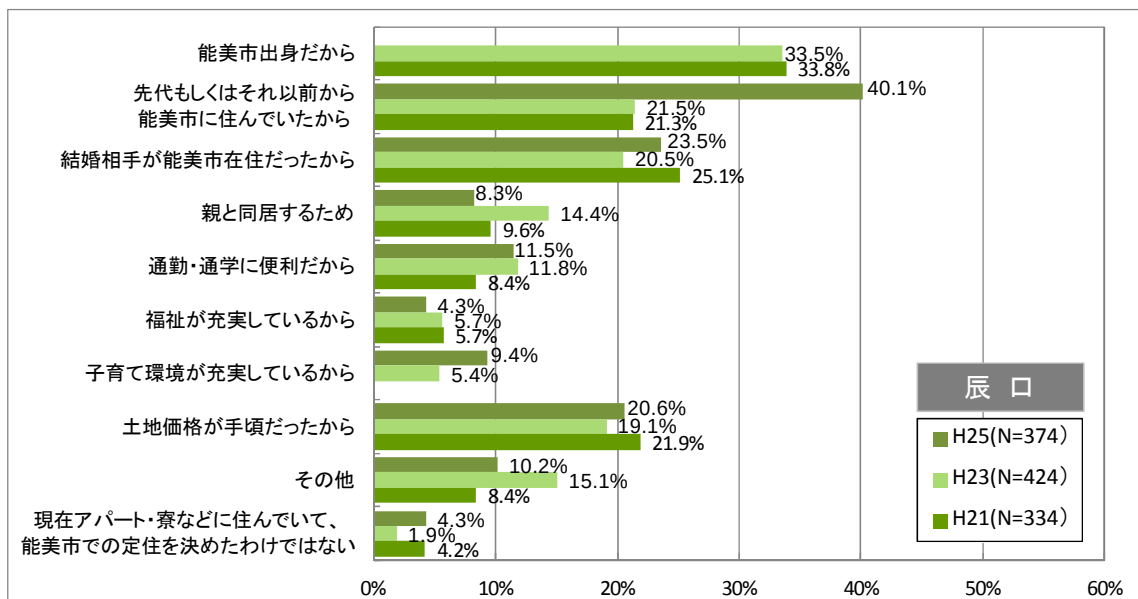
- ・根上は H23 と比べて大きな変化はみられません。
- ・寺井、辰口は「親と同居するため」が 7.7%、8.3%と H23 と比べて 4 ポイント以上減少しています。



※「子育て環境が充実しているから」は H23 より調査項目を追加、
「能美市出身だから」は H25 より削除



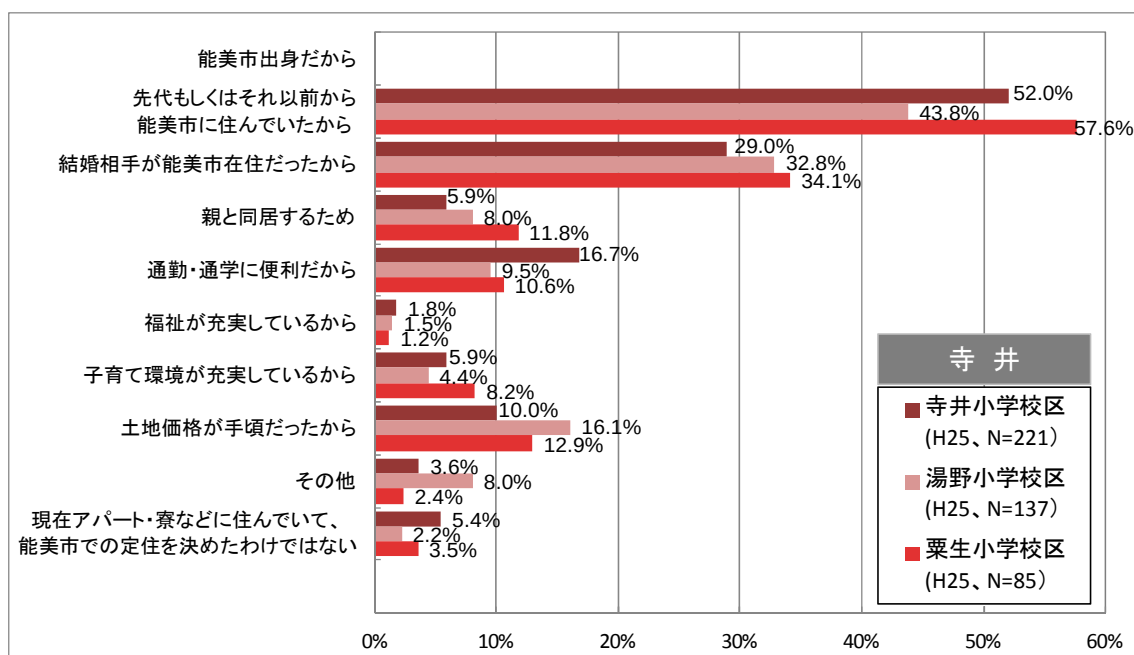
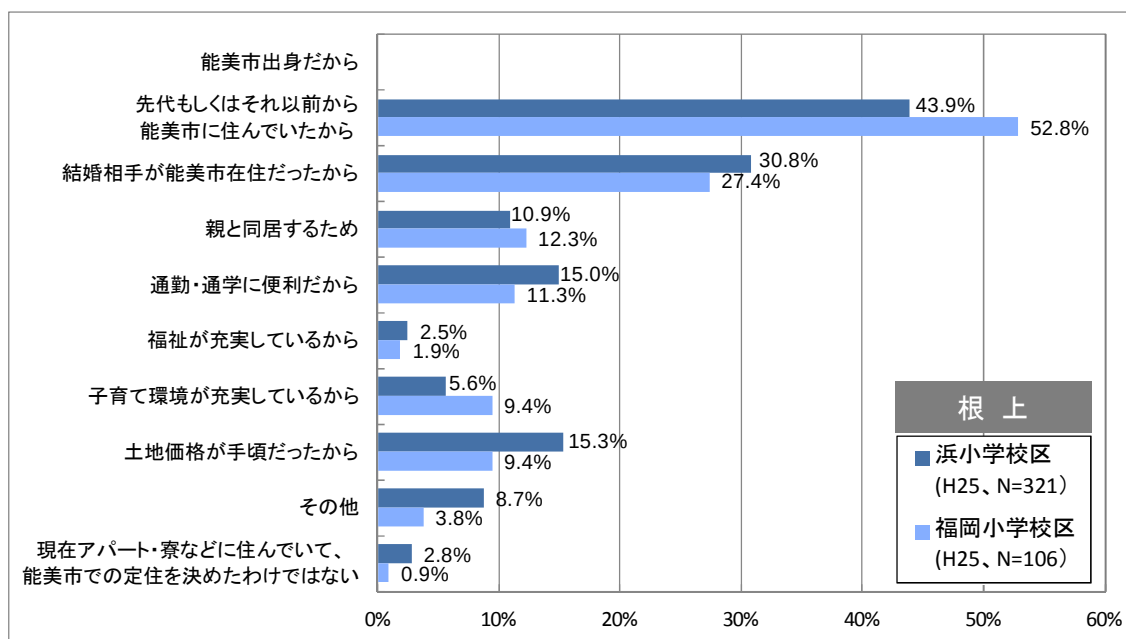
※「子育て環境が充実しているから」は H23 より調査項目を追加、
「能美市出身だから」は H25 より削除



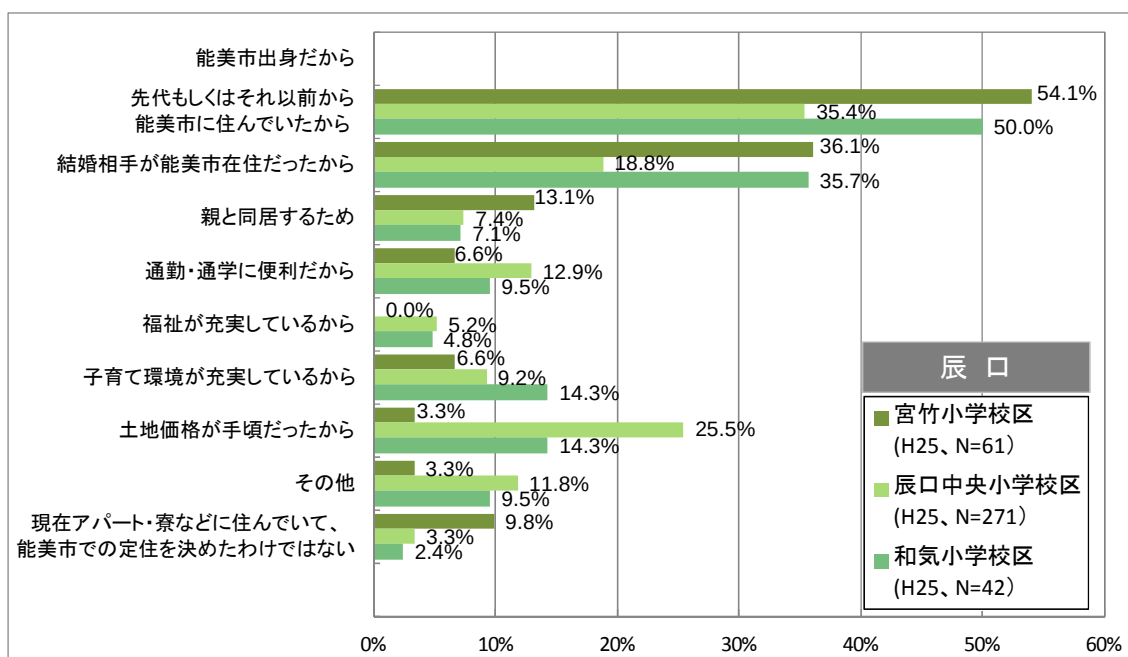
※「子育て環境が充実しているから」は H23 より調査項目を追加、
「能美市出身だから」は H25 より削除

【小学校区別】

- 全ての小学校区で「先代もしくはそれ以前から能美市に住んでいたから」が最も多くなっていますが、辰口中央小学校区は 35.4%、それ以外の小学校区は 4 割以上となっており、辰口中央小学校区は他と比べて低くなっています。
- 辰口中央小学校区は、「結婚相手が能美市在住だったから」が 18.8%と他と比べて、8 ポイント以上低くなっています。一方、「土地価格が手頃だったから」が 25.5%と他と比べて 9 ポイント以上高くなっています。



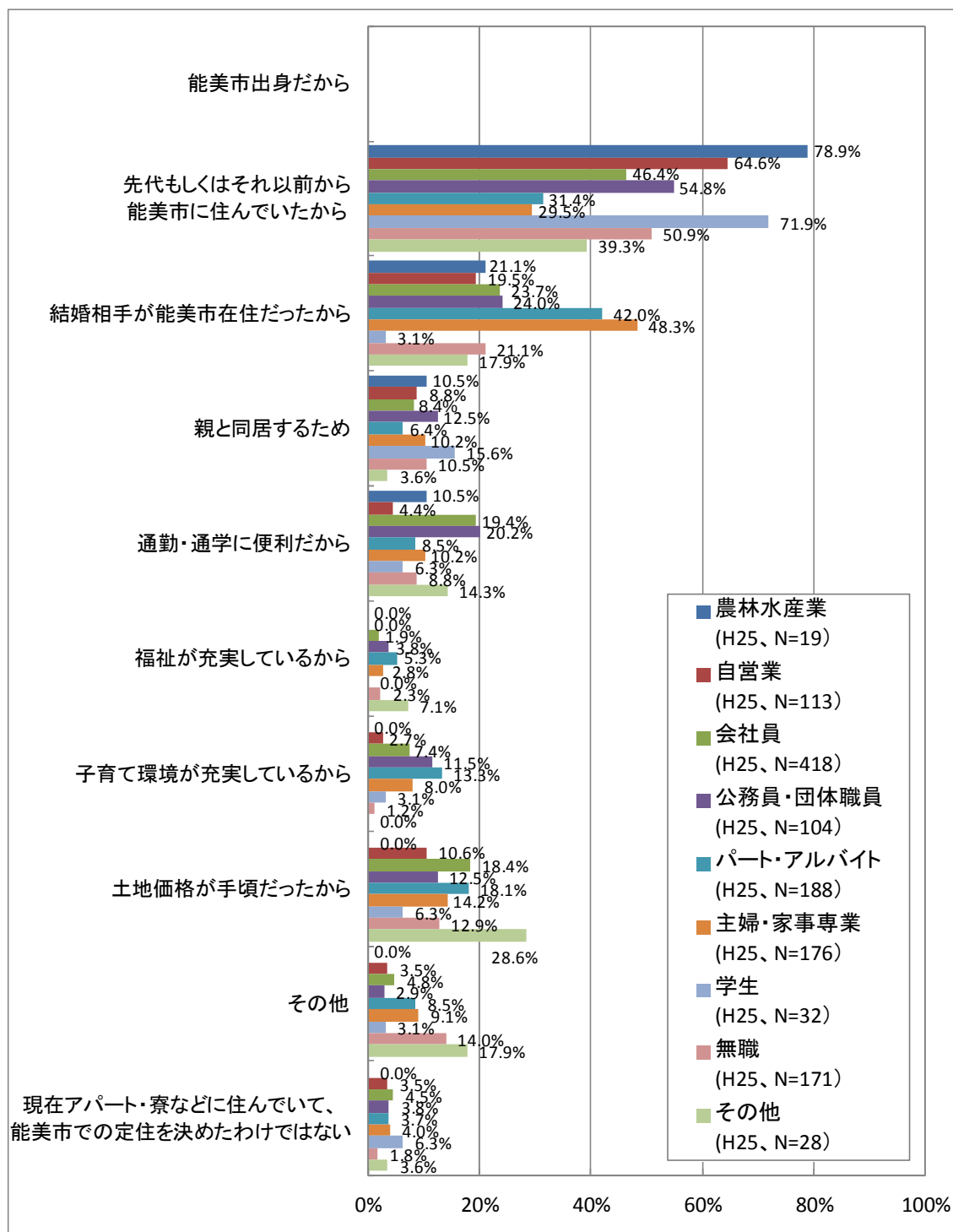
※「子育て環境が充実しているから」は H23 より調査項目を追加、
「能美市出身だから」は H25 より削除



※「子育て環境が充実しているから」は H23 より調査項目を追加、
「能美市出身だから」は H25 より削除

■能美市に定住した主なきっかけ（職業別）

- ・農林水産業、自営業、会社員、公務員・団体職員、学生、無職は「先代もしくはそれ以前から能美市に住んでいたから」が最も多くなっています。
- ・パート・アルバイト、主婦・家事専業は「結婚相手が能美市在住だったから」が最も多くなっています。



※「子育て環境が充実しているから」はH23より調査項目を追加、
「能美市出身だから」はH25より削除

問 16

能美市に定住することは、他の市町村に比べどんな点に魅力を感じますか？
(当てはまるもの全てに○)

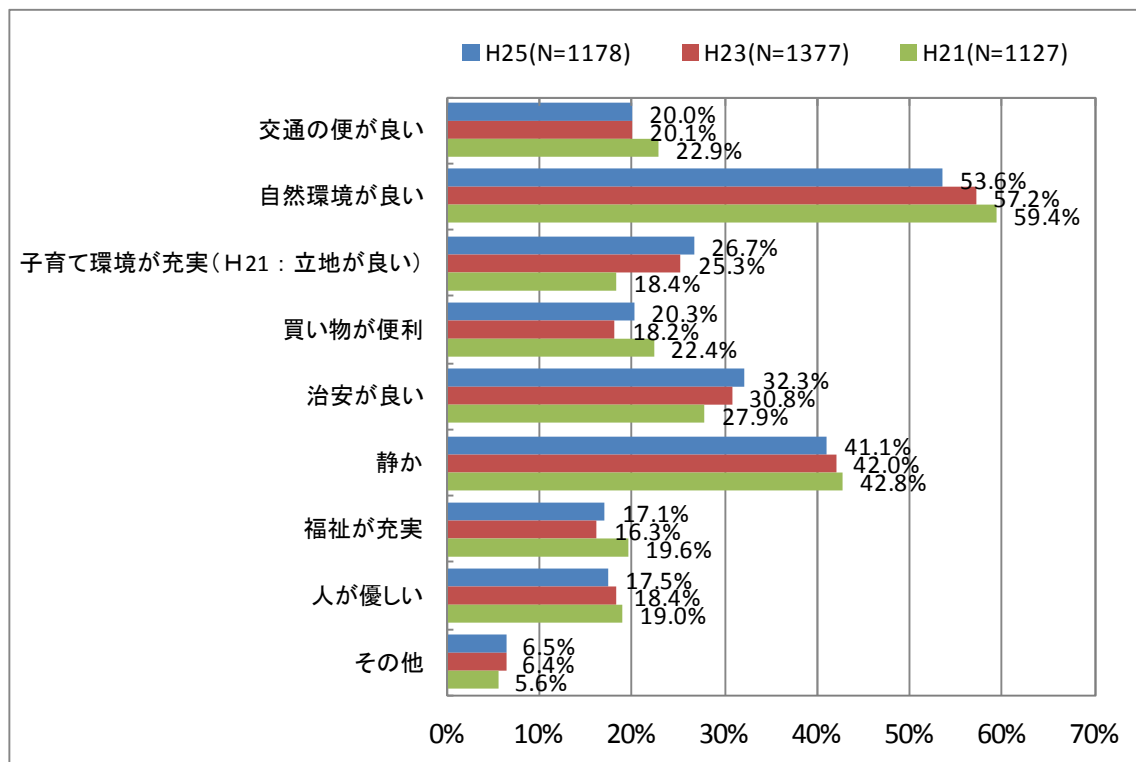
※H21 に追加した設問

◆「自然環境が良い」が 53.6%と最も多く、次いで「静か」が 41.1%、「治安が良い」が 32.3%となっています。

選択項目	H25(今回)		H23		H21	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
交通の便が良い	236	20.0%	277	20.1%	258	22.9%
自然環境が良い	631	53.6%	787	57.2%	669	59.4%
子育て環境が充実(H21:立地が良い)	315	26.7%	349	25.3%	207	18.4%
買い物が便利	239	20.3%	251	18.2%	252	22.4%
治安が良い	380	32.3%	424	30.8%	314	27.9%
静か	484	41.1%	579	42.0%	482	42.8%
福祉が充実	202	17.1%	224	16.3%	221	19.6%
人が優しい	206	17.5%	253	18.4%	214	19.0%
その他	76	6.5%	88	6.4%	63	5.6%
無回答	107	-	76	-	47	-
回答数	2,876	244.1%	3,308	240.2%	2,727	242.0%
回答者数(有効回答-無回答)	1,178	100.0%	1,377	100.0%	1,127	100.0%

その他: わからない(9)、生活の便がよい(5)、地元だから(4)、災害が少ない(4)、なし(3)、18歳まで医療費が無料、あまり昔と変わらない所、住みなれている、スポーツ施設が充実、図書館が充実、楽しみがある、土地が安い など

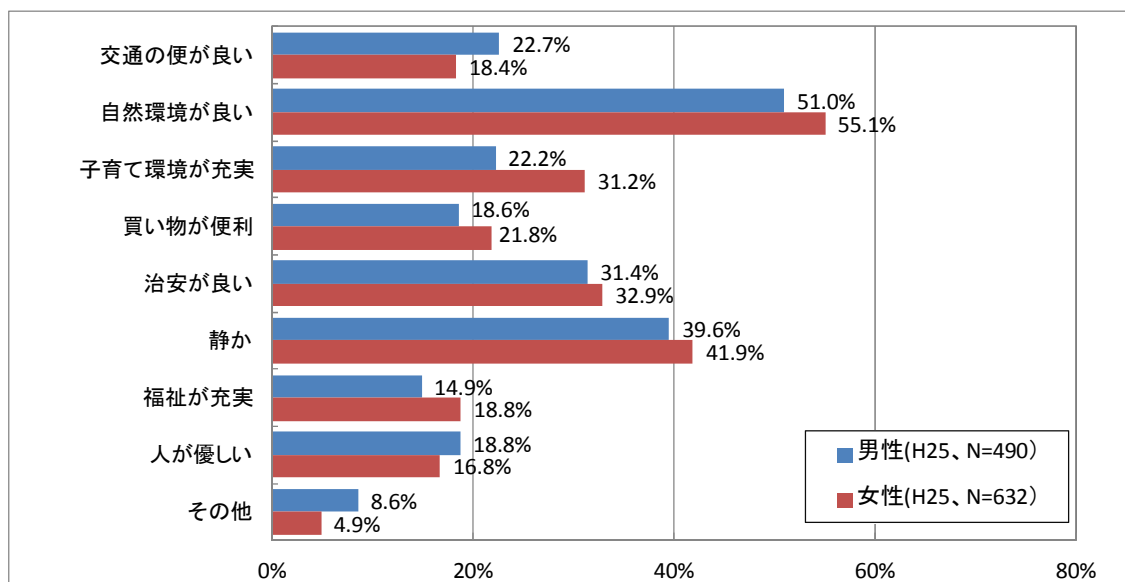
※(): H25 における回答者数



■能美市に定住することの魅力（性別）

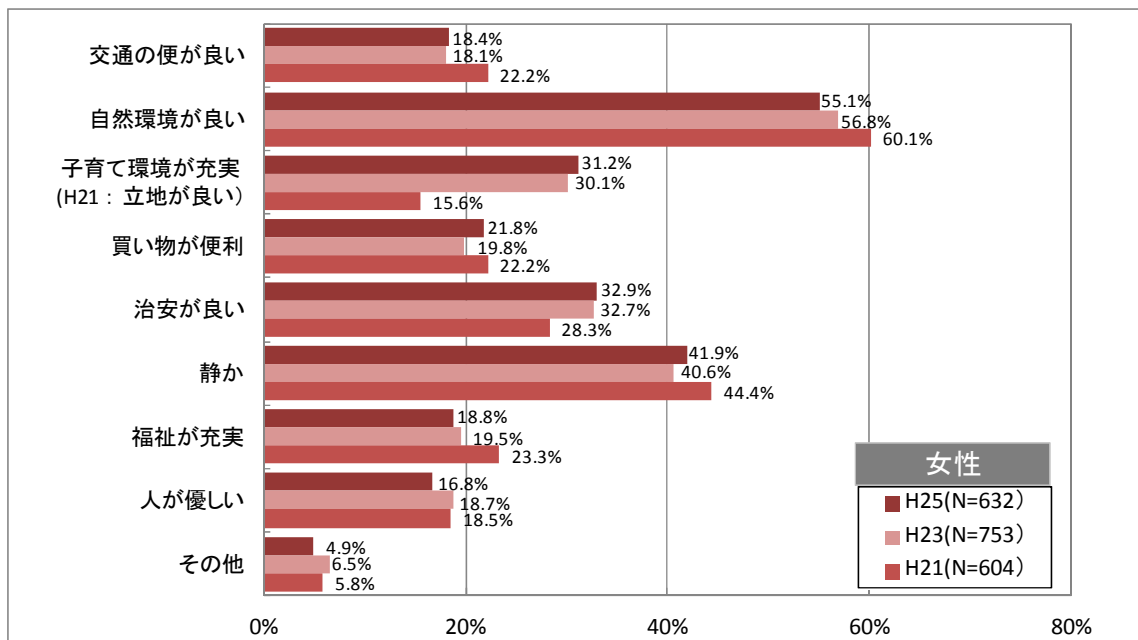
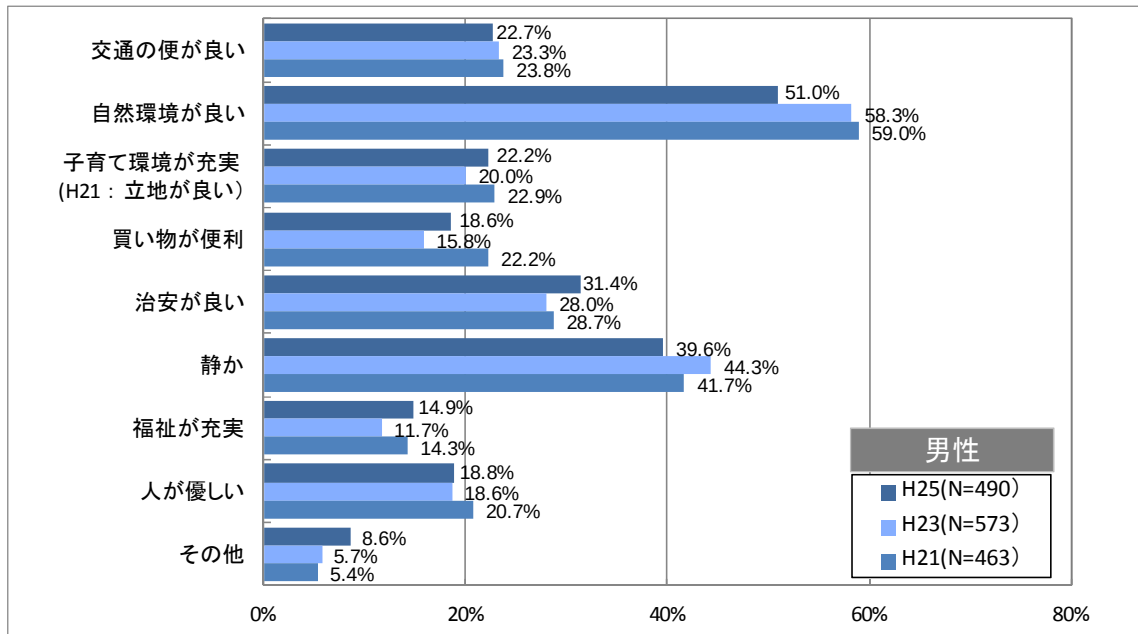
【今回（H25）】

- ・男性は「交通の便が良い」が 22.7%と、女性より約 4 ポイント高くなっています。
- ・女性は「子育て環境が充実」が 31.2%と、男性より約 9 ポイント高くなっており、また、「自然環境が良い」が 55.1%と、男性より約 4 ポイント高くなっています。



【経年変化】

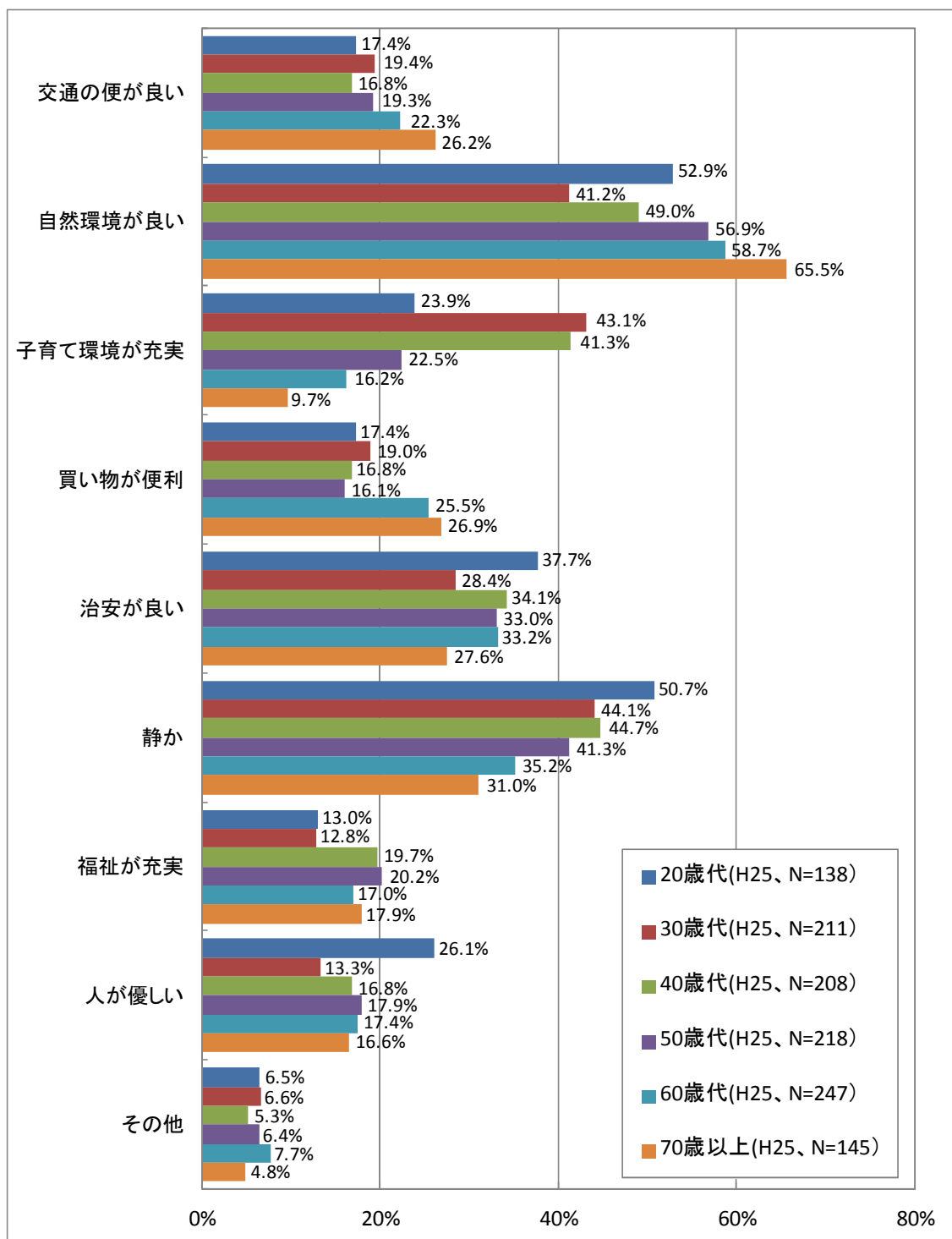
- ・男性は、「自然環境が良い」が 51.0%と約 7 ポイント低くなっています。
- ・女性は、H23 と比べて大きな変化はみられません。



■能美市に定住することの魅力（年代別）

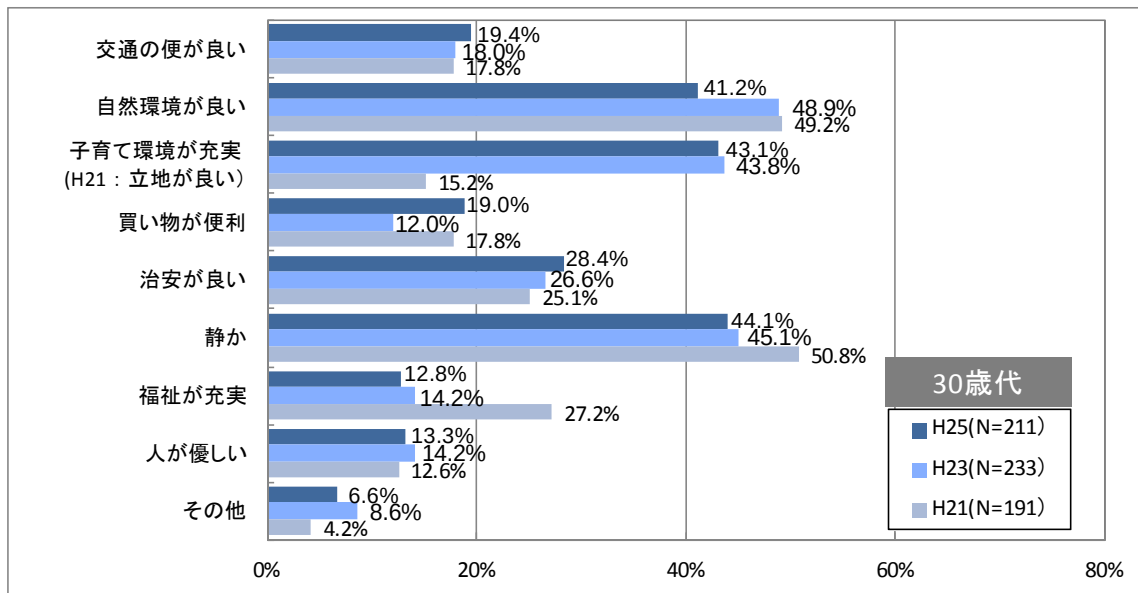
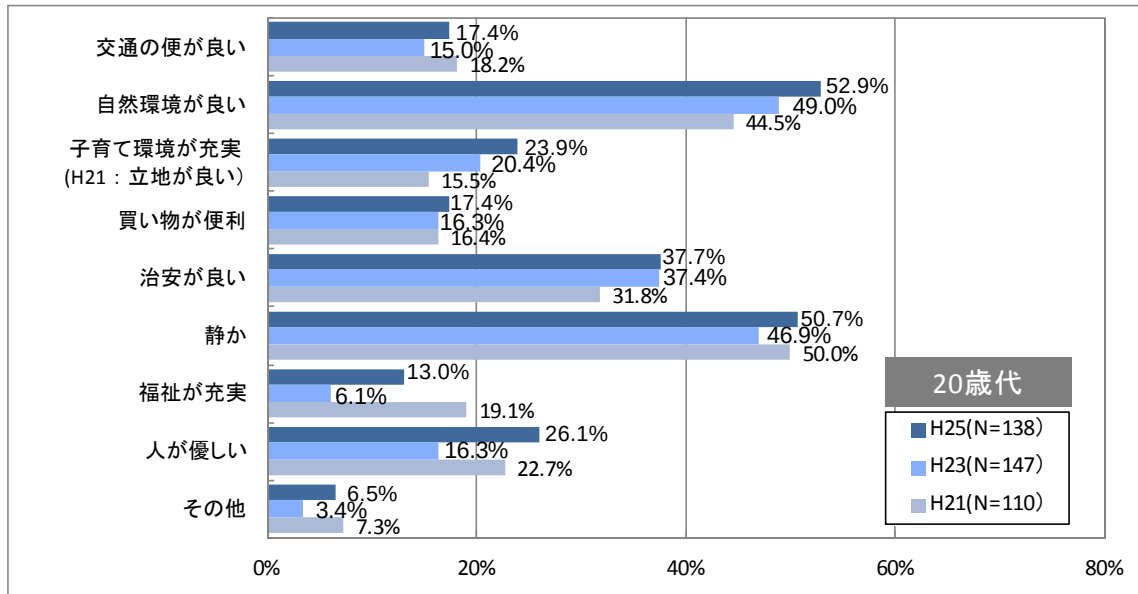
【今回（H25）】

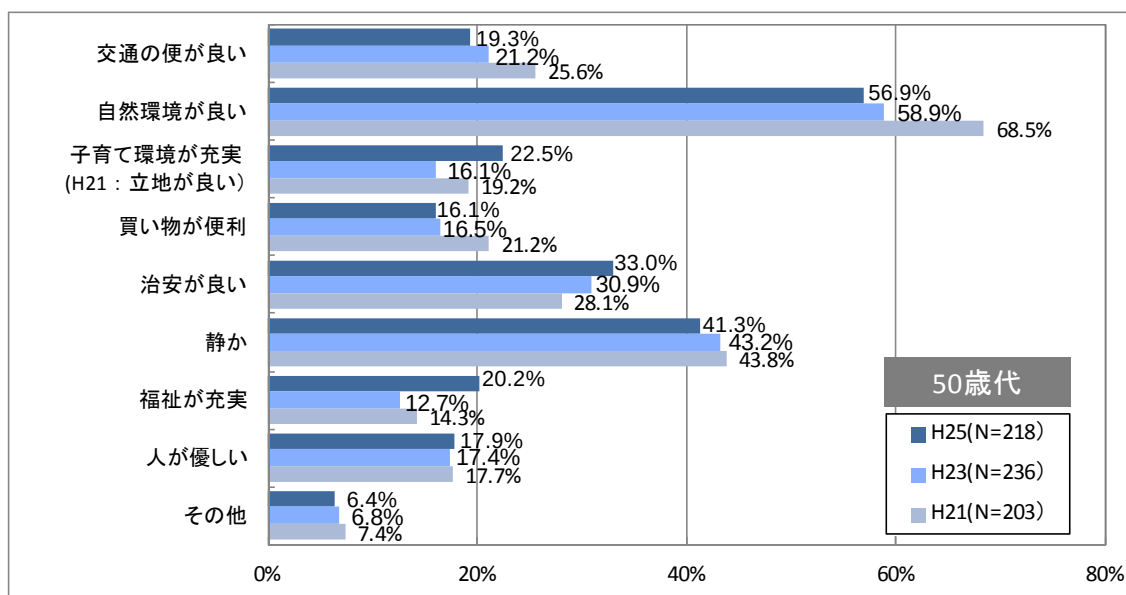
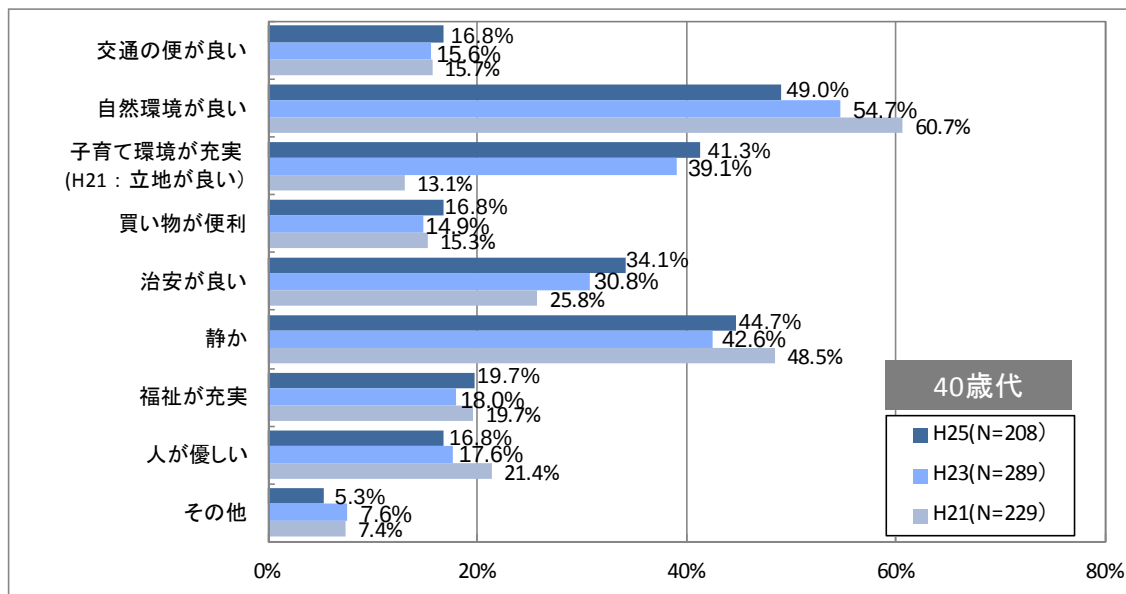
- ・30 歳代以外は「自然環境が良い」が最も多くなっており、次いで「静か」が多くなっています。
- ・30～40 歳代は「子育て環境が充実」が他の年代より 17 ポイント以上高くなっています。
- ・年代が上がるにつれて「自然環境が良い」「買い物が便利」が増加しています。一方、年代が上がるにつれて「静か」が減少しています。

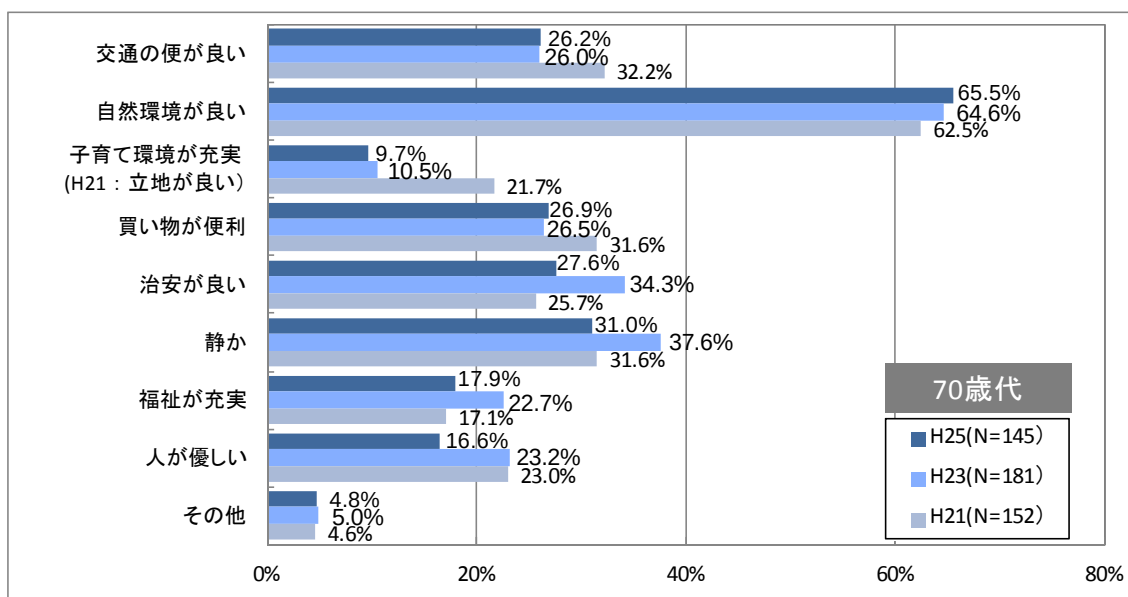
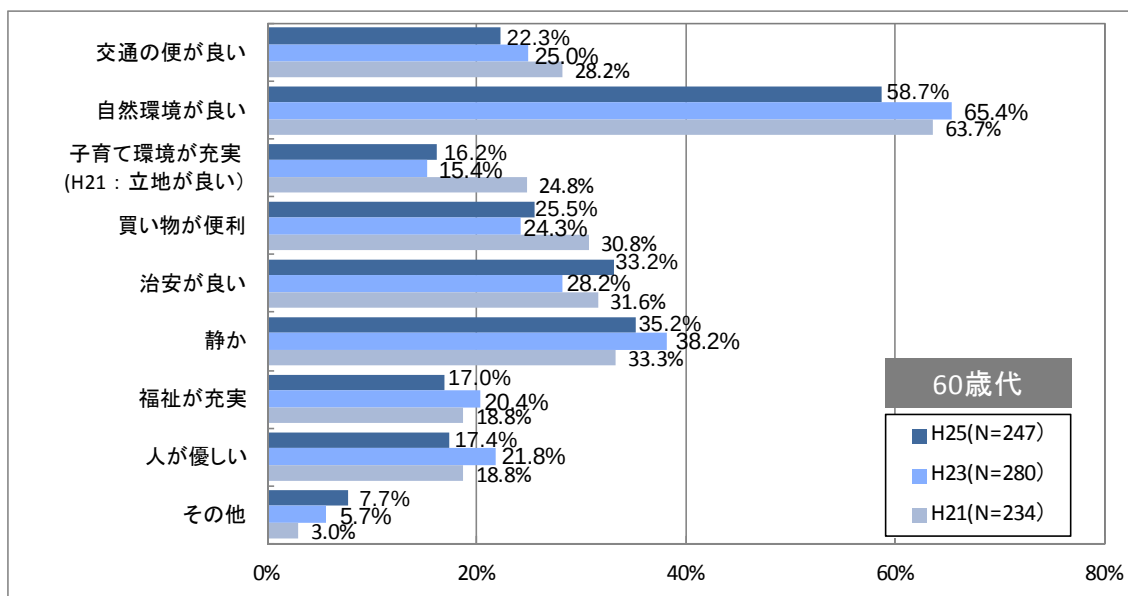


【経年変化】

- ・ 全体的に「自然環境が良い」「静か」が高くなっている。
- ・ 20 歳以上は「人が優しい」が 26.1%で、他と比べて 8 ポイント以上高くなっています。
- ・ 30～40 歳代は「子育て環境が充実」が他と比べて高くなっています。



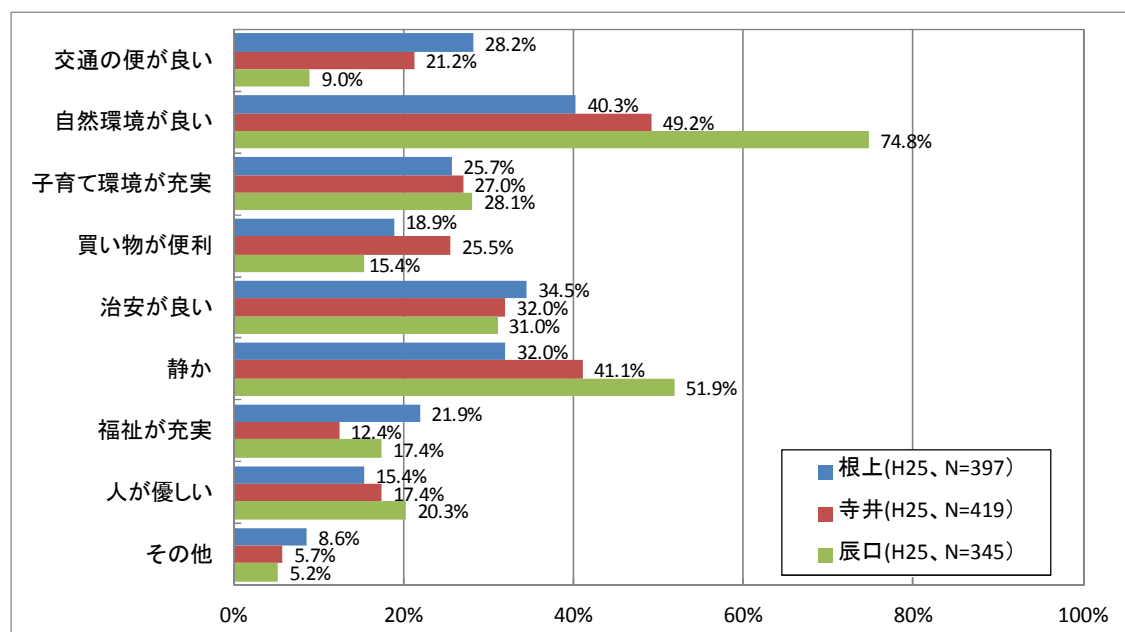




■能美市に定住することの魅力（地区別）

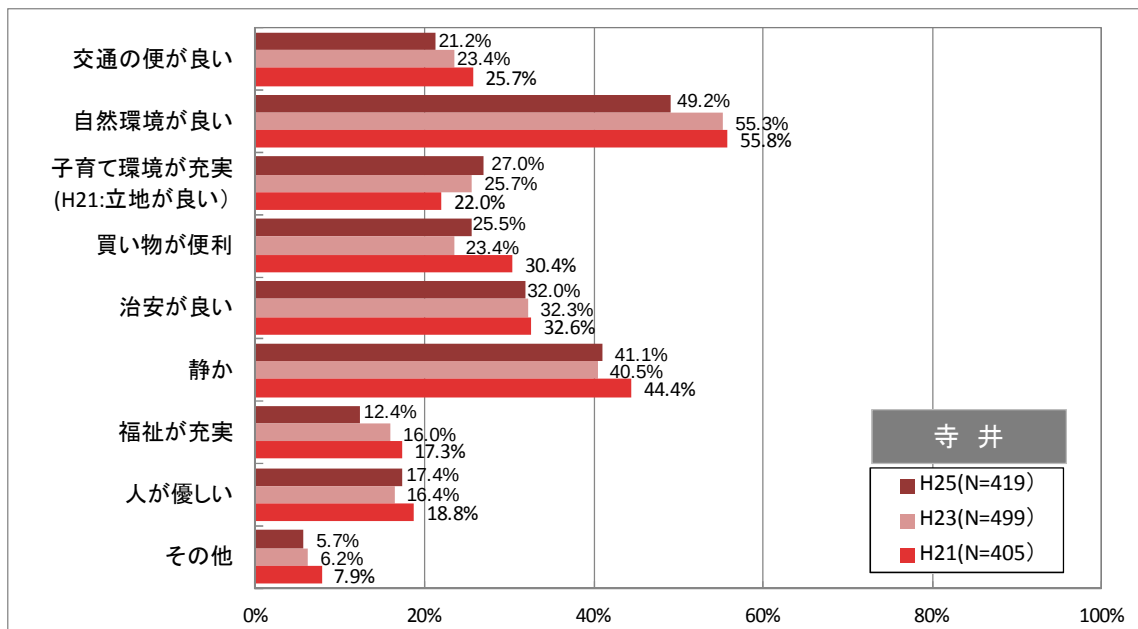
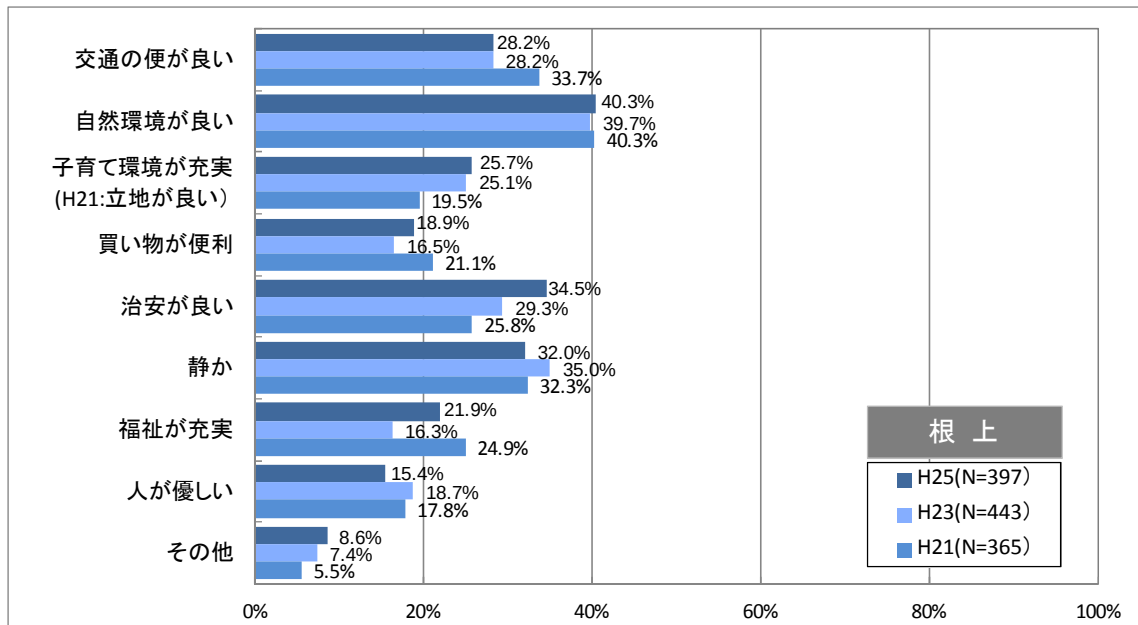
【今回（H25）】

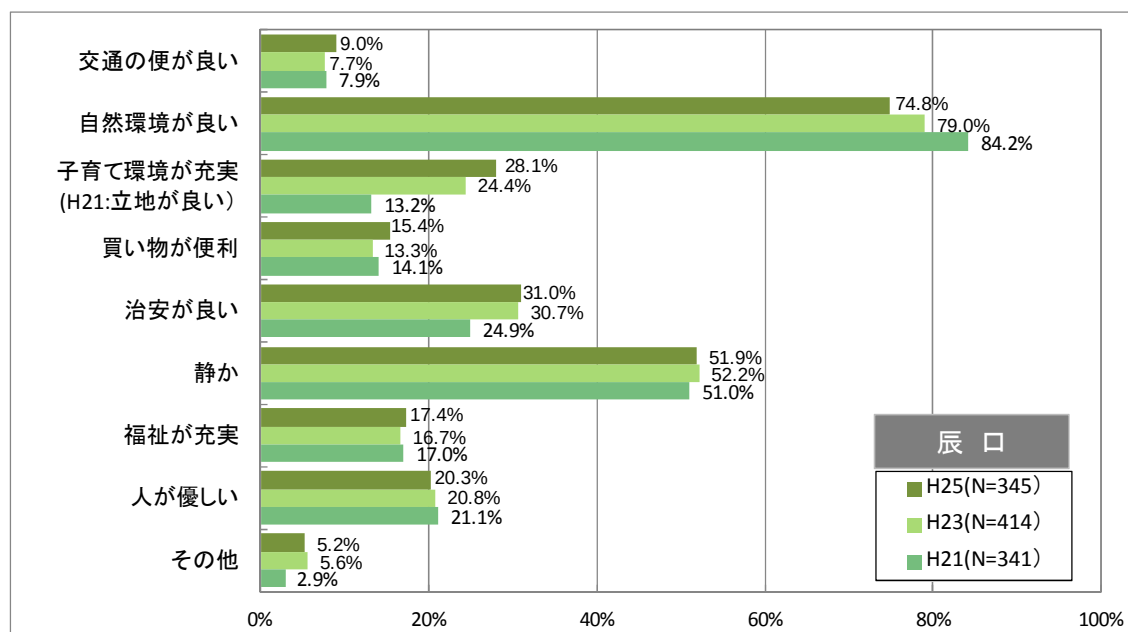
- ・ 3 地区共に「自然環境が良い」が最も多くなっています。
- ・ 辰口は「自然環境が良い」が 74.8%と他の地区より 25 ポイント以上高くなっています。また「静か」が 51.9%と他の地区より 10 ポイント以上高くなっています。一方で「交通の便が良い」は 9.0%と他の地区より 12 ポイント以上低くなっています。
- ・ 寺井は「買い物が便利」が 25.5%と他の地区より 6 ポイント以上高くなっています。



【経年変化】

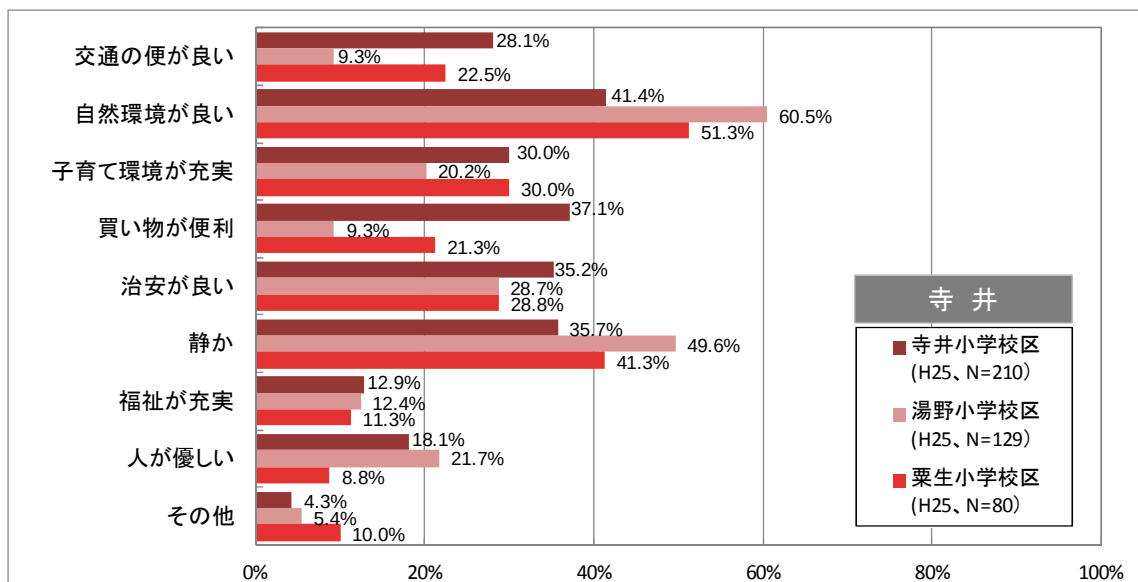
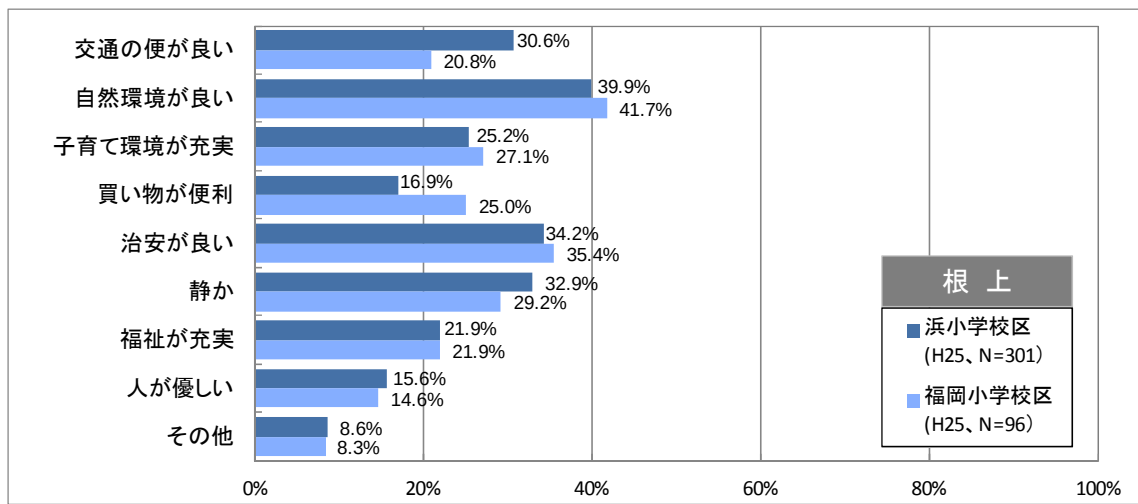
- ・根上は H23 と比べて、「福祉が充実」が約 5 ポイント増加しています。
- ・寺井は H23 と比べて「自然環境が良い」が約 6 ポイント減少しています。
- ・辰口は H23 と比べて「自然環境が良い」が約 4 ポイント減少しています。

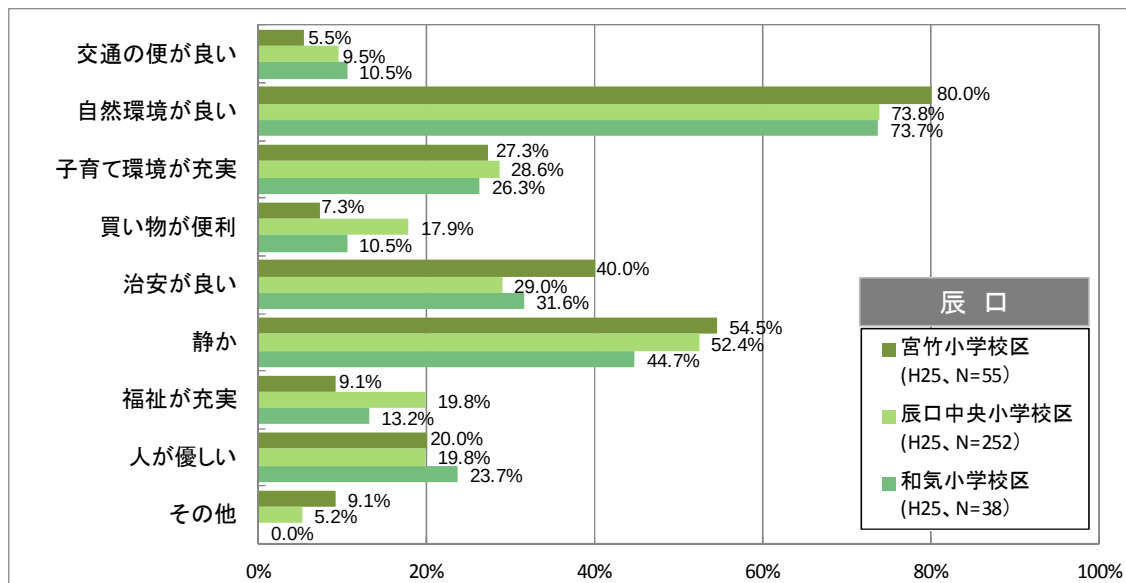




【小学校区別】

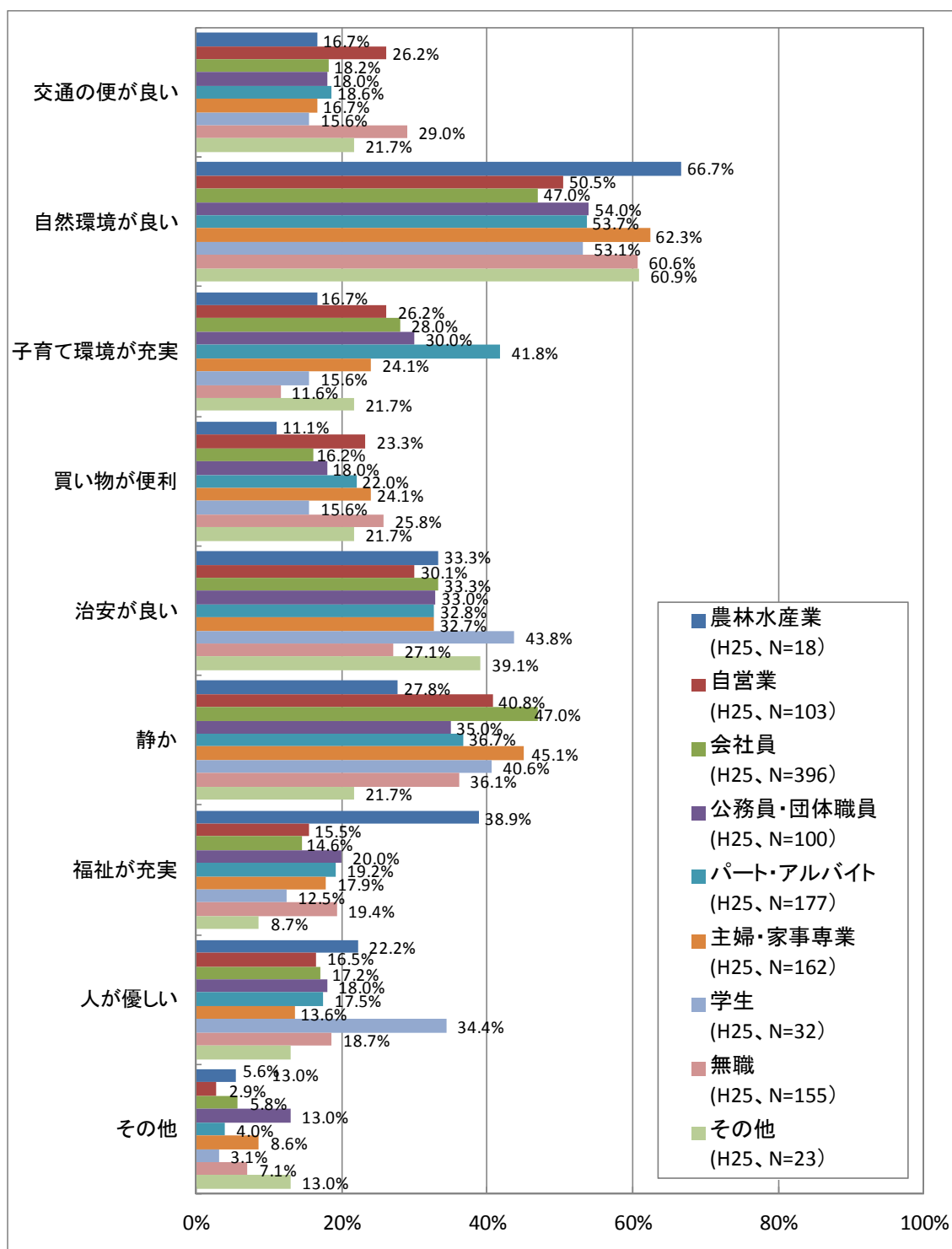
- ・「子育て環境が充実」「治安が良い」「人が優しい」は小学校区別であまり差がみられませんが、「交通の便が良い」「自然環境が良い」「買い物が便利」「静か」は小学校区別で差が生じています。
- ・浜小学校区、福岡小学校区、寺井小学校区、栗生小学校区は「交通の便が良い」が比較的多くなっています。一方で、湯野小学校区、宮竹小学校区、辰口中央小学校区、和氣小学校区は「自然環境が良い」や「静か」が多くなっています。





■能美市に定住することの魅力（職業別）

- ・全ての職業において「自然環境が良い」が最も多くなっています。
- ・農林水産業は「自然環境が良い」「福祉が充実」が、他の職業より高くなっています。
- ・パート・アルバイトは「子育て環境が充実」が、他の職業より高くなっています。
- ・学生は「治安が良い」や「人が優しい」が、他の職業より高くなっています。



(4) 地域活動、市民活動および市民と行政の協働について

問 17

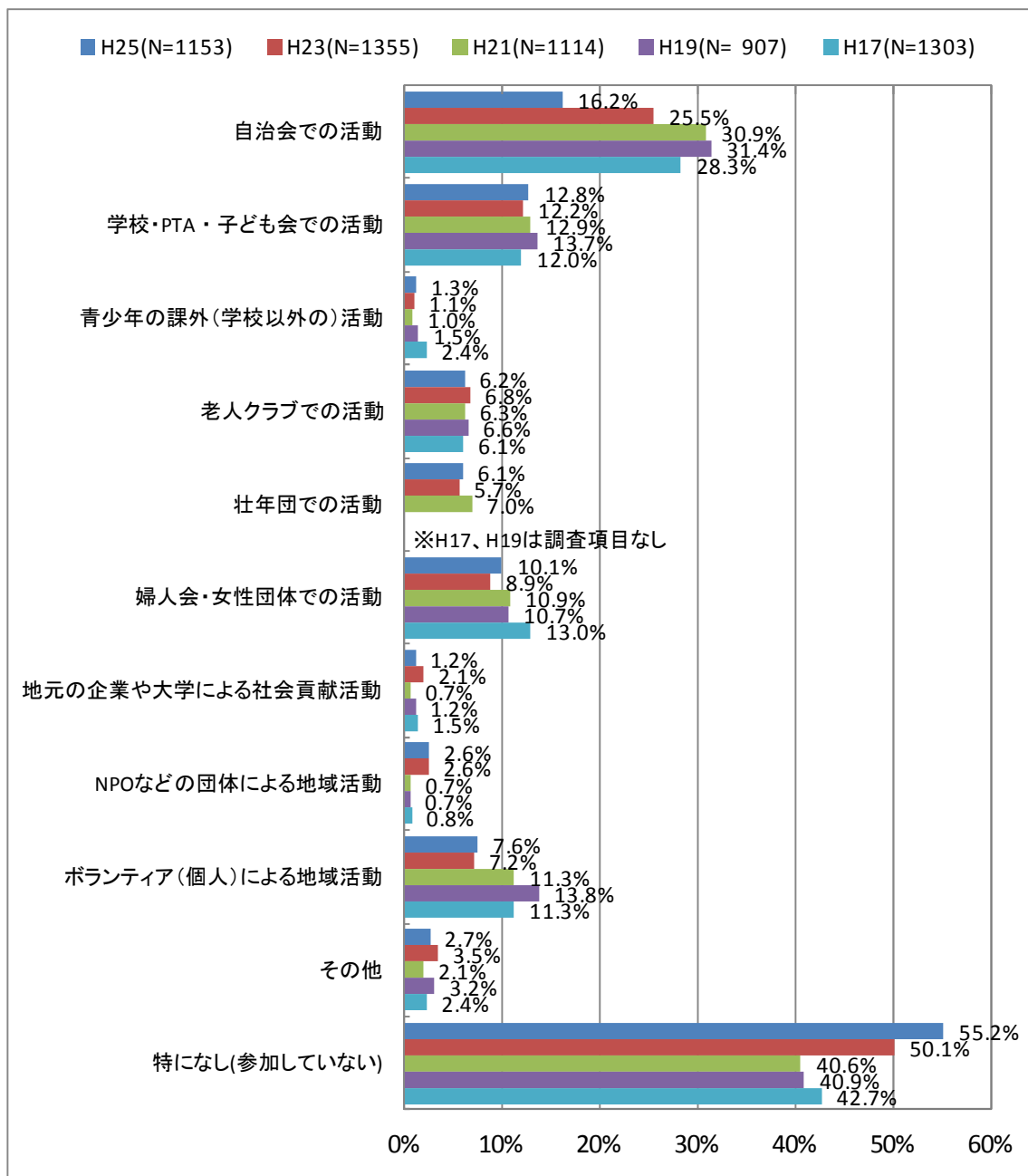
あなたは現在、仕事や学業とは別に、地域活動、ボランティア活動、市民活動として参加しているものはありますか？（当てはまるもの全てに○）

- ◆「特になし（参加していない）」が 55.2%と最も多く、次いで「自治会での活動」が 16.2%、「学校・PTA・子ども会での活動」が 12.8%となっています。
- ◆「特になし（参加していない）」が H23 と比べて約 5 ポイント増加しています。一方、「自治会での活動」は減少傾向にあり、H23 と比べて約 9 ポイント減少しています。

選択項目	H25(今回)		H23		H21		H19		H17	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
自治会での活動	187	16.2%	346	25.5%	344	30.9%	285	31.4%	369	28.3%
学校・PTA・子ども会での活動	148	12.8%	165	12.2%	144	12.9%	124	13.7%	157	12.0%
青少年の課外(学校以外の)活動	15	1.3%	15	1.1%	11	1.0%	14	1.5%	31	2.4%
老人クラブでの活動	72	6.2%	92	6.8%	70	6.3%	60	6.6%	80	6.1%
壮年団での活動	70	6.1%	77	5.7%	78	7.0%	-	-	-	-
婦人会・女性団体での活動	116	10.1%	121	8.9%	121	10.9%	97	10.7%	169	13.0%
地元の企業や大学による社会貢献活動	14	1.2%	28	2.1%	8	0.7%	11	1.2%	19	1.5%
NPOなどの団体による地域活動	30	2.6%	35	2.6%	8	0.7%	6	0.7%	11	0.8%
ボランティア(個人)による地域活動	88	7.6%	98	7.2%	126	11.3%	125	13.8%	147	11.3%
福祉などに関する地域団体での活動	-	-	-	-	51	4.6%	49	5.4%	60	4.6%
スポーツ・レクリエーション活動	-	-	-	-	136	12.2%	149	16.4%	166	12.7%
その他	31	2.7%	48	3.5%	23	2.1%	29	3.2%	31	2.4%
特になし(参加していない)	636	55.2%	679	50.1%	452	40.6%	371	40.9%	556	42.7%
無回答	132	-	98	-	60	-	59	-	118	-
回答数	1,539	133.5%	1,802	133.0%	1,632	146.5%	1,379	152.0%	1,914	146.9%
回答者数(有効回答－無回答)	1,153	100.0%	1,355	100.0%	1,114	100.0%	907	100.0%	1,303	100.0%

その他： 文化協会(3)、消防団(3)、スポーツ団体(3)、ボランティア(2)、伝統芸能団体(2)、神社の係(2)、宗教活動、交通安全推進隊、健康クラブ、市の委員、商工会青年部 など

※(): H25 における回答者数



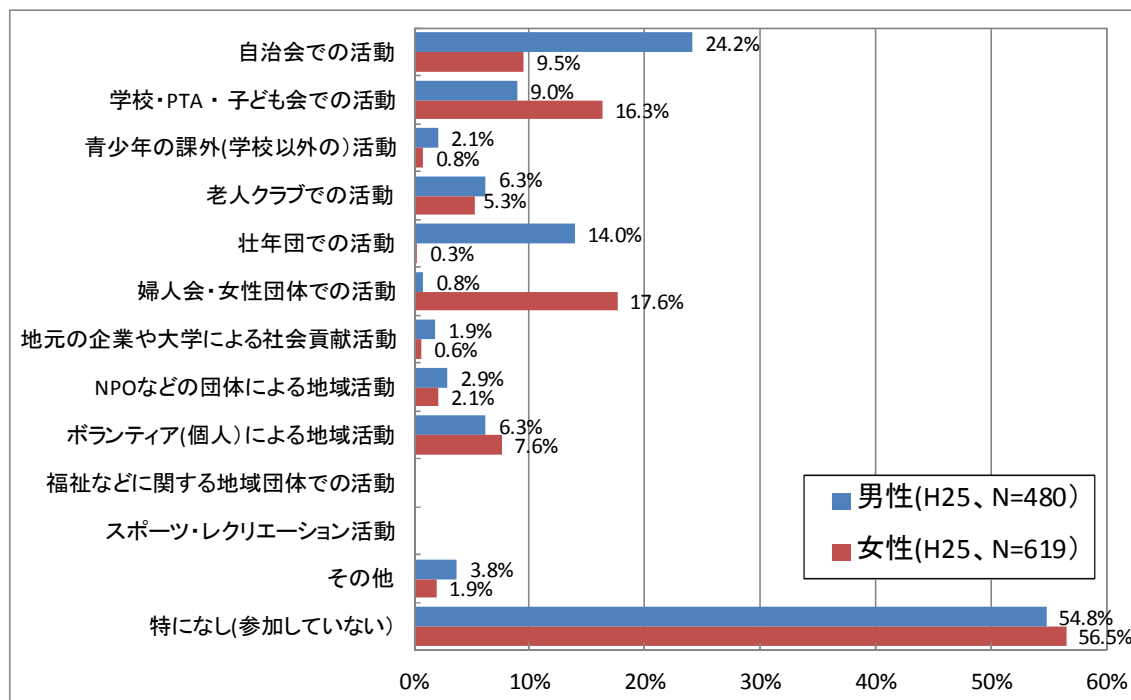
※「壮年団での活動」は、H19、H17 は調査項目なし

※「福祉などに関する地域団体での活動」「スポーツ・レクリエーション活動」は、H23 は調査項目なし

■地域活動、市民活動への参加状況（性別）

【今回（H25）】

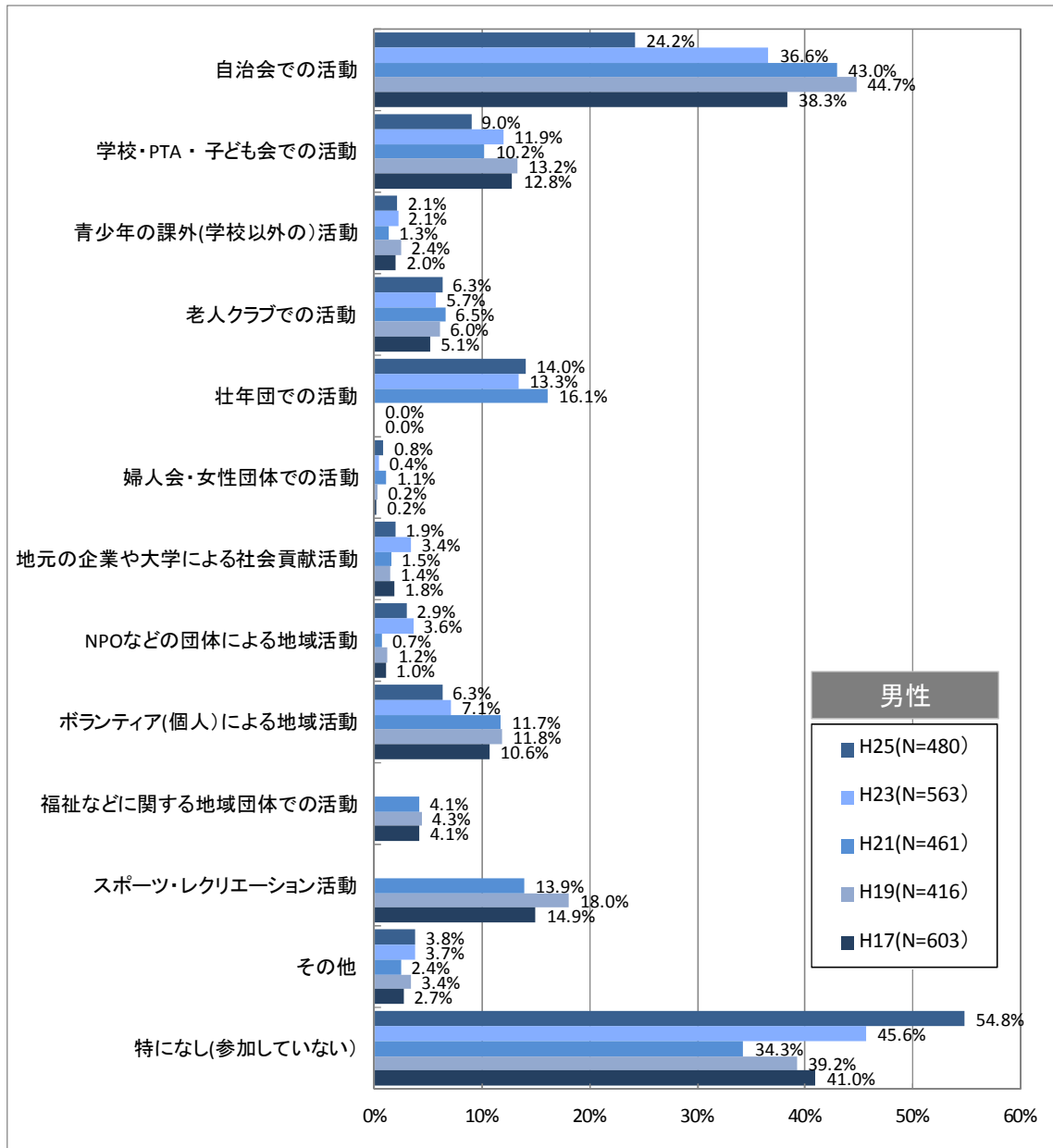
- ・男性、女性共に「特になし」が最も多く過半数を占めています。
- ・男性は「自治会・町内会での活動」が約 15 ポイント、「壮年団での活動」が約 14 ポイント女性より高くなっています。
- ・女性は「婦人会・女性団体での活動」が約 17 ポイント、「学校・PTA・子ども会での活動」が約 7 ポイント男性より高くなっています。



※「福祉などに関する地域団体での活動」「スポーツ・レクリエーション活動」は、H23 は調査項目なし

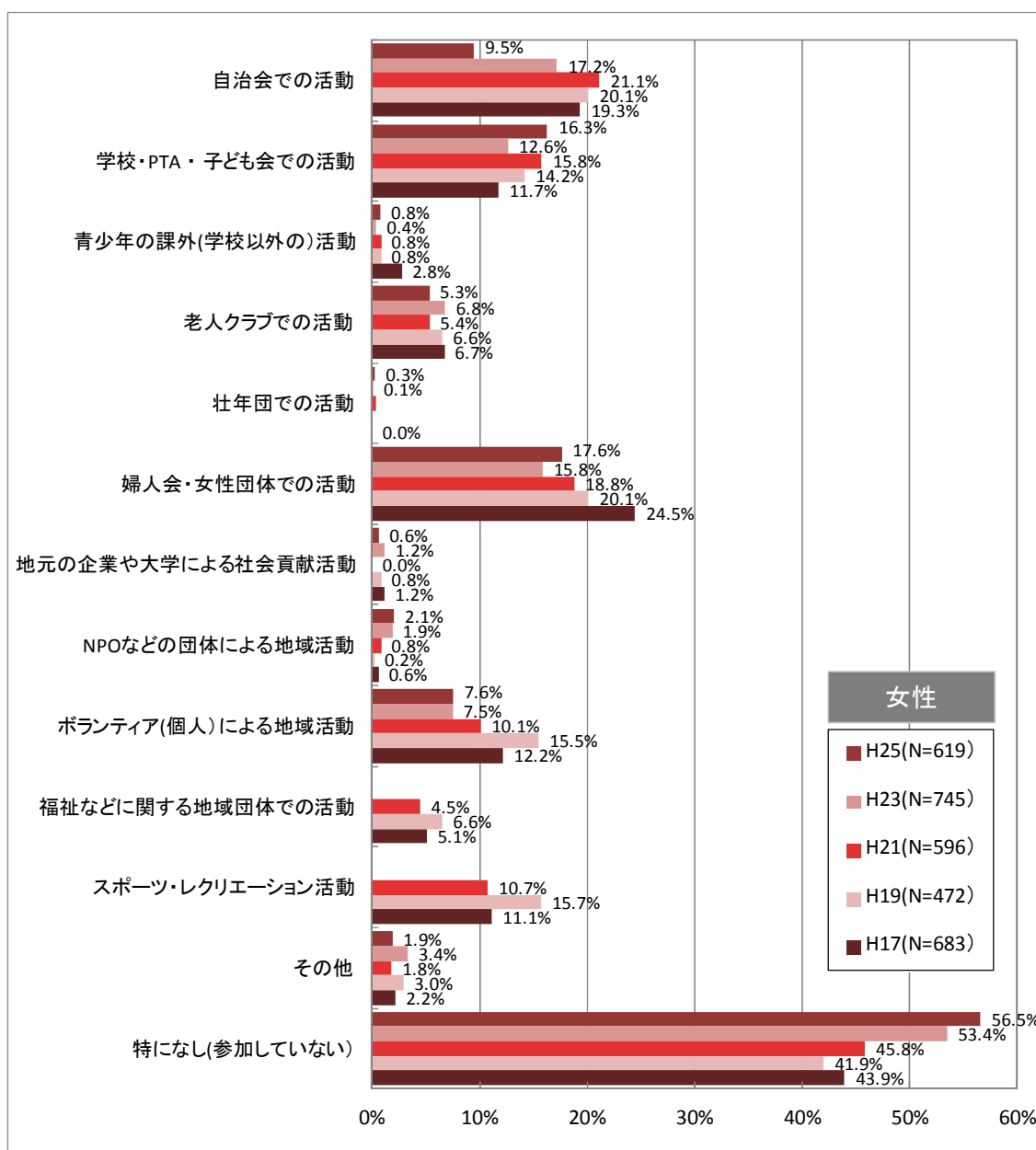
【経年変化】

- ・男性は「特になし」が H17～H21 にかけて減少傾向にありましたが、H23 以降は増加傾向になり、H23 と比べて約 9 ポイント増加しています。また、女性も「特になし」が、H19 以降、増加傾向となっています。
- ・男女ともに「自治会・町内会での活動」が、H19 以降減少傾向にあり、男性は H23 と比べて約 12 ポイント、女性が約 8 ポイント減少しています。



※「壮年団での活動」は、H19、H17 は調査項目なし

※「福祉などに関する地域団体での活動」「スポーツ・レクリエーション活動」は、H23 は調査項目なし



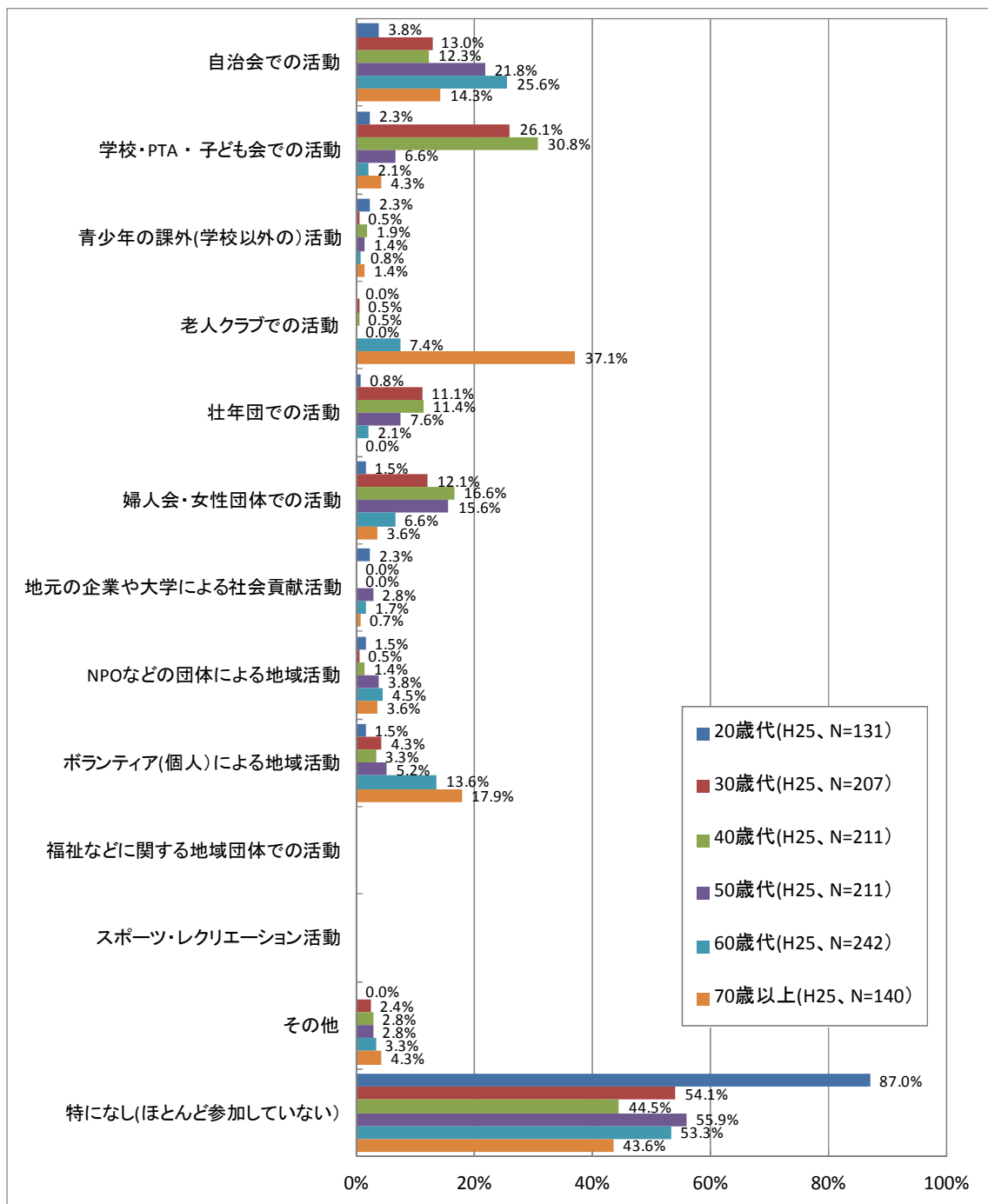
※「壮年団での活動」は、H19、H17は調査項目なし

※「福祉などに関する地域団体での活動」「スポーツ・レクリエーション活動」は、H23は調査項目なし

■地域活動、市民活動への参加状況（年代別）

【今回（H25）】

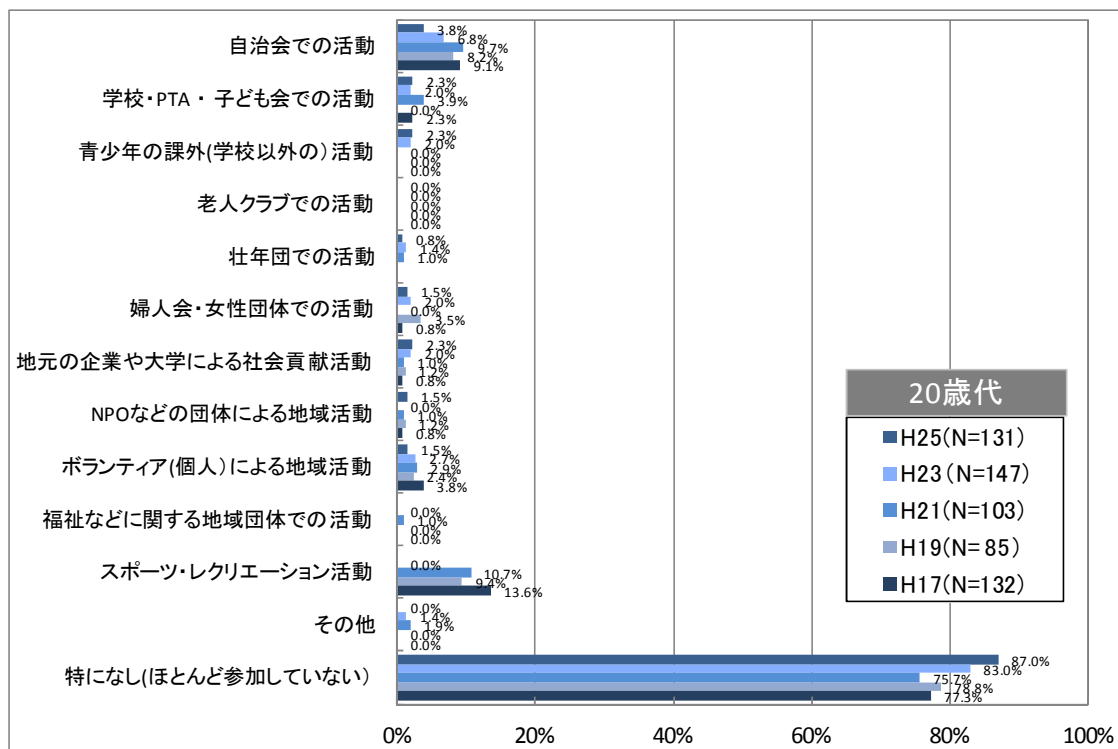
- ・全ての年代で「特になし」が最も多くなっており、特に 20 歳代は他の年代より 21 ポイント以上高くなっています。一方で、20 歳代は「自治会・町内会での活動」が 8 ポイント以上低くなっています。
- ・30～40 歳代は「学校・PTA・子ども会での活動」が、他の年代より 19 ポイント以上高くなっています。また、「壮年団での活動」が比較的高くなっています。
- ・30～50 歳代は「婦人会・女性団体での活動」が比較的高くなっています。
- ・60 歳以上は「ボランティアによる地域活動」が比較的高くなっています。
- ・70 歳以上は「老人クラブでの活動」が他の年代より 30 ポイント以上高くなっています。



※「福祉などに関する地域団体での活動」「スポーツ・レクリエーション活動」は、H23 は調査項目なし

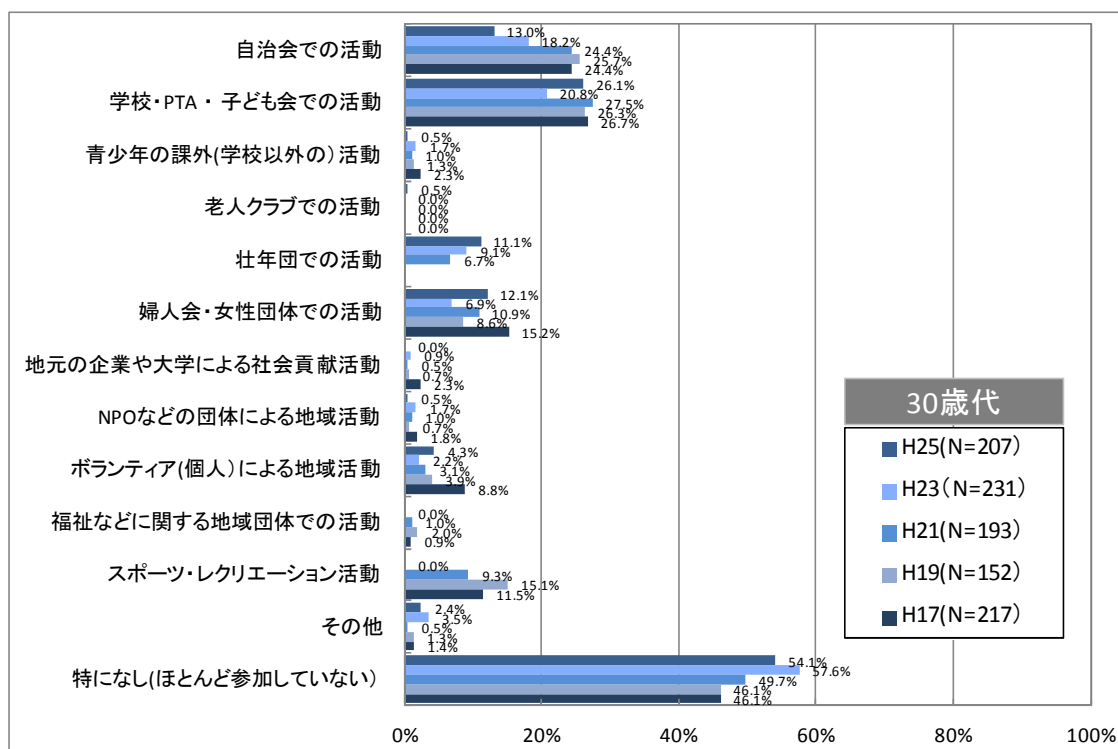
【経年変化】

- ・ 30 歳代以外の年代で H23 と比べて「特になし（ほとんど参加していない）」が増加しています。
- ・ 全ての年代で「自治会・町内会での活動」が減少しており、特に 40 歳代では約 20 ポイントの減少となっています。



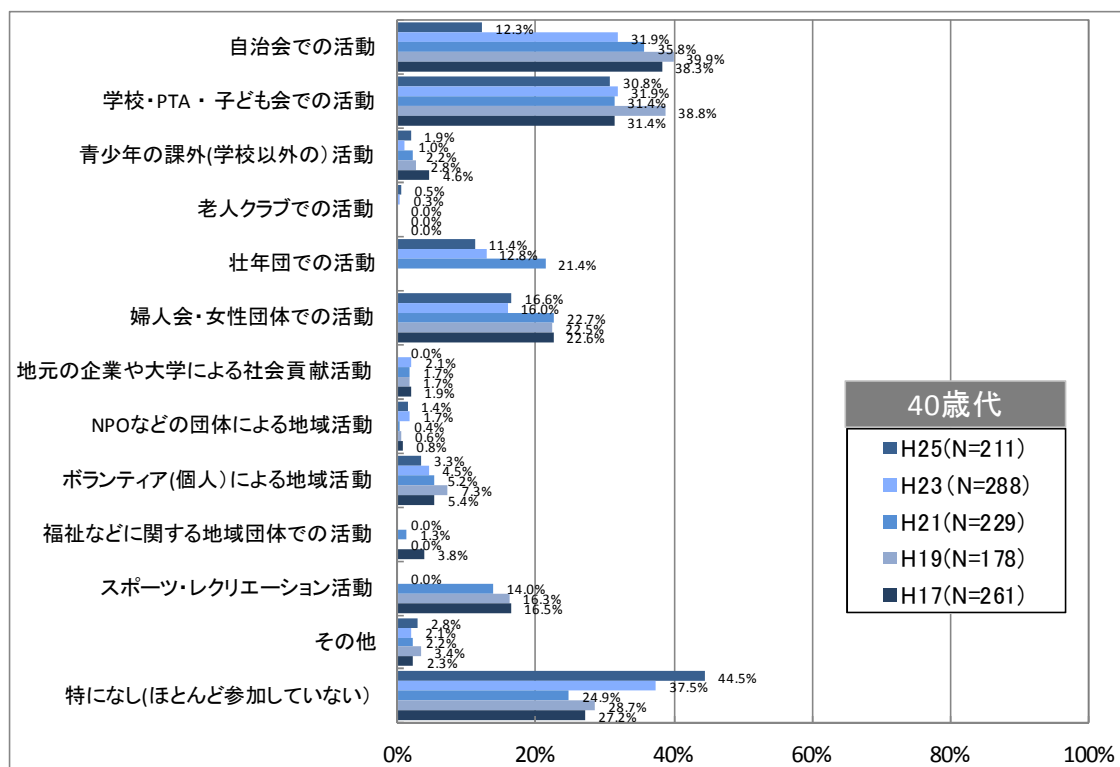
※「壮年団での活動」は、H19、H17 は調査項目なし

※「福祉などに関する地域団体での活動」「スポーツ・レクリエーション活動」は、H23 は調査項目なし



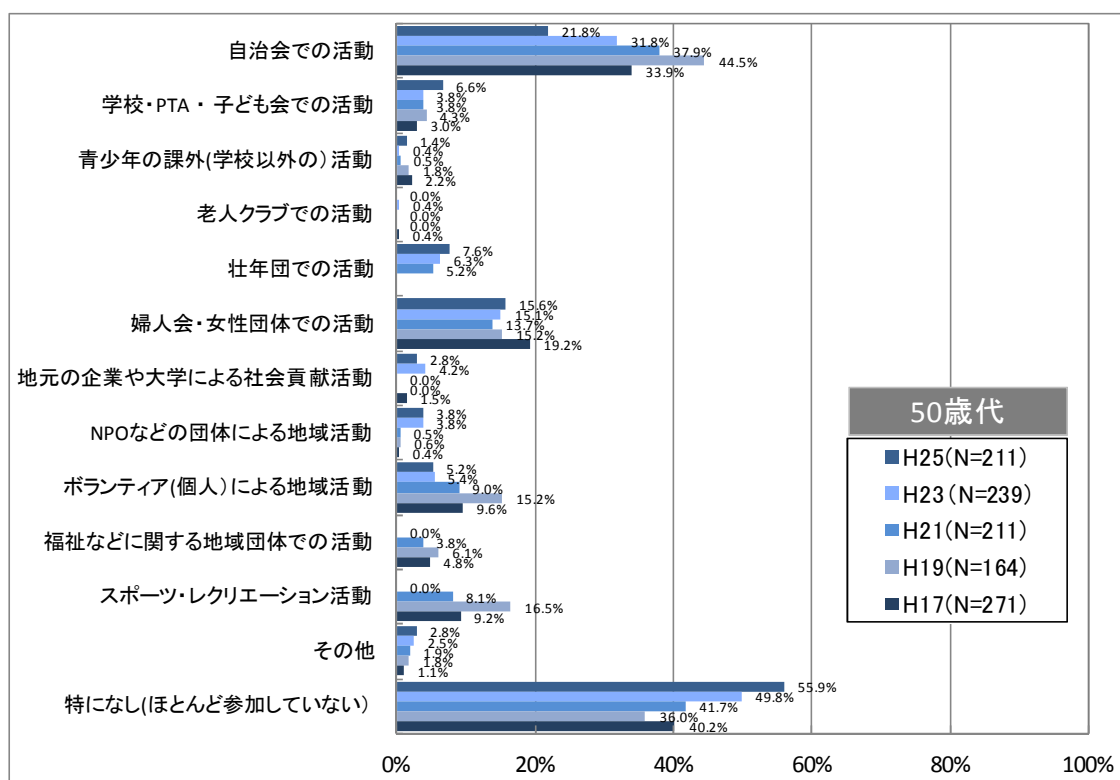
※「壮年団での活動」は、H19、H17 は調査項目なし

※「福祉などに関する地域団体での活動」「スポーツ・レクリエーション活動」は、H23 は調査項目なし



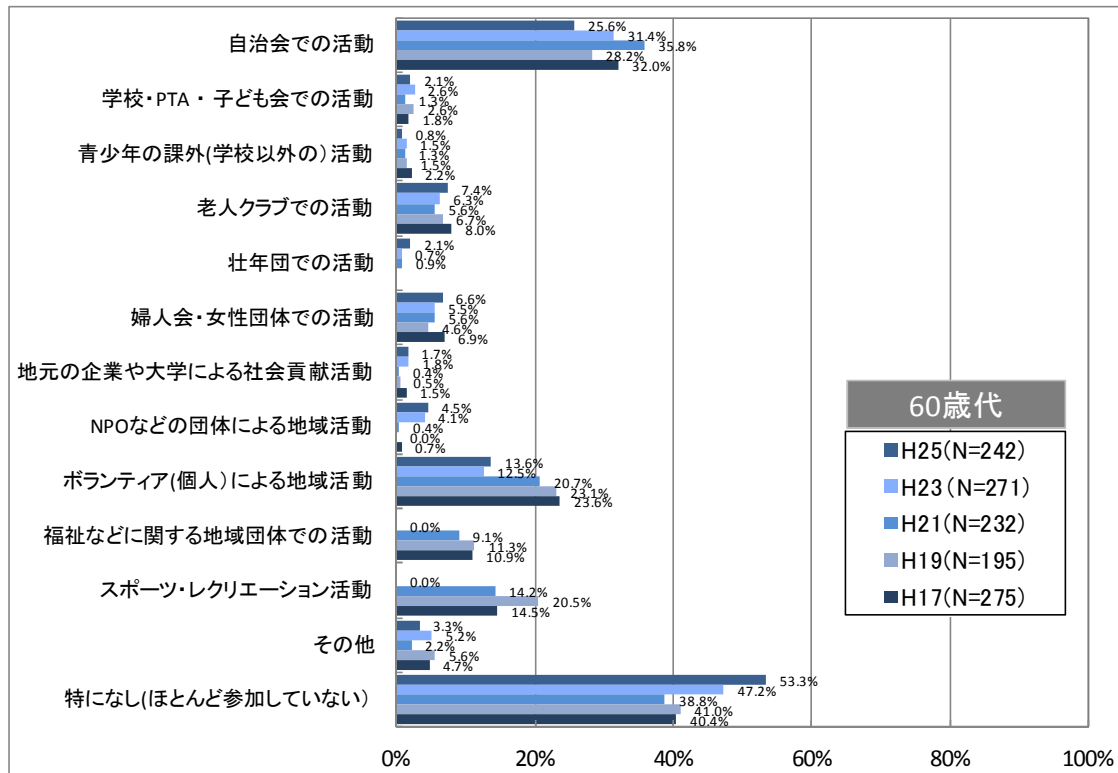
※「壮年団での活動」は、H19、H17 は調査項目なし

※「福祉などに関する地域団体での活動」「スポーツ・レクリエーション活動」は、H23 は調査項目なし



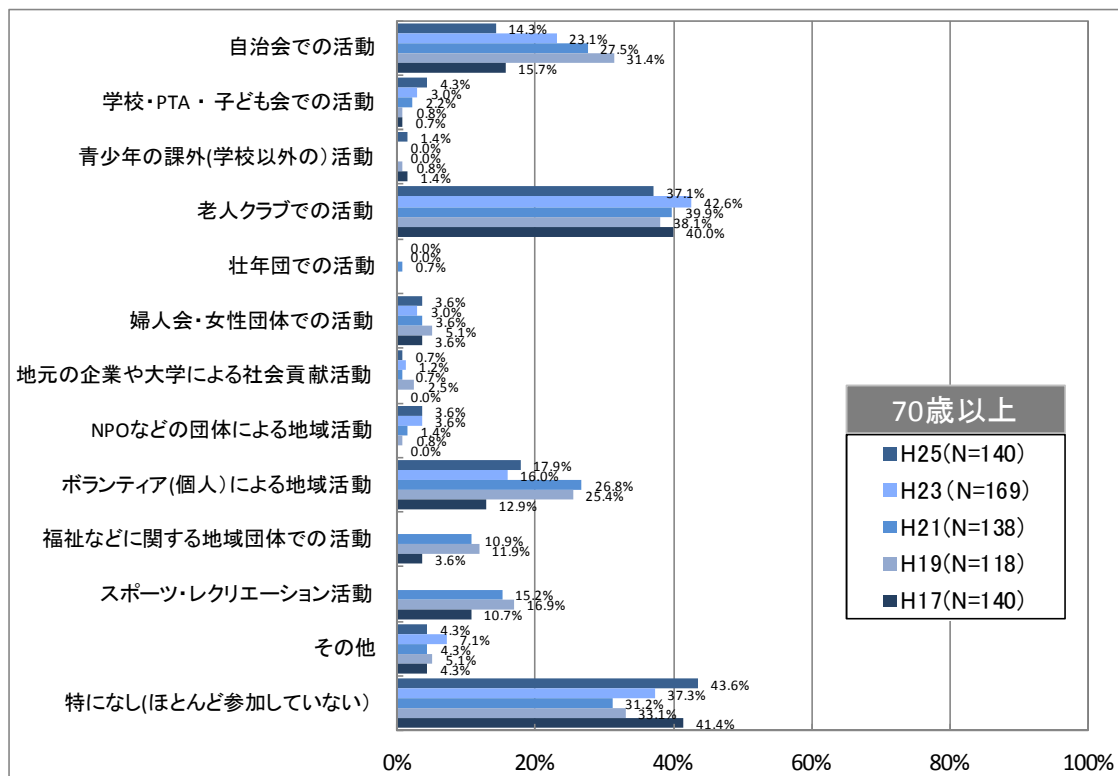
※「壮年団での活動」は、H19、H17 は調査項目なし

※「福祉などに関する地域団体での活動」「スポーツ・レクリエーション活動」は、H23 は調査項目なし



※「壮年団での活動」は、H19、H17 は調査項目なし

※「福祉などに関する地域団体での活動」「スポーツ・レクリエーション活動」は、H23 は調査項目なし



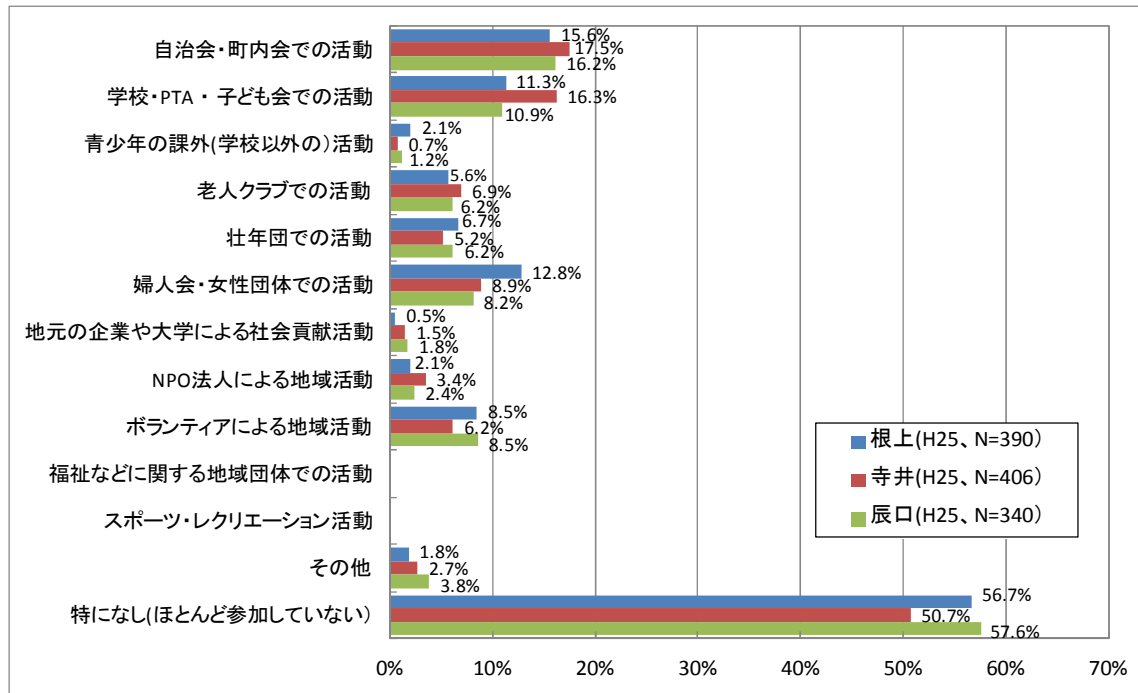
※「壮年団での活動」は、H19、H17 は調査項目なし

※「福祉などに関する地域団体での活動」「スポーツ・レクリエーション活動」は、H23 は調査項目なし

■地域活動、市民活動への参加状況（地区別）

【今回（H25）】

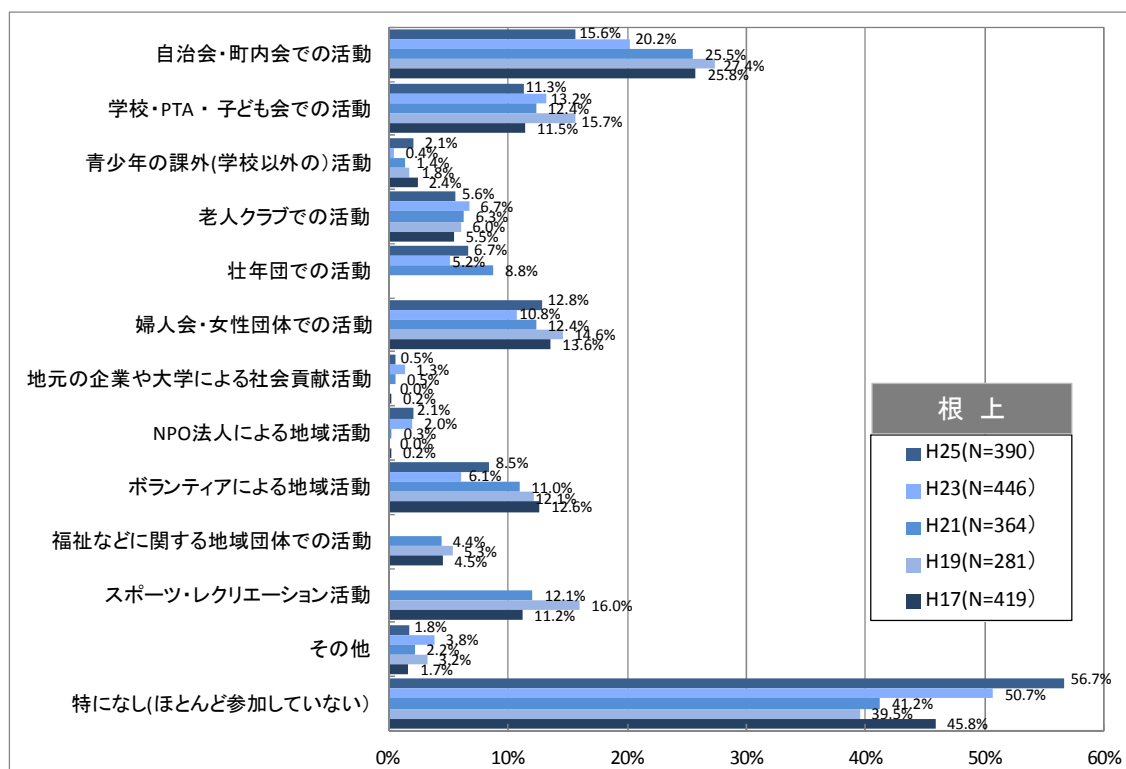
- ・ 3 地区共に「特になし」が約 5 割と最も多くなっています。
- ・ 「学校・PTA・子ども会での活動」は寺井が 16.3%となっており、根上、辰口と比べて 5 ポイント以上高くなっています。



※「福祉などに関する地域団体での活動」「スポーツ・レクリエーション活動」は、H23 は調査項目なし

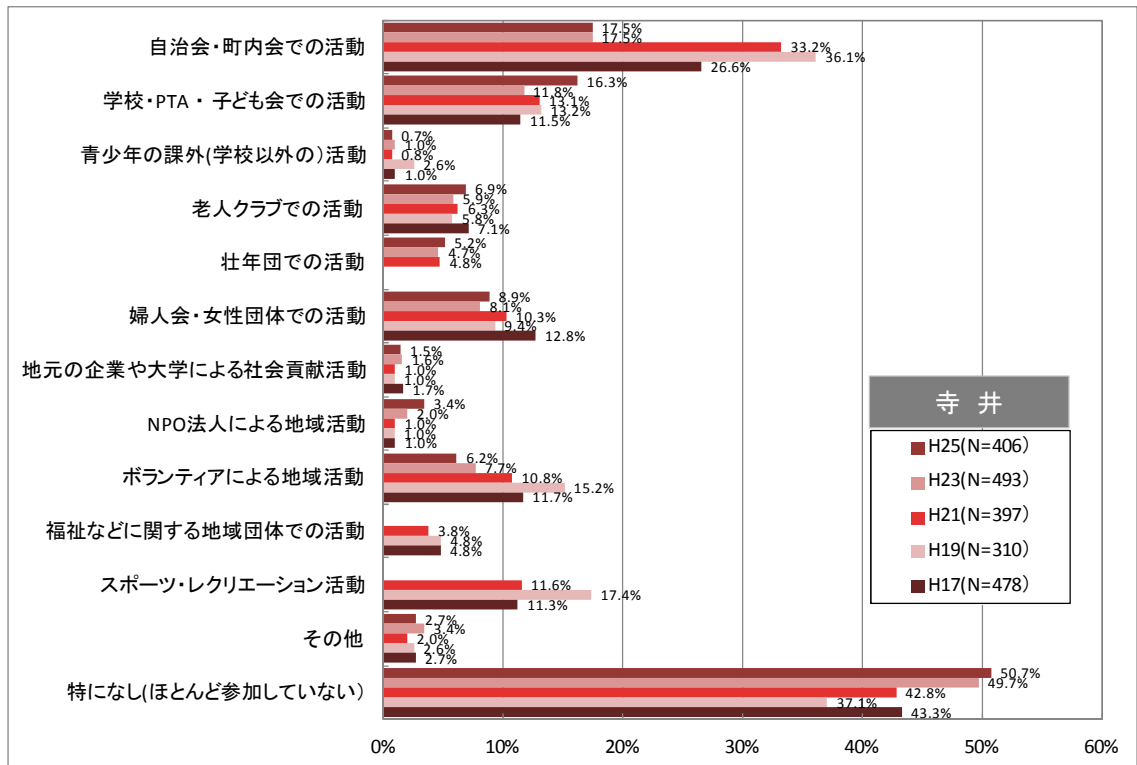
【経年変化】

- ・根上は「自治会・町内会での活動」が 15.6%と H23 と比べて約 5 ポイント減少しています。一方で「特になし（ほとんど参加していない）」は 56.7%と H23 と比べて 6 ポイント増加しています。
- ・寺井は H23 と比べて、どの項目も大きな変化はみられません。
- ・辰口は、「自治会・町内会での活動」が 16.2%と H23 と比べて約 14 ポイント減少しています。一方で「特になし（ほとんど参加していない）」は 57.6%と H23 と比べて約 9 ポイント増加しています。



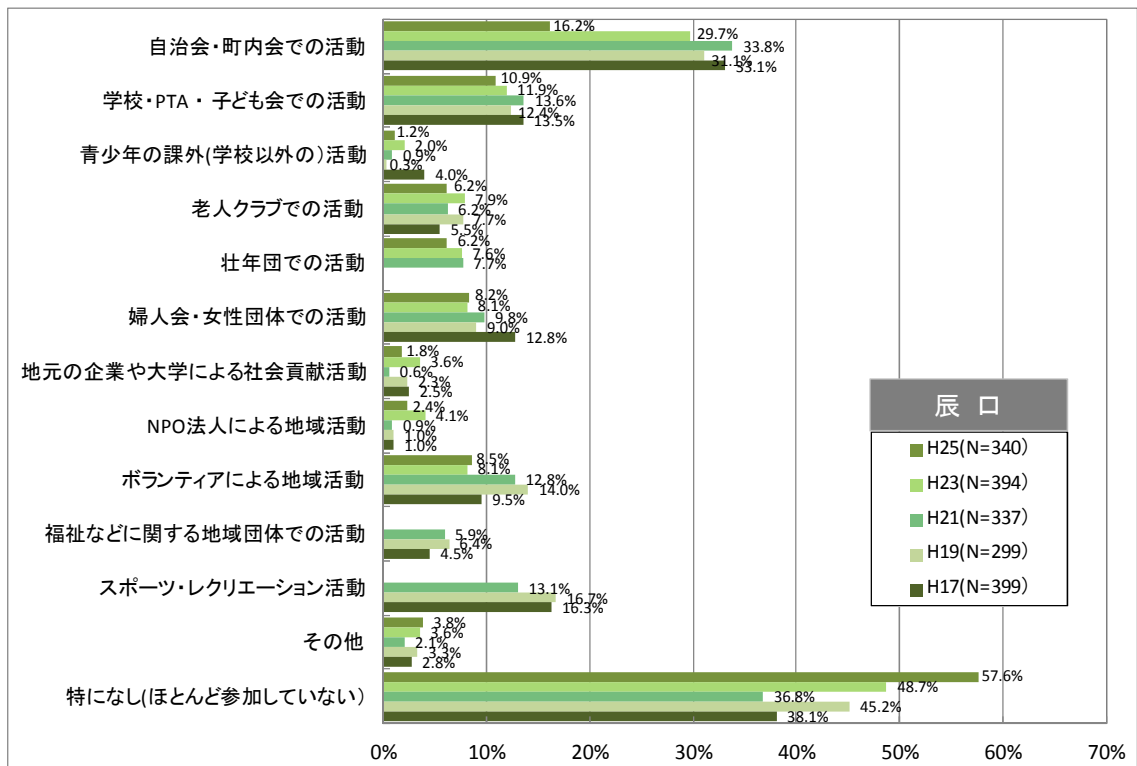
※「壮年団での活動」は、H19、H17 は調査項目なし

※「福祉などに関する地域団体での活動」「スポーツ・レクリエーション活動」は、H23 は調査項目なし



※「壮年団での活動」は、H19、H17 は調査項目なし

※「福祉などに関する地域団体での活動」「スポーツ・レクリエーション活動」は、H23 は調査項目なし

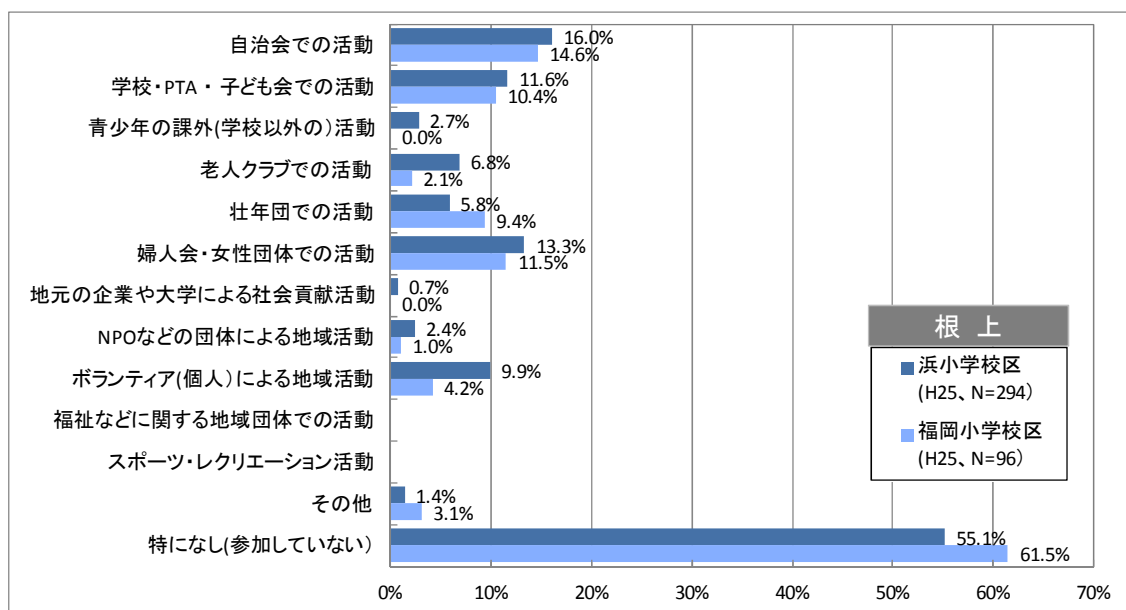


※「壮年団での活動」は、H19、H17 は調査項目なし

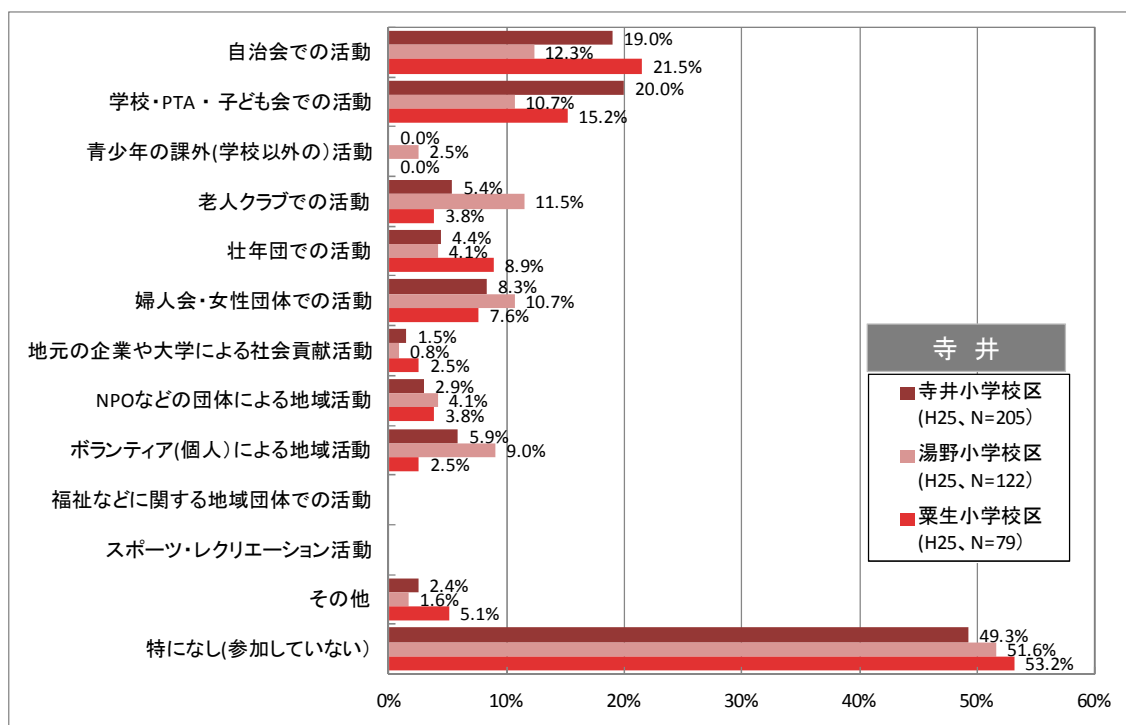
※「福祉などに関する地域団体での活動」「スポーツ・レクリエーション活動」は、H23 は調査項目なし

【小学校区別】

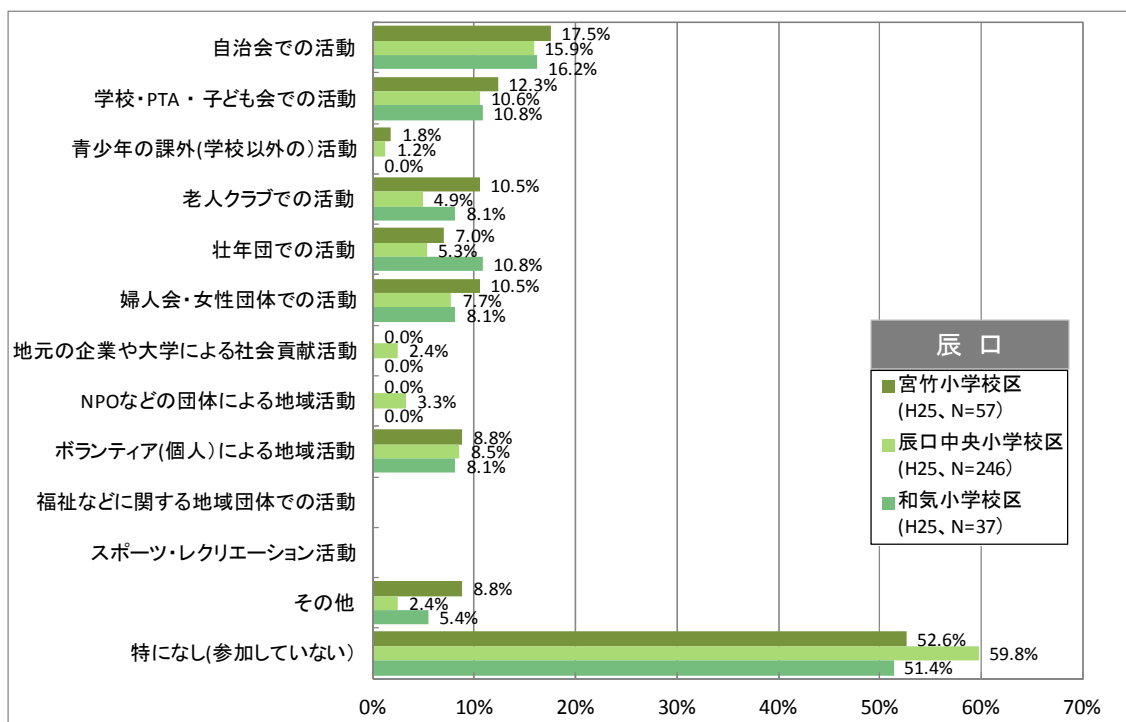
- ・全ての小学校区で「特になし（ほとんど参加していない）」が最も多くなっています。特に、福岡小学校区、辰口中央小学校区は約 6 割と他の小学校区と比べて高くなっています。
- ・次いで、寺井小学校区以外では「自治会・町内会での活動」が多くなっています。
- ・寺井小学校区は「学校・PTA・子ども会での活動」が 2 割と比較的高くなっています。



※「福祉などに関する地域団体での活動」「スポーツ・レクリエーション活動」は、H23 は調査項目なし



※「福祉などに関する地域団体での活動」「スポーツ・レクリエーション活動」は、H23 は調査項目なし



※「福祉などに関する地域団体での活動」「スポーツ・レクリエーション活動」は、H23 は調査項目なし

問 18

お住まいの地域（自治会等）で、地域が主体となって取り組むべき課題は、どんなことでしょうか？（3つまで○）

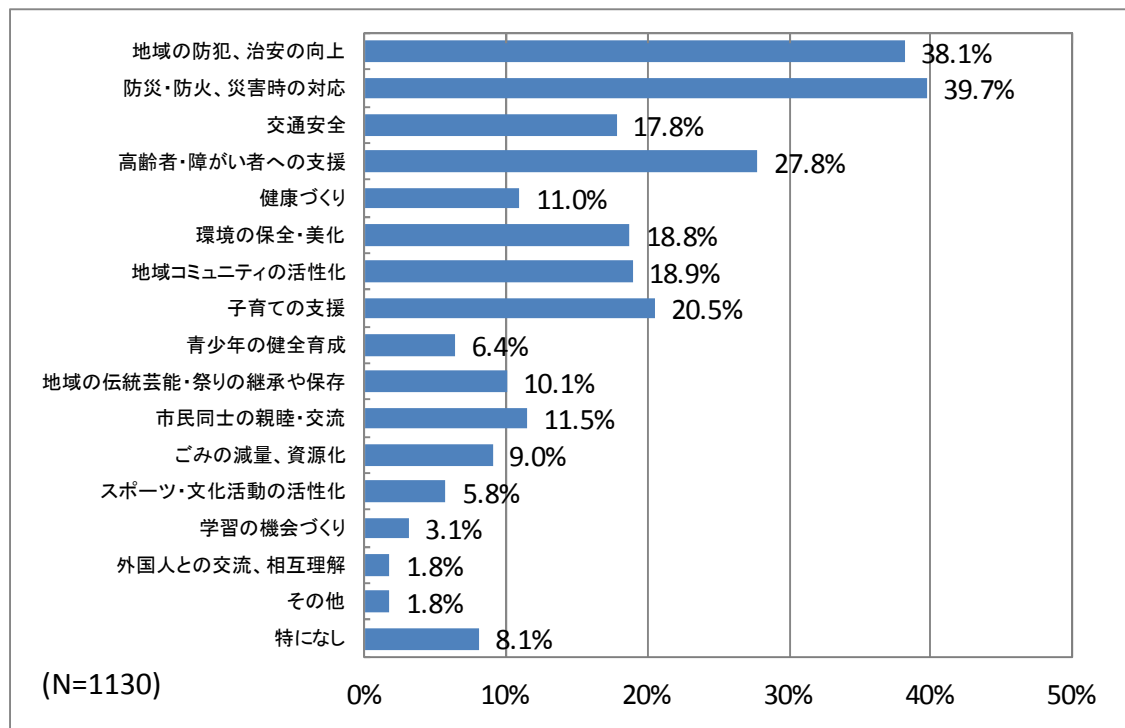
※H25 に追加した設問

- ◆「防災・防火、災害時の対応」が 39.7%と最も多く、次いで「地域の防犯、治安の向上」が 38.1%、「高齢者・障がい者への支援」が 27.8%となっています。

選択項目	回答数	構成比
地域の防犯、治安の向上	431	38.1%
防災・防火、災害時の対応	449	39.7%
交通安全	201	17.8%
高齢者・障がい者への支援	314	27.8%
健康づくり	124	11.0%
環境の保全・美化	212	18.8%
地域コミュニティの活性化	214	18.9%
子育ての支援	232	20.5%
青少年の健全育成	72	6.4%
地域の伝統芸能・祭りの継承や保存	114	10.1%
市民同士の親睦・交流	130	11.5%
ごみの減量、資源化	102	9.0%
スポーツ・文化活動の活性化	65	5.8%
学習の機会づくり	35	3.1%
外国人との交流、相互理解	20	1.8%
その他	20	1.8%
特になし	91	8.1%
無回答	155	-
回答数	2,981	263.8%
回答者数(有効回答－無回答)	1,130	100.0%

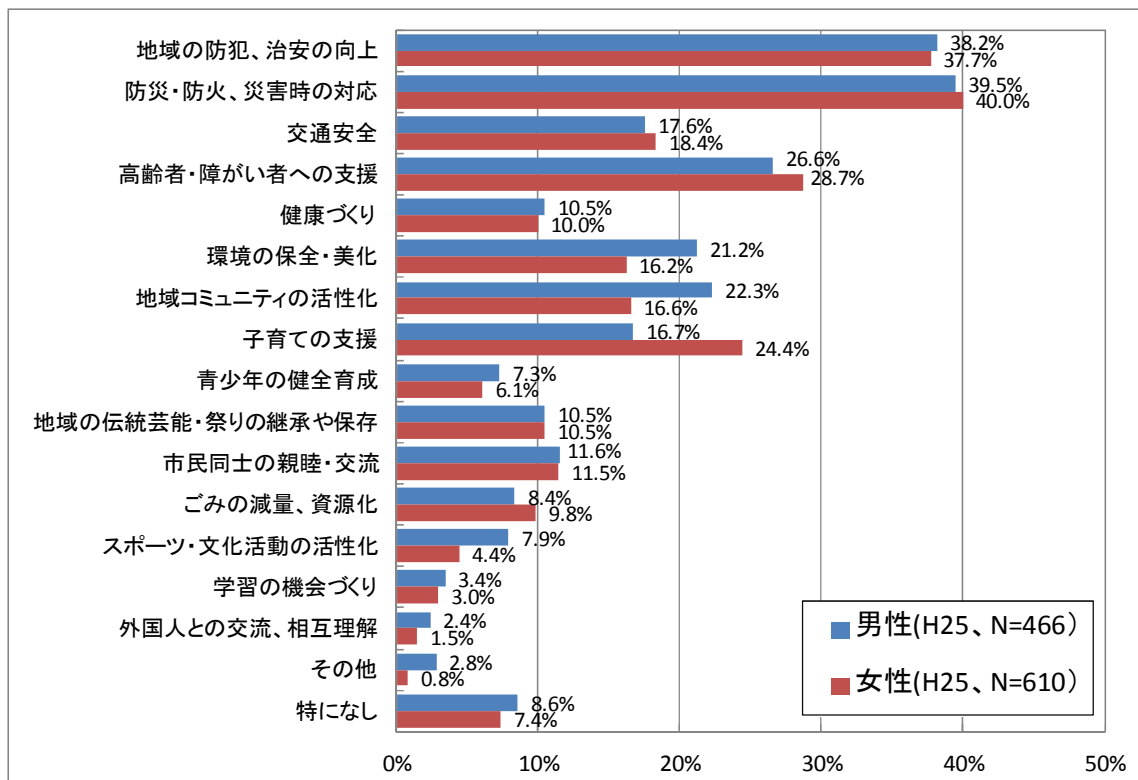
その他： 体育館の設備改善・リフォーム、ペットのマナー、犬の糞害、空家対策、医療充実、景観の統一・美観条例、農地や自然の保護、公共交通の推進、課題を共有する機会づくり など

※():H25 における回答者数



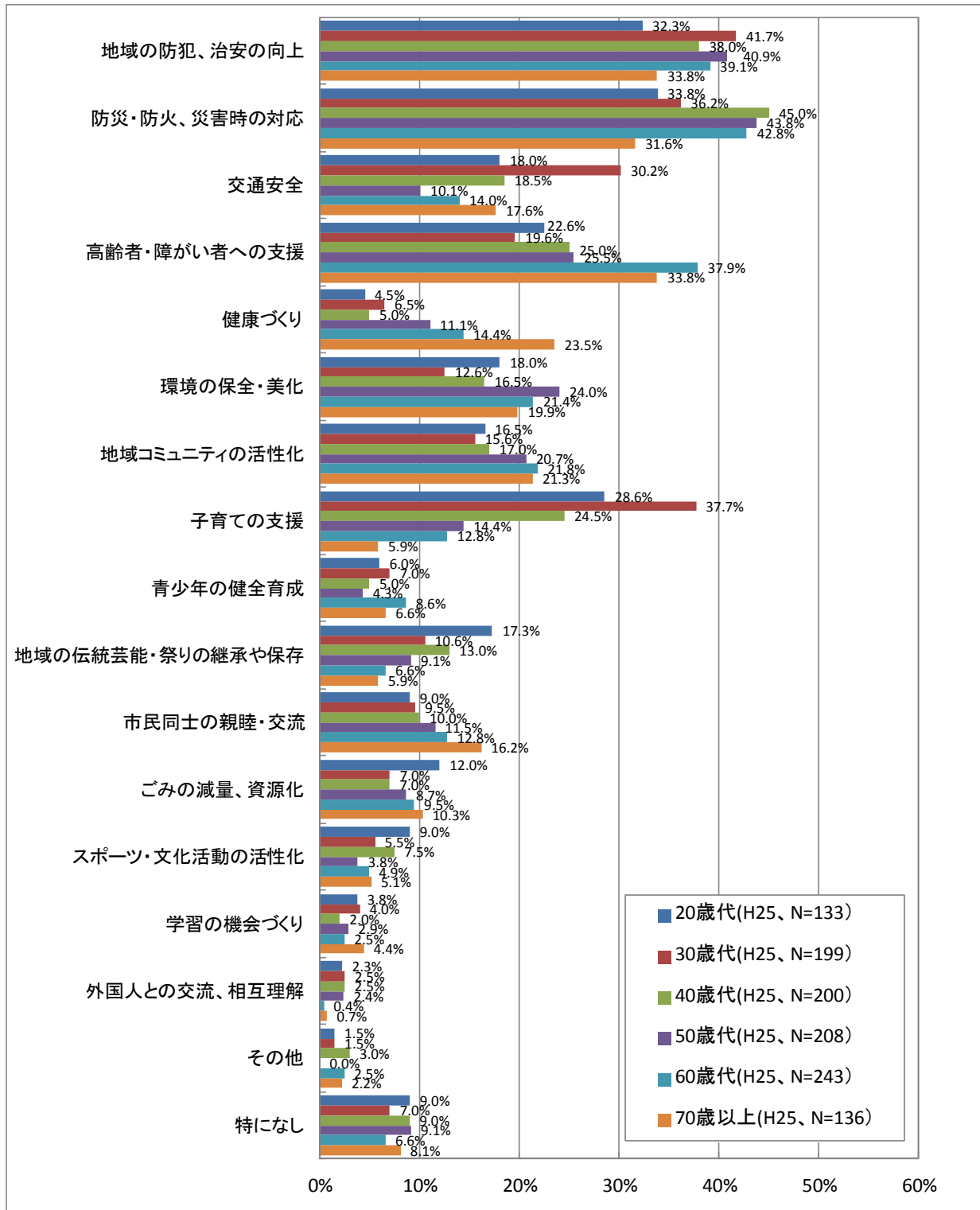
■地域が主体となって取り組むべき課題（性別）

- ・男女共に「防災・防火、災害時の対応」が最も多く、次いで「地域の防犯、治安の向上」、「高齢者・障がい者への支援」となっています。
- ・男性は「地域コミュニティの活性化」が 22.3%と約 6 ポイント、「環境の保全・美化」が 21.2%と、5 ポイント、女性より高くなっています。
- ・女性は「子育ての支援」が 24.4%と約 8 ポイント、男性より高くなっています。



■地域が主体となって取り組むべき課題（年代別）

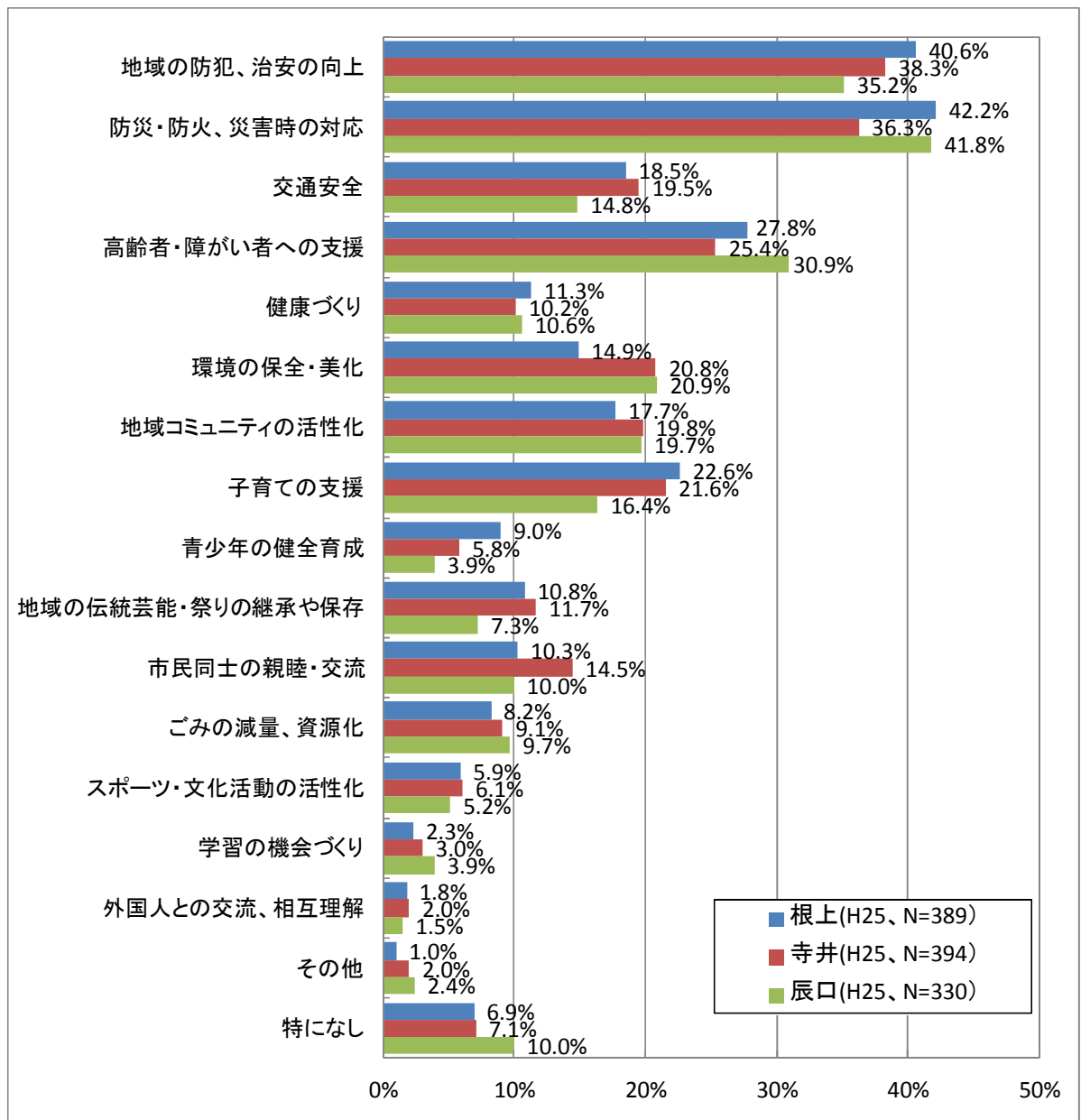
- ・60 歳以上は「高齢者・障がい者への支援」が他の年代と比べて 8 ポイント以上高くなっています。
- ・30 歳代は「子育て支援」が 37.7%と他の年代と比べて 9 ポイント以上高くなっています。
- ・年代が上がるほど「健康づくり」の割合が高くなっています。



■地域が主体となって取り組むべき課題（地区別）

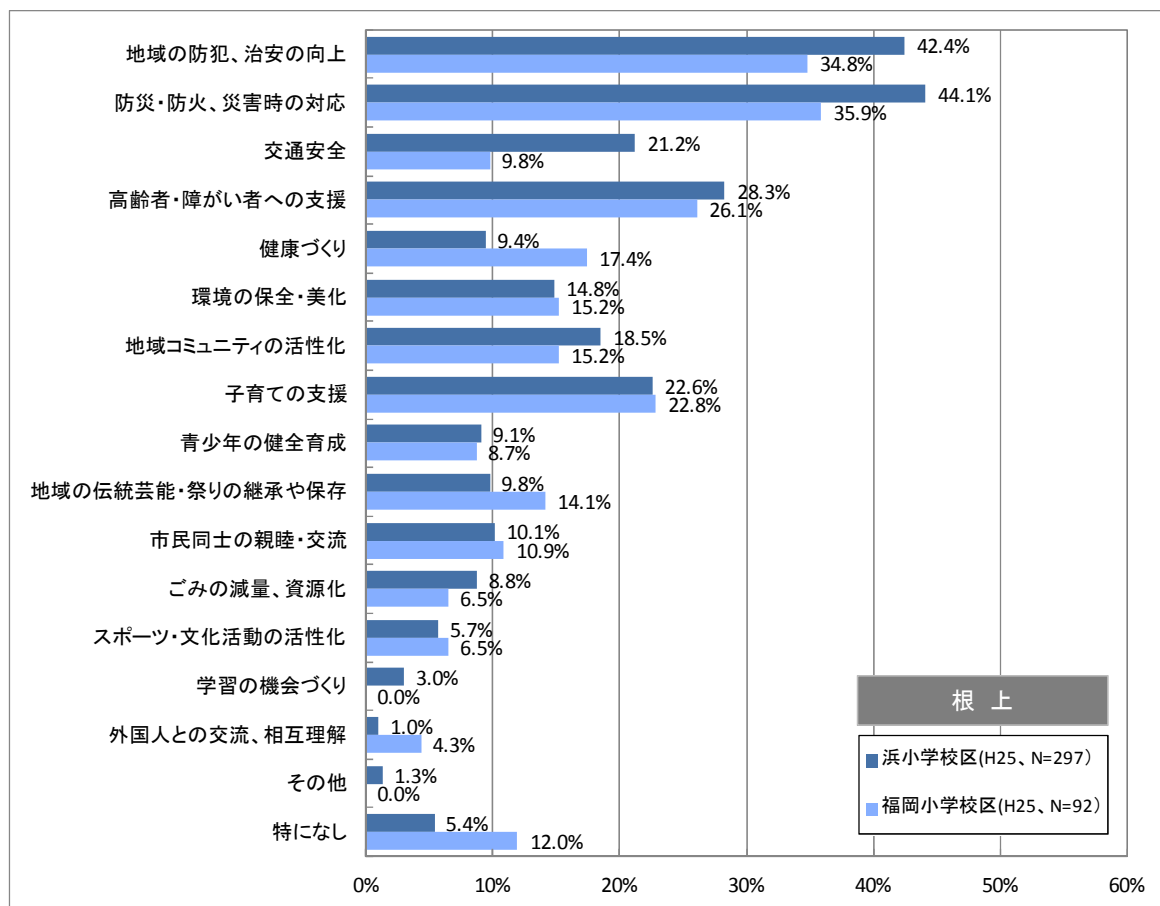
【地区別】

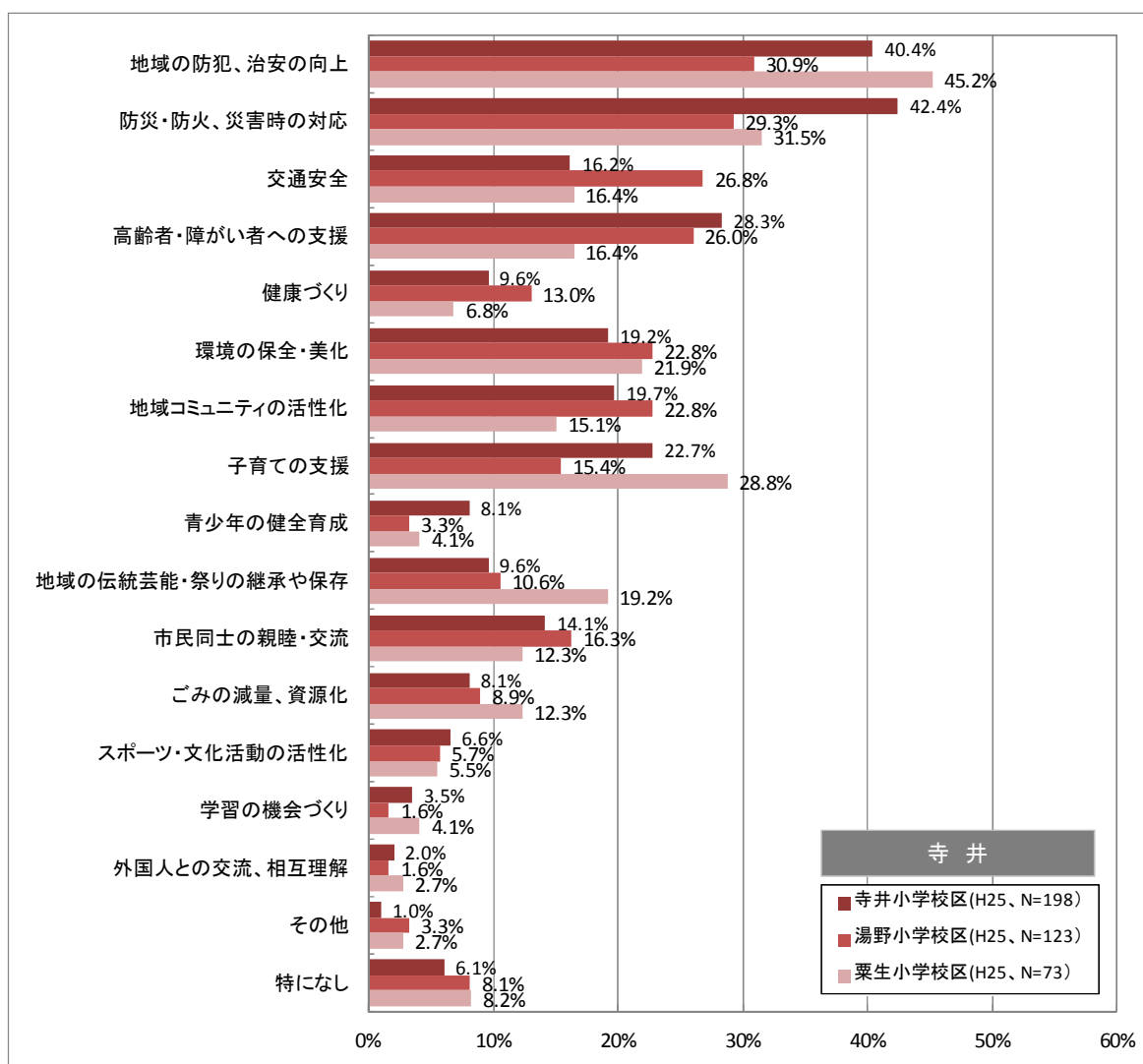
- ・根上、辰口は「防災・防火、災害時の対応」、寺井では「地域の防犯、治安の向上」が最も多くなっています。
- ・根上は「環境の保全・美化」が 14.9%と他の地域と比べて約 6 ポイント低くなっています。
- ・辰口は「子育て支援」が 16.4%と他の地域と比べて 5 ポイント以上低くなっています。

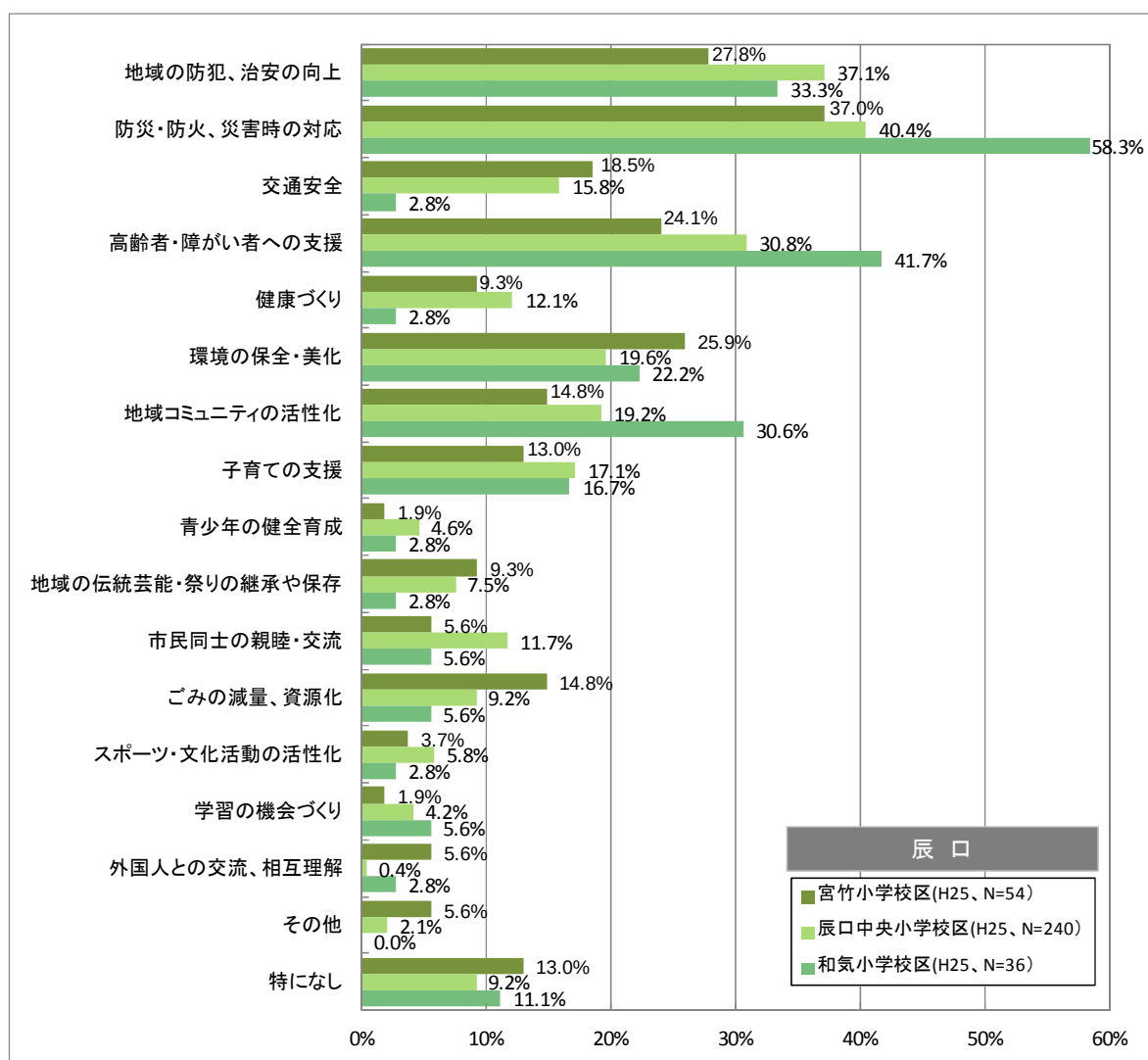


【小学校区別】

- ・和気小学校区では「防災・防火、災害時の対応」が 58.3%と他の小学校区と比べて 14 ポイント以上、「高齢者・障がい者への支援」が 41.7%で 11 ポイント以上、「地域コミュニティの活性化」が 30.6%で 8 ポイント以上高くなっています。
- ・栗生小学校区では「子育ての支援」が 28.8%と他の小学校区と比べて 6 ポイント以上高くなっています。







問 19

地域社会の問題解決に向けて、市民同士、あるいは市民と行政の協力（協働）関係をより深めるために、どんなことが重要だと思いますか？（2つまで○）

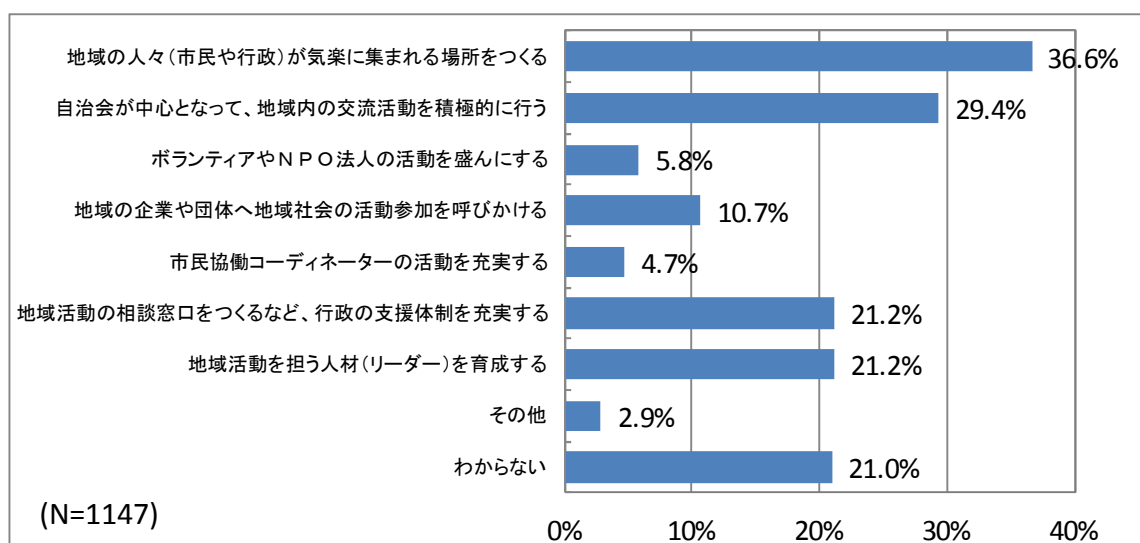
※H25 に追加した設問

- ◆「地域の人々（市民や行政）が気楽に集まれる場所をつくる」が 36.6%と最も多く、次いで「自治会が中心となって、地域内の交流活動を積極的に行う」が 29.4、「地域活動の相談窓口をつくるなど、行政の支援体制を充実する」「地域活動を担う人材（リーダー）を育成する」がそれぞれ 21.2%となっています。

選択項目	回答数	構成比
地域の人々（市民や行政）が気楽に集まれる場所をつくる	420	36.6%
自治会が中心となって、地域内の交流活動を積極的に行う	337	29.4%
ボランティアやNPO法人の活動を盛んにする	67	5.8%
地域の企業や団体へ地域社会の活動参加を呼びかける	123	10.7%
市民協働コーディネーターの活動を充実する	54	4.7%
地域活動の相談窓口をつくるなど、行政の支援体制を充実する	243	21.2%
地域活動を担う人材（リーダー）を育成する	243	21.2%
その他	33	2.9%
わからない	241	21.0%
無回答	138	—
回答数	1,899	165.6%
回答者数（有効回答－無回答）	1,147	100.0%

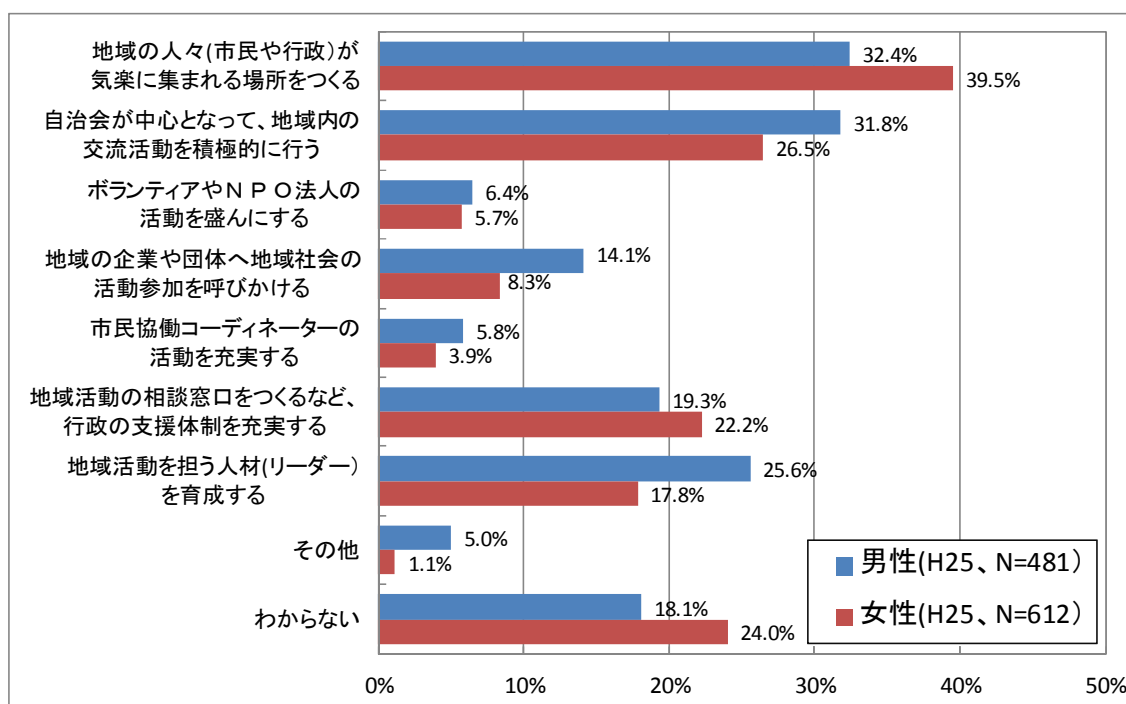
その他： シングルママの集い、集合住宅住民と地域の交流、若者と高齢者の交流、ポジティブなキャンペーンの打出し、地区内の助け合い、自治能力の向上、行政内の横断的關係、地域住民でできそうな行政サービスの導入、行政職員の市民活動参加、議員の定期的な報告会、行政職員の問題現場への理解、効果的な情報発信、市民一人一人が行政について知る、市政の目標をはっきり示す、学校のカリキュラムにボランティア科目を入れる、子供が伸び伸びと安全に遊べる施設の充実、市政に参加しやすい環境、子どもが集まれる・遊ぶ児童館・体育館、保育園や小学校の間の教育など

※（ ）：H25 における回答者数



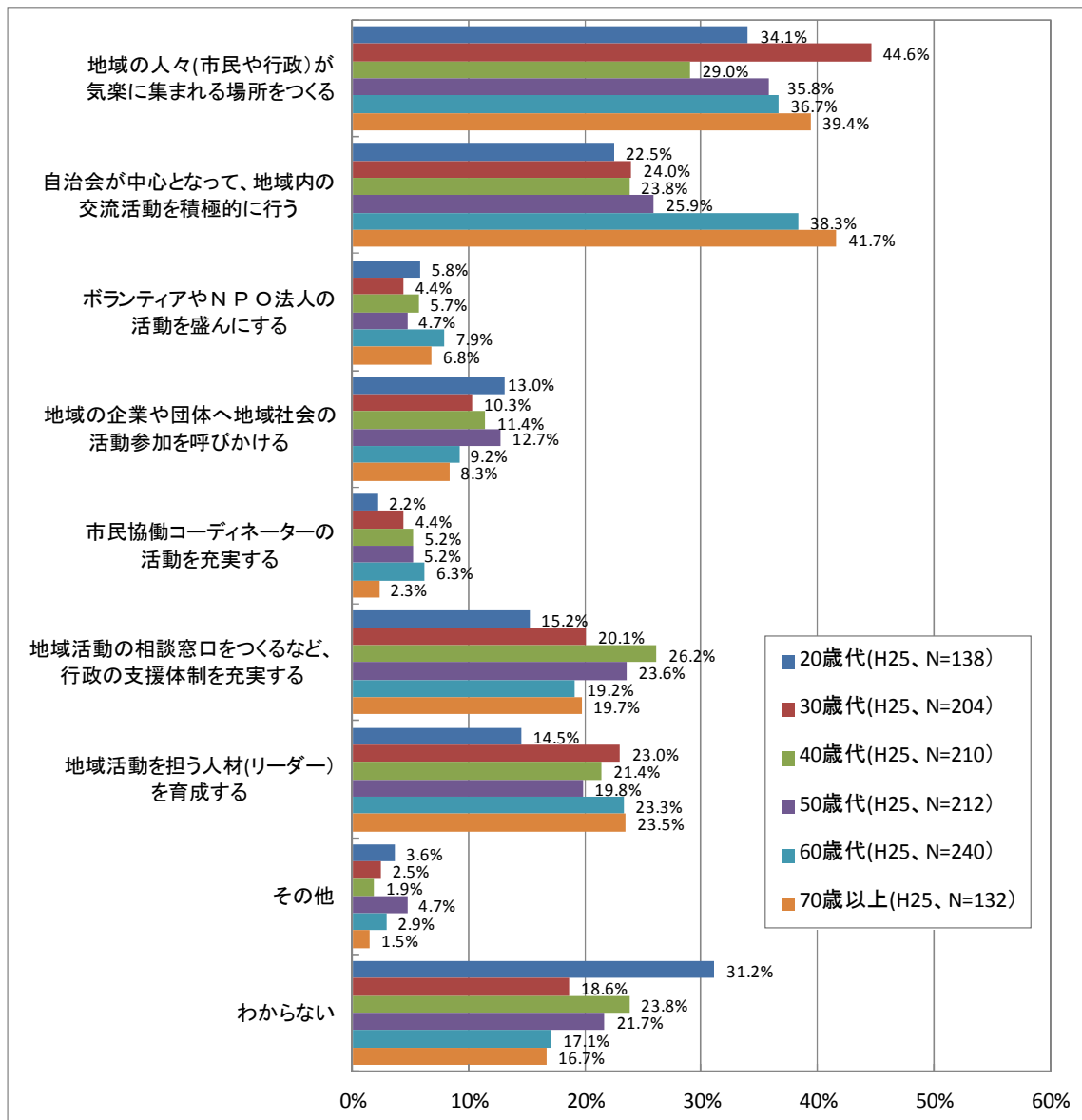
■市民と行政の協働推進に必要なこと（性別）

- ・男女共には「地域の人々（市民や行政）が気楽に集まれる場所をつくる」が最も多くなっています。
- ・男性は「地域活動を担う人材（リーダー）を育成する」が 25.6%と、約 8 ポイント、「地域の企業や団体へ地域社会の活動参加を呼びかける」が 14.1%と約 6 ポイント、女性より高くなっています。
- ・女性は「地域の人々（市民や行政）が気楽に集まれる場所をつくる」が 39.5%と、約 7 ポイント、男性より高くなっています。



■市民と行政の協働推進に必要なこと（年代別）

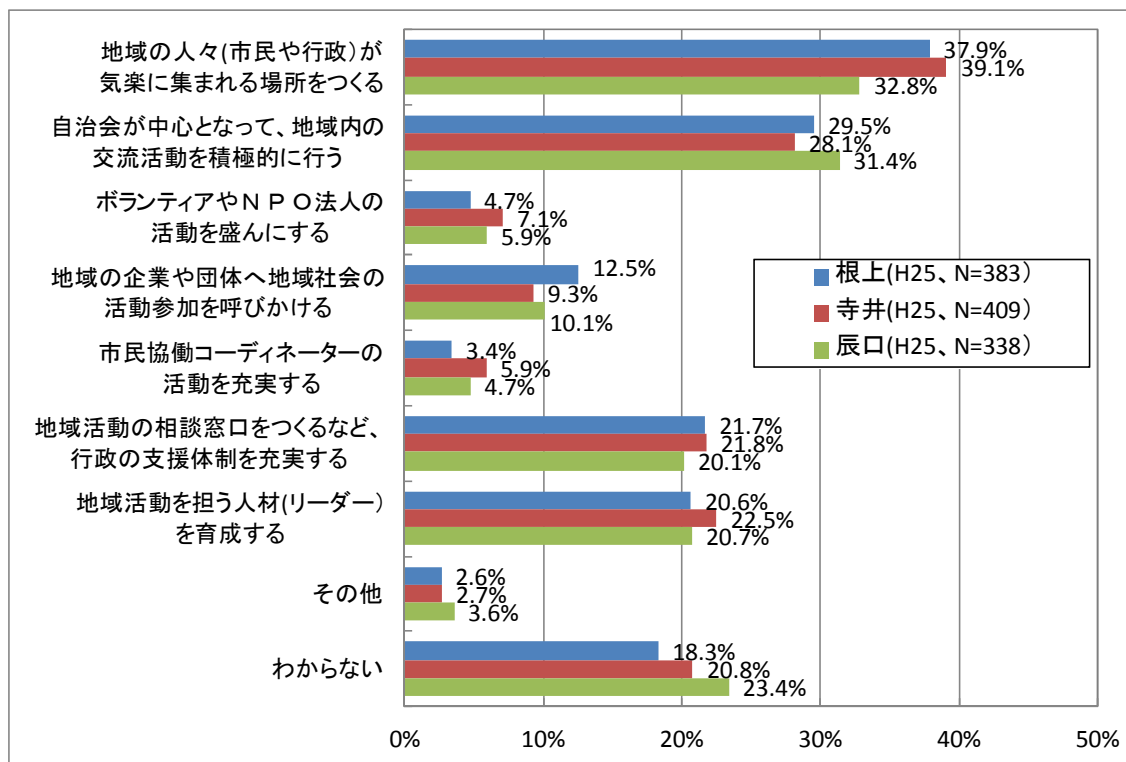
- ・ 60 歳以上は「自治会が中心となって、地域内の交流活動を積極的に行う」が約 4 割と、他の年代と比べて 12 ポイント以上高くなっています。
- ・ 30 歳代では「地域の人々（市民や行政）が気楽に集まれる場所をつくる」が 44.6%と、他の年代と比べて 5 ポイント以上高くなっています。
- ・ 20 歳代では「わからない」が 31.2%と、他の年代と比べて 7 ポイント以上高くなっています。



■市民と行政の協働推進に必要なこと（地区別）

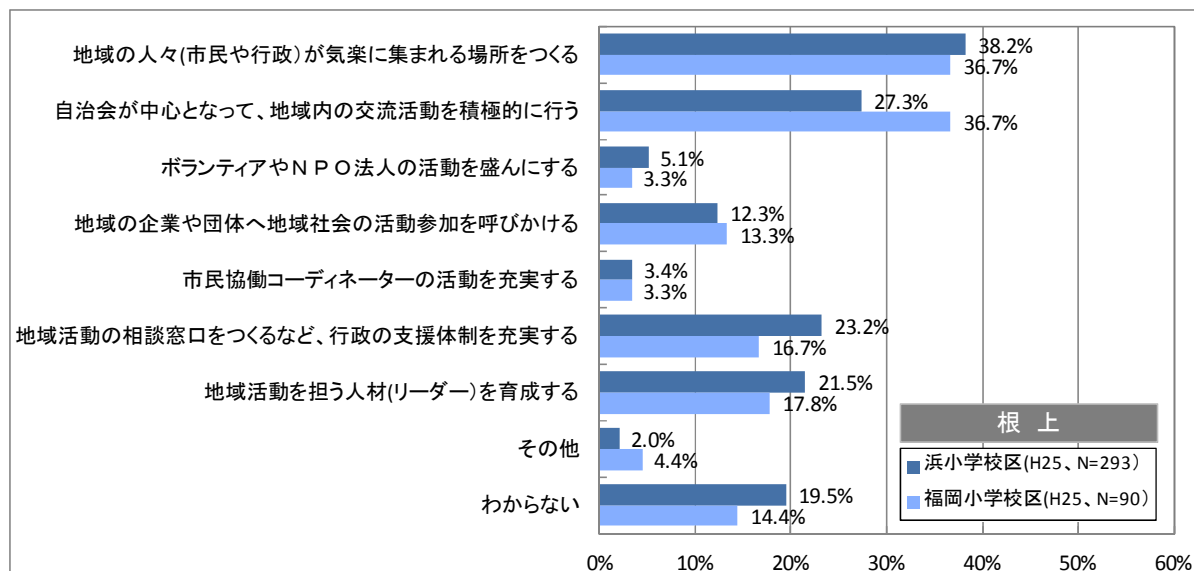
【地区別】

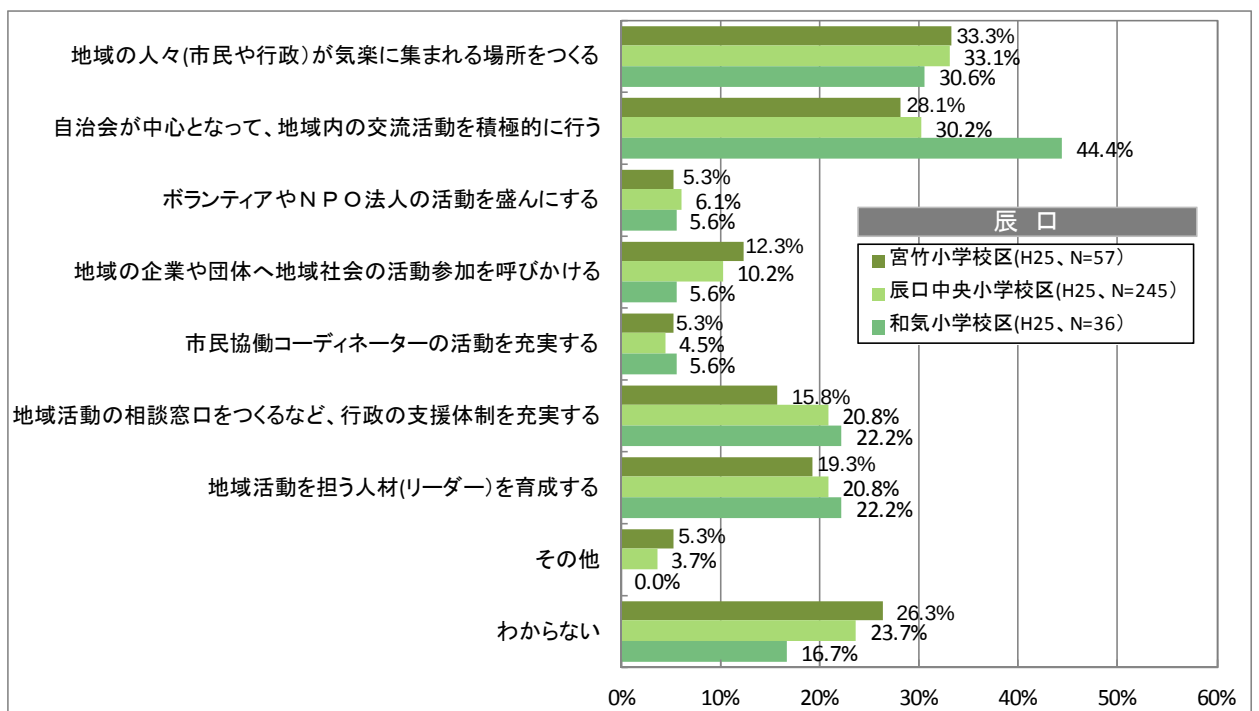
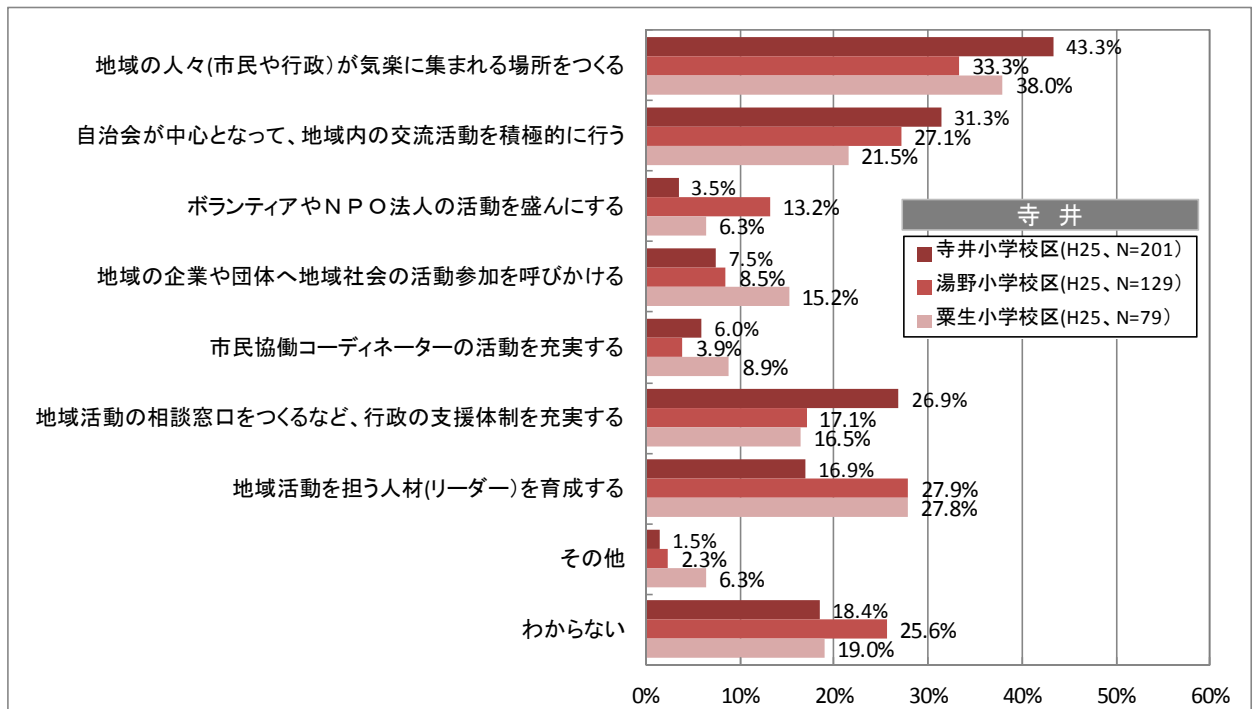
- ・ 3 地区共に「地域の人々（市民や行政）が気楽に集まれる場所をつくる」が最も多く、次いで「自治会が中心となって、地域内の交流活動を積極的に行う」となっています。
- ・ 地区による大きな違いはみられません。



【小学校区別】

- ・ 寺井小学校区は「地域の人々（市民や行政）が気楽に集まれる場所をつくる」が 43.3%と、他の小学校区と比べて 5 ポイント以上高くなっている。
- ・ 和気小学校区では「自治会が中心となって、地域内の交流活動を積極的に行う」が 44.4%と、他の小学校区と比べて 7 ポイント以上高くなっている。





問 20 地域の問題解決に向けて、あなたの地域でまちづくり活動をするときに、活動の妨げになっていることは何ですか？（2つまで○）

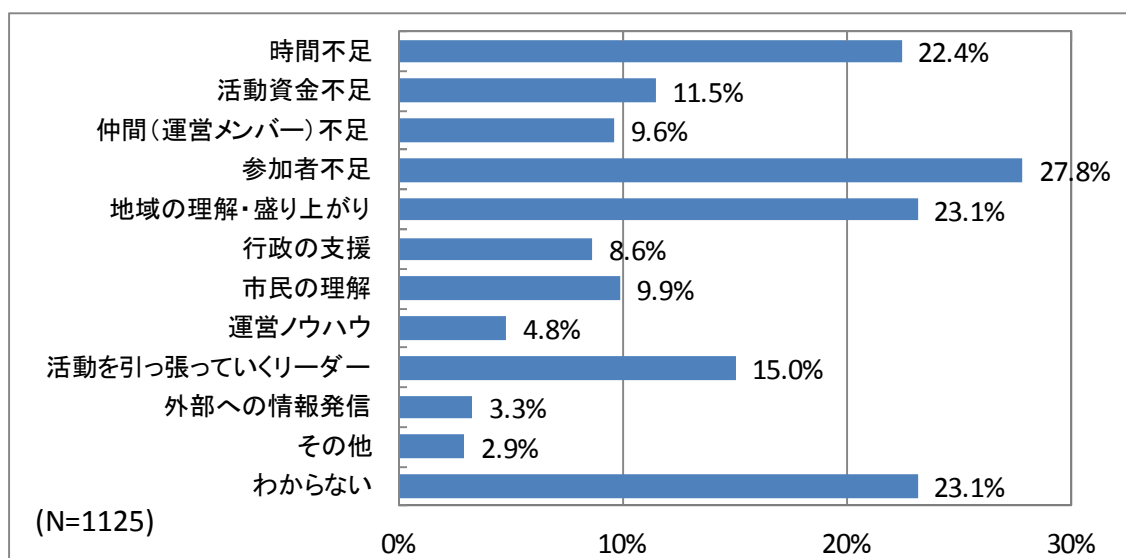
※H25 に追加した設問

- ◆「参加者不足」が 27.8%と最も多く、次いで「地域の理解・盛り上がり」「わからない」がそれぞれ 23.1%となっています。

選択項目	回答数	構成比
時間不足	252	22.4%
活動資金不足	129	11.5%
仲間（運営メンバー）不足	108	9.6%
参加者不足	313	27.8%
地域の理解・盛り上がり	260	23.1%
行政の支援	97	8.6%
市民の理解	111	9.9%
運営ノウハウ	54	4.8%
活動を引っ張っていくリーダー	169	15.0%
外部への情報発信	37	3.3%
その他	33	2.9%
わからない	260	23.1%
無回答	160	—
回答数	1,983	176.3%
回答者数（有効回答－無回答）	1,125	100.0%

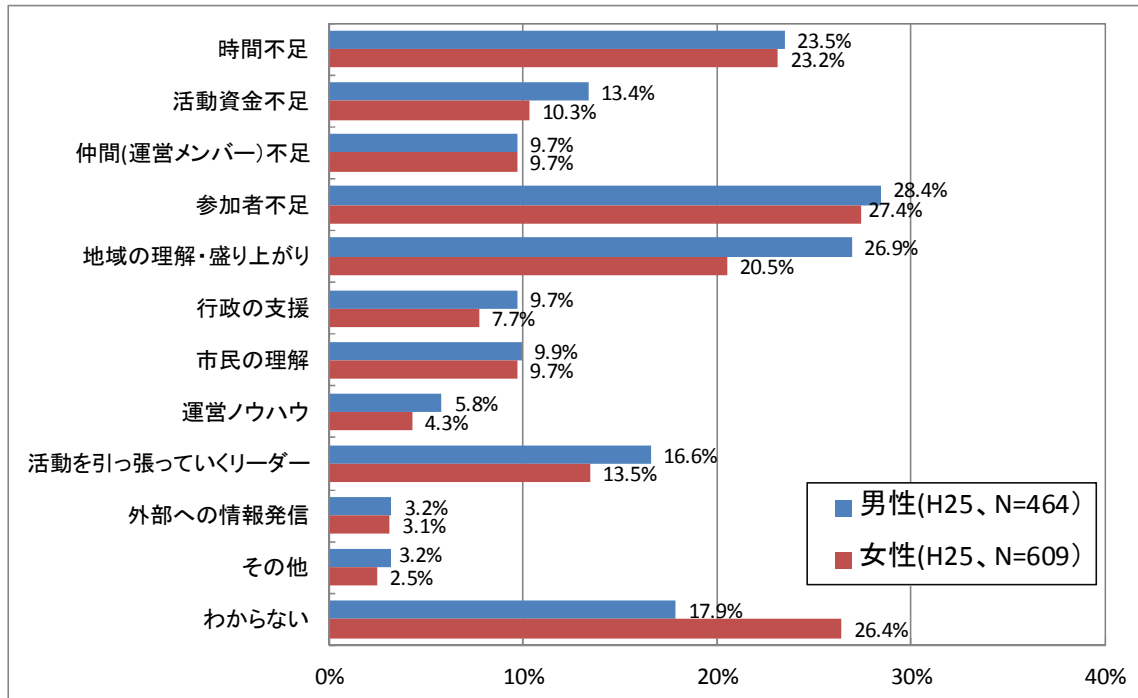
その他： 若者と高齢者（旧住民）の関係（3）、旧町内と新地域との意識、労働基準を守らない職場のしめつけ、男尊女卑的発想（特に年配者）、仕事・子育てが忙しい、有能な人材はそういない、住民の無関心、バカになる人がいない、自治能力不足、面倒くさいと思う心、やる気のなさ、人間の不足、目的を持って活動していない、地域の活動に対し興味を持たなくなっている、マンネリ化のリーダー、愛着の希薄、活動日数が多すぎる、地域住民のミスコミュニケーション、年齢 など

※（ ）：H25 における回答者数



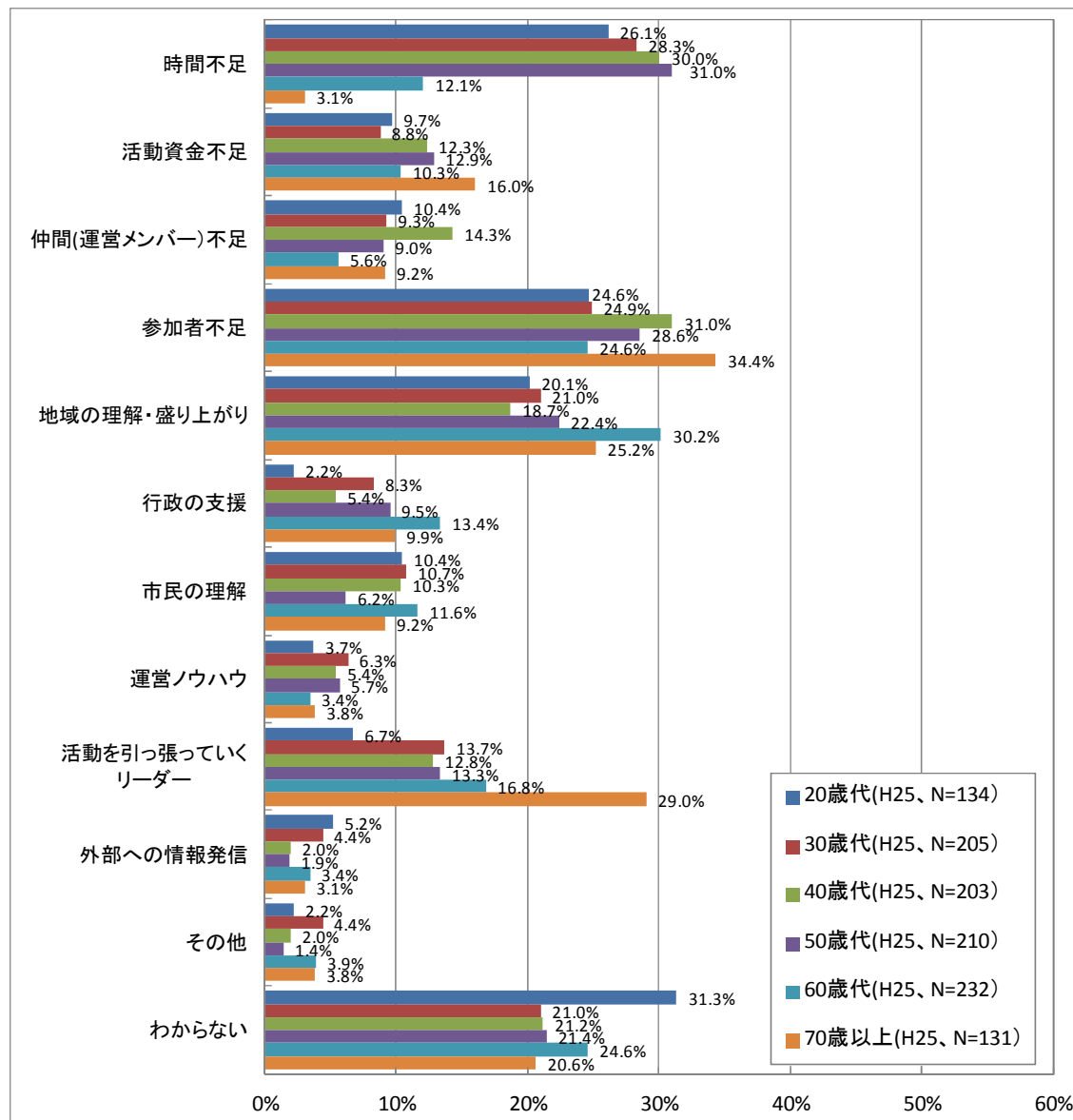
■まちづくり活動の妨げになっていること（性別）

- ・男女共に「参加者不足」が最も多くなっています。
- ・男性は「地域の理解・盛り上がり」が 26.9%と、約 6 ポイント、女性より高くなっています。
- ・女性は「わからない」が 26.4%と、約 9 ポイント、男性より高くなっています。



■まちづくり活動の妨げになっていること（年代別）

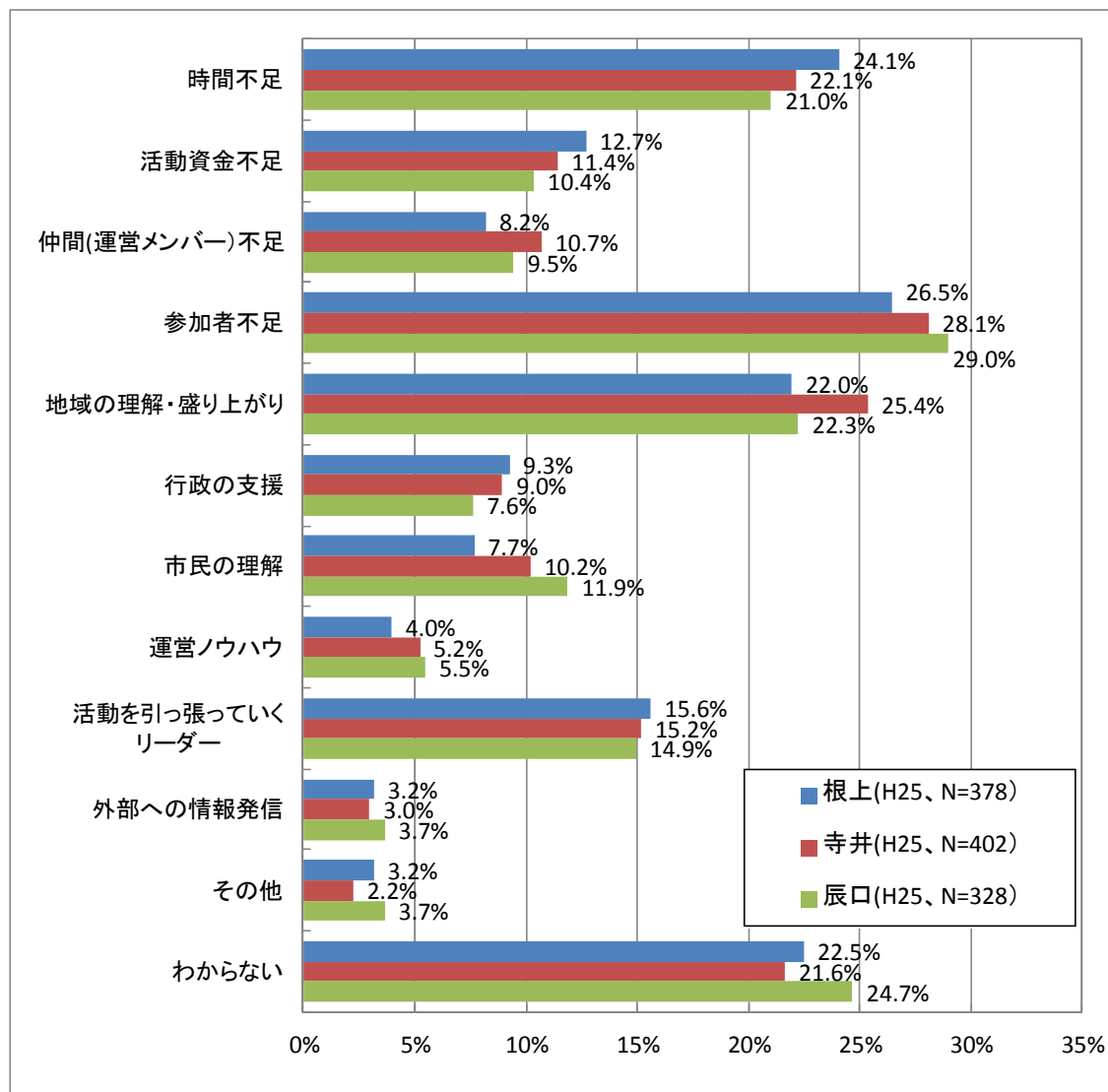
- ・70 歳以上は「活動を引っ張っていくリーダー」が他の年代と比べて 12 ポイント以上高くなっています。
- ・20 歳代では「わからない」が他の年代と比べて 7 ポイント以上高くなっています。



■まちづくり活動の妨げになっていること（地区別）

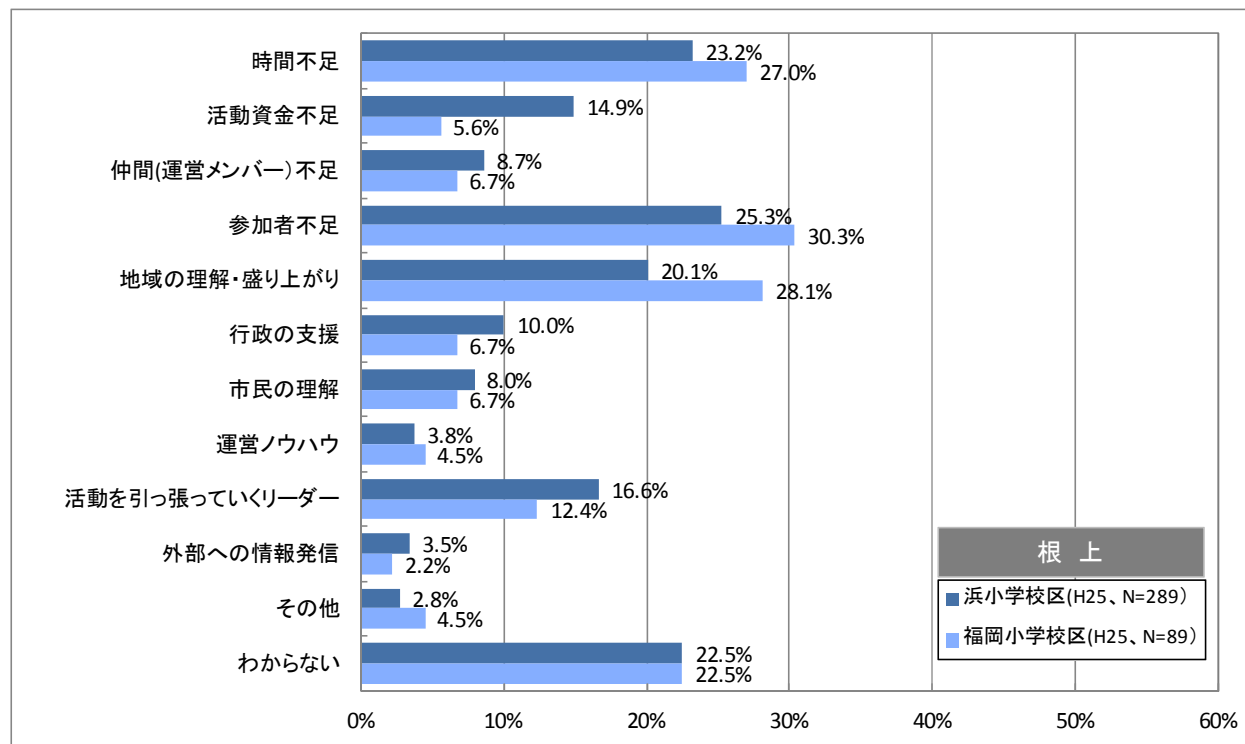
【地区別】

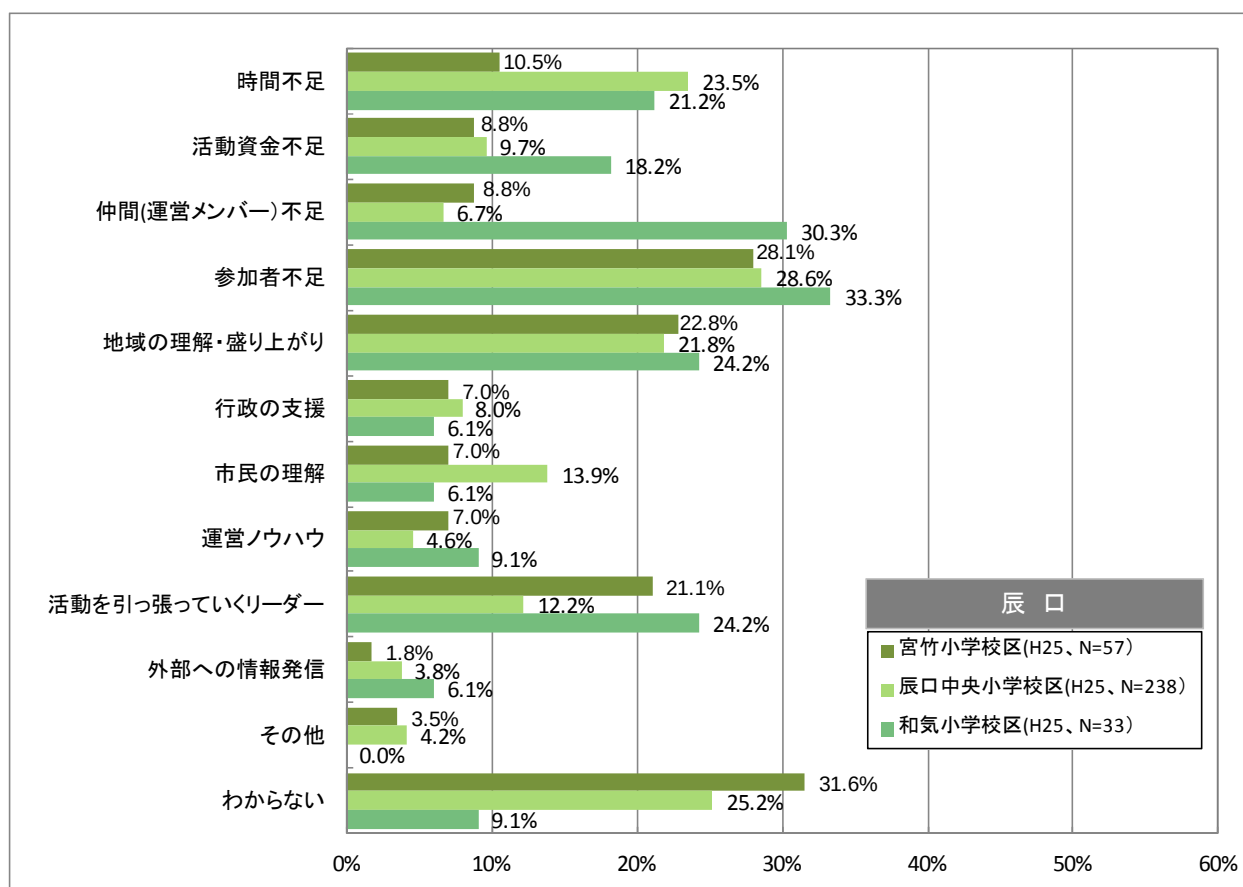
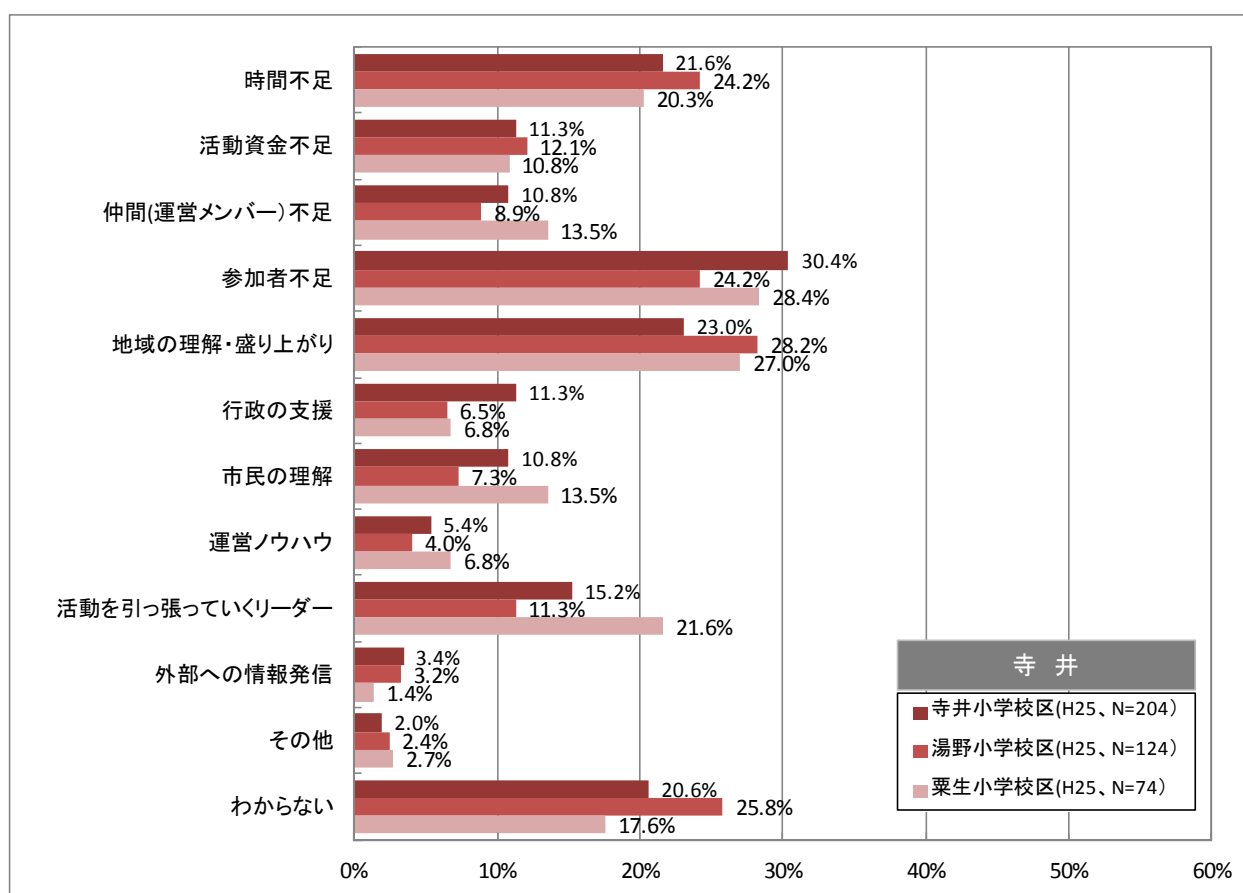
- ・地区による大きな違いはみられません。



【小学校区別】

- ・和気小学校区は「仲間（運営メンバー）不足」が 30.3%と、他の地区より 17 ポイント以上高くなっています。
- ・宮竹小学校区では「時間不足」は 10.5%と、他の地区より 10 ポイント以上低くなっています。





(5) 男女共同参画社会づくりと人権をめぐる市民意識について

問 21 男女共同参画社会づくりのため、あなたは日常生活の中で心がけていることはありますか？（当てはまるもの全てに○）

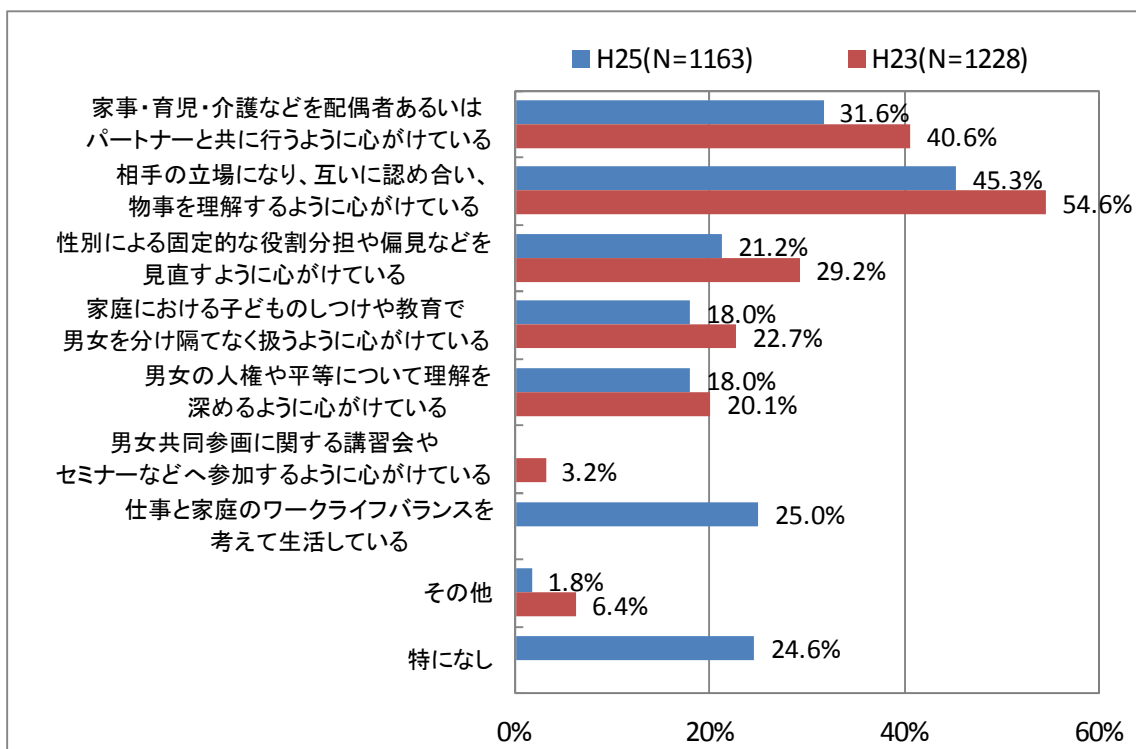
※H23 に追加した設問

◆「相手の立場になり、お互いに認め合い、物事を理解するように心がけている」が 45.3%と最も多く、次いで「家事・育児・介護などを配偶者あるいはパートナーと共に行うように心がけている」が 31.6%、「仕事と家庭のワークライフバランスを考えて生活している」が 25.0%となっています。

選択項目	H25(今回)		H23	
	回答数	構成比	回答数	構成比
家事・育児・介護などを配偶者あるいはパートナーと共に行うように心がけている	368	31.6%	499	40.6%
相手の立場になり、互いに認め合い、物事を理解するように心がけている	527	45.3%	670	54.6%
性別による固定的な役割分担や偏見などを見直すように心がけている	247	21.2%	359	29.2%
家庭における子どものしつけや教育で男女を分け隔てなく扱うように心がけている	209	18.0%	279	22.7%
男女の人権や平等について理解を深めるように心がけている	209	18.0%	247	20.1%
男女共同参画に関する講習会やセミナーなどへ参加するように心がけている	—	—	39	3.2%
仕事と家庭のワークライフバランスを考えて生活している	291	25.0%	—	—
その他	21	1.8%	78	6.4%
特になし	286	24.6%	—	—
無回答	122	—	225	—
回答数	2,280	196.0%	2,396	195.1%
回答者数(有効回答－無回答)	1,163	100.0%	1,228	100.0%

その他： 男女がお互いに助け合っていけば良い、家庭生活の中での役割・理解・協力、男性の心がけが無い限り社会は変わらない、適材適所、基本的に違う生き物である事を認めることから、共同参画が本当に良いことなのかもっと議論すべき、結局女性が優遇されている、近所のお年寄りに声を掛け、対等とは全てが同じである事だとは思わない、男女共同は無理、主に男性が意識すべき、男女均等法には反対、共に楽しむ など

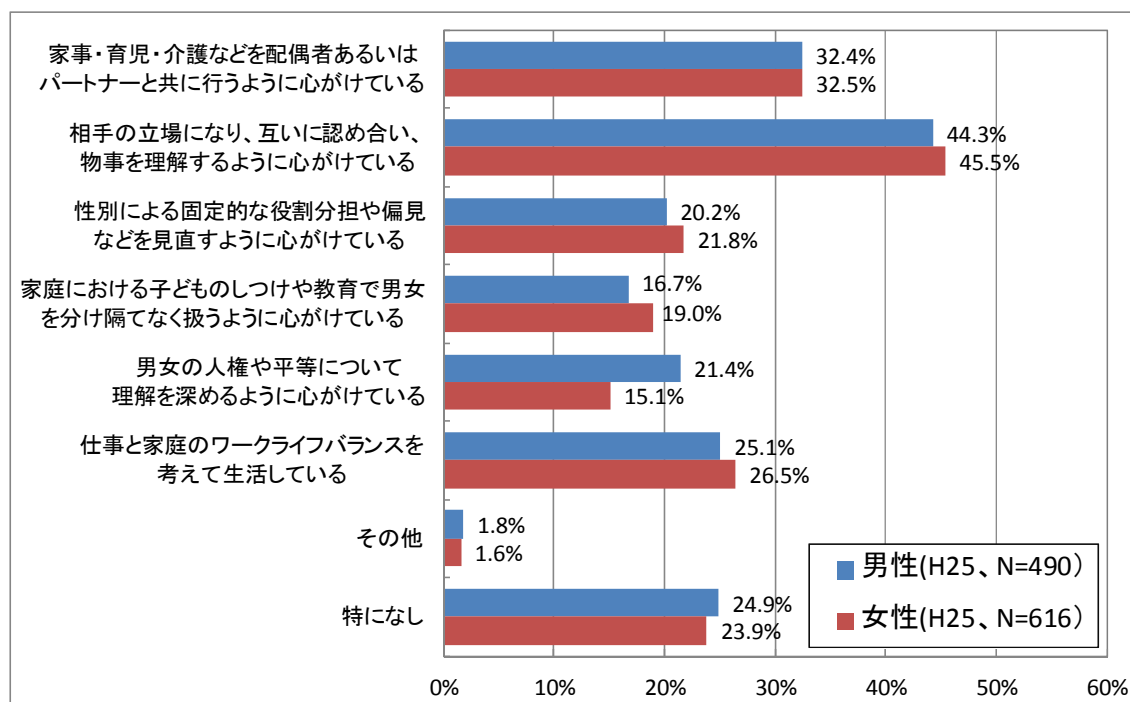
※(): H25 における回答者数



※「男女共同参画に関する講習会やセミナーなどへ参加するように心がけている」は H25 より削除、
「仕事と家庭のワークライフバランスを考えて生活している」は H25 より調査項目を追加

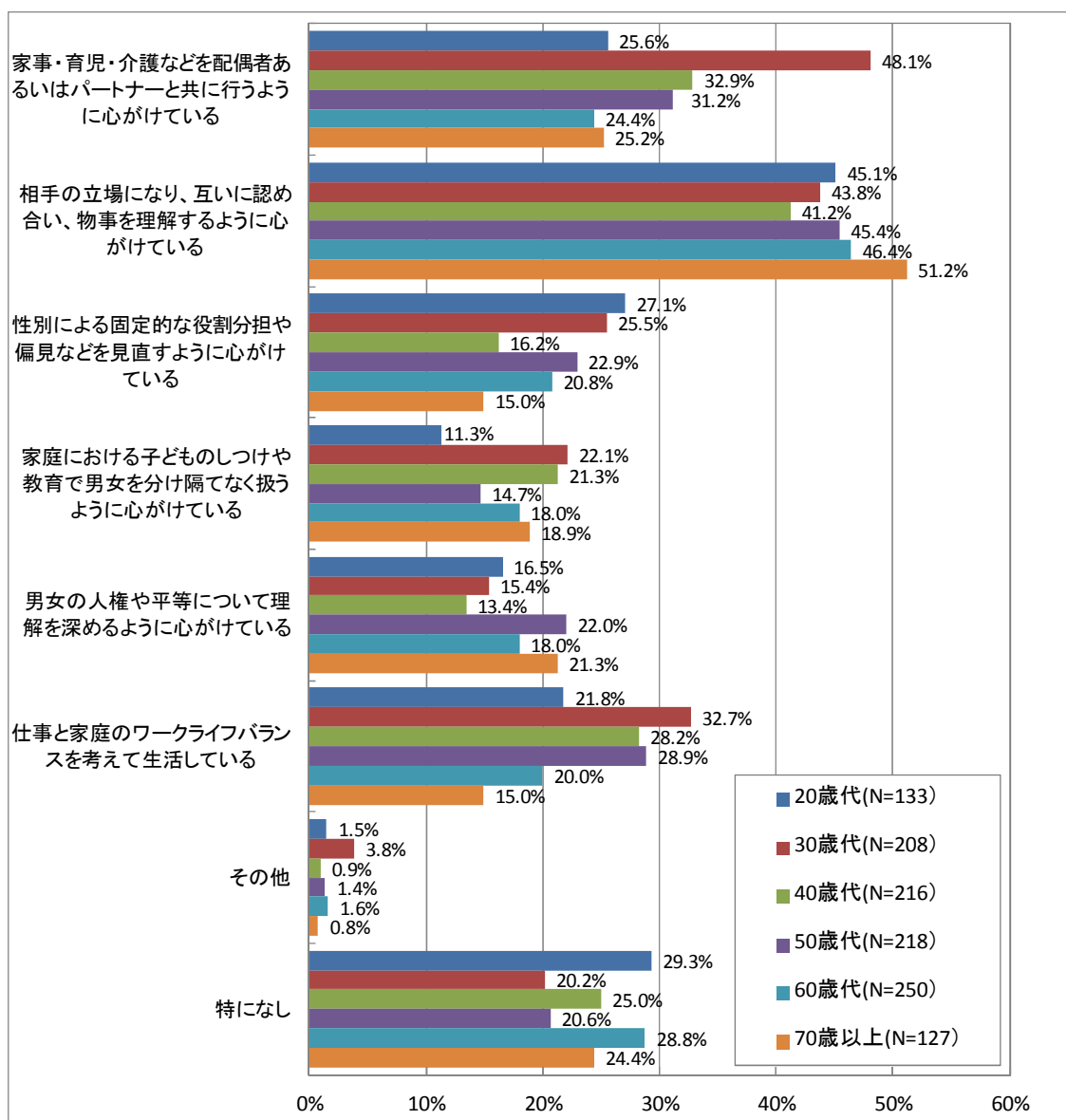
■男女共同参画で心がけていること(性別)

- ・男性は「男女の人権や平等について理解を深めるように心がけている」が 21.4%と約 6 ポイント、女性より高くなっています。



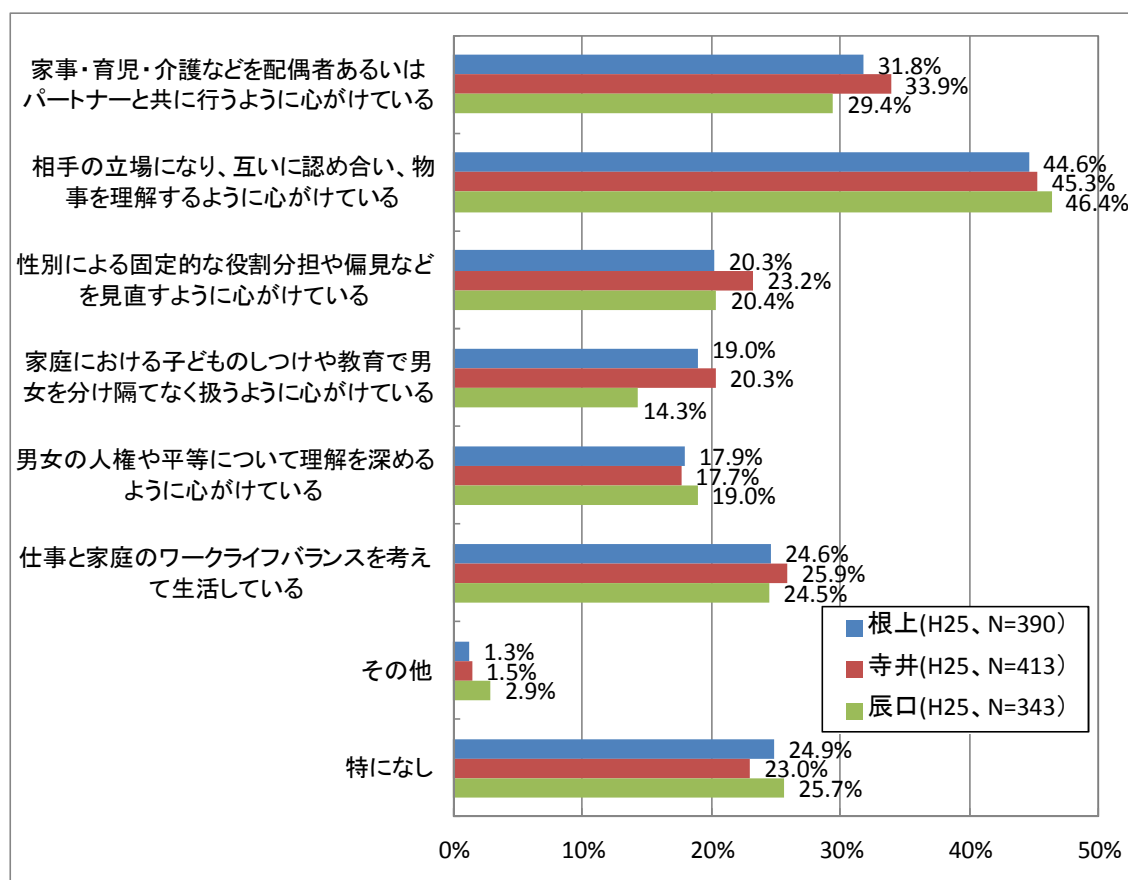
■男女共同参画で心がけていること(年代別)

- ・30 歳代以外の年代で「相手の立場になり、お互いに認め合い修正し、物事を理解するように心がけている」が最も多く 4～5 割となっています。特に 70 歳以上の方で多くなっています。
- ・30 歳代は「家事・育児・介護などを配偶者あるいはパートナーと共に行うように心がけている」が最も多く 48.1%と、他の年代と比べ 15 ポイント以上高くなっています。



■男女共同参画で心がけていること(地区別)

- ・地区による大きな違いはみられません。



問 22

人権の尊重について、あなたは日常生活の中で感じていることはありますか？
(当てはまるもの全てに○)

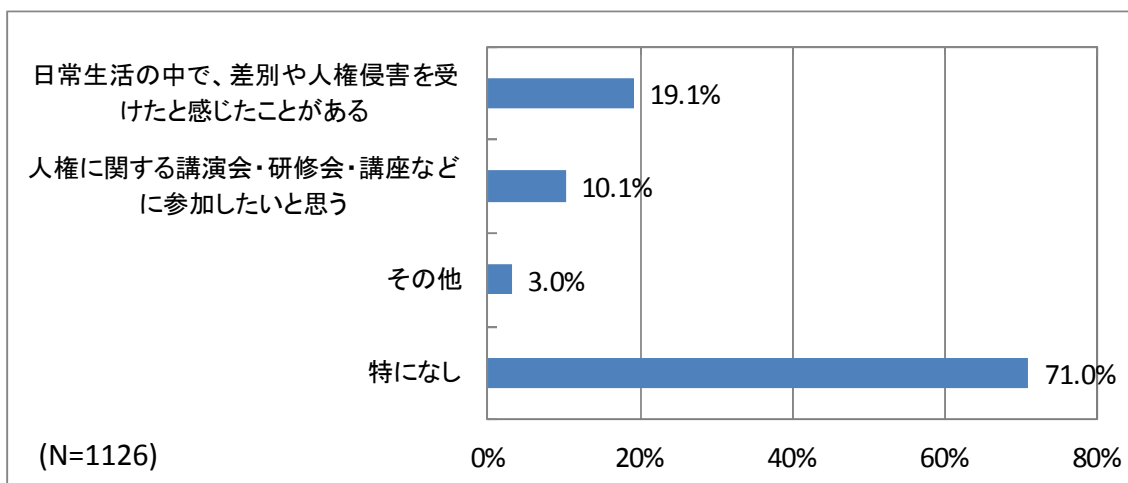
※H25 に追加した設問

- ◆「特になし」が 71.0%と最も多く、次いで「日常生活の中で、差別や人権侵害を受けたと感じたことがある」が 19.1%、「人権に関する講演会・研修会・講座などに参加したいと思う」が 10.1%となっています。

選択項目	H25	
	回答数	構成比
日常生活の中で、差別や人権侵害を受けたと感じたことがある	215	19.1%
人権に関する講演会・研修会・講座などに参加したいと思う	114	10.1%
その他	34	3.0%
特になし	799	71.0%
無回答	159	-
回答数	1,321	117.3%
回答者数(有効回答－無回答)	1,126	100.0%

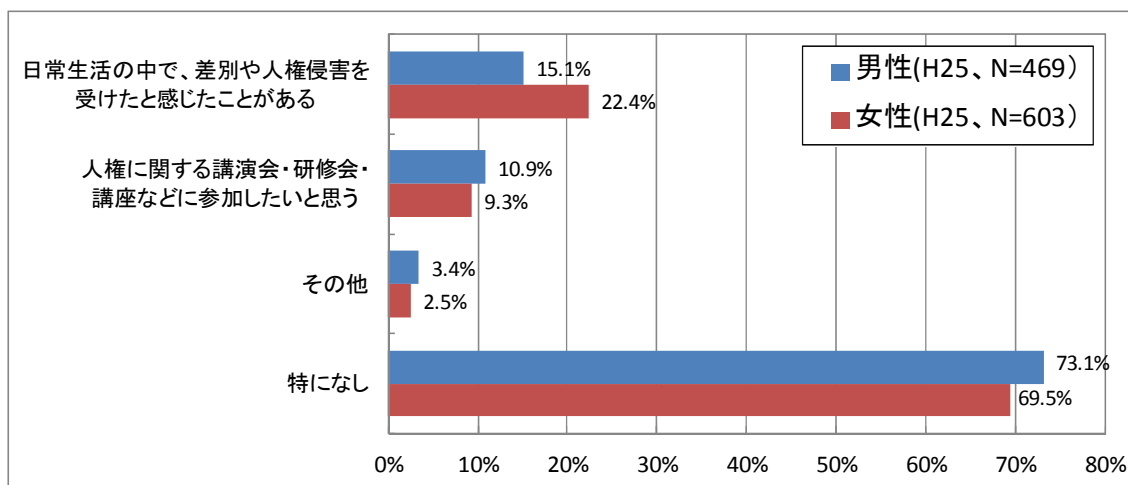
その他： 流言、挨拶、学歴・仕事による差別、旧来の住民と移住した人との間の行政の差別、地位や権力に弱い行政職員、子を持つ母に対しての差別、他県の人を受け入れるのに時間がかかる、地元の人と話が合わない、子供時代の障害者の理解が少ない、人権に関する講演会等の回数が少ない、子どものいじめ、上に立つ人が弱者への目配り、他人の考え方の理解、挨拶状態が悪い、死別の人と離別の違いを書類に明記した事があった、子供でもわかるような身近な内容の講座があれば良い、プライバシーがないと感じる時がある、地域活動への不参加への差別 など

※(): H25 における回答者数



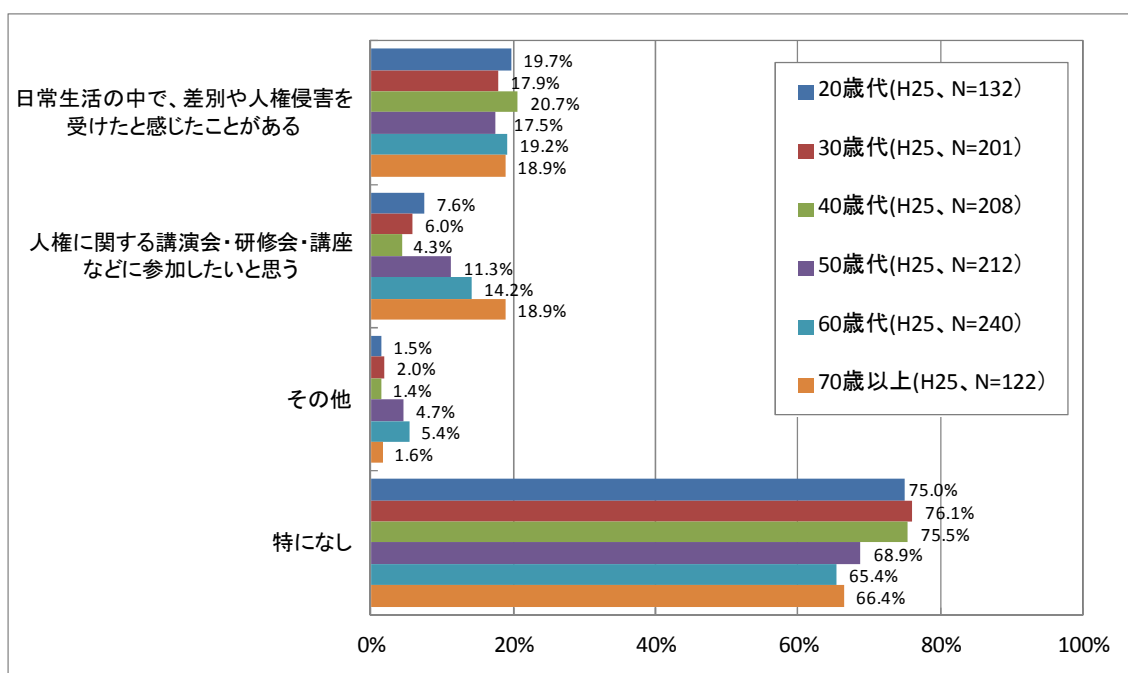
■人権尊重について感じていること(性別)

- ・女性「日常生活の中で、差別や人権侵害を受けたと感じたことがある」が 22.4%と約 7 ポイント、男性より高くなっています。



■人権尊重について感じていること(年代別)

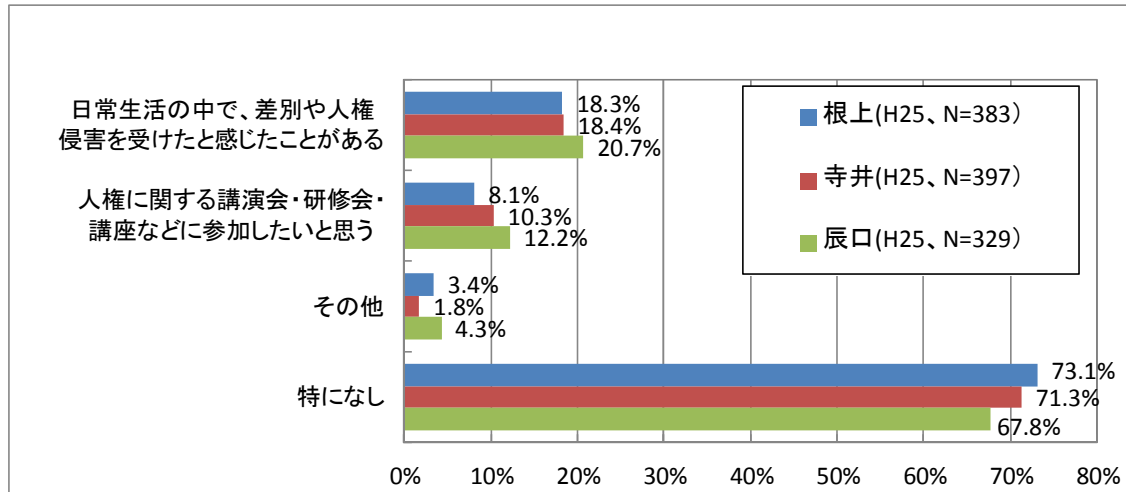
- ・20～40 歳代の若い年代に比べて 50 歳代以上の年代で「人権に関する講演会・研修会・講座などに参加したいと思う」が多くなっており、特に 70 歳以上の方では約 2 割を占めています。



■人権尊重について感じていること(地区別)

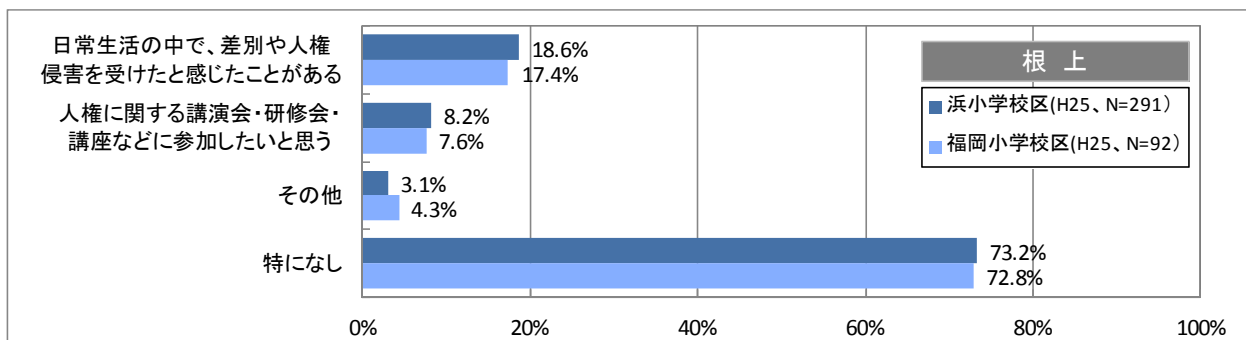
【地区別】

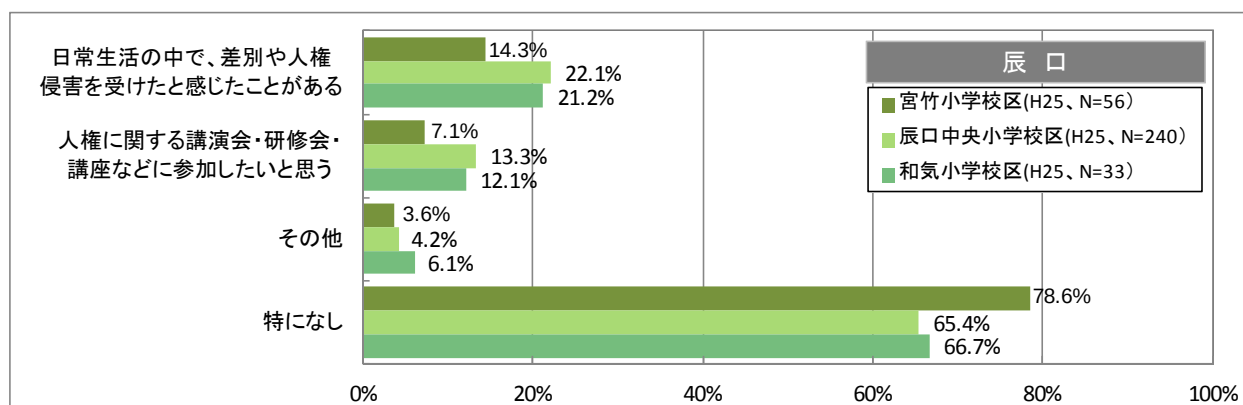
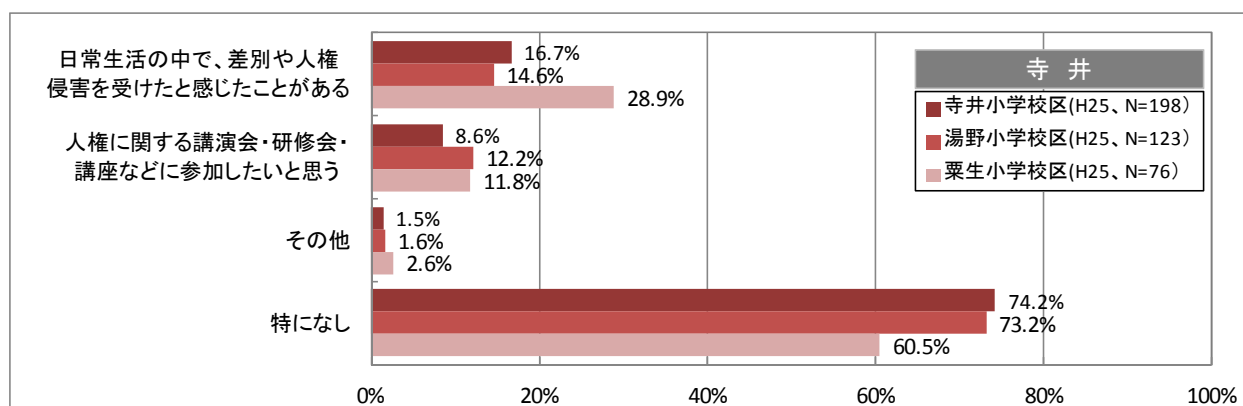
- ・地区による大きな違いはみられません。



【小学校区別】

- ・粟生小学校区は「日常生活の中で、差別や人権侵害を受けたと感じたことがある」が 28.9% と、他の小学校区比べて 7 ポイント以上高くなっている。





(6) 公共交通網の充実について

問 23

能美市では、公共交通機関をより一層便利にご利用いただくため、ＪＲ寺井駅の周辺整備を行っています。あなたは、ＪＲ寺井駅を利用していますか？

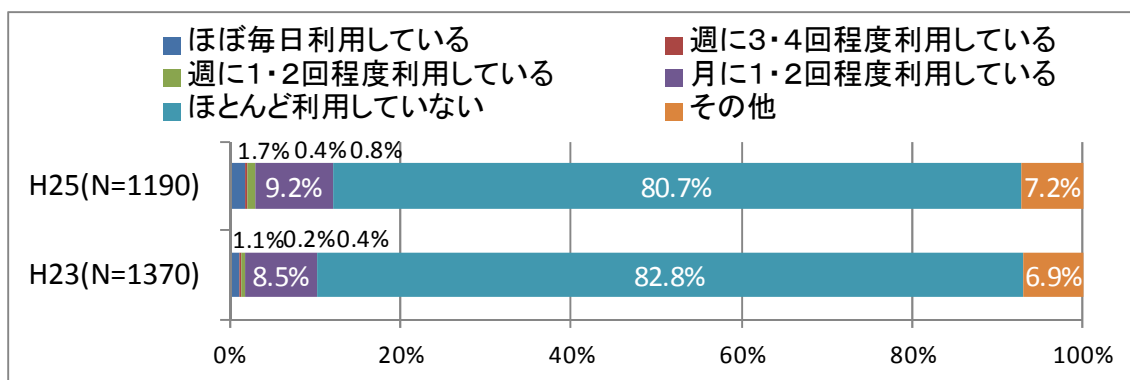
※H23 に追加した設問

◆「ほとんど利用していない」が約８割を占めています。

選択項目	H25(今回)		H23	
	回答数	構成比	回答数	構成比
ほぼ毎日利用している	20	1.7%	15	1.1%
週に3・4回程度利用している	5	0.4%	3	0.2%
週に1・2回程度利用している	9	0.8%	6	0.4%
月に1・2回程度利用している	110	9.2%	116	8.5%
ほとんど利用していない	960	80.7%	1135	82.8%
その他	86	7.2%	95	6.9%
無回答	95	—	83	—
合計	1,285	—	1453	—
回答者数(合計-無回答)	1,190	100.0%	1370	100.0%

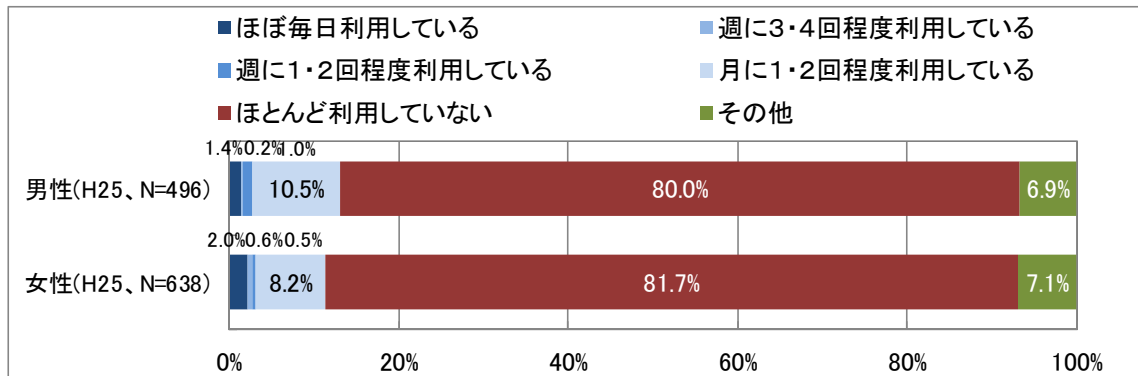
その他： 年に数回利用(34)、利用していない(16)、年に1、2回利用(13)、不定期に利用(12)、数ヶ月に1回(6)、過去利用していた(2)、数年に1回、利用したいができない など

※():H25 における回答者数



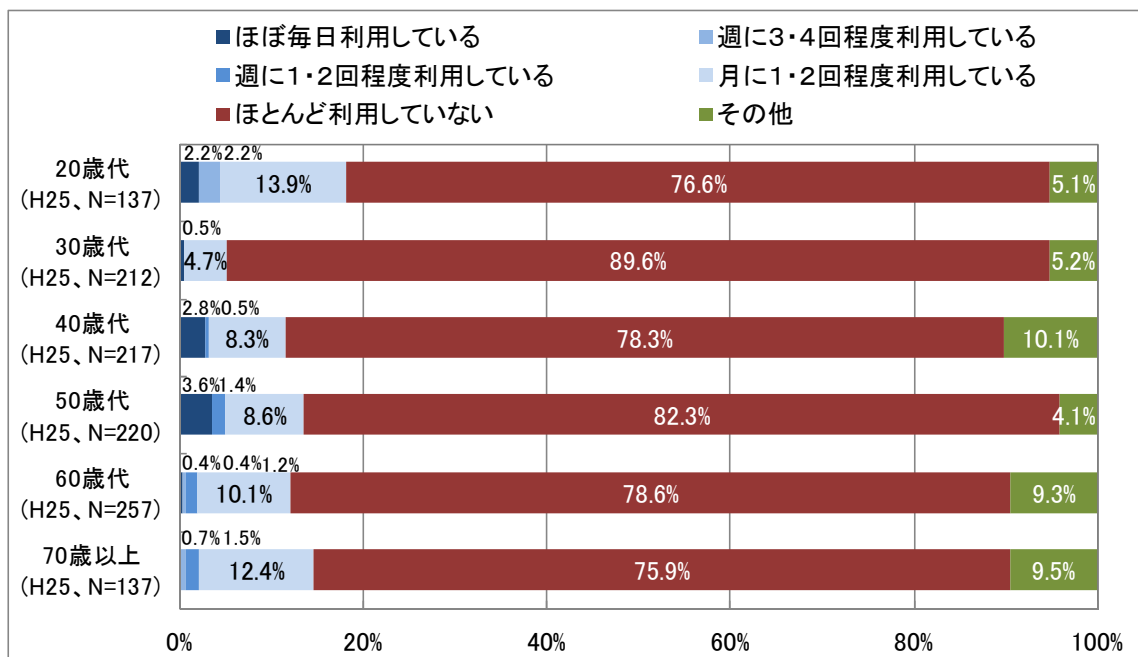
■JR寺井駅の利用状況(性別)

- ・性別による大きな違いはみられません。



■JR寺井駅の利用状況(年代別)

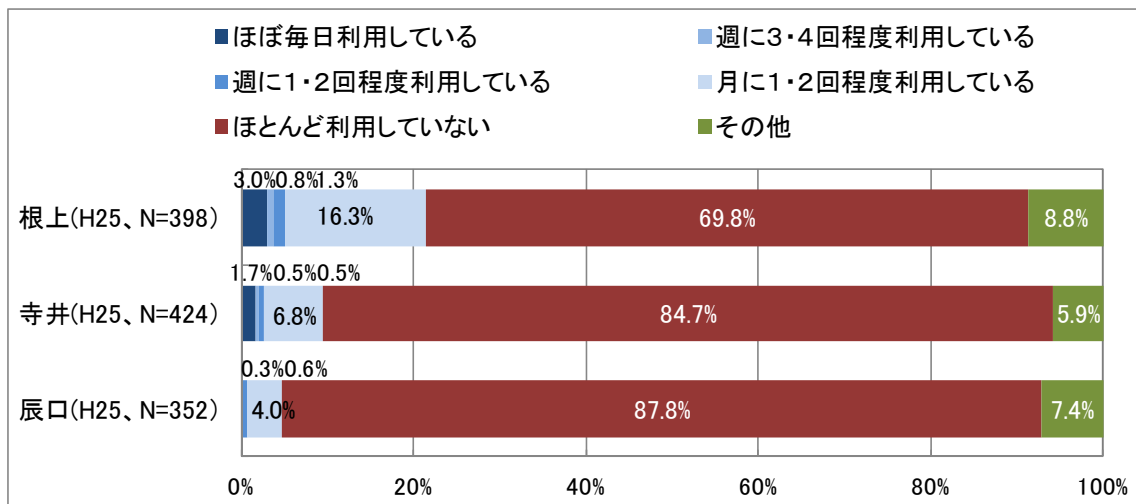
- ・全ての年代で「ほとんど利用していない」が7割以上を占めていますが、30歳代では特に割合が高く、89.6%となっています。



■JR寺井駅の利用状況(地区別)

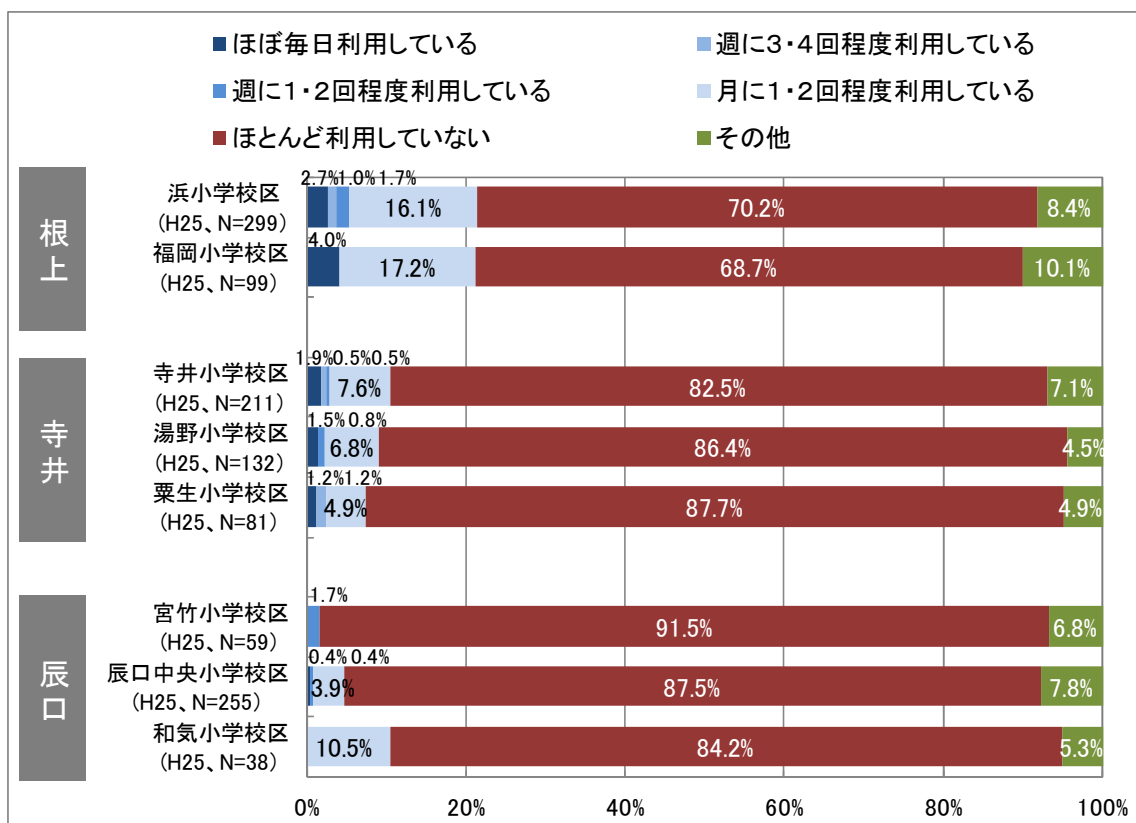
【地区別】

- ・根上では「ほとんど利用していない」が 69.8%と他の地区より 15 ポイント以上低くなっています。一方で「月に 1・2 回程度利用している」が 16.3%と他の地区より 10 ポイント以上高くなっています。



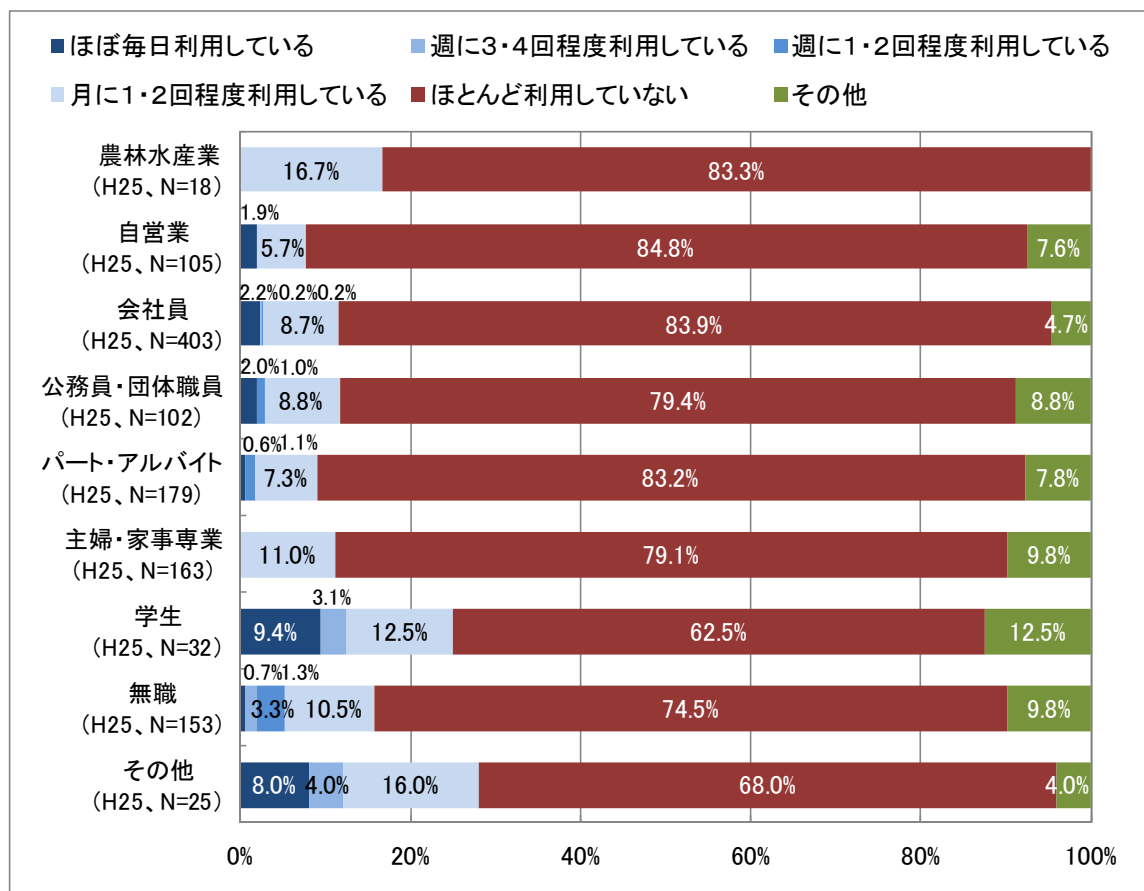
【小学校区別】

- ・宮竹小学校区は「ほとんど利用していない」が 91.5%と、他の小学校区と比べて高くなっています。



■ JR寺井駅の利用状況(職業別)

- ・ 学生は「ほぼ毎日利用している」が 9.4%と他の職業より高くなっています。



問 24

市内を走る「のみバス」が、より多くの方に利用していただくためには何が必要だと思いますか？（当てはまるもの全てに○）

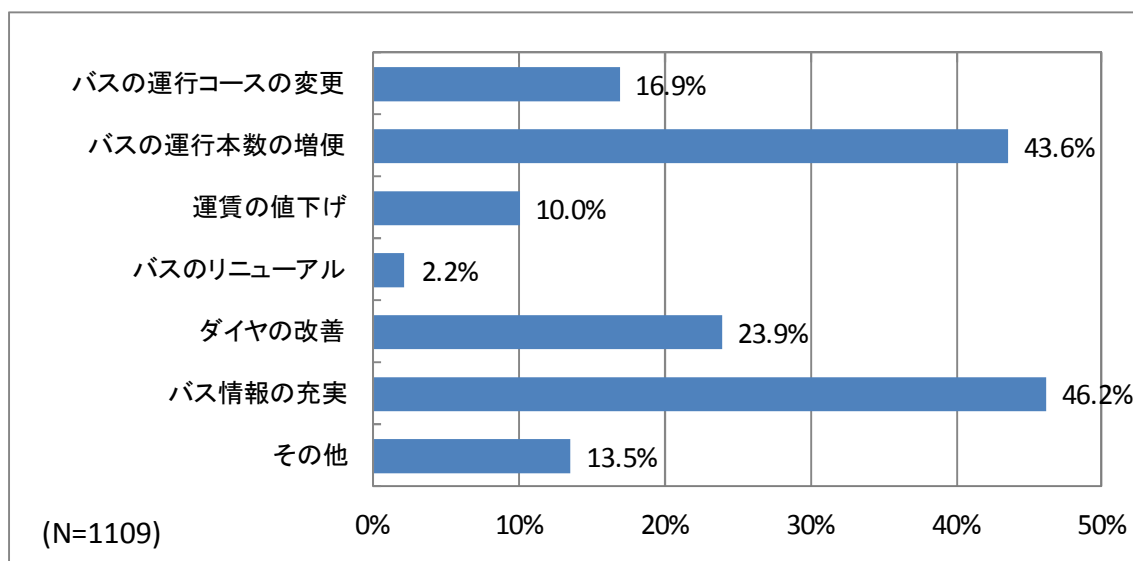
※H25 に追加した設問

- ◆「バス情報の充実」が 46.2%と最も多く、次いで「バスの運行本数の増便」が 43.6%、「ダイヤの改善」が 23.9%となっています。

選択項目	回答数	構成比
バスの運行コースの変更	187	16.9%
バスの運行本数の増便	483	43.6%
運賃の値下げ	111	10.0%
バスのリニューアル	24	2.2%
ダイヤの改善	265	23.9%
バス情報の充実	512	46.2%
その他	150	13.5%
無回答	176	-
合計	1,908	172.0%
回答者数(有効回答－無回答)	1,109	100.0%

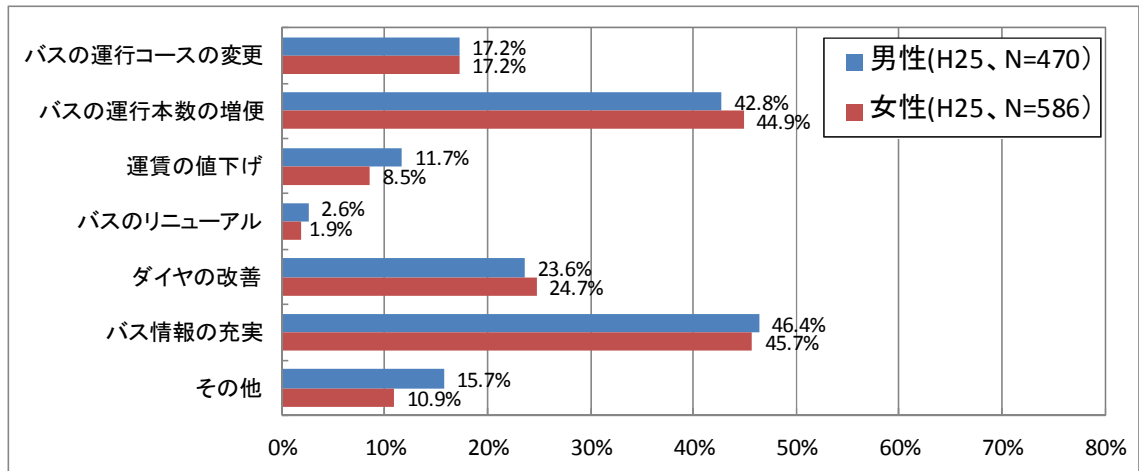
コース変更例： 小松(6)、鶴来(2)、バス停以外でも乗れたら良い(2)、学校(2)、金沢、寺井駅への特急、市外圏(2)、目的(買い物、病院、銀行)にあったコース(2)、鶴来駅(2)、快速・普通、小松駅、市民の要求に合わせたコース(定期的、季節的見直し)上下便、逆ルート、曜日ごとにコースを変える、市庁舎へのアクセスをしやすく、先端大、大長野公民館から大長野西に抜けるコース、地区単位の小回りルート、連携バス→地区循環バスの乗り継ぎ、辰口から寺井駅方面、根上・寺井から辰口温泉 など

その他： 小型化し増便(7)、どこでも乗降(6)、積雪時等の小中学生の登下校の利用(5)、無料化(4)、夜間運行(4)、不要・廃止(4)、JRとの連結強化(4)、バス同士・鉄道との連携(3)、対象者とニーズ調査(2)、停留所を増やす(2)、通学バスの充実(2)、PR(2)、バスでカラオケ、金沢・松任方面とのアクセス、バスのりばが遠い、野々市市のつてみたいにかわいく、市外へのルート延長、スピードを上げてほしい、金沢香林坊行き、バス停を増やし歩く距離を短く、寺井駅までのバスが少ない、車通勤の規制、車イスでも乗れるバス、利用者をしぼる(高齢者・学生)、ネットでの時刻表・乗り継ぎ検索、快速バス、電話でコースの途中からでも乗れるようにする、地域イベント時運行を増やす、施設やイベントとの連携運行、愛称の募集、コースの方向や進路をわかりやすくしてほしい、クアハウス等の入場券プレゼント、寺井駅の直行便 など



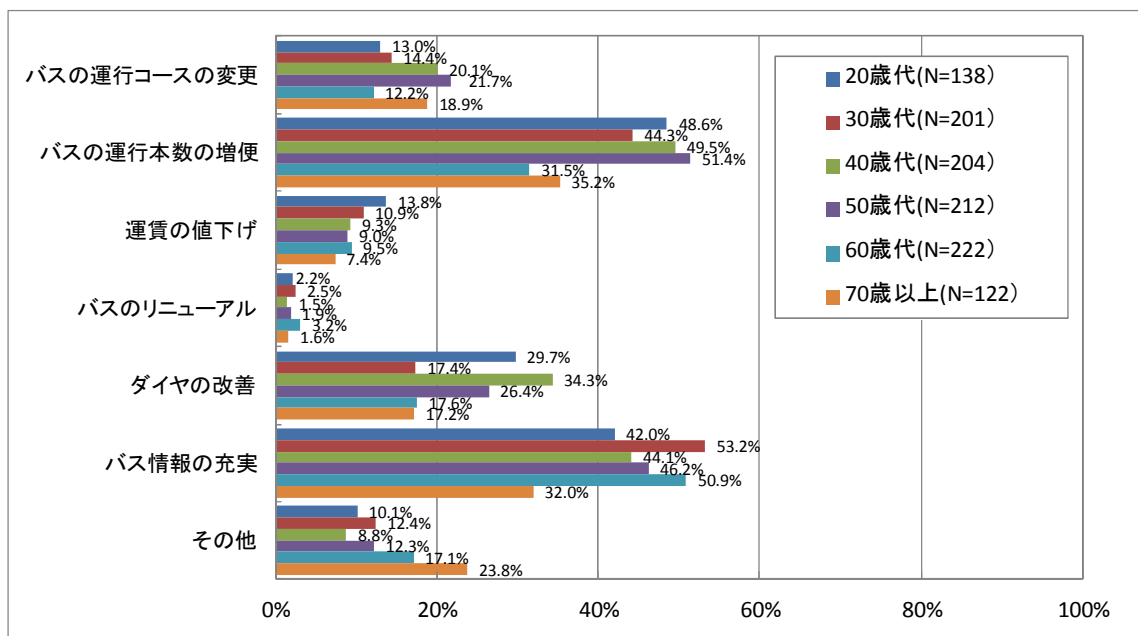
■「のみバス」の利用促進のために必要なこと（性別）

- ・性別による大きな違いはみられません。



■「のみバス」の利用促進のために必要なこと（年代別）

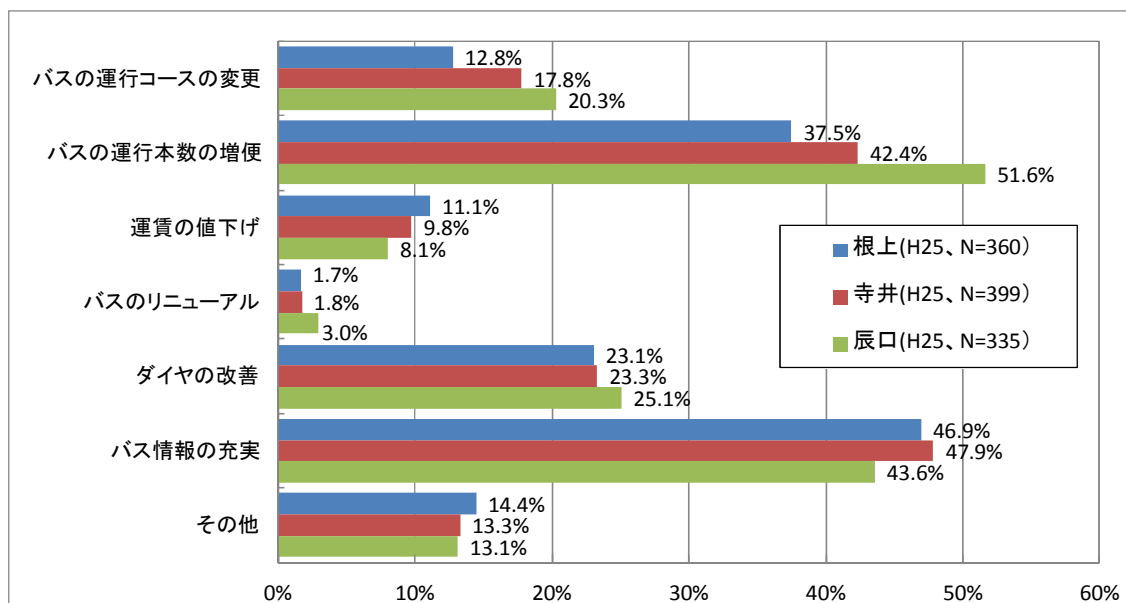
- ・60 歳代～70 歳以上は「バスの運行本数の増便」が他の年代より 9 ポイント以上低くなっています。
- ・70 歳以上では「バス情報の充実」が 32.0%と、他の年代と比べて 10 ポイント以上低くなっています。



■「のみバス」の利用促進のために必要なこと（地区別）

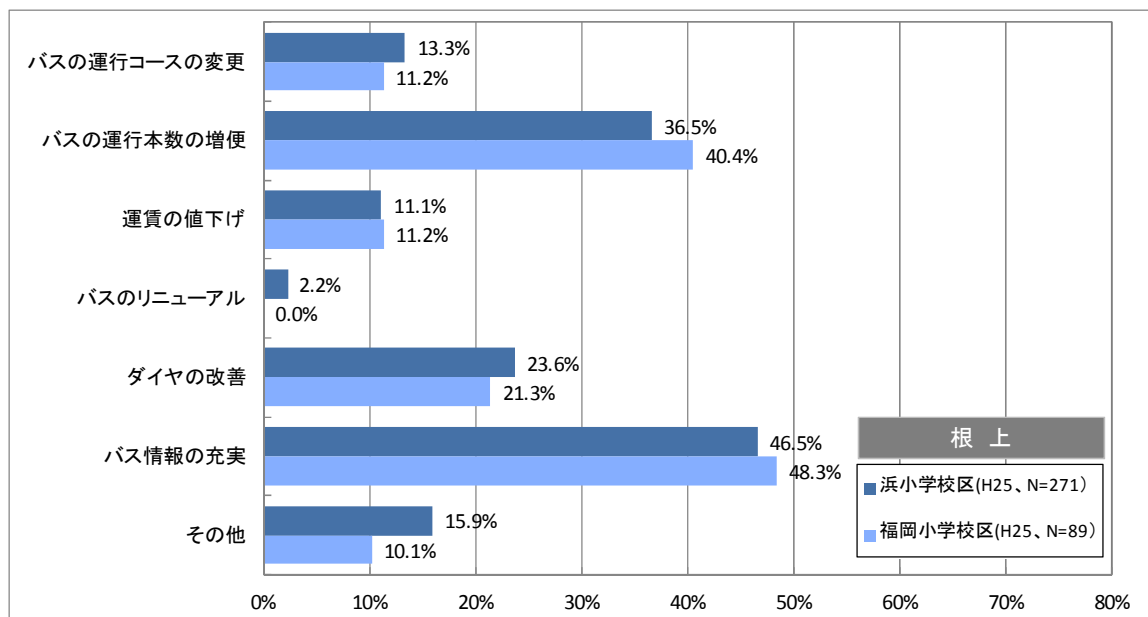
【地区別】

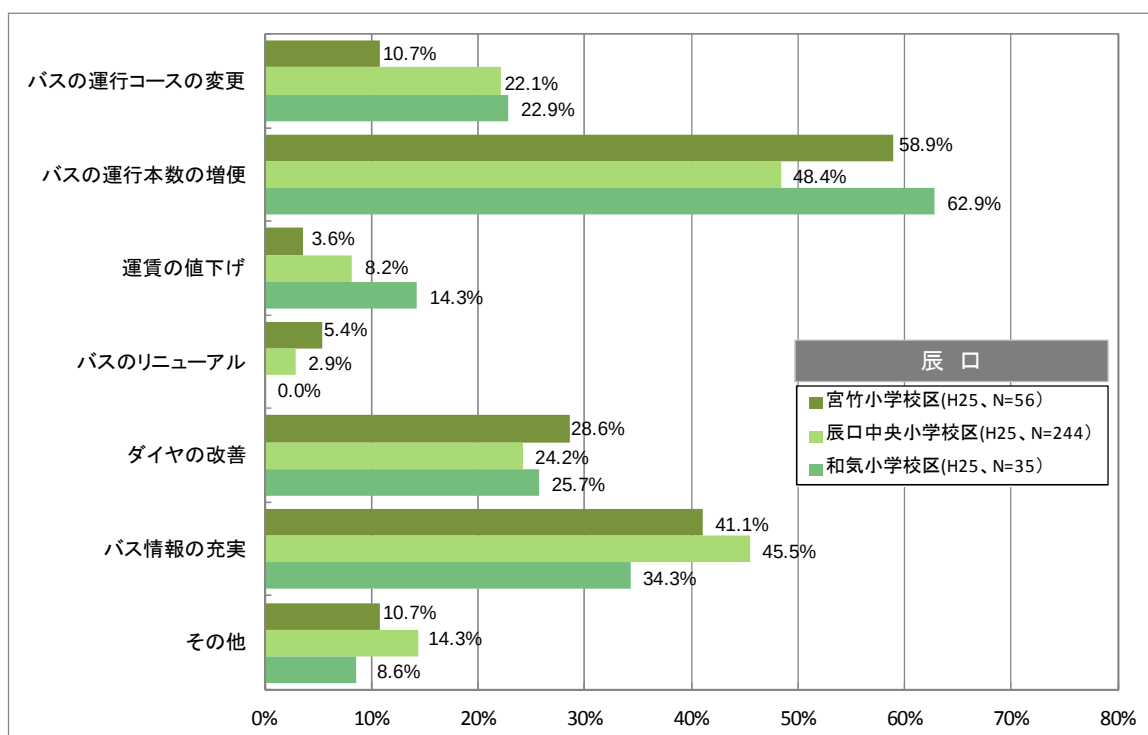
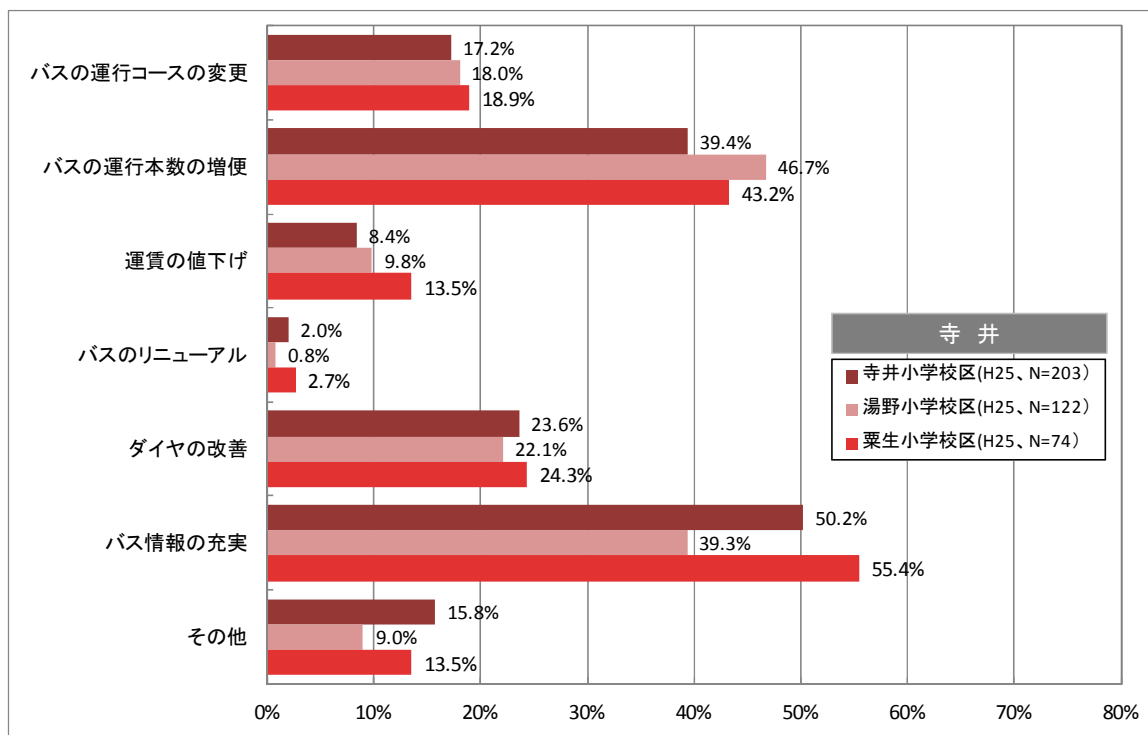
- ・3地区共に「バスの運行本数の増便」「バス情報の充実」が多くなっています。
- ・根上、寺井は「バス情報の充実」が最も多くなっています。辰口は「バスの運行本数の増便」が最も多く 51.6%と、他の地区と比べ9ポイント以上高くなっています。



【小学校区別】

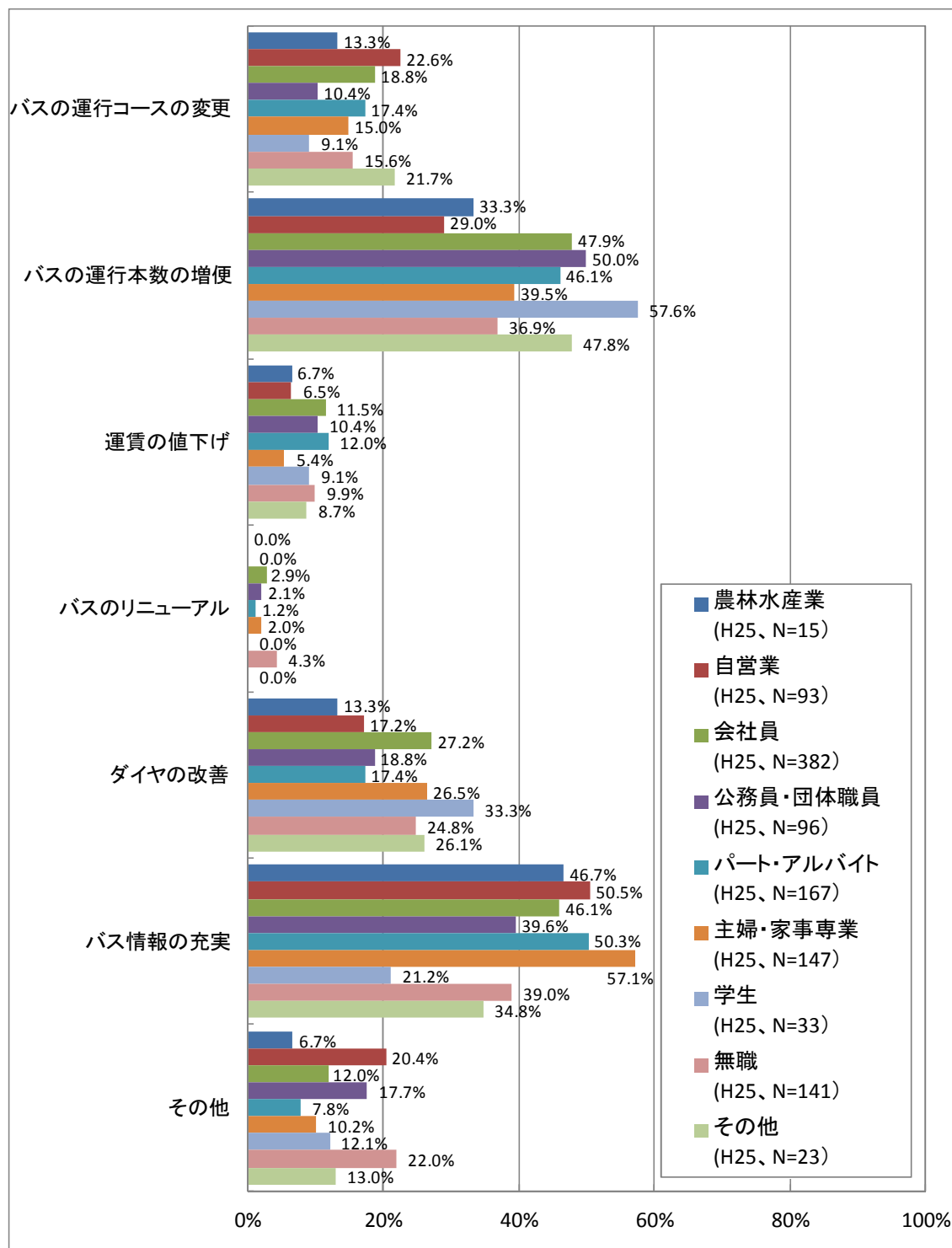
- ・宮竹小学校区、和気小学校区では「バスの運行本数の増便」が最も多く約6割と、他の小学校区と比べて11ポイント以上高くなっています。
- ・寺井小学校区、湯野小学校区、栗生小学校区、辰口中央小学校区、和気小学校区では「バスの運行コースの変更」が約2割となっていますが、それ以外の小学校区は約1割となっています。





■「のみバス」の利用促進のために必要なこと（職業別）

- ・学生は「バスの運行本数の増便」が最も多く 57.6%と、他の職業より 8 ポイント以上高くなっており、「ダイヤの改善」も 33.3%と、他の職業より 6 ポイント以上高くなっています。一方「バス情報の充実」は 21.2%と、他の職業より 14 ポイント以上低くなっています。
- ・主婦・家事専業では「バス情報の充実」が最も多く 57.1%と、他の職業より 7 ポイント以上高くなっています。



(7) 地域活性化・観光に関する取り組みについて

問 25

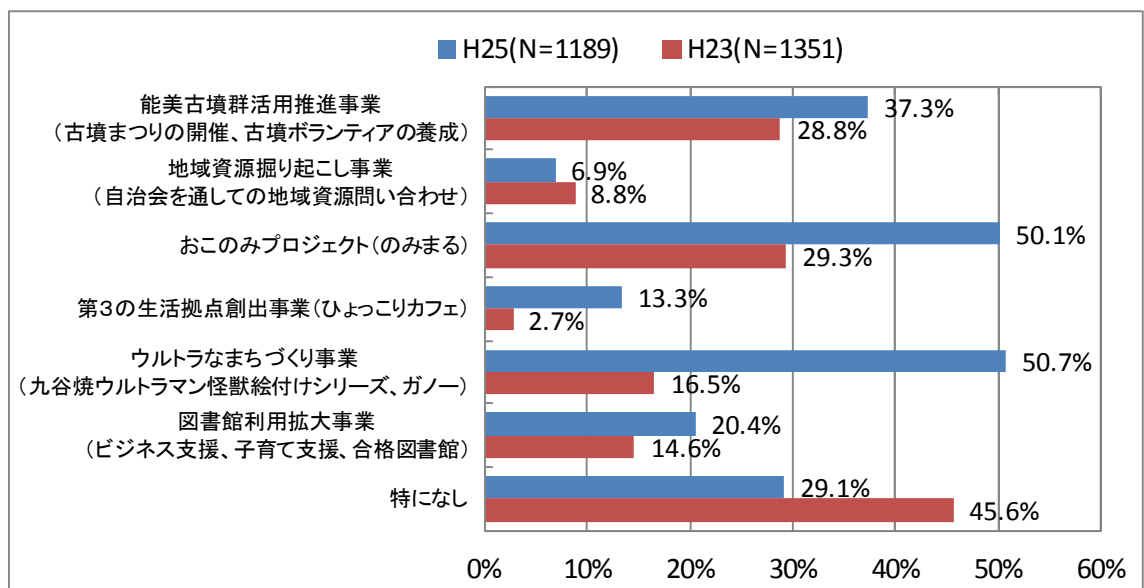
能美市では、観光をキーワードにした地域活性化に取り組んでいます。あなたは現在行っている取り組みのうち、「知っている」もの全てに○をつけてください。また、その中で「参加した、体験した」もの全てに◎をつけてください。

1. 「知っている」もの

※H23 に追加した設問

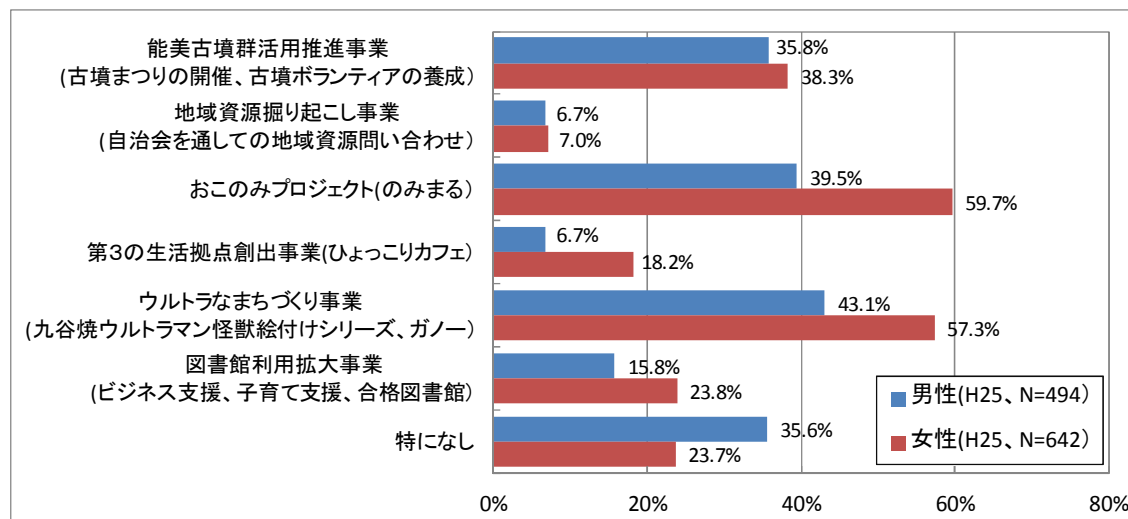
- ◆「ウルトラなまちづくり事業」が最も多く 50.7%、次いで「おこのみプロジェクト」が 50.1%、「能美古墳群活用推進事業」が 37.3%となっています。
- ◆H23 と比べて、「地域資源掘り起こし事業」以外の事業は増加している。特に、「ウルトラなまちづくり事業」が約 34 ポイント、「おこのみプロジェクト」が約 21 ポイント、「能美古墳群活用推進事業」が約 9 ポイント増加しています。

選択項目	H25(今回)		H23	
	回答数	構成比	回答数	構成比
能美古墳群活用推進事業(古墳まつりの開催、古墳ボランティアの養成)	443	37.3%	389	28.8%
地域資源掘り起こし事業(自治会を通しての地域資源問い合わせ)	82	6.9%	119	8.8%
おこのみプロジェクト(のみまる)	596	50.1%	396	29.3%
第3の生活拠点創出事業(ひよこりカフェ)	158	13.3%	37	2.7%
ウルトラなまちづくり事業(九谷焼ウルトラマン怪獣絵付けシリーズ、ガノー)	603	50.7%	223	16.5%
図書館利用拡大事業(ビジネス支援、子育て支援、合格図書館)	243	20.4%	197	14.6%
特になし	346	29.1%	616	45.6%
無回答	96	-	102	-
回答数	2,567	215.9%	2,079	153.9%
回答者数(有効回答－無回答)	1,189	100.0%	1,351	100.0%



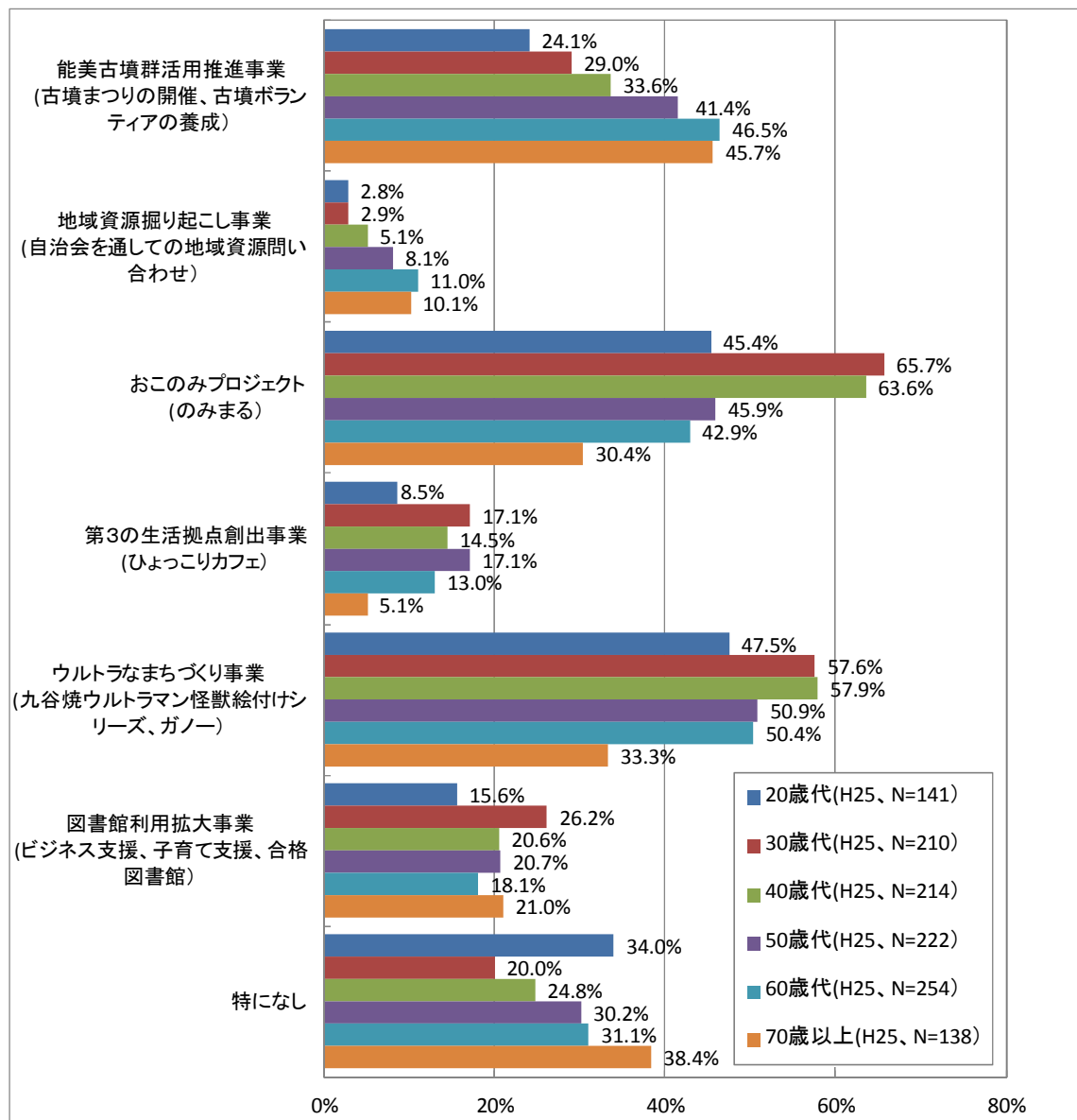
■観光をキーワードとした地域活性化事業の周知状況(性別)

- ・すべての事業において女性の方が男性より周知状況が高くなっています。
- ・女性は「おこのみプロジェクト」が最も多く 59.7%と、男性より約 20 ポイント、「ウルトラなまちづくり事業」が 57.3%と、男性より約 14 ポイント高くなっています。



■観光をキーワードとした地域活性化事業の周知状況（年代別）

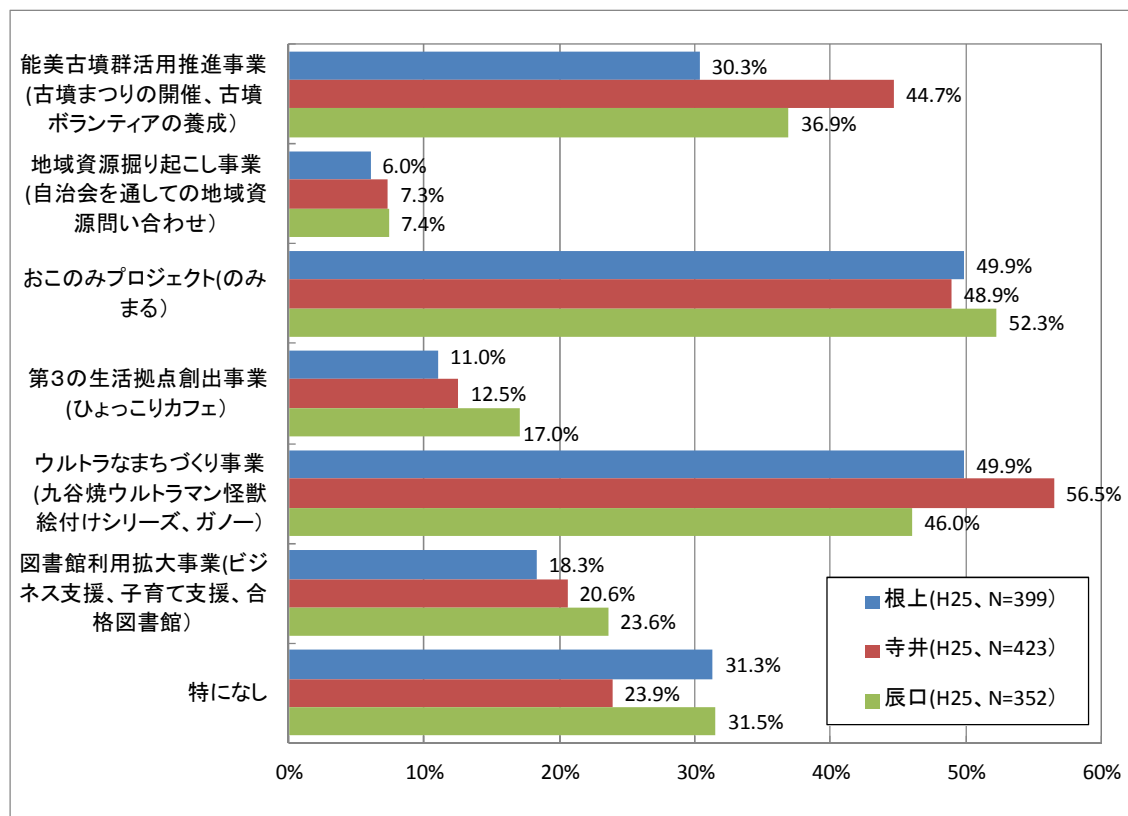
- ・30～40 歳代は「おこのみプロジェクト」が6割を超え、他の年代と比べて18ポイント以上高くなっています。また「ウルトラなまちづくり」も約6割と、他の年代比べて7ポイント以上高くなっています。
- ・70 歳以上は「能美古墳群活用推進事業」が最も多くなっています。また、年代が上がるにつれて、「能美古墳群活用事業」の回答が増加しています。



■観光をキーワードとした地域活性化事業の周知状況(地区別)

【地区別】

- ・ 3地区共に「ウルトラなまちづくり事業」「おこのみプロジェクト」が多くなっています。
- ・ 寺井は「ウルトラなまちづくり事業」が最も多く、「能美古墳群活用推進事業」は44.7%と、他の地域と比べて7ポイント以上高くなっています。

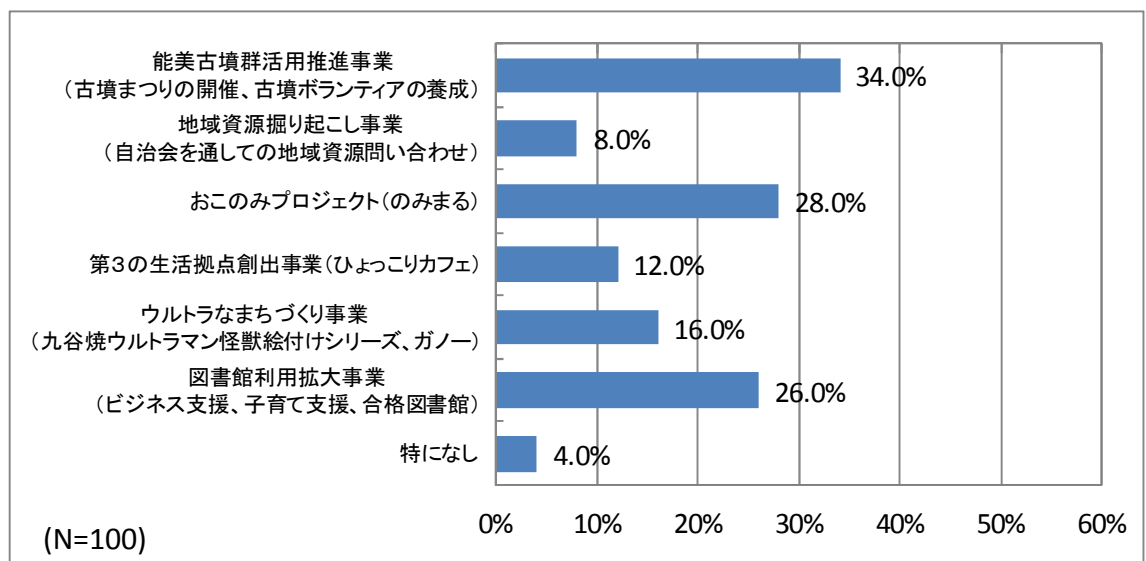


2. 「参加した、体験した」もの

※H25 に追加した設問

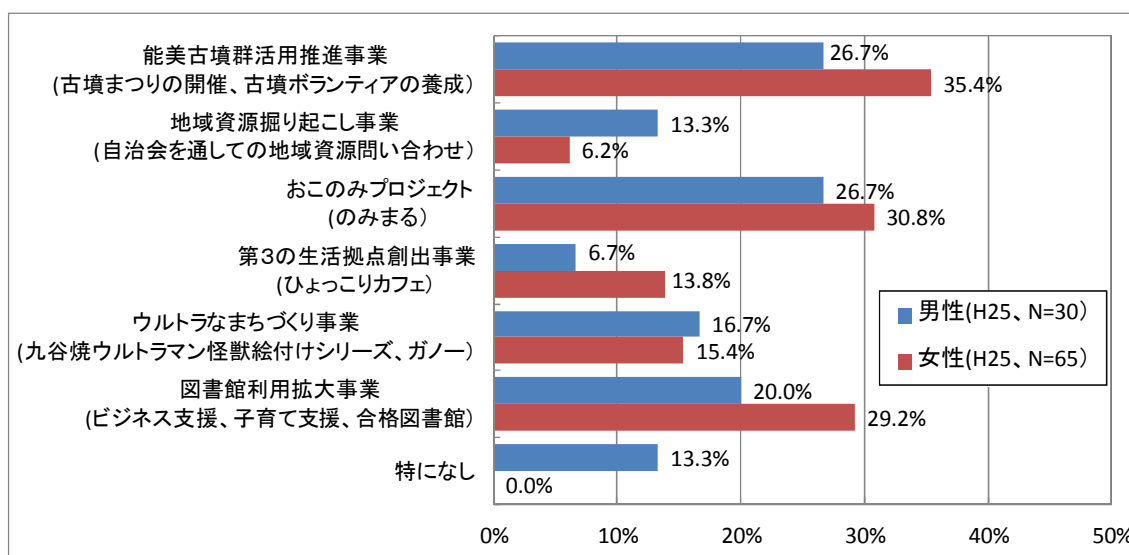
- ◆ 「能美古墳群活用推進事業」が 34.0%と最も多く、次いで「おこのみプロジェクト」が 28.0%、「図書館利用拡大事業」が 26.0%となっています。

選択項目	回答数	構成比
能美古墳群活用推進事業(古墳まつりの開催、古墳ボランティアの養成)	34	34.0%
地域資源掘り起こし事業(自治会を通しての地域資源問い合わせ)	8	8.0%
おこのみプロジェクト(のみまる)	28	28.0%
第3の生活拠点創出事業(ひよこりカフェ)	12	12.0%
ウルトラなまちづくり事業(九谷焼ウルトラマン怪獣絵付けシリーズ、ガノー)	16	16.0%
図書館利用拡大事業(ビジネス支援、子育て支援、合格図書館)	26	26.0%
特になし	4	4.0%
無回答	1,185	—
回答数	1,313	1313.0%
回答者数(有効回答－無回答)	100	100.0%



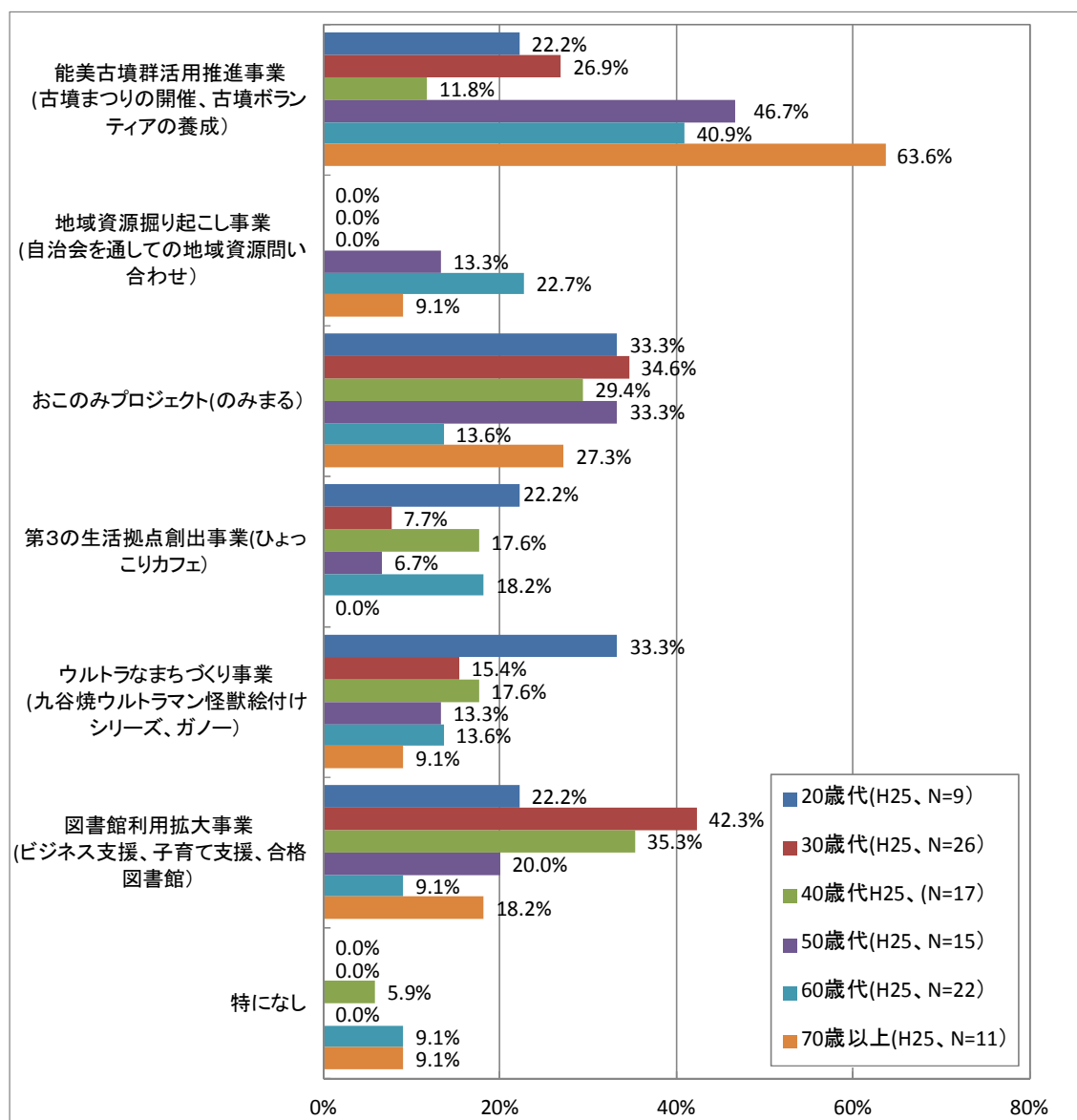
■参加した、体験した取り組み(性別)

- ・男性は「能美古墳群活用推進事業」「おこのみプロジェクト」がそれぞれ 26.7%と最も多く、次いで「図書館利用拡大事業」が 20.0%となっています。
- ・女性は「能美古墳群活用推進事業」が 35.4%と最も多く、男性より約 9 ポイント高くなっており、次いで「おこのみプロジェクト」が 30.8%と、男性より約 4 ポイント高くなっています。



■参加した、体験した取り組み(年代別)

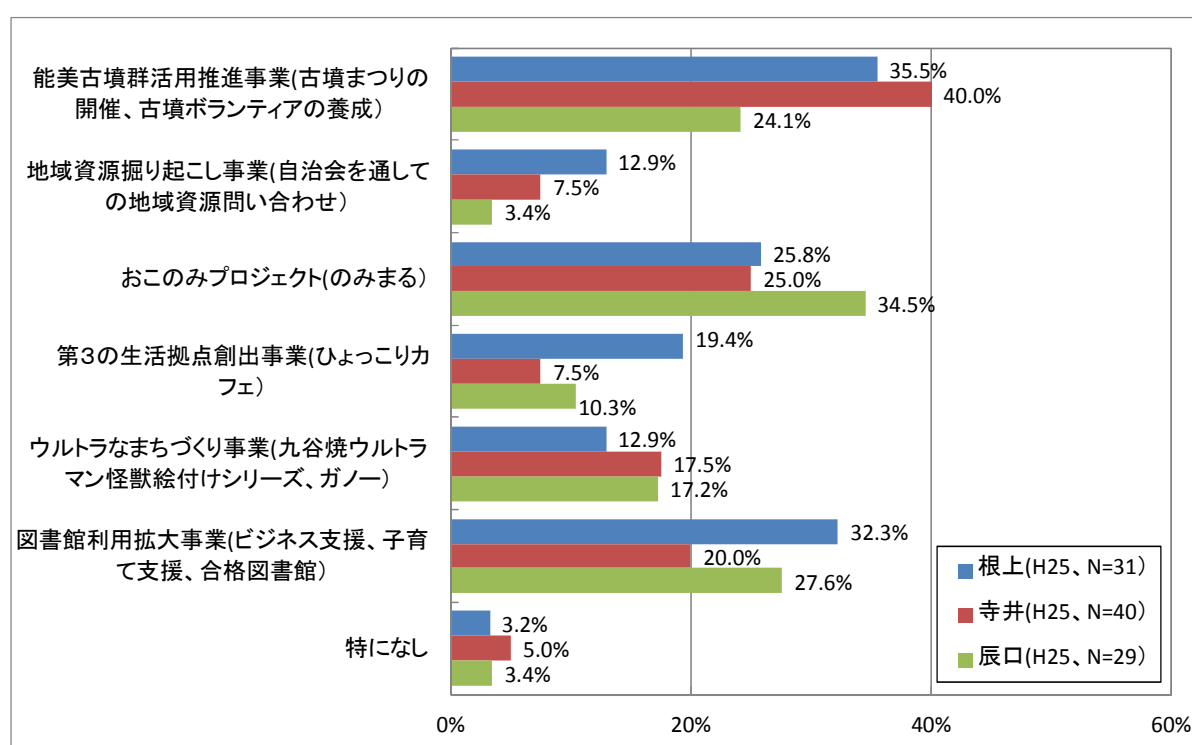
- ・20 歳代は「ウルトラなまちづくり事業」が多く、他の年代より 16 ポイント以上高くなっています。
- ・30 歳代は「図書館利用拡大事業」が多く、他の年代より 7 ポイント以上高くなっています。
- ・70 歳代は「能美古墳群活用推進事業」が最も多く 63.6%と、他の年代より 17 ポイント以上高くなっています。



■参加した、体験した取り組み(地区別)

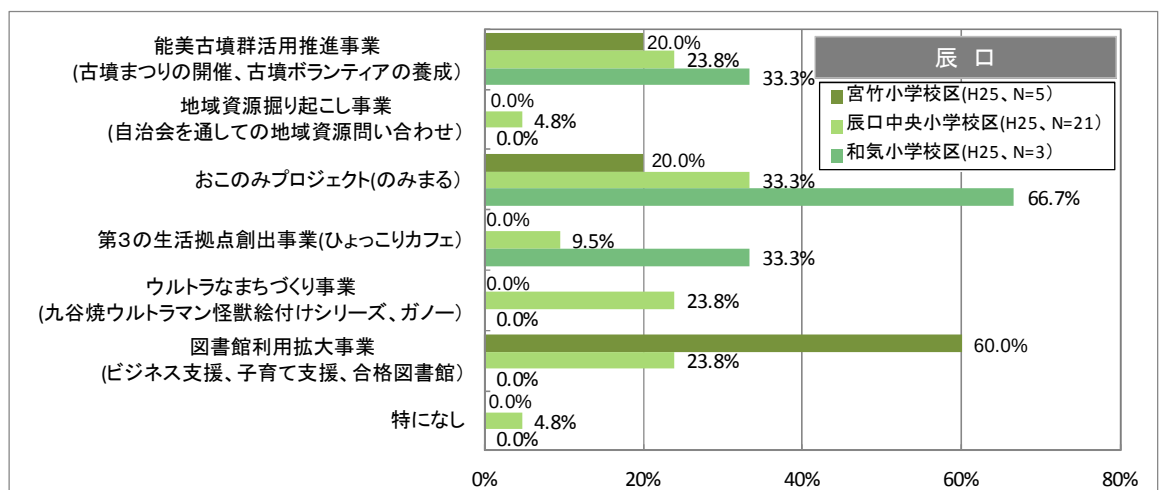
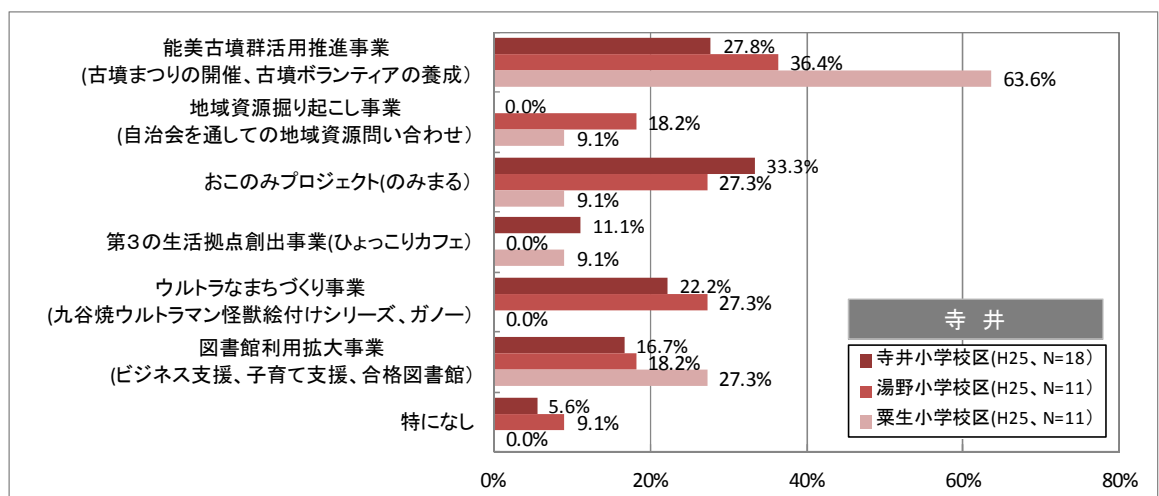
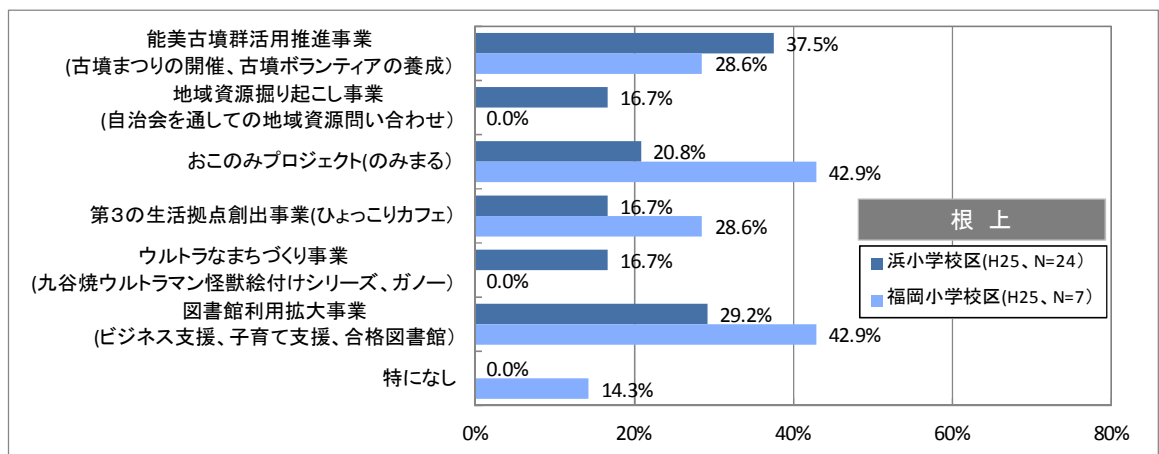
【地区別】

- ・根上、寺井は「能美古墳群活用推進事業」が最も多く、辰口と比べて 11 ポイント以上高くなっています。
- ・辰口は「おこのみプロジェクト」が最も多く、他の地区と比べ 9 ポイント以上高くなっています。
- ・根上は「第 3 の生活拠点創出事業」が 19.4%と、他の地区より 9 ポイント以上高くなっています。
- ・寺井は「図書館利用拡大事業」が 20.0%と、他の地区より 8 ポイント以上低くなっています。



【小学校区別】

- ・粟生小学校区では「能美古墳群活用推進事業」が最も多く 63.6%と、他の小学校区より 26 ポイント以上高くなっています。
- ・和気小学校区では「おこのみプロジェクト」が最も多く 66.7%と、他の小学校区より 24 ポイント以上高くなっています。
- ・宮竹小学校区では「図書館利用拡大事業」が最も多く 60.0%と、他の小学校区より 17 ポイント以上高くなっています。



問 26

あなたは、能美市民として自慢できるものはありますか？ご自由に、いくつでもご記入ください。

- ◆1285 人中 666 人(51.8%)の回答者から寄せられた能美市民として自慢できるものを、第一次能美市総合計画で示している施策分野別に分類しました。
- ◆「いしかわ動物園/ナイト Z00/クイズラリー/子どもへの招待券(193)」「松井秀喜選手(132)」「九谷焼(114)」「自然/里山里海(91)」「白山/白山の眺望(61)」などの回答が多くなっています。

【魅力】

丸いも/丸いもお好み焼きなど/のみまる/おこのみプロジェクト(44)、JAIST（北陸先端科学技術大学院大学）(35)、九谷茶碗まつり(27)、農産物/ゆず/落花生/トマト/はとむぎ(7)、米(3)、七夕まつり(2)、イベントが多い(1)、能美川柳大会(1) など

【歴史・自然】

自然/里山里海(91)、白山/白山の眺望(61)、水/伏流水/地下水(31)、古墳/秋常山古墳群/和田山古墳群/西山古墳群(30)、手取川(25)、海(14)、桜/桜並木(12)、七ツ滝(12)、田園風景(10)、仏大寺/遣水観音山霊水堂/能美ほっこりまつり(9)、夕日(6) ホタル(6)、がんぶち(5)、根上の松(根上松古戦場史跡)(5)、和田山/和田山公園(4)、アユ釣り(3)、はまなすの花(3)、星空(2)、一里塚(2)、眺望スポット(和田山、辰口大橋、根上)(1)、松海庵の茶室(1)、リサイクルセンター(1) など

【居住環境】

車による交通の便が良い(13)、災害が少ない(11)、買物が便利(8)、静か(6)、公園/公園が多い(6)、のどか(4)、気候が良い(3)、ヘルスロード(3)、生活環境がよい(3)、治安がよい(3)、のみバス(2)、土地が安い(2)、駐車場(1)、水不足がない(1)、レジャーが充実(1)、ゴミ・マナーの良さ(1) など

【健康・福祉】

(子供の)医療費助成(22)、子育て支援(15)、クアハウス九谷(12)、児童館が充実(6)、病院が充実(6)、福祉が充実(4)、芳珠記念病院(4) など

【産業・観光】

いしかわ動物園/ナイト Z00/クイズラリー/子どもへの招待券(193)、九谷焼(114)、松井秀喜ベースボールミュージアム/松井の館(43)、辰口温泉/温泉/足湯(36)、手取フィッシュランド/ウルトラマンスタジアム(33)、辰口丘陵公園(32)、大企業の立地(8)、九谷陶芸村/資料館(7)、ウルトラマン(4)、お薬師さん(1) など

【教育・文化・スポーツ】

図書館が充実(16)、スポーツ施設(13)、タント(12)、物見山/物見山運動公園/物見山周辺施設(10)、生涯学習センター(プラネタリアム)(3)、文化会館(3)、サイクリングロード(2)、じょんがら祭り/じょんがら踊り(2)、まつさき旅館(2)、獅子舞(2)、甲子園歌碑(2)、野花菖蒲の踊り(1)、伝統産業(1)、少年野球(1)、すもう大会(1) など

【行財政】

レベルの高い能美市市政/やさしく丁寧 (2) など

【参画・協働】

市民の人柄がよい/やさしい (6)、ボランティア精神、人の温かさ(1)、地域のつながりがある(1) など

【その他】

「味覚」…たなかの「手取川 昭和九年（もなか）」(21)、湯谷の「焼饅頭」(11)、J A根上の「ごはんばーがー」(6)、のみよし (5)、中西製菓(あんころもち・みたらしだんご) (4)、東方萬寿堂/丸谷庄三お茶碗もなか (3)、ラ・パンセ(2)、手造りパン工房すなお (2)、二兎 (2)、さきさんの餃子(1)、藤井肉店の煮込みハンバーグとお肉(1)、中田の黒い饅頭(1)、石子みそ(1)、中村屋のお菓子(1)、もりもりのたこ焼き(1)、清水屋(1)、「龍美」の餃子ラーメン(1)、廣見のうどん・だし(1) など

「人物」…**松井秀喜選手(野球)** (132)、森元総理(16)、能美市出身のスポーツ選手・有名人が多い(7)、小堀勇氣選手(水泳) (5)、鈴木雄介選手(競歩) (3) など

「その他」…川北花火大会(9) など

※ゴシック体：回答数の多い、上位 10 項目

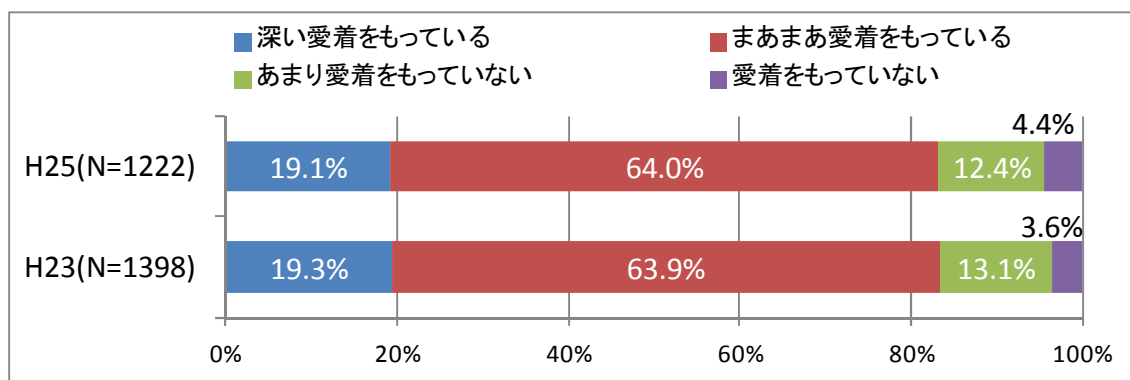
問 27

たくさんの人が訪れる地域は、そこに住む人たちの地元に対する愛着度がとても深い地域だと言われています。あなたは、能美市にどの程度の愛着をもっていますか？

※H23 に追加した設問

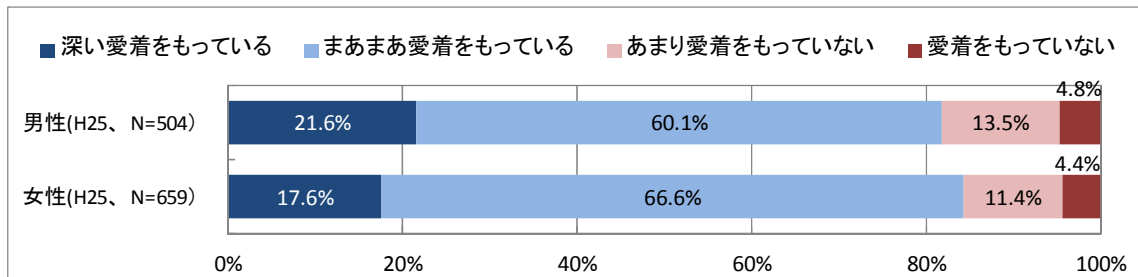
- ◆「まあまあ愛着をもっている」が 64.0%と最も多く、次いで「深い愛着をもっている」が 19.1%となっており、8 割以上の回答者が能美市への愛着をもっています。
- ◆経年的な変化はみられません。

選択項目	H25(今回)		H23	
	回答数	構成比	回答数	構成比
深い愛着をもっている	234	19.1%	270	19.3%
まあまあ愛着をもっている	782	64.0%	894	63.9%
あまり愛着をもっていない	152	12.4%	183	13.1%
愛着をもっていない	54	4.4%	51	3.6%
無回答	63	—	55	—
合計	1,285	—	1,453	—
回答者数(合計-無回答)	1,222	100.0%	1,398	100.0%



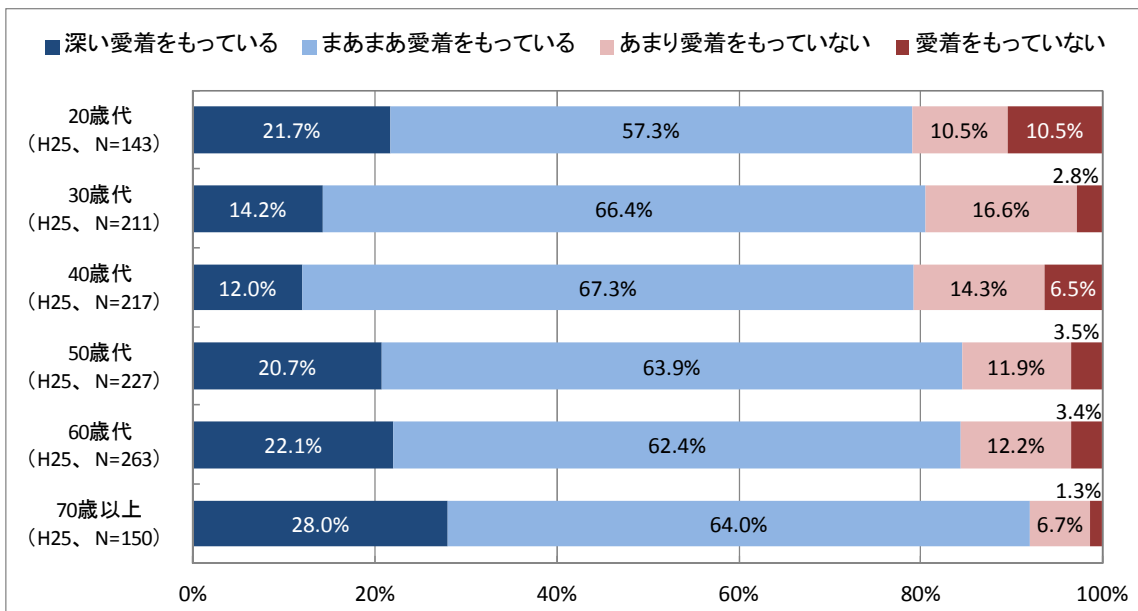
■能美市への愛着(性別)

- ・男女共に「深い愛着を持っている」「まあまあ愛着を持っている」の合計が8割以上を占めています。



■能美市への愛着(年代別)

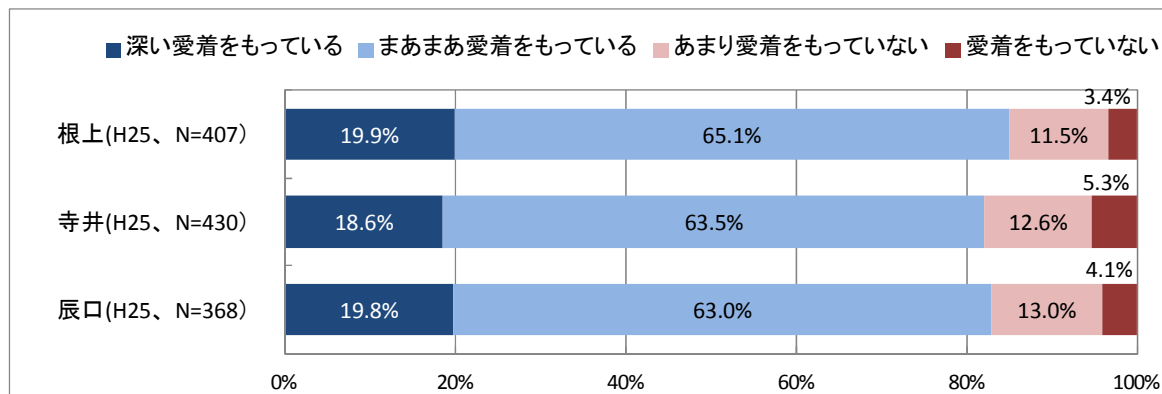
- ・70 歳以上は「深い愛着をもっている」が他の年代より 6 ポイント以上高くなっています。
- ・30～40 歳代では「深い愛着をもっている」が他の年代より 7 ポイント以上低くなっています。



■能美市への愛着(地区別)

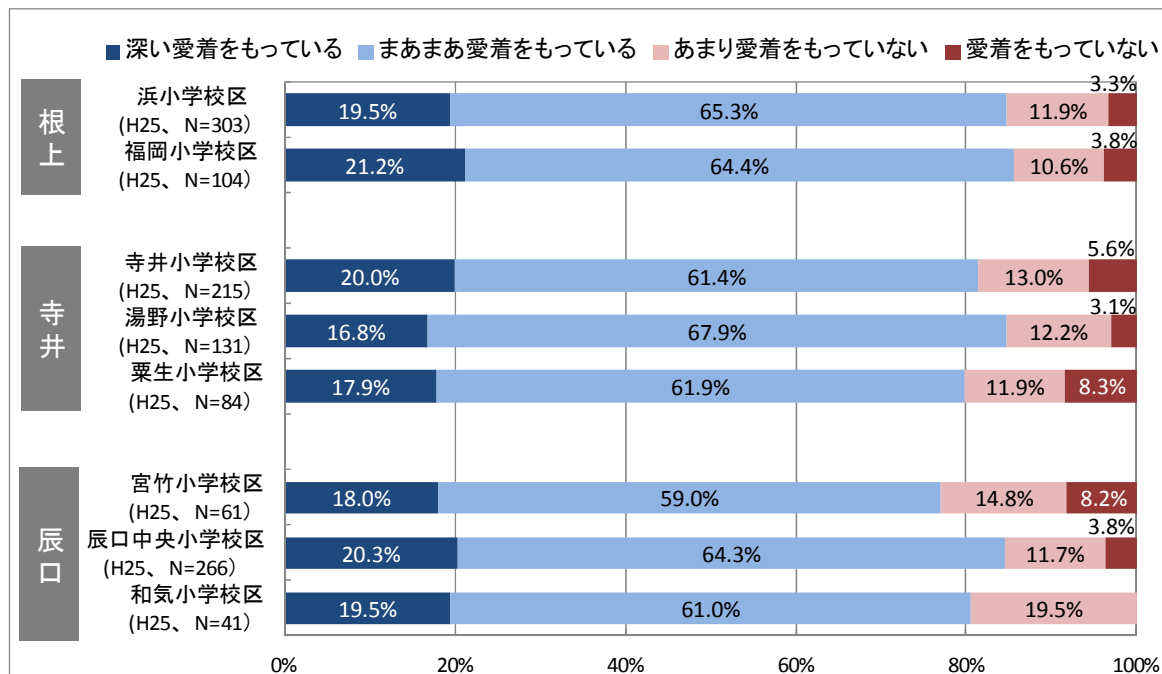
【地区別】

- ・地区別ではあまり差がみられません。
- ・3地区共に「深い愛着をもっている」が約2割を占めており、「まあまあ愛着をもっている」と合わせて8割以上の方が、能美市に愛着をもっています。



【小学校区別】

- ・小学校区別ではあまり差がみられません。



問 28

能美市がこれから観光誘客を図るために重要なキーワードは何だと思いますか？（当てはまるもの全てに○）

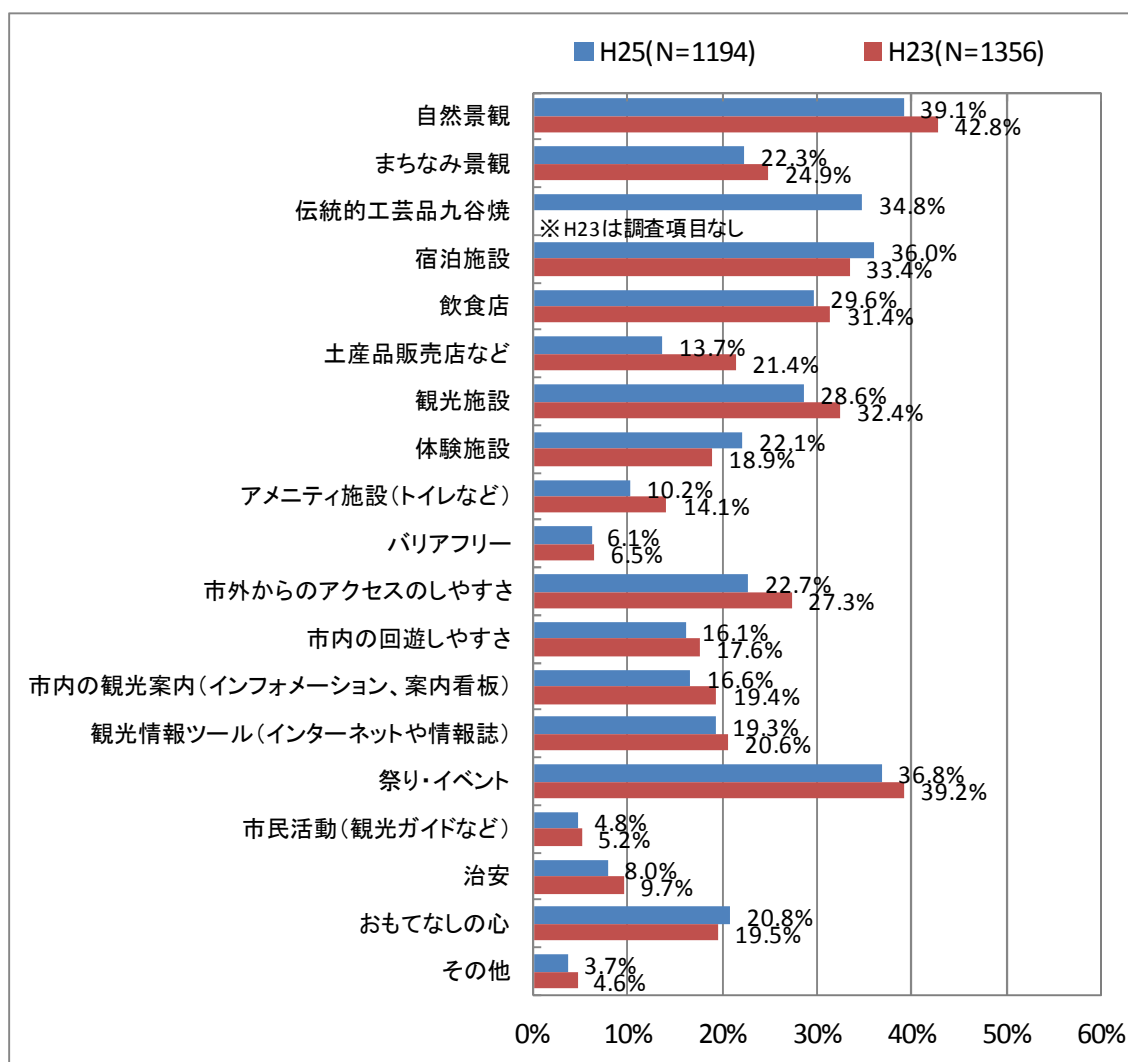
※H23 に追加した設問

- ◆「自然景観」が 39.1%と最も多く、次いで「祭り・イベント」が 36.8%、「宿泊施設」が 36.0%となっています。
- ◆経年的な変化はみられません。

選択項目	H25(今回)		H23	
	回答数	構成比	回答数	構成比
自然景観	467	39.1%	580	42.8%
まちなみ景観	266	22.3%	337	24.9%
伝統的工芸品九谷焼	415	34.8%	—	—
宿泊施設	430	36.0%	453	33.4%
飲食店	354	29.6%	426	31.4%
土産品販売店など	163	13.7%	290	21.4%
観光施設	341	28.6%	440	32.4%
体験施設	264	22.1%	256	18.9%
アメニティ施設(トイレなど)	122	10.2%	191	14.1%
バリアフリー	73	6.1%	88	6.5%
市外からのアクセスのしやすさ	271	22.7%	370	27.3%
市内の回遊しやすさ	192	16.1%	238	17.6%
市内の観光案内(インフォメーション、案内看板)	198	16.6%	263	19.4%
観光情報ツール(インターネットや情報誌)	230	19.3%	279	20.6%
祭り・イベント	439	36.8%	531	39.2%
市民活動(観光ガイドなど)	57	4.8%	70	5.2%
治安	95	8.0%	131	9.7%
おもてなしの心	248	20.8%	265	19.5%
その他	44	3.7%	63	4.6%
無回答	91	—	97	—
合計	4,760	398.7%	5,368	395.9%
回答者数(有効回答—無回答)	1,194	100.0%	1,356	100.0%

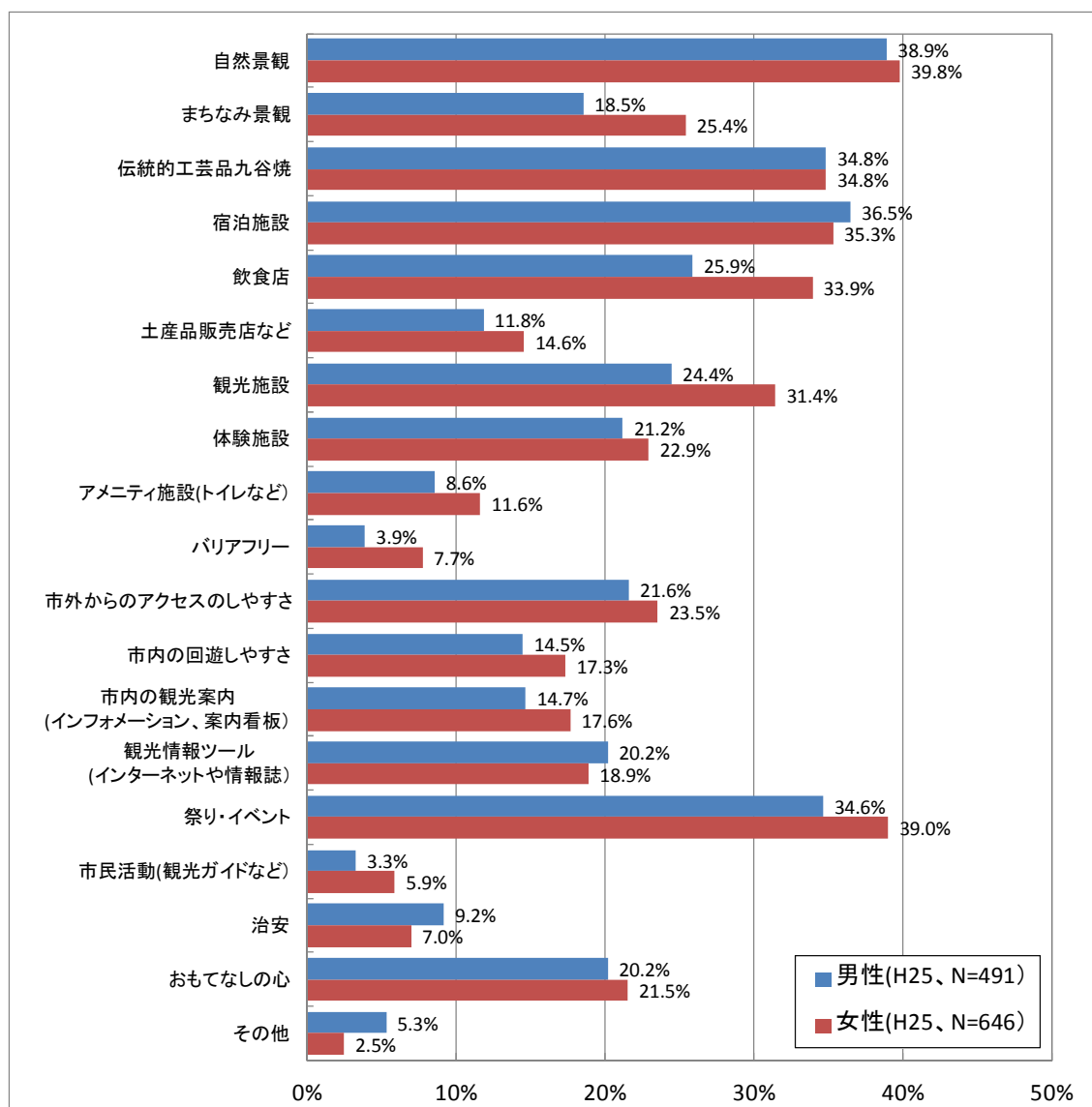
その他： 観光誘客の必要性なし・疑問(4)、道の駅(3)、ショッピングセンター・モール(3)、駐車場(2)、松井秀喜(2)、温泉(2)、ゆるキャラ(2)、海岸整備、大型アスレチック、プール、自然のめぐみ、おいしい水、キャンピングカーのパーキング設置、伝統工芸体験施設、能美市にしかないもの、マックやスタバの誘致、加賀市のレディカガ(例)、自然、交通機関、若者、タントでの音楽会、目立つ物、体験型観光、能美市の本質のアイデンティティを高めていく、wifiフリースポット、若者・外国人・家族連れが楽しめる企画や設備作り、ボランティアガイド など

※(): H25 における回答者数



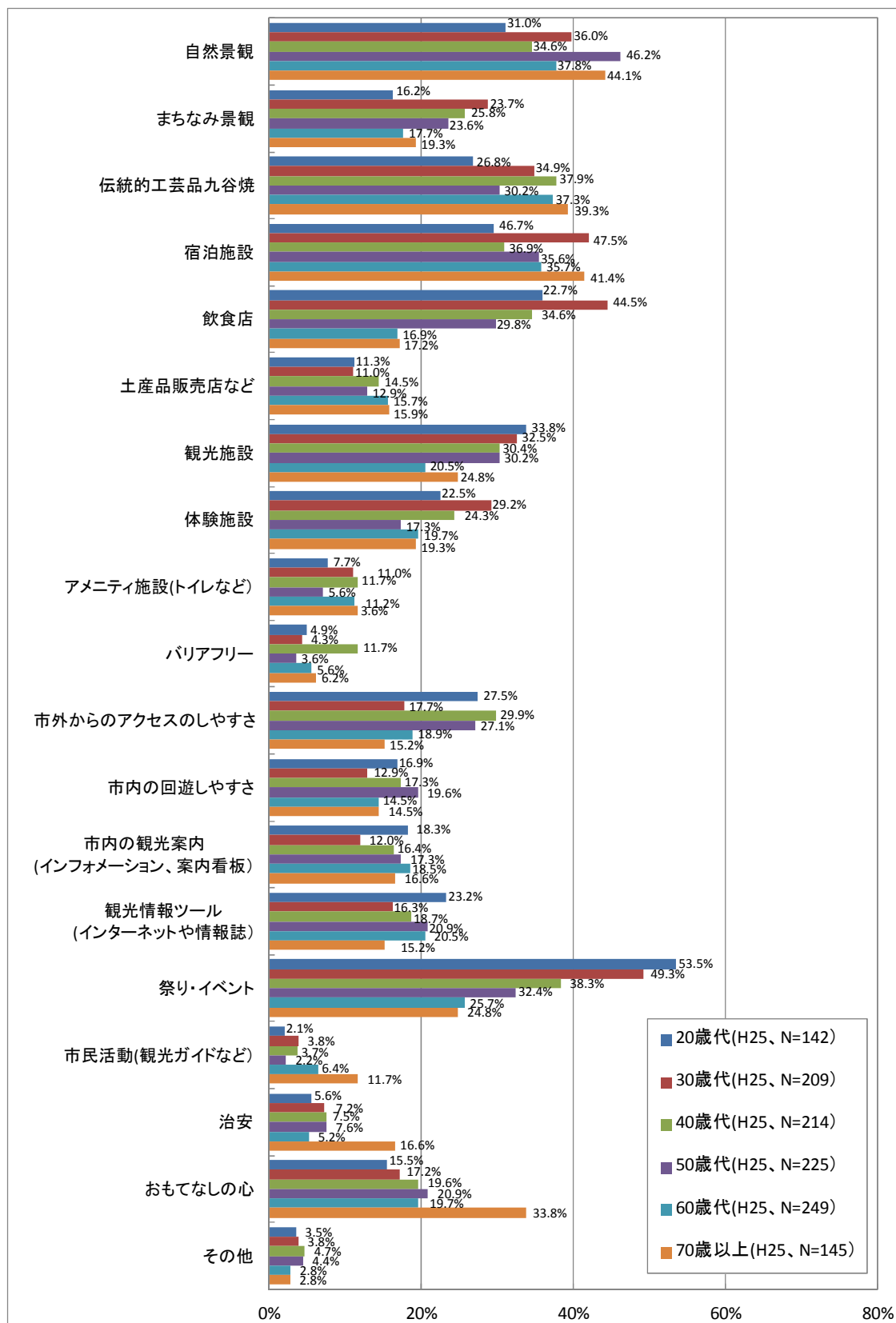
■観光誘客を図るための重要なキーワード(性別)

- ・女性は「宿泊施設」「観光情報ツール」「治安」「その他」を除き、男性よりポイントが高くなっています。特に「飲食店」が8ポイント、「まちなみ景観」「観光施設」が約7ポイント男性より高くなっています。



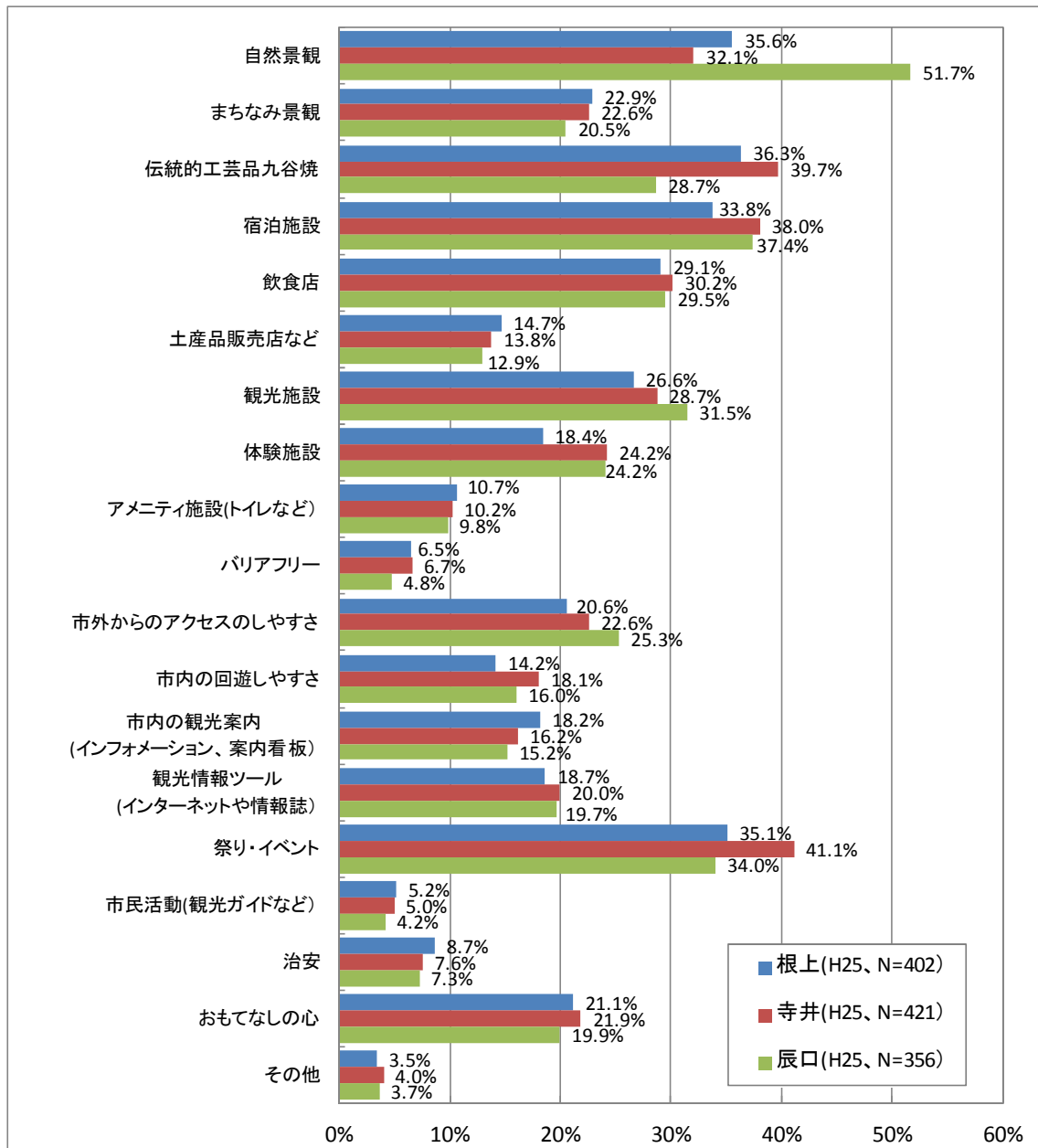
■観光誘客を図るための重要なキーワード(年代別)

- ・30歳代は「飲食店」が44.5%と、他の年代と比べて10ポイント以上高くなっています。
- ・低年齢ほど「祭り・イベント」が増加しており、20歳代では53.5%と、70歳以上の約2倍となっています。
- ・70歳以上では「おもてなしの心」や「治安」「市民活動」が他の年代より高くなっています。



■観光誘客を図るための重要なキーワード(地区別)

- ・根上は「伝統的工芸品九谷焼」が 36.3%、寺井は「祭り・イベント」が 41.1%、辰口は「自然景観」が 51.7%で最も多くなっています。
- ・寺井は「祭り・イベント」が他の地区より 6 ポイント以上高くなっています。
- ・辰口は「自然景観」が他の地区より 16 ポイント以上高くなっています。一方、「伝統的工芸品九谷焼」は 8 ポイント以上低くなっています。



問 29 能美市の観光誘客に向けたアイデアをご自由にお書き下さい。

- ◆1,285 人中 306 人(23.8%)の回答者から寄せられた、能美市の観光誘客に関するアイデアの記述内容を問 28 のキーワード別に分類した結果、「観光施設」「観光情報ツール（情報誌など）」「伝統工芸品九谷焼」に関するものが多くみられました。

キーワード	回答数 (構成比)	主な意見
自然景観	20 件 (6.5%)	◇海、川、山の活用。箱物より自然の中にあり無料で出来る事が大切。 ◇手取川の土手全面に花を咲かせる。 ◇宮竹用水を活用した小水力発電での自然景観のPR。
街並み景観	10 件 (3.3%)	◇泉台公園にウルトラ九谷を設置して子供たちが楽しめる場所を作る。 ◇温泉街らしい街並み。 ◇木を使い街路のいたるところに伝統産業を活かした物づくりをアピール。
伝統工芸品九谷焼	49 件 (16.0%)	◇能美市＝九谷焼をもっとアピール。 ◇若い九谷焼職人の商品の展示・販売。 ◇九谷焼を活用した器・インテリア・オブジェなど。
宿泊施設	30 件 (9.8%)	◇安い宿泊施設。 ◇観光・宿泊・体験をセットにしたツアー。人間ドッグなどの健診と温泉宿泊ツアー。 ◇農村民泊。
飲食店	30 件 (9.8%)	◇B級グルメの開発。 ◇古民家を活かした民宿・カフェ。 ◇飲食店が少ない（ファミレスやカフェ）、気軽に入れるカフェなど。
土産品販売店など	23 件 (7.5%)	◇「道の駅」をつくり、物産品の販売やイベントの案内・開催（8号沿い、加賀産業道路沿い、能美IC近く など）。 ◇バスのり放題1dayパスなどを作り、それをお土産店で粗品をもらえるなどオマケをつける。 ◇能美ブランドの商品開発。
観光施設	81 件 (26.5%)	◇大型商業施設（ショッピングセンター、アウトレット等）、大型レジャー施設。 ◇雨でも家族で利用出来る施設。 ◇合宿施設の充実、修学旅行の受け入れ。
体験施設	31 件 (10.1%)	◇九谷焼の絵付け等の様々な体験が出来る体験施設。 ◇農業・里山・虫取り等の自然を活かした体験。 ◇外国人を対象にした文化体験・体験居住。
アメニティ施設 (トイレなど)	4 件 (1.3%)	◇イベント時の駐車場をもっと確保。 ◇休憩ができてトイレがあると便利。
バリアフリー	0 件 (0.0%)	—
市外からのアクセス のしやすさ	8 件 (2.6%)	◇鉄道駅を作る。 ◇産業道路と8号線を結ぶ路線の充実。 ◇幹線道路の早期計画と実施。
市内の回遊しやすさ	13 件 (4.2%)	◇交通機関の充実（駅と観光地をつなぐバス、観光タクシーなど）。 ◇レンタルサイクルの設置（電動自転車）。 ◇自転車専用道路の整備。

キーワード	回答数 (構成比)	主な意見
市内の観光案内 (インフォメーション、案内看板)	25 件 (8.2%)	◇分かりやすい市内おすすめ観光マップ。 ◇観光施設等をむすぶ観光ルート・ツアーの企画。 ◇おもてなし案内看板の設置。
観光情報ツール (インターネットや情報誌)	63 件 (20.6%)	◇全国・都市圏へ向けての情報発信。 ◇ゆるキャラをつくる。 ◇様々な媒体を活用したPR (マスコミ、雑誌、IC、映画・ドラマなど)。
祭り・イベント	45 件 (14.7%)	◇一箇所に集約させた大きなイベント。 ◇スポーツのイベント (マラソン、自転車、ゴルフなど)。 ◇各種施設と連携したイベント (県丘陵公園、動物園など)。
住民活動 (観光ガイドなど)	2 件 (0.7%)	◇元気な年寄りの活用。 ◇観光ボランティア資格制度の設立。
治安	0 件 (0.0%)	—
おもてなしの心	7 件 (2.3%)	◇地域での人材育成情報発信力を高める。市民との連携を深くする。 ◇明るい雰囲気づくり。 ◇バイパス等のごみ拾い。
その他のアイデア	27 件 (8.8%)	◇他市との連携。観光施設や飲食店同士の連携。 ◇企業との共在 (先端大)。 ◇松井秀喜選手を活かす。
合計	468 件 (152.9%)	—

4. まとめ

(1) 回答者自身について

➤ 能美市の行政への関心 (p. 17) … 約 8 割は関心があると回答

- ・性別・年齢・地域に関わらず、H23 以降は行政に対する関心が低下していますが、約 8 割の方は行政に対する関心があると回答しています。

➤ 市政情報の入手方法 (p. 21) … 8 割以上が市の広報誌、2 割が回覧板や新聞

- ・8 割以上の方が、市の広報誌から市政情報を入手しているほか、回覧板や新聞もそれぞれ約 2 割を占めており、広報誌による情報提供を基本としつつ、回覧板や新聞も必要に応じて組み合わせていくことが重要と考えられます。
- ・一方、ホームページから市政情報を入手している方は約 1 割と低い状況にありますが、20～50 歳代の世代では 60 歳以上に比べ約 2～3 倍となっています。近年では、日常的にインターネットを利用する方が増加しているため、市政情報を入手する手段として効果的な方法と考えられます。

(2) 能美市における各種施策の満足度・重要度について

➤ 優先的に改善すべき取り組み (p. 31) … 「人や自転車にやさしい道路整備」「社会保障の取り組み」「効率的な行政運営の取り組み」

- ・「人や自転車にやさしい道路の整備」「社会保障の取り組み」「効率的な行政運営の取り組み」は、例年優先的に改善すべき領域（重要度が高く、満足度が低い項目）となっており、改善を図っていく必要があります。
- ・また、「公共交通網の整備」「学校教育の充実に向けた取り組み」「財政の健全化に向けた取り組み」は、今回優先的に改善すべき領域となっており、その要因として高齢化社会の進展による移動手段の確保や求められる教育レベルの向上、見通しの立たない経済情勢等が考えられます。

➤ 市政への満足度 (p. 32) … 【魅力】【歴史・自然】【健康・福祉】分野の満足度が向上

- ・【歴史・自然】【健康・福祉】【教育・文化・スポーツ】分野の満足度が比較的高くなっています。
- ・H23 と比べ【魅力】【歴史・自然】【健康・福祉】分野において、ほとんどの項目に満足度の向上が見られます。また、満足度が大きく低下した項目はみられません。
- ・一方、【産業・観光】分野の満足度は低い傾向にありますが、H23 と比べ「九谷焼などの伝統産業の振興」は満足度が向上しており、九谷焼産地再生戦略会議や九谷焼ウルトラマシアートシリーズ販売などの九谷焼に関する取り組みの結果が反映されていると考えられます。
- ・根上、寺井、辰口の 3 地区共に「商業の振興、商店街の活性化」の満足度が低くなっています。

➤ 市政にとっての重要度 (p. 32) …生活に密着した施策の重要度が上昇

- ・【歴史・自然】【居住環境】【健康・福祉】【行財政】分野の重要度が比較的高くなっています。
- ・H23 と比べ【魅力】【居住環境】【行財政】分野において、ほとんどの項目に重要度の向上が見られます。また、重要度が大きく低下した項目はみられません。
- ・特に、「広域幹線道路網の整備」は辰口で、「公共交通網の整備」は寺井、辰口で、「財政の健全化に向けた取り組み」は根上で高い傾向にあります。

(3) 能美市に住むことについて

➤ 能美市の住みやすさ (p. 55) … 9 割が住みやすいと評価

- ・ 約 9 割の方が、能美市は「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」と評価しています。しかし、性別では“男性”、年齢別では“50 歳代”、地域別では“辰口”が、H23 と比べて「住みやすい」と回答する方が減少しています。

➤ 将来的な定住意向 (p. 59) … 8 割が住み続けたいと回答

- ・ 8 割以上の方が、住み続けたいと考えており、「生まれ育った所だから」「家があるから」「住みやすい、生活しやすいから」などを理由としています。
- ・ 一方で、移り住みたい方は、「交通が不便であるため」「地元に戻りたいから」「地域性、人間性が合わないから」などを理由としており、辰口でやや多くなっています。

➤ 定住のきっかけ (p. 63) … 男性は出身地、女性は結婚相手の出身地

- ・ 男性は以前から能美市に住んでいた方が多く、女性は結婚相手が能美市出身の方が多くなっています。
- ・ 辰口（辰口中央小学校区、和気小学校区）では、他地区と比べて土地価格が手頃なことも定住のきっかけの一つとなっています。

➤ 能美市に定住することの魅力 (p. 75) … 豊かな自然環境、静かな住環境

- ・ 約 5 割の方が「自然環境が良い」、約 4 割の方が「静か」を魅力と考えています。特に、辰口や寺井（湯野小学校区）では、これらの魅力を高く評価しています。
- ・ 女性や子育て世代の方（30～40 歳代）は、「子育て環境が充実」を魅力と評価することが多くなっています。

(4) 地域活動、市民活動および市民と行政の協働について

➤ 地域活動等への参加状況 (p. 88) …約 4 割が参加

- ・約 4 割の方が何らかの地域活動に参加しており、参加が最も多いのは「自治会での活動」となっています。また、30～40 歳代は、「学校・PTA・子ども会での活動」への参加が多く、70 歳以上の方は「老人クラブでの活動」への参加が多くなっています。
- ・一方、ほとんどの性別、年齢、地域で、H23 と比べて地域活動への参加割合が低くなっていますが、他の地区と比べ、根上は「婦人会・女性団体での活動」への参加が高く、寺井は「学校・PTA・子ども会での活動」への参加が高くなっており、小学校区の規模やまとまりなどが地域活動への参加に影響を与えていると考えられます。

➤ 地域が主体となって取り組むべき課題 (p. 102) …「防災・防火、災害時の対応」

「地域の防犯、治安の向上」が約 4 割

- ・「防災・防火、災害時の対応」「地域の防犯、治安の向上」が約 4 割と高く、次いで「高齢者・障害者への支援」となっています。
- ・男性は「地域コミュニティの活性化」「環境の保全・美化」が女性より高く、女性は「子育て支援」が男性より高くなっています。
- ・他の年代と比較して、30 代では「交通安全」「子育て支援」（特に女性）を、60～70 代では「高齢者・障害者への支援」「健康づくり」を課題と考えている方の割合が高くなっています。
- ・根上、辰口では「防災・防火、災害時の対応」、寺井では「地域の防犯、治安の向上」が最も多くなっています。

➤ 市民と行政の協働推進に必要なこと (p. 109) …4 割が気軽に集まれる場所

- ・約 4 割の方が、「地域の人々が気楽に集まれる場所」を必要としています。特に、30 代の方や女性の方、根上と寺井の方が必要としています。
- ・また、60 歳以上の方の約 4 割は、「自治会が中心となって、地域内の交流活動を積極的に行う」ことが必要と考えています。

➤ まちづくり活動の妨げになっていること (p. 114) …3 割が参加者不足

- ・約 3 割の方が、「参加者不足」が原因だと考えています。他にも「地域の理解・盛り上がり」「時間不足」が原因だと考えている方も約 2 割となっています。
- ・また、70 歳以上の方は、他の年代と比べて「活動を引っ張っていくリーダー」と考える方が約 3 割と高くなっています。

(5) 男女共同参画社会づくりと人権をめぐる市民意識について

▶ 男女共同参画で心がけていること (p. 120)

…5割が相手の立場となり物事を理解しようと心がけている、
3割が家事などをともに行うよう心がけている

- ・ 5割以上の方が、相手の立場となって物事を理解しようと心がけています。
- ・ また、約3割の方が家事・育児などをパートナーと共に行うよう心がけており、特に子育て世代である30歳代では約5割となっています。
- ・ 男性の方が女性よりも男女の人権や平等について理解を深めるように心がけています。

▶ 人権の尊重について感じていること (p. 124) …約7割が「特になし」、約2割が「日常生活の中で、差別や人権侵害を受けたと感じたことがある」

- ・ 「特になし」が約7割と最も高く、次いで「日常生活の中で、差別や人権侵害を受けたと感じたことがある」が約2割となっています。
- ・ また、女性の方が「日常生活の中で、差別や人権侵害を受けたと感じたことがある」が男性より高くなっています。

(6) 公共交通網の充実について

▶ J R 寺井駅の利用状況 (p. 128) …約8割が未利用、1割が月に1・2回程度の利用

- ・ 8割以上の方が、J R 寺井駅をほとんど利用していませんが、約1割の方は月に1・2回程度利用しています。
- ・ 20歳代、70歳以上の方は他の年代と比べて利用者が多くなっています。
- ・ J R 寺井駅が立地する根上では、約2割の方が月に1回以上利用している一方、J R 寺井駅から遠い辰口では利用は1割未満となっており、J R 寺井駅との距離が大きく影響していると考えられます。

▶ のみバスの利用促進に必要なこと (p. 132) …バス情報の充実、バスの運行本数の増便

- ・ 4割以上の方が、「バス情報の充実」「バスの運行本数の増便」を必要としており、特に「バスの運行本数の増便」はJ R 寺井駅から遠い辰口や寺井での意見が多くなっています。
- ・ 約6割の学生が、「バスの運行本数の増便」を必要としています。

(7) 地域活性化・観光に関する取り組みについて

➤ 観光をキーワードとした地域活性化事業について知っているもの] (p. 137)

…5割が「ウルトラなまちづくり事業」「おこのみプロジェクト」を認知

- ・約5割の方が、「ウルトラなまちづくり事業」や「おこのみプロジェクト」を知っていると答えており、H23年と比べて大幅な認知度の増加が見られます。また、全ての事業において女性の認知状況が男性より高くなっています。
- ・寺井は「ウルトラなまちづくり事業」と「能美古墳群活用推進事業」が、他の地区と比べて高くなっています。

➤ 観光をキーワードとした地域活性化事業について[参加した、体験したもの] (p. 141)

…「能美古墳群活用推進事業」「おこのみプロジェクト」「図書館利用拡大事業」が高い

- ・「能美古墳群活用推進事業」が3割以上と最も多く、次いで「おこのみプロジェクト」「図書館利用拡大事業」が多くなっています。
- ・男性は「能美古墳群活用推進事業」と「おこのみプロジェクト」が最も多く、女性は「能美古墳群活用推進事業」が最も多くなっています。また、20歳代は「おこのみプロジェクト」と「ウルトラなまちづくり事業」、30～40歳代は「図書館利用拡大事業」、50歳代以上は「能美古墳群活用推進事業」が最も多くなっています。回答者の性別や年齢により参加、体験の対象に差が生じていることから、対象者を絞った地域活性化の取り組みの周知や展開などの検討も必要と考えられます。

➤ 自慢できるもの (p. 146) …いしかわ動物園、松井秀喜選手、九谷焼など

- ・多くの方が、いしかわ動物園、松井秀喜選手、九谷焼などをあげています。特に、【産業・観光】【歴史・自然】分野で自慢できるものが多くなっています。

➤ 能美市への愛着 (p. 148) …8割以上が愛着を持っていると回答

- ・8割以上の方が能美市への愛着を感じています。特に、能美市出身者が多い男性は、女性より深い愛着を感じている方が多いほか、年齢が上がるほどその割合は高くなっています。

➤ 観光誘客を図るための重要なキーワード (p. 151) …自然景観、祭り・イベント、宿泊施設など

- ・多くの方が「自然景観」「祭り・イベント」「宿泊施設」をキーワードにあげています。特に、20～40歳代は「祭り・イベント」を、50歳以上の方は「自然景観」を多くあげています。
- ・根上は「伝統的工芸品九谷焼」が、寺井は「祭り・イベント」が、辰口は「自然景観」が最も多くなっています。

▶ 観光誘客に向けたアイデア (p. 156) …観光施設の建設や PR 活動、祭り・イベントの実施

- ・「観光施設」「観光情報ツール」「伝統工芸品九谷焼」に関するアイデアが多くなっています。
- ・具体的には、「大型商業施設」「ゆるキャラをつくる」「能美市＝九谷焼をもっとアピール」などの意見があげられています。

(8) 能美市のまちづくりについて

▶ 総合計画に基づく施策の展開と市民満足度について

…市民ニーズに応じた施策の展開により各施策の満足度が向上

- ・ H17 から H25 の満足度の推移をみると、多くの項目で評価が高くなっており、大きく評価が低くなった項目はありません。また、満足度が低く改善が必要とされていた「定住化の促進」や「障がい者福祉の取り組み」については、新たな取り組みの実施により満足度が改善しており、市民の評価に応じた施策の展開が図られたと考えられます。
(例えば、定住世帯への補助金の交付や、障がい者への継続的な医療費助成や各種サービスの活動支援など)
- ・ 一方、経年的に連続して改善を図るべき領域に含まれる項目として、「人や自転車にやさしい道路の整備」「社会保障の取り組み」「効率的な行政運営の取り組み」があげられます。
- ・ 「人や自転車にやさしい道路の整備」については、社会資本整備審議会道路分科会建議中間とりまとめ（平成 24 年 6 月）において、道路政策の転換の視点として、『『クルマ』主役から、歩行者、自転車などクルマ以外の利用者を含めた『多様な利用者が安全・安心して共存』できる環境の整備』が挙げられており、歩行者、自転車、自動車のそれぞれが安全に安心して通行できる道路空間づくりに努めることが重要だと考えます。
- ・ 「社会保障の取り組み」については、超高齢社会の到来により介護保険制度の充実が今後一層求められ、また、保険料等の収納率向上にも努める必要があり、社会保障制度を適切に運営していくためには市民の協力が不可欠であるため、市民への社会保障に関する各種施策のわかりやすい情報提供や相談窓口の充実に努めることが重要だと考えます。
- ・ 「効率的な行政運営」については、「第 2 次能美市行財政改革大綱」及びこれの実行計画である「行財政改革の指針～エコのみー2011～」に基づく行財政改革の推進を図り、その結果を踏まえた各種取り組みの改善検討を行うことにより、今後も継続的な行財政改革を実施し、効率的な行政運営を図ることが重要だと考えます。

➤ 能美市の魅力とまちづくりについて

…「豊かな自然環境」「九谷焼」などの能美市の魅力を活かしたイベントや取り組みを積極的に実施していくことが重要

- ・ 能美市の魅力、自慢、観光誘客に向けたキーワードなどの項目において、「自然環境」に関する回答が多くなっており、豊かな自然環境や良好な住環境が重要な財産であると多くの市民が認識しています。
- ・ また、観光誘客に向けたキーワードでは、「九谷焼」「イベント・祭り」の回答も多く、地域活性化・観光に関する取り組みについても、「ウルトラなまちづくり事業」「おこのみプロジェクト」などが徐々に市民に認知されてきています。
- ・ 上記より、今後もまちづくりの推進に際して、豊かな自然環境の保全・活用とともに、九谷焼やウルトラマン、お好み焼きなどの能美市の魅力を活かしたイベントや取り組みを積極的に実施していくことが重要と考えられます。